SoftBank 931SC

User Guide　取扱説明書

はじめに

このたびは、「SoftBank 931SC」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
SoftBank 931SCは、3G方式とGSM方式に対応しております。

- SoftBank 931SCをご利用の前に、この「取扱説明書（本書）」をご覧になり、正しくお取り扱いください。
- 本書をご覧いただいたあとは、大切に保管してください。
- 本書を万一紛失または損傷したときは、お問い合わせ先（➔P.15-28）までご連絡ください。
- ご契約の内容により、ご利用になれるサービスが限定されます。

ご注意

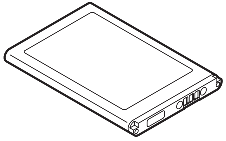
- 本書の内容の一部でも無断転載することは禁止されております。
- 本書の内容は将来、予告無しに変更することがございます。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、お問い合わせ先（➔P.15-28）までご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

- 本書の最新版は、ソフトバンクモバイルのホームページよりダウンロードできます。
  http://www.softbank.jp/mb/r/support/931sc/

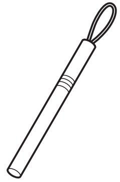
お買い上げ品の確認

SoftBank 931SC本体のほかに、次の付属品がそろっていることをお確かめください。付属品は、オプション品としても取り扱いしております。
付属品、オプション品につきましては、お問い合わせ先（➔P.15-28）までご連絡ください。

電池パック［SCBAR1］



ストラップタッチペン



- 931SCの充電には、ソフトバンクが指定した充電器（オプション品）を使用してください。
- 931SCではmicroSD™メモリカードに対応しています。ご利用にあたっては、市販のmicroSD™メモリカードを購入してください。
- 本書では、microSD™メモリカードを「メモリカード」と記載しています。
- Samsung New PC Studioは、SAMSUNGホームページ（http://jp.samsungmobile.com/pc/lineup/931download.html）からダウンロードしてご利用いただけます。

メモ

本書の構成

931SC をお使いになるための準備や基礎的な知識、基本的な共通操作をまとめて説明しています。必ずお読みください。	準備／基礎知識	1
	共通機能／共通操作	2
931SC の代表的な機能を、章単位でまとめて説明しています。お使いになりたい機能の章をお読みください。	電話	3
	メール	4
	インターネット	5
	テレビ	6
	カメラ／静止画編集	7
	メディアプレイヤー	8
	エンタテイメント	9
931SC で利用できるその他の便利なツール（道具）やサービスについて説明しています。	ツール	10
931SC のセキュリティを強化する機能を説明しています。	セキュリティ	11
931SC でのデータの管理方法について説明しています。	データフォルダ／メモリ	12
データ通信やパソコン接続、データのバックアップについて説明しています。	通信／バックアップ	13
931SC を使いこなすためのカスタマイズ方法について説明しています。	カスタマイズ	14
931SC についての資料や各種情報、索引をまとめています。	資料／付録	15



最初に
「使い方ガイド」を
お読みください。

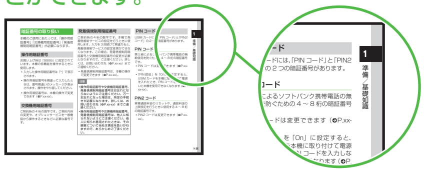
機能の探しかた

パラパラとめくって探す

本機の新しい魅力を発見しましょう。

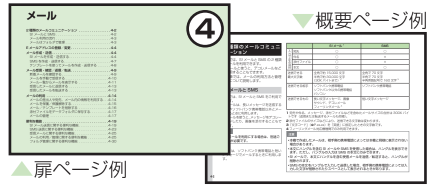
各誌面の内容は説明のためのサンプルです。実際の誌面とは異なります。

ページの端にはサイドインデックスが付いています。目的の章をすばやく確認することができます。



- 各ページでは上の例のように、縦組み文字で章の番号とタイトルが書かれています。本書を閉じていても、章の区切りがわかりやすくなっています。

章の始まりには、扉ページが付いています。区切りの目安にしましょう。



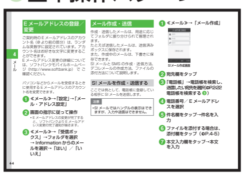
▼概要ページ例

▲扉ページ例

- 章の冒頭などには、その章で説明する機能やサービスの内容をまとめた概要ページがあります。ここで全体像をつかんでください（一部ない章もあります）。

説明ページのレイアウトはいくつかのパターンに分かれています。それぞれのパターンの意味を覚えておけば、必要な箇所だけを読むことができます。

●基本操作パターン



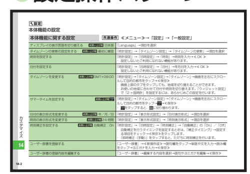
機能やサービスの基本操作を説明しているページです。章や項目の前半にあります。

●応用操作パターン



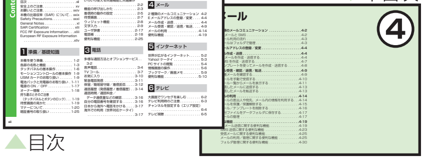
機能やサービスの応用的な操作を説明しているページです。章の後半にあります。

●設定操作パターン



本機の設定変更を説明しているページです。カスタマイズの章にあります。

全体像が一覧できる「目次」と、章内の内容がわかる「章目次」を活用しましょう。

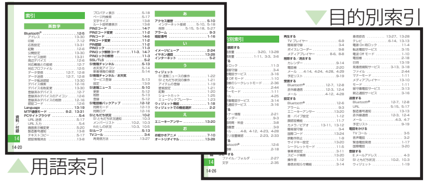


▽章目次

△目次

- 「目次」には、この取扱説明書の章構成と各章内の見出しが記載されています。また、各章の扉ページに入っている「章目次」は、章内の内容が詳しく記載されています。目的に応じて使い分けてください。

用語と目的機能で引ける３つの「索引」で目的の機能や用語をすばやく見つけましょう。



▽目的別索引

△用語索引

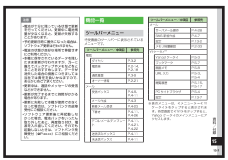
- 本機内の用語があいうえお順に並んでいる「用語索引」と、「登録する」「消去する」などの目的別にまとめた「目的別索引」、応用操作のある機能をまとめた「便利な機能索引」を「資料／付録」の章に掲載しています。ご活用ください。

目的の機能や用語を探す

いろいろな方法で、検索が行えます。

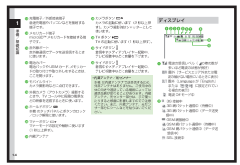
各誌面の内容は説明のためのサンプルです。実際の誌面とは異なります。

メニューなどの項目の意味や操作を調べるときは、「機能一覧」がおすすめです。



- 「資料／付録」の章の「機能一覧」は、本機のメニュー構造に沿って、各項目の掲載ページを記載しています。操作中に気になる項目があれば、ここからすぐにジャンプできます。

画面に表示されるアイコンの意味を知りたいときは、「ディスプレイ」をご覧ください。



- 「準備／基礎知識」の章にある「ディスプレイ」では、ディスプレイに表示されるアイコンの意味を掲載しています。知らないアイコンが表示されたときは、すぐに確認しましょう。

表示やアイコンの意味を探す

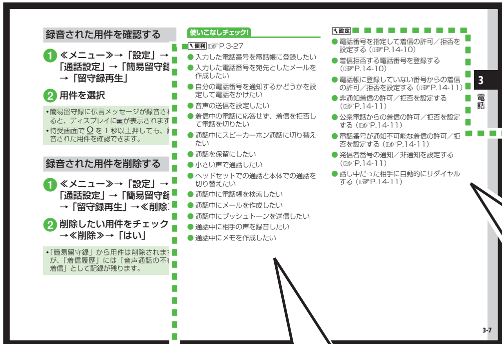
気になる項目やアイコンを調べましょう。

各誌面の内容は説明のためのサンプルです。実際の誌面とは異なります。

本書の記載パターン

基本操作パターン

各機能の基本操作をやさしく説明しています。



録音された用件を確認する

1 ≪メニュー≫→「設定」→「通話設定」→「簡易留守録
→「留守録再生」

2 用件を選択

•簡易留守録に伝言メッセージが録音されると、ディスプレイにが表示されます
•待受画面で を1秒以上押しても、録音された用件を確認できます。

録音された用件を削除する

1 ≪メニュー≫→「設定」→「通話設定」→「簡易留守録
→「留守録再生」→≪削除
2 削除したい用件をチェック
→≪削除≫→「はい」

•「簡易留守録」から用件は削除されますが、「着信履歴」には「音声通話の不在着信」として記録が残ります。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.3-27
- 入力した電話番号を電話帳に登録したい
- 入力した電話番号を宛先としたメールを作成したい
- 自分の電話番号を通知するかどうかを設定して電話をかけたい
- 音声の送信を設定したい
- 着信中の電話に応答せず、着信を拒否して電話を切りたい
- 通話中にスピーカーホン通話に切り替えたい
- 通話を保留にしたい
- 小さい声で通話したい
- ヘッドセットでの通話と本体での通話を切り替えたい
- 通話中に電話帳を検索したい
- 通話中にメールを作成したい
- 通話中にプッシュトーンを送信したい
- 通話中に相手の声を録音したい
- 通話中にメモを作成したい

設定
- 電話番号を指定して着信の許可／拒否を設定する（☞P.14-10）
- 着信拒否する電話番号を登録する（☞P.14-10）
- 電話帳に登録していない番号からの着信の許可／拒否を設定する（☞P.14-11）
- 非通知着信の許可／拒否を設定する（☞P.14-11）
- 公衆電話からの着信の許可／拒否を設定する（☞P.14-11）
- 電話番号が通知不可能な着信の許可／拒否を設定する（☞P.14-11）
- 発信者番号の通知／非通知を設定する（☞P.14-11）
- 話し中だった相手に自動的にリダイヤルする（☞P.14-11）

3 電話

3-7

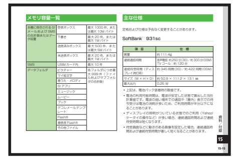
操作にあたってのご注意

•本書は、特にことわりのない限り、待受画面（➔P.2-6）からの操作を中心に説明しています。

設定 この機能をカスタマイズして使いたいとき

詳しい仕様を知りたいとき

「資料／付録」の章の「メモリ容量一覧」と「主な仕様」をご覧ください。件数や時間など、詳細な仕様を確認することができます。



使いこなしチェックを活用しましょう

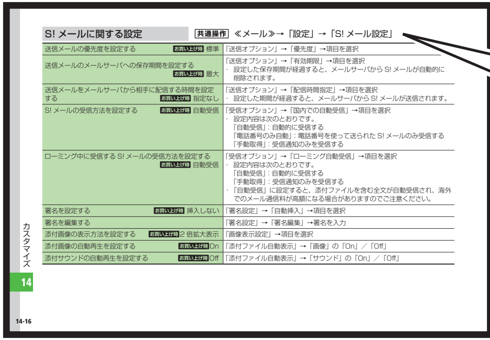
このページで説明している機能に関する代表的な応用操作や設定項目を紹介しています。この機能をもっと使いこなしたい方におすすめです。

便利 この機能のいろいろな応用操作をしたいとき

各誌面の内容は説明のためのサンプルです。実際の誌面とは異なります。

設定操作パターン

各機能のカスタマイズ方法を表形式で説明しています。



S! メールに関する設定　共通操作 ≪メール≫→「設定」→「S! メール設定」

送信メールの優先度を設定する　お買い上げ時 標準	「送信オプション」→「優先度」→項目を選択
送信メールのメールサーバへの保存期間を設定する　お買い上げ時 最大	「送信オプション」→「有効期限」→項目を選択 ・設定した保存期間が経過すると、メールサーバから S! メールが自動的に削除されます。
送信メールをメールサーバから相手に配信する時間を設定する　お買い上げ時 指定なし	「送信オプション」→「配信時間指定」→項目を選択 ・設定した期間が経過すると、メールサーバから S! メールが送信されます。
S! メールの受信方法を設定する　お買い上げ時 自動受信	「受信オプション」→「国内での自動受信」→項目を選択 ・設定内容は次のとおりです。 「自動受信」：自動的に受信する 「電話番号のみ自動」：電話番号を使って送られた S! メールのみ受信する 「手動取得」：受信通知のみを受信する
ローミング中に受信する S! メールの受信方法を設定する　お買い上げ時 自動受信	「受信オプション」→「ローミング自動受信」→項目を選択 ・設定内容は次のとおりです。 「自動受信」：自動的に受信する 「手動取得」：受信通知のみを受信する ・「自動受信」に設定すると、添付ファイルを含む全文が自動受信され、海外でのメール通信料が高額になる場合がありますのでご注意ください。
署名を設定する　お買い上げ時 挿入しない	「署名設定」→「自動挿入」→項目を選択
署名を編集する	「署名設定」→「署名編集」→署名を入力
添付画像の表示方法を設定する　お買い上げ時 2 倍拡大表示	「画像表示設定」→項目を選択
添付画像の自動再生を設定する　お買い上げ時 On	「添付ファイル自動表示」→「画像」の「On」／「Off」
添付サウンドの自動再生を設定する　お買い上げ時 Off	「添付ファイル自動表示」→「サウンド」の「On」／「Off」

カスタマイズ　14

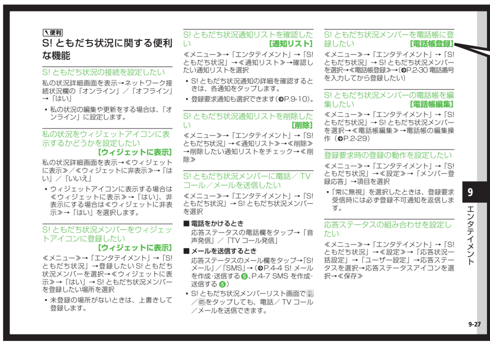
14-16

共通操作

表内の各操作に共通する操作を示しています。
この共通操作を行ったあと、続けて表内の操作を行ってください。

応用操作パターン

各機能の応用操作を統一フォーマットで簡単に説明しています。
使いこなしチェックで記載されている機能のほかにも、さまざまな応用操作が記載されています。



便利

S! ともだち状況に関する便利な機能

S! ともだち状況の接続を設定したい

私の状況詳細画面を表示→ネットワーク接続状況欄の「オンライン」／「オフライン」→「はい」

• 私の状況の編集や更新をする場合は、「オンライン」に設定します。

私の状況をウィジェットアイコンに表示するかどうかを設定したい　［ウィジェットに表示］

私の状況詳細画面を表示→≪ウィジェットに表示≫／≪ウィジェットに非表示≫→「はい」／「いいえ」

• ウィジェットアイコンに表示する場合は≪ウィジェットに表示≫→「はい」、非表示にする場合は≪ウィジェットに非表示≫→「はい」を選択します。

S! ともだち状況メンバーをウィジェットアイコンに登録したい　［ウィジェットに表示］

≪メニュー≫→「エンタテイメント」→「S! ともだち状況」→登録したい S! ともだち状況メンバーを選択→≪ウィジェットに表示≫→「はい」→ S! ともだち状況メンバーを登録したい場所を選択

• 未登録の場所がないときは、上書きして登録します。

S! ともだち状況通知リストを確認したい　［通知リスト］

≪メニュー≫→「エンタテイメント」→「S! ともだち状況」→≪通知リスト≫→確認したい通知リストを選択

• S! ともだち状況通知の詳細を確認するときは、各通知をタップします。
• 登録要求通知も選択できます（➲P.9-10）。

S! ともだち状況通知リストを削除したい　［削除］

≪メニュー≫→「エンタテイメント」→「S! ともだち状況」→≪通知リスト≫→≪削除≫→削除したい通知リストをチェック→≪削除≫

S! ともだち状況メンバーに電話／ TV コール／メールを送信したい

≪メニュー≫→「エンタテイメント」→「S! ともだち状況」→ S! ともだち状況メンバーを選択

■ 電話をかけるとき

応答ステータスの電話欄をタップ→「音声発信」／「TV コール発信」

■ メールを送信するとき

応答ステータスのメール欄をタップ→「S! メール」／「SMS」→（➲P.4-4 S! メールを作成･送信する 5、P.4-7 SMS を作成･送信する 5）

• S! ともだち状況メンバーリスト画面で ／ をタップしても、電話／ TV コール／メールを送信できます。

S! ともだち状況メンバーを電話帳に登録したい　［電話帳登録］

≪メニュー≫→「エンタテイメント」→「S! ともだち状況」→ S! ともだち状況メンバーを選択→≪電話帳登録≫→（➲P.2-30 電話番号を入力してから登録したい）

S! ともだち状況メンバーの電話帳を編集したい　［電話帳編集］

≪メニュー≫→「エンタテイメント」→「S! ともだち状況」→ S! ともだち状況メンバーを選択→≪電話帳編集≫→電話帳の編集操作（➲P.2-29）

登録要求時の登録の動作を設定したい

≪メニュー≫→「エンタテイメント」→「S! ともだち状況」→≪設定≫→「メンバー登録応答」→項目を選択

• 「常に無視」を選択したときは、登録要求受信時には必ず登録不可通知を返信します。

応答ステータスの組み合わせを設定したい

≪メニュー≫→「エンタテイメント」→「S! ともだち状況」→≪設定≫→「応答状況一括設定」→「ユーザー設定」→応答ステータスを選択→応答ステータスアイコンを選択→≪保存≫

9　エンタテイメント

9-27

操作中の画面でツールバーから選択できる操作などはここで説明しています。

表記の見かた

本書では、「SoftBank 931SC」を「本機」と表記しています。あらかじめご了承ください。
また、主にお買い上げ時の状態を基準に説明しているため、設定を変更された場合、本機の表示や動作が本書の記載と異なる場合があります。

ディスプレイの表記と本機のイラストについて

記載している画面は、表示されている内容や番号などが実際の画面と異なる場合があります。操作の目安としてご利用ください。
本書のイラストはイメージイラストであり、実際の商品とは形状が異なる場合があります。
本書では、画面を見やすくするために、待受画面の壁紙の設定を「なし」にした状態で掲載している場合があります。

確認／警告メッセージについて

操作中、本書に記載していないメッセージが表示されることがあります。確認や警告のメッセージが表示されたときは、そのメッセージをよく読んで内容をよくご確認ください。

ボタンとタッチパネル操作の表記について

本書では、本機のボタンをすべて記号で表記しています。「各部の名称と機能」(➔P.1-3)を参照してください。また、本機のディスプレイはタッチパネルになっており、付属のタッチペンで軽く触れる（タップする）ことでさまざまな操作ができます。
タッチパネルの操作については、次のように表記しています。

ツールバー

ディスプレイの最下段（ツールバー）には「電話」「メール」のような、機能や操作のメニューが表示されます。



ツールバー

メニューをタップして内容を実行する操作は、簡略化した表記方法で説明しています。

ツールバー操作の表記

≪電話≫
└ツールバーに触れる（タップする）操作を示す

タッチパネル操作

本機では、タッチペンでディスプレイに触れたり、触れたままタッチペンを動かしたりなど、さまざまな操作のしかたができます。タッチパネル操作について詳しくは、「タッチパネルの基本操作」（➔P.1-6）を参照してください。

メニュー操作の表記について

メニュー操作は、簡略化した表記方法で説明しています。

メニュー操作

1 ≪メニュー≫→「設定」→「ディスプレイ設定」→「壁紙」

目的の項目をタップする操作を繰り返すことを示す

メインメニュー操作について詳しくは、「メインメニューから機能を呼び出す」（➔P.2-4）を参照してください。

「反転表示」について

項目や文字列の選択画面などで目的の位置にカーソルを移動させることを、この取扱説明書では「反転表示する」と表記します。

Contents

Contents

14 カスタマイズ

15 資料／付録

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになったあとはこの「取扱説明書」を大切に保管してください。

- ●ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- ●本製品の故障、誤動作または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷[1]を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷[1]を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害[2]を負う可能性が想定される場合および物的損害[3]のみの発生が想定される」内容です。

1 重症とは、失明・けが・高温やけど・低温やけど（体温より高い温度の発熱体を長時間肌にあてていると紅斑、水疱などの症状を起こすやけど）・感電・骨折・中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院や長期の通院を要するものをさします。

2 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが･やけど･感電などをさします。

3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示します。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示します。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示します。

指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示します。

本機、電池パック、USIM カード、充電器（オプション品）、メモリカード（オプション品）の取り扱いについて（共通）

⚠ 危険

本機に使用する電池パック･充電器（オプション品）は、ソフトバンクが指定したものを使用してください。 指示

指定品以外のものを使用した場合は、電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や、充電器の発熱・発火・故障などの原因となります。

分解・改造・ハンダ付けなどお客様による修理をしないでください。 分解禁止

火災・けが・感電などの事故または故障の原因となります。また、電池パックの漏液・発熱・破裂・発火などの原因となります。
電話機の改造は電波法違反となり、罰則の対象となります。

濡らさないでください。 水濡れ禁止

水やペットの尿などの液体が入ったときに、濡れたまま放置したり、濡れた電池パックを充電すると、発熱・感電・火災・けが・故障などの原因となります。
使用場所、取り扱いにご注意ください。

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で充電・使用・放置しないでください。 禁止

機器の変形・故障や電池パックの漏液・発熱・発火・破裂の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどなどの原因となることがあります。

本機に電池パックを取り付けたり、充電器を接続する際、うまく取り付けや接続ができないときは、無理に行わないでください。電池パックや端子の向きを確かめてから、取り付けや接続を行ってください。 禁止

電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

⚠ 警告

本機・電池パック・充電器を、加熱調理機器（電子レンジなど）・高圧容器（圧力釜など）の中に入れたり、電磁調理器（IH 調理器）の上に置いたりしないでください。 禁止

電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や、本機と充電器の発熱・発煙・発火・故障などの原因となります。

プロパンガス、ガソリンなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所（ガソリンスタンドなど）では、必ず事前に本機の電源をお切りください。また、充電もしないでください。

指示

本機の熱でガスに引火する恐れがあります。
プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災などの原因となります。

落としたり、投げたりして、強い衝撃を与えないでください。

禁止

電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や火災・感電・故障などの原因となります。

使用中、充電中、保管時に、異音・発煙・異臭など、今までと異なることに気づいたときは、次の作業を行ってください。

指示

1 コンセントやシガーライターソケットから充電器を持ってプラグを抜いてください。

2 本機の電源を切ってください。

3 やけどやけがに注意して、電池パックを取り外してください。

異常な状態のまま使用すると、火災や感電などの原因となります。

充電端子や外部接続端子、外部メモリーカードホルダに水やペットの尿などの液体や導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）が触れないようにしてください。また内部に入れないようにしてください。

禁止

ショートによる火災や故障などの原因となります。

⚠ 注意

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。

禁止

落下して、けがや故障などの原因となります。バイブレータ設定中や充電中は、特にご注意ください。

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

指示

誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。

子供が使用する場合は、保護者が取り扱い方法を教えてください。使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。

指示

けがなどの原因となります。

電池パックの取り扱いについて

⚠危険

電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類を確認した上で、ご利用・処分をしてください。

表示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池

火の中に投下しないでください。

禁止

電池パックを漏液・破裂・発火させるなどの原因となります。

釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、強い衝撃を与えないでください。

禁止

電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

電池パックの端子に、針金などの金属類を接触させないでください。また、導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）と一緒に電池パックを持ち運んだり保管したりしないでください。

禁止

電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

電池パック内部の液が眼の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗い流し、ただちに医師の診察を受けてください。

指示

失明などの原因となります。

⚠警告

電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、ただちに本機の使用をやめ、きれいな水で洗い流してください。

指示

皮膚に傷害を起こすなどの原因となります。

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。

指示

電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

電池パックの使用中・充電中・保管時に、異臭・発熱・変色・変形など、今までと異なることに気づいたときは、やけどやけがに注意して電池パックを取り外し、さらに火気から遠ざけてください。

指示

異常な状態のまま使用すると、電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

⚠注意

不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てないでください。

禁止

端子にテープなどを貼り、個別回収に出すか、最寄りの「ソフトバンクショップ」へお持ちください。
電池を分別している市町村では、その規則に従って処理してください。

本機の取り扱いについて

⚠警告

自動車、バイク、自転車などの乗り物の運転中には使用しないでください。

禁止

交通事故の原因となります。
乗り物を運転しながら携帯電話を使用することは、法律で禁止されており、罰則の対象となります。運転者が使用する場合は、駐停車が禁止されていない安全な場所に止めてからご使用ください。

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本機の電源を切ってください。

指示

電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。
※ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器・植込み型心臓ペースメーカ・植込み型除細動器・その他の医用電気機器・火災報知器・自動ドア・その他の自動制御機器など

本機の電波により運航の安全に支障をきたす恐れがあるため、航空機内では電源をお切りください。

指示

機内で携帯電話が使用できる場合は、航空会社の指示に従い適切にご使用ください。

心臓の弱い方は、着信時のバイブレーション（振動）や着信音量の設定に注意してください。

心臓に影響を与える恐れがあります。

指示

屋外で使用中に雷が鳴りだしたら、ただちに電源を切って屋内などの安全な場所に移動してください。

落雷や感電の原因となります。

指示

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。

目に影響を与える可能性があります。

禁止

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。また、ライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。同様にライトを他の人の目に向けて点灯させないでください。

視力低下などの傷害を起こす原因となります。
特に乳幼児に対して至近距離で撮影しないでください。
また、目がくらんだり、驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁止

⚠注意

車両電子機器に影響を与える場合は使用しないでください。

本機を自動車内で使用すると、車種によりまれに車両電子機器に影響を与え、安全走行を損なう恐れがあります。

禁止

本機の使用により、皮膚に異常が生じた場合は、ただちに使用をやめて医師の診察を受けてください。

本機では材料として金属などを使用しています。お客様の体質や体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じることがあります。

指示

使用箇所	使用材料、表面処理
表面外装周囲	PC/SPRAY
裏面外装	PC/SPRAY
通話キー／クリアキー／終話キー部分	AL/Anodizing
サイドキー部分	PC＋ポリウレタン／SPRAY
電池カバー	PC/SPRAY

本機に磁気カードなどを近づけたり、挟んだりしないでください。

キャッシュカード・クレジットカード・テレホンカード・フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

禁止

ストラップなどを持って本機をふり回さないでください。

禁止

本人や周囲の人に当ったり、ストラップが切れたりして、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

本機を長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。

指示

長時間肌にふれたまま使用していると、低温やけどになる恐れがあります。

着信音が鳴っているときや、本機でメロディを再生しているときなどは、スピーカーに耳を近づけないでください。

禁止

難聴になる可能性があります。

デジタルテレビを視聴するときは、充分明るい場所で、画面からある程度の距離を空けてご使用ください。

指示

視力低下につながる可能性があります。

イヤホンマイクを使用するときは音量に気をつけてください。

指示

長時間使用して難聴になったり、突然大きな音が出て耳をいためたりする原因となります。

充電器（オプション品）の取り扱いについて

警告

充電中は、布や布団でおおったり、包んだりしないでください。

禁止

熱がこもって火災や故障などの原因となります。

指定以外の電源・電圧で使用しないでください。

禁止

指定以外の電源・電圧で使用すると、火災や故障などの原因となります。

急速充電器：AC100V ～ 240V（家庭用 AC コンセント専用）

シガーライター充電器（オプション品）：DC12V・24V（マイナスアース車専用）

長時間使用しない場合は、充電器を持ってプラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグを抜く

感電・火災・故障の原因となります。

シガーライター充電器（オプション品）のヒューズが切れたときは、必ず指定のヒューズに交換してください。

指示

指定以外のヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。指定のヒューズに関しては、シガーライター充電器の取扱説明書でご確認ください。

万一、水やペットの尿などの液体が入った場合は、ただちに充電器を持ってコンセントやシガーライターソケットからプラグを抜いてください。

電源プラグを抜く

感電・発煙・火災の原因となります。

プラグにほこりがついたときは、充電器を持ってプラグをコンセントから抜き、乾いた布などでふき取ってください。

指示

火災の原因となります。

シガーライター充電器（オプション品）は、マイナスアース車専用です。プラスアース車には絶対に使用しないでください。

禁止

火災などの原因となります。

充電器をコンセントに差し込むときは、充電器のプラグや端子に導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）が触れないように注意して、確実に差し込んでください。

指示

感電・ショート・火災などの原因となります。

濡れた手で充電器のプラグを抜き差ししないでください。

濡れ手禁止

感電や故障などの原因となります。

雷が鳴り出したら、充電器には触れないでください。

禁止

感電などの原因となります。

⚠注意

お手入れの際は、コンセントやシガーライターソケットから、必ず充電器を持ってプラグを抜いてください。

電源プラグを抜く

感電などの原因となります。

充電器をコンセントやシガーライターソケットから抜くときは、コードを引っ張らず、充電器を持ってプラグを抜いてください。

指示

コードを引っ張るとコードが傷つき、感電や火災などの原因となります。

充電器をコンセントに接続しているときは、引っ掛けるなど強い衝撃を与えないでください。

指示

けがや故障の原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

●ここで記載している内容は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会［平成９年４月］）に準拠、ならびに「電波の医用機器等への影響に関する調査研究報告書」（平成 13 年３月「社団法人電波産業会」）の内容を参考にしたものです。

⚠警告

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、ペースメーカ等の装着部位から 22cm 以上離して携行および使用してください。

指示

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどに確認してください。

指示

電波により医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。

医療機関などでは、以下を守ってください。本機の電波により医用電気機器に影響を及ぼす恐れがあります。

指示

●手術室・集中治療室（ICU）・冠状動脈疾患監視病室（CCU）には、本機を持ち込まないでください。

●病棟内では、本機の電源を切ってください。電源が自動的に入る設定（アラーム機能など）をしている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。

●ロビーなど、携帯電話の使用を許可された場所であっても、近くに医用電気機器があるときは本機の電源を切ってください。

●医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

満員電車などの混雑した場所にいるときは、本機の電源を切ってください。付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている方がいる可能性があります。電源が自動的に入る設定（アラーム機能など）をしている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。

指示

電波により、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

お願いとご注意

ご利用にあたって

- 事故や故障などにより本機またはメモリカードに登録したデータ（電話帳、画像、サウンドなど）が消失・変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。大切な電話帳などのデータは、控えをとっておかれることをおすすめします。
- 本機は、電波を利用しているため、特に屋内や地下街、トンネル内などでは電波が届きにくくなり、通話が困難になることがあります。また、通話中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通話が急に途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本機を公共の場所でご利用いただくときは、まわりの方の迷惑にならないようにご注意ください。
- 本機は電波法に定められた無線局です。したがって、電波法に基づく検査を受けていただくことがあります。あらかじめご了承ください。
- 一般の電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで本機を使用すると、雑音が入るなどの影響を与えることがありますので、ご注意ください。
- **傍受にご注意ください。**

  本機は、デジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を利用している関係上、通常の手段を超える方法をとられたときには第三者が故意に傍受するケースもまったくないとは言えません。この点をご理解いただいたうえで、ご使用ください。

傍受（ぼうじゅ）とは

無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。

自動車内でのご使用にあたって

- 運転中は、本機を絶対にご使用にならないでください。
- 本機をご使用になるために、禁止された場所に駐停車しないでください。
- 本機を車内で使用したときは、自動車の車種によって、まれに車両電子機器に影響を与えることがありますので、ご注意ください。

航空機の機内でのご使用について

- 航空機の機内では、絶対にご使用にならないでください（電源も入れないでください）。運航の安全に支障をきたす恐れがあります。

機能制限について

- 機種変更または解約した場合、本機では次の機能が利用できなくなります。

  - カメラ
  - メディアプレイヤー
  - テレビ
- 本機を長期間お使いにならなかった場合、上記の機能が利用できなくなる可能性があります。

お取り扱いについて

- 本機の電池パックを長い間外していたり、電池残量のない状態で放置したりすると、お客様が登録、設定した内容が消失または変化してしまうことがありますので、ご注意ください。なお、これらに関しまして発生した損害につきましては、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機は５～40℃の範囲でご使用ください。極端な高温や低温環境、直射日光の当たる場所でのご使用、保管は避けてください。
- カメラ部分に、直射日光が長時間当たると、内部のカラーフィルターが変色して、映像が変色することがあります。
- 本機を落下させたり衝撃を与えたりしないでください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布などで拭いてください。また、アルコール、シンナー、ベンジンなどを用いると色があせたり、文字が薄くなったりすることがありますので、ご使用にならないでください。
- 雨や雪の日など、湿気の多い場所でご使用になるときは、水にぬらさないように十分ご注意ください。
- 本機は精密部品で作られた無線通信装置です。絶対に分解、改造はしないでください。
- 本機のディスプレイを堅いものでこすったり、傷つけないようにご注意ください。
- ステレオヘッドフォンの中には開放型のものがあり、音が外に漏れることがあります。周囲の人の迷惑にならないようにご注意ください。
- **本機は防水仕様にはなっていません。水にぬらしたり、湿度の高い所に置かないでください。**
  - 雨の日にバッグの外のポケットに入れたり、手で持ち歩かないでください。
  - エアコンの吹き出し口に置かないでください。急激な温度変化により結露し、内部が腐食する原因となります。
  - 洗面所などでは衣服に入れないでください。ポケットなどに入れて、身体をかがめたりすると、洗面所に落としたり、水でぬらす原因となります。
  - 海辺などに持ち出すときは、海水がかかったり直射日光が当たらないように、バッグなどに入れてください。
  - 汗をかいた手で触ったり、汗をかいた衣服のポケットに入れないでください。手や身体の汗が本機の内部に浸透し、故障の原因になる場合があります。
- 本機に無理な力がかかるような場所には置かないでください。故障やけがの原因となります。
  - 本機をズボンやスカートの前、または後ろのポケットに入れたまま、しゃがみこんだり座席や椅子などに座らないでください。特に、厚い生地の衣服のときはご注意ください。
  - 荷物の詰まった鞄などに入れるときは、重たいものの下にならないようにご注意ください。
- 本機の充電端子／外部接続端子に指定品以外の商品は取り付けないでください。誤動作を起こしたり、本機を傷めることがあります。
- 電池パックを取り外すときは、必ず本機の電源を切ってから取り外してください。データの登録やメールの送信などの動作中に電池パックを取り外さないでください。データの消失、変化、破損などの恐れがあります。

著作権などについて

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守のうえ、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、本製品にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。
本機に搭載のソフトウェアは著作物であり、著作権、著作者人格権などをはじめとする著作者等の権利が含まれており、これらの権利は著作権法により保護されています。ソフトウェアの全部または一部を複製、修正あるいは改変したり、ハードウェアから分離したり、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング等は行わないでください。第三者にこのような行為をさせることも同様です。

登録商標について

- 下記一件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM 社よりライセンスされています。

  Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations:

  4,901,307 5,490,165 5,056,109 5,504,773
  5,101,501 5,506,865 5,109,390 5,511,073
  5,228,054 5,535,239 5,267,261 5,544,196
  5,267,262 5,568,483 5,337,338 5,600,754
  5,414,796 5,657,420 5,416,797 5,659,569
  5,710,784 5,778,338

- TV コール、S! メール、PC サイトブラウザ、S! 速報ニュース、S! アプリ、S! ともだち状況、S! 電話帳バックアップ、デコレメール、フィーリングメール、デルモジ、S! 情報チャンネル、お天気アイコン、ちかチャット、S-1 バトル、コンテンツ得パック、選べるかんたん、ともだちメールはソフトバンクモバイル株式会社の登録商標または商標です。
- SOFTBANK およびソフトバンクの名称、ロゴは日本国およびその他の国におけるソフトバンク株式会社の登録商標または商標です。
- 「Yahoo!」および「Yahoo!」「Y!」のロゴマークは、米国 Yahoo! Inc. の登録商標または商標です。

- This product contains ACCESS Co., Ltd.'s NetFront Internet browser software.NetFront is a trademark or registered trademark of ACCESS Co., Ltd. in Japan and in other countries.
- 本製品のソフトウェアの一部に、Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。
- THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER FOR (i) ENCODING VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD ("MPEG-4 VIDEO") AND/OR (ii) DECODING MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NONCOMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG LA TO PROVIDE MPEG-4 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, LLC. SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM.
- Contains Macromedia® Flash® Flash Lite™ technology by Adobe Systems Incorporated.
-
- Macromedia, Flash, Macromedia Flash, and Macromedia Flash Lite are trademarks or registered trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and other countries.
- この製品では、株式会社アプリックスが Java™ アプリケーションの実行速度が速くなるように設計した JBlend™ が搭載されています。
- Powered by JBlend™ Technology.JBlend および JBlend ロゴマークは、株式会社アプリックスの商標または登録商標です。
-
- JBlend および JBlend に関連する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。
- Java および Java に関連する商標は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。

- 「着うた®」「着うたフル®」は、株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。
- microSD™ は SD アソシエーションの商標です。
- Bluetooth is a trademark of the Bluetooth SIG, Inc.The Bluetooth word mark and logos are owned by the Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by Samsung Electronics is under license. Other trademarks and trade names are those of their respective owners.
- QR コードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- Powered by SwiftDecoder™ Copyright ©1996-2007, Omniplanar, Inc. All Rights Reserved.
- Windows、Windows Media は 米 国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- 「BookSurfing」は株式会社セルシス、株式会社ボイジャー、株式会社インフォシティの登録商標です。
- Windows は Microsoft Windows operating system の略称として表記しています。

Bluetooth® について

本機の Bluetooth® 機能の周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器や、工場の製造ラインなどで使用されている構内無線局、アマチュア無線局など（以下、「他の無線局」と略す）が運用されています。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記の事項に注意してご使用ください。

1. Bluetooth® 機能を使用する前に、近くで同じ周波数帯を使用する「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、Bluetooth® 機能の使用にあたり、本機と「他の無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、Bluetooth® 機能の使用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. その他不明な点やお困りのことが起きたときには、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先：ソフトバンクモバイルお客さまセンター

ソフトバンク携帯電話から　157（無料）

※一般電話からおかけの場合、「お問い合わせ先一覧」（➔P.15-28）を参照してください。

この無線機器は、2.4 GHz 帯を使用します。変調方法として FH-SS 変調方式を採用し、与干渉距離は 1.5 ～ 5m 以下です。与干渉距離は、周囲の環境により変化します。

本機の比吸収率（SAR）について

本機の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。

この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）について、これが 2 W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。

すべての機種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの証明（技術基準適合証明）を受ける必要があります。

この携帯電話機「931SC」も財団法人テレコムエンジニアリングセンターから技術基準適合証明を受けており、SAR は 0.784 W/kg です。

この値は、技術基準適合証明のために財団法人テレコムエンジニアリングセンターによって取得されたものであり、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。

個々の製品によって SAR に多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常 SAR はより小さい値となります。

SAR について、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ

http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm

社団法人電波産業会のホームページ

http://www.arib-emf.org/initiation/sar.html

※技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第 14 条の 2）で規定されています。

「ソフトバンクのボディ SAR ポリシー」について

＊ボディ（身体）SAR とは：携帯電話機本体を身体に装着した状態で、携帯電話機にイヤホンマイク等を装着して連続通話をした場合の最大送信電力時での比吸収率（SAR）のことです。

＊＊比吸収率（SAR）：6 分間連続通話状態で測定した値を掲載しています。当社では、ボディ SAR に関する技術基準として、米国連邦通信委員会（FCC）の基準および欧州における情報を掲載しています。詳細は「米国連邦通信委員会（FCC）の電波ばく露の影響に関する情報」「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」をご参照ください。

＊＊＊身体装着の場合：一般的な携帯電話の装着法として身体から 1.5 センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。電波ばく露要件を満たすためには、身体から 1.5 センチの距離に携帯電話を固定出来る装身具を使用し、ベルトクリップやホルスター等には金属部品の含まれていないものを選んでください。

ソフトバンクモバイルのホームページからも内容をご確認いただけます。

http://www.softbankmobile.co.jp/ja/info/public/emf/emf02.htmll

「米国連邦通信委員会（FCC）の電波ばく露の影響に関する情報」

米国連邦通信委員会の指針は、独立した科学機関が定期的かつ周到に科学的研究を行った結果策定された基準に基づいています。この許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）という単位を用いて測定します。FCC で定められている SAR の許容値は、1.6W/kg となっています。測定試験は機種ごとに FCC が定めた基準で実施され、下記のとおり本取扱説明書の記載に従って身体に装着した場合は 0.144 W/kg です。
身体装着の場合：この携帯電話機「931SC」では、一般的な携帯電話の装着法として身体から 1.5 センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。FCC の電波ばく露要件を満たすためには、身体から 1.5 センチの距離に携帯電話を固定出来る装身具を使用し、ベルトクリップやホルスター等には金属部品の含まれていないものを選んでください。上記の条件に該当しない装身具は、FCC の電波ばく露要件を満たさない場合もあるので使用を避けてください。
比吸収率（SAR）に関するさらに詳しい情報をお知りになりたい方は下記のホームページを参照してください。

Cellular Telecommunications &Internet Association（CTIA）のホームページ

http://www.phonefacts.net（英文のみ）

「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」

この携帯電話機「931SC」は無線送受信機器です。本品は国際指針の推奨する電波の許容値を超えないことを確認しています。この指針は、独立した科学機関である国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が策定したものであり、その許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）という単位を用いて測定します。携帯機器における SAR 許容値は２ W/kg で、身体に装着した場合の SAR の最高値は 0.784 W/kg※です。
SAR 測定の際には、送信電力を最大にして測定するため、実際に通話している状態では、通常 SAR はより小さい値となります。これは、携帯電話機は、通信に必要な最低限の送信電力で基地局との通信を行うように設計されているためです。世界保健機関は、モバイル機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。また、電波の影響を抑えたい場合には、通話時間を短くすること、または携帯電話機を頭部や身体から離して使用することが出来るハンズフリー用機器の利用を推奨しています。
さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

世界保健機関のホームページ

http://www.who.int/emf（英文のみ）

※ 身体に装着した場合の測定試験は、FCC が定めた基準に従って実施されています。値は欧州の条件に基づいたものです。

Safety Precautions

Read safety precautions before using handset.

- Observe precautions to avoid injury to self or others, or damage to property.
- SoftBank is not liable for any damages resulting from use of this product.

These labels indicate the degree of risk from improper use. Make sure you thoroughly understand their meanings before reading on.

Danger	**Great risk of death or serious injury[1] from improper use**
Warning	**Risk of death or serious injury[1] from improper use**
Caution	**Risk of serious injury[2] or damage to property[3] from improper use**

1 "Serious injury" includes blindness, wounds, low/high heat burns, electric shock, bone fractures, poisoning or other physical harm with aftereffects, or requiring hospitalization or ongoing hospital visits.

2 "Serious injury" includes wounds, burns, electric shock or other physical harm not requiring hospitalization or ongoing hospital visits.

3 "Damage to property" includes damage to home, furniture, livestock, pets, etc.

These symbols indicate prohibited or compulsory actions. Make sure you thoroughly understand their meanings before reading on.

Prohibited	**Prohibited actions**
Do Not Disassemble	**Disassembly prohibited**
Avoid Liquids Or Moisture	**Exposure to liquids prohibited**
Do Not Use Wet Hands	**Use with wet hands prohibited**

Compulsory	**Compulsory actions**
Disconnect Power Source	**Unplug Charger from outlet**

Handset, Battery, USIM Card, Charger (Sold Separately) & Memory Card (Sold Separately)

⚠ Danger

Use specified battery and Charger (sold separately) only.

Compulsory

Non-specified equipment use may cause battery to leak, overheat, burst or ignite, and may cause Charger to overheat, ignite, malfunction, etc.

Do not disassemble, modify or solder handset or related hardware.

Do Not Disassemble

May cause fire, injury, electric shock or malfunction.
Battery may leak, overheat, burst or ignite.
Modifying this mobile phone is prohibited by the Radio Law and subject to a penalty.

Do not expose handset or related hardware to liquids.

Avoid Liquids Or Moisture

Do not leave handset or related hardware wet after exposure to water, pet urine, etc., and do not charge wet battery. May cause overheating, electric shock, fire,
injury or malfunction. Use them in an appropriate place properly.

Do not charge battery in or expose handset or related hardware to extreme heat (e.g., near fire or sources of heat, in direct sunlight, inside vehicles, etc.).

Prohibited

May cause warping/malfunction; battery may leak, overheat, ignite or burst. Handset or related hardware may become hot to the touch, leading to burn injuries, etc.

Do not force battery/Charger into handset. Check the direction and retry.

Prohibited

Battery may leak, overheat, burst, ignite, etc.

⚠ Warning

Do not place handset, battery or Charger in/on ovens, microwave ovens, pressure cookers, induction stoves or other cooking appliances.

Prohibited

Battery may leak, overheat, burst or ignite. Handset/Charger may overheat, emit smoke, ignite, malfunction, etc.

Keep handset off and Charger disconnected near gas stations or places with fire/explosion risk.

Compulsory

Handset use near petrochemicals or other flammables may cause fire/explosion.
To prevent fire or explosion, do not use handset near gas or fine particles (Coal, dust, metal, etc.).

Do not apply strong shocks or impacts.

Do not drop/throw handset or related hardware. Battery may leak, overheat, burst or ignite, resulting in fire, electric shock, malfunction, etc.

Prohibited

If there is unusual sound/odor, smoke or any other abnormality:

Continued use may cause fire, electric shock, etc.; grasp plug to disconnect charger from connector or cigarette socket.

Compulsory

Keep liquids (water, pet urine, etc.) or conductive material (pencil lead, metallic strip, metal jewelry, etc.) away from Charging terminals, External Device or Memory Card Holder.

May cause short circuit, resulting in fire, malfunction, etc.

Prohibited

⚠ Caution

Do not place handset or related hardware on unstable surfaces.

Handset or related hardware may fall, resulting in injury, malfunction, etc.; be especially careful when Vibration is set or during Charge.

Prohibited

Keep handset and related hardware out of infants' reach.

Infants may choke from swallowing handset or related hardware or be injured, etc.

Compulsory

If your child is using handset and related hardware, explain all instructions and supervise usage.

Misuse may cause injury, etc.

Compulsory

Battery

⚠ Danger

Read battery label to confirm battery type; use/dispose of battery accordingly.

Display	Battery type
Li-ion00	Lithium-ion

Do not dispose of battery in fire.

Battery may leak, burst, ignite, etc.

Prohibited

Do not damage battery (with a nail, hammer, foot, etc.) or subject it to strong impacts or shocks.

Battery may leak, overheat, burst, ignite, etc.

Prohibited

Keep wire or other metal objects away from battery terminals. Do not carry/store battery with conductive material (pencil lead, metallic strip, metal jewelry, etc.).

Battery may leak, overheat, burst, ignite, etc.

Prohibited

If battery fluid gets in eyes, do not rub; rinse with water and consult a doctor immediately.

Eyes may be severely damaged.

Compulsory

⚠ Warning

If battery fluid contacts skin or clothes, discontinue handset use and rinse with clean water immediately.

May cause skin damage.

Compulsory

If battery does not charge properly, stop trying.

Battery may leak, overheat, burst, ignite, etc.

Compulsory

If there is abnormal odor, excessive heat, discoloration or distortion, remove battery, being careful not to burn or injure yourself.Avoid fire sources.

Continued use may cause battery to leak, overheat, burst, ignite, etc.

Compulsory

⚠ Caution

Do not dispose of an exhausted battery with ordinary refuse.

Tape over battery terminals before disposal. Take battery to a SoftBank Shop, or follow the local disposal regulations.

Prohibited

Handset

⚠ Warning

Do not use handset while driving or cycling.

Prohibited

Accidents may result.
Phone use while driving or cycling is prohibited by law and subject to a penalty; park in a legal parking space beforehand.

Turn handset power off near electronic devices that employ high precision control systems or weak signals.

Compulsory

May cause electronic malfunctions, etc. Be especially careful near the following devices:
Hearing aids, implanted pacemakers/defibrillators and other electronic medical equipment; fire alarms, automatic doors and other automatic control devices.

Because handset radio waves may impair aircraft operations, please power off handset while aboard.

Compulsory

When handset use aboard aircraft is allowed, please follow instructions of airline personnel.

Users with a heart condition should adjust ringtone Vibration and Volume as needed.

Compulsory

May cause heart damage.

If thunder is heard while outdoors, turn power off; find cover.

Compulsory

There is a risk of lightning strike or electric shock.

Do not look into Infrared Port during infrared transmissions.

Prohibited

Eyesight may be affected.

Do not use Mobile Light near people's faces.

Prohibited

May cause injury such as loss of eyesight.
Avoid getting too close to infants when taking photos.
Eyesight may be temporarily affected leading to accidents.

⚠ Caution

Do not use handset when it may affect a vehicle's electronic equipment.

Prohibited

Handset use inside vehicles may cause electronic equipment to malfunction, resulting in accidents.

If you experience any skin irritation associated with handset use, discontinue handset use and consult a doctor.

Compulsory

Metal and other materials may cause skin irritation, rashes, or itchiness depending on your physical condition.

Parts	Materials & Finishing
Housing (front)	PC / SPRAY
Housing (rear)	PC / SPRAY
Call Key/Clear Key/End Key	AL / Anodizing
Side Key	PC + POLYURETHANE / SPRAY
Battery Cover	PC / SPRAY

Keep handset away from magnetic cards, etc.

Prohibited

Data on bank cards, credit cards, telephone cards, floppy disks, etc. may be lost.

Do not swing handset by strap.

Prohibited

May harm self or others; strap may break, resulting in injury or handset malfunction/breakage.

Handset may become hot while in use, especially at high temperature.

Compulsory

Prolonged contact with skin may cause burn injuries.

Always maintain some distance from Speaker while ringtones, music or other handset sounds play.

Prohibited

Excessive volume may damage ears or hearing.

When view Digital TV, be sure to view in place with enough light and view from distance.

Compulsory

Otherwise it may cause decrease in vision.

Moderate handset volume when using Earphone Microphone.

Compulsory

Excessive volume may damage ears or hearing.

Charger (Sold Separately)

⚠ Warning

Do not cover/wrap Charger while charging.

Charger may overheat, resulting in fire, malfunction, etc.

Prohibited

Use only the specified voltage.

Non-specified voltages may cause fire, malfunction, etc.
AC Charger (only for household wall sockets): AC 100V-240V Input
InCar Charger (Optional) : DC12V/24V (only for vehicles with negative ground)

Prohibited

Leave Charger unplugged during periods of disuse; grasp plug to disconnect it.

May cause electric shock, fire or malfunction.

Disconnect Power Source

When fuse of InCar Charger (Optional) blown, be sure to change with specified fuse.

If unspecified fuse is being use, may cause fire, electric shock or damage. For specified fuse information see InCar Charger manual.

Compulsory

If liquids (water, pet urine, etc.) seep inside Charger, grasp plug from cigarette socket and disconnect Charger immediately.

May cause electric shock, smoke/fire.

Disconnect Power Source

If plug is dusty, grasp it and disconnect Charger, then clean with a dry cloth.

Fire may result.

Compulsory

InCar Charger (Optional) only for vehicles with negative ground. Do not use in vehicles with positive ground, it may cause fire.

Prohibited

Plug Charger firmly into the outlet, keeping the plug and Charger charging terminals away from conductive material (pencil lead, metallic strip, metal jewelry, etc.).

May cause electric shock, short circuit, fire, etc.

Compulsory

Do not touch Charger plug with wet hands.

May cause electric shock or malfunction, etc.

Do Not Use Wet Hands

Do not touch Charger if thunder is heard.

May cause electric shock, etc.

Prohibited

⚠ Caution

Grasp plug and disconnect Charger from outlet or cigarette socket before cleaning.

May cause electric shock, etc.

Disconnect Power Source

Always grasp plug (not cord) to disconnect Charger from outlet or cigarette socket.

Pulling the plug by cord may damage cord, causing electric shock, fire, etc.

Compulsory

Do not subject Charger (sold separately) to strong shocks or impacts while it is plugged into the outlet.

May cause malfunction or injury.

Prohibited

Handset Use & Electronic Medical Equipment

This section is based on "Guidelines on the Use of Radio Communications Equipment such as Cellular Telephones and Safeguards for Electronic Medical Equipment" (Electromagnetic Compatibility Conference, April 1997) and "Report of Investigation of the Effects of Radio Waves on Medical Equipment, etc." (Association of Radio Industries and Businesses, March 2001).

⚠ Warning

Persons with implanted pacemaker/defibrillator should keep handset more than 22 cm away.

Radio waves may interfere with implanted pacemakers or defibrillators.

Compulsory

If you intend to use electronic medical equipment other than implanted pacemaker/defibrillator outside medical facilities, consult the vendor on radio wave effects.

Radio waves may interfere with electronic medical equipment.

Compulsory

Observe these rules inside medical facilities to avoid effects of radio waves on electronic medical equipment:

Compulsory

- Do not enter an operating room or an Intensive or Coronary Care Unit while carrying a handset.
- Keep handset off in hospitals; cancel the setting that turns handset power on automatically (alarm, etc.) beforehand.
- Even in lobbies or other places where handset use is permitted, keep handset off near electronic medical equipment.
- Obey medical facility rules on mobile phone use.

Turn handset off in crowds or trains where persons with implanted pacemaker/defibrillator may be near; cancel the setting that turns handset power on automatically (alarm, etc.) beforehand.

Compulsory

Radio waves may interfere with implanted pacemakers or defibrillators causing such devices to malfunction.

General Notes

General Use

- SoftBank is not liable for any damage resulting from accidental loss/alteration of any data on handset/Memory Card. Please keep separate records of Phonebook entries, etc.
- Handset transmissions may be disrupted inside buildings, tunnels, or underground, or when moving into/out of such places.
- Use handset without disturbing others.
- Handsets are radios as stipulated by the Radio Law. Under the Radio Law, handsets must be submitted for inspection upon request.
- Handset use near landlines, TVs or radios may cause interference.
- **Beware of eavesdropping.**
  Because this service is completely digital, the possibility of signal interception is greatly reduced. However, some transmissions may be overheard.
  Eavesdropping
  Deliberate/accidental interception of communications constitutes eavesdropping.

Inside Vehicles

- Never use handset while driving.
- Do not park illegally to use handset.
- Handset use may affect a vehicle's electronic equipment.

Aboard Aircraft

- Never use handset aboard aircraft (Keep the power off). Handset use may impair aircraft operation.

Function Usage Limits

- The following functions are disabled after handset upgrade/replacement or service cancellation:
  - Camera
  - Media Player
  - TV
- After a long period of disuse, these functions may be unusable; establish a Network connection to restore usability.

Handset Care

- If handset is left with no battery or an exhausted one, data may be altered/lost. SoftBank is not liable for any resulting damage.
- Use handset between 5℃ - 40℃ . Avoid extreme temperatures/direct sunlight.
- Exposing the lens to direct sunlight may damage the color filter and affect image color.
- Do not drop or subject handset to shocks.
- Clean handset with a dry, soft cloth. Using alcohol, thinner, etc. may damage it.
- Do not expose handset to rain, snow, or high humidity.
- Never disassemble or modify handset.
- Avoid scratching Display.
- When closing handset, keep straps, etc. outside to avoid damaging Display.
- When using headphones, moderate the volume to avoid sound bleed.
- Handset is not water-proof. Avoid exposure to liquids and high humidity.
  - Keep handset away from precipitation.
  - Cold air from air conditioning, etc. may condense causing corrosion.
  - Avoid placing handset in damp places (Restrooms, bath/shower rooms, etc.).
  - On the beach, keep handset away from water and direct sunlight.
  - Perspiration may get inside handset causing malfunction.
- Heavy objects or excessive pressure should be avoided. This may cause malfunction or injury.
  - Do not sit down with handset in a back pocket.
  - Do not place heavy objects on handset in a bag.
- Insert only specified devices into Headphone Port. Malfunction or damage may result.
- Always turn power off before removing battery. If battery is removed while saving data or sending mail, data may be lost, changed or destroyed.

Copyrights

Copyright laws protect sounds, images, computer programs, databases, other materials for copyright holders. Duplicated material is limited to private use only.
Use of materials beyond this limit or without permission of copyright holders may constitute copyright infringement, and be subject to criminal punishment. Comply with copyright laws when using images captured with handset camera.
The software contained in 931SC is copyrighted material; copyright, moral right, and other related rights are protected by copyright laws. Do not copy, modify, alter, disassemble, decompile, or reverse-engineer the software, and do not separate it from hardware in whole or part.

SAR Certification

931SC meets the technical standards of Ministry of Internal Affairs and Communications (MIC) regarding radio wave absorption by a human body.

These technical standards are established on a scientific basis to prevent radio waves emitted from wireless devices such as mobile phones that are used close to human head from affecting human health. These standards assure that the SAR (Specific Absorption Rate), an indicator of the amount of average energy absorbed in the side of a human head, must not exceed the permissive value of 2W/kg*. This value includes a substantial safety margin designated to assure the safety of all persons, regardless of age and physical size. The value is equal to the international guideline recommended by International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP) that has a cooperative relationship with the World Health Organization (WHO).

The highest SAR value for 931SC is 0.784 W/kg. This value is obtained in accordance with the MIC testing procedure with the mobile phone transmitting at its highest permitted power level. While there may be differences in the SAR levels depending on phones, they all meet the MIC's permissible value. Because mobile phones are designed to employ the minimum power level required for the communication with the base station, the SAR of the phone during a call is usually below the maximum value.

For further information about SAR, please see the following websites:

MIC: http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm

ARIB: http://www.arib-emf.org/initiation/sar.html

* The guideline is defined by relevant laws and regulations associated with the Radio Law (No. 2 of Article 14 of Ordinance Regulating Radio Equipment).

SoftBank's Body SAR Policy

* Body SAR: The SAR value at the maximum transmission power when continuously talking with handset placed on the body and using earphone-microphone.

** Specific Absorption Rate (SAR): The value measured when having talked continuously for 6 minutes.

*** Placement on the body: Measurements are taken with the rear of handset facing the body at a distance of 1.5 cm as the ordinary handset position. In order to comply with radio frequency exposure requirements, use an accessory (e.g. belt clip, holster) that does not contain metallic parts to maintain a 1.5 cm separation between the body and handset. For further information, see the following SoftBank website: http://www.softbankmobile.co.jp/ja/info/public/emf/emf02.html

FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver.
It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.
The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organisations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.
The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.
The tests are performed in positions and locations (e.g., at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model. The highest SAR value for this model handset when tested for use at the ear is 0.443 W/kg and when worn on the body, as described in this user guide, is 0.144 W/kg.
Body-worn Operation; This device was tested for typical body-worn operations with the back of the handset kept 1.5 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.5 cm separation distance between the user's body and the back of the handset. The use of belt clips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.
The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.
The FCC has granted an Equipment Authorisation for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of http://www.fcc.gov/oet/fccid after searching on FCC ID A3LSWD931SC.

Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) website at http://www.phonefacts.net.

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.

The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear was 1.18 W/kg*. As mobile devices offer a range of functions, they can be used in other positions, such as on the body as described in this user guide. In this case, the highest tested SAR value is 0.784 W/kg.

As SAR is measured utilizing the devices highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.

The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a hands-free device to keep the mobile phone away from the head and body.

* The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.

準備／基礎知識

1

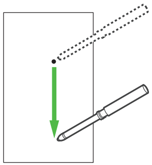
本機を使う準備

この章では、各部の名称や基本的な操作方法など本機をお使いにあたり、はじめに知ってほしいことについて説明します。

各部の名称と機能

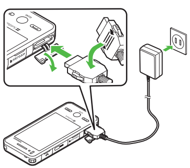
本機には、様々なボタンやカメラなどの機能があります。
また、ディスプレイには、様々なアイコンを使用しています。
それらのものについて説明します。

タッチパネルやモーションコントロールを利用した操作



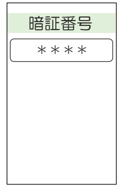
本機では、各ボタンを使った操作のほかにタッチパネルやモーションコントロールを利用した操作も利用できます。
（➔P.1-6）

本機の充電



急速充電器やパソコンのUSBポートなどを利用して本機を充電できます（➔P.1-14）。
本機に接続コネクターを差し込むときは、接続コネクターの刻印面を下側にして差し込んでください。

本機で使用する暗証番号



本機では、次の暗証番号によってお客様確認を行っています。

- 操作用暗証番号
- 交換機用暗証番号
- 発着信規制用暗証番号
- PINコード
- USIM照合用パスワード

暗証番号は、本機から変えることもできます（➔P.1-25）。

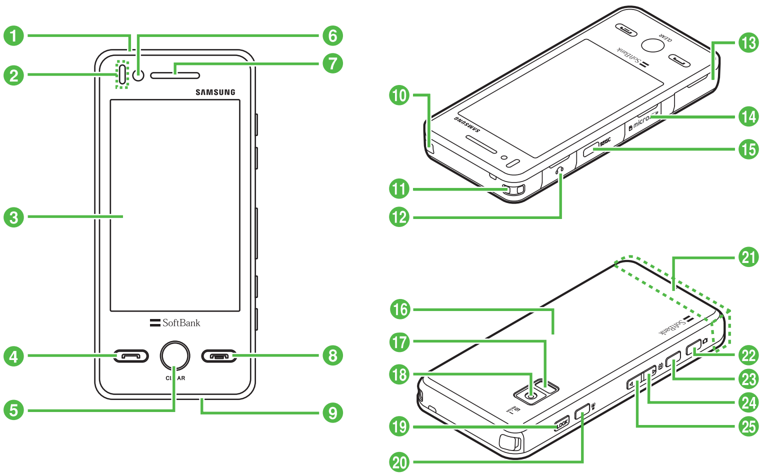
携帯電話ご使用時のマナー



公共の場では、マナーを守って携帯電話をお使いください。
本機では、マナーを守るために2つのモードがありますので、その場に応じてご使用ください(➔P.1-20)。
また、携帯電話の電源を切らなければならない場合は、電源をお切りください（➔P.1-17）。

各部の名称と機能

本体



❶ 着信ライト
着信時や不在着信、メール着信などがあるときに点滅してお知らせします。また、充電中に赤色で点灯します。

❷ 光センサー
周りの明るさを感知したり、通話中耳に近づけたのを感知するセンサーです。

❸ ディスプレイ

❹ 開始ボタン
音声電話をかけたり、受けたりするときに使います。

❺ クリア／バックボタン
操作を 1 つ前の状態に戻すときに使います。

❻ 内側カメラ（インカメラ）
顔認証や、TV コール利用時に使います。

❼ レシーバー（受話口）／スピーカー

❽ 電源／終了ボタン
電源を入れたり切ったりするときや、操作を終了するときに使います。

❾ マイク（送話口）

❿ アンテナ
テレビを受信するときに使います。

⓫ ストラップ取り付け穴

⑫ イヤホンマイク端子
マイク付きステレオイヤホン変換ケーブル（オプション品）を接続する端子です。

⑬ 充電端子／外部接続端子
急速充電器やパソコンなどを接続する端子です。

⑭ メモリカード端子
microSD™ メモリカードを接続する端子です。

⑮ 赤外線ポート
赤外線通信でデータを送受信するときに使います。

⑯ 電池カバー
電池パックやUSIMカード､メモリカードの取り付けや取り外しをするときは､ここを開けます。

⑰ モバイルライト
カメラ撮影時などに点灯できます。

⑱ 外側カメラ（アウトカメラ）撮影するときや、TV コール中に周囲の風景などの映像を送信するときに使います。

⑲ ホールドボタン LOCK
本機 のタッチパネルとボタンのロック／ロック解除に使います。

⑳ マナーボタン
マナーモードの設定や解除に使います（1 秒以上押す）。

㉑ 内蔵アンテナ

㉒ カメラボタン
カメラの起動に使います（2 秒以上押す）。カメラ撮影時はシャッターとして使います。

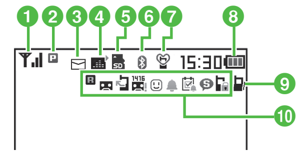
㉓ TV ボタン
TV の起動に使います（1 秒以上押す）。

㉔ サイドボタン
着信中やメディアプレイヤー起動中、テレビ視聴中などに音量を下げます。

㉕ サイドボタン
着信中やメディアプレイヤー起動中、テレビ視聴中などに音量を上げます。

- **内蔵アンテナ／光センサー**
  本機は内蔵アンテナで送受信するため、外部アンテナはありません。ご使用中の体の向きや通話している場所によっては通話品質が変わることがあります。内蔵アンテナ、光センサー部分は、手で覆ったりすると感度に影響しますのでご注意ください。また、内蔵アンテナ、光センサー部分にシールなどを貼らないでください。
- 光センサー部分に異物がないことを確認してください。異物があると、誤動作する恐れがあります。
- 保護フィルムなどを使用する場合は、光センサー部分に異物がないように注意してください。異物があると、誤動作する恐れがあります。

ディスプレイ



❶ 電波の受信レベル（ の棒の数が多いほど電波の状態が良好）
圏外 圏外（サービスエリア外または電波の届かない場所にいるときに表示）
OUT 圏外（Language が「English」または「한국어」に設定されている場合の表示）
電波 Off モード中

❷ 3G 接続中
3G 網パケット通信中（待機中）
3G 網パケット通信中（データ送受信中）
GSM 網接続中
GSM 網パケット通信中（待機中）
GSM 網パケット通信中（データ送受信中）
SSL 接続中
パケット通信不可状態
音声電話通話中
（発信中／着信中は点滅）

TV コール通話中（発信中／着信中は点滅）
私の状況オンライン

3 新着メールあり
メール送信中
メール受信中
配信確認あり
空き容量なし（S! メール／ SMS）
コンテンツ・キー受信時

4 ミュージック再生中
ミュージック一時停止中
テレビ録画中
テレビ予約中
S! アプリ中
S! アプリ一時停止中
S! アプリ起動要求中

5 メモリカードを取り付けている状態
メモリカードに読み書き中
ソフトウェア更新表示
PC サイトブラウザ接続中
未読の S! 速報ニュースあり
新着の S! 情報チャンネルあり
誤動作防止設定中

6 Bluetooth® 通信可能
Bluetooth® 通信中
Bluetooth® を利用してインターネット通信中
Bluetooth® を利用してヘッドセットに接続中
USB 通信可能
（黄）USB 通信中
（灰色）赤外線通信接続中
（赤）赤外線通信データ送受信中
データ同期中

7 マナーモード中
運転中モード中
会議モード中
アウトドアモード中

8 電池が十分残っている
電池が少し減っている
電池の残量が少ない
電池がほとんど残っていない
（赤で点滅）電池残量なし

9 音声着信時に着信音とバイブレータが鳴動するように設定中
音声着信時に着信音が鳴り、バイブレータが振動しないように設定中
音声着信時にバイブレータが振動し、着信音は鳴らないように設定中
音声着信時に着信音もバイブレータも鳴動しないように設定中

10 ローミング中
簡易留守録設定中
未再生の簡易留守録メッセージあり
留守番電話または音声電話の転送電話「呼出なし」を設定中
留守番電話サービス設定中
未再生の留守番電話メッセージあり
S! ともだち状況登録要求通知あり
未読の S! ともだち状況通知あり
アラーム設定中
スケジュールあり
アラーム設定したスケジュールあり
予定リストあり
アラーム設定した予定リストあり
シークレットモード設定表示中
パスワードロック中

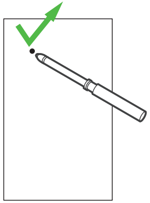
- （赤）が表示されたときは、パケット接続と S! メール送信のみ可能です。通話、S! メールの受信通知および SMS 送受信はできません。

タッチパネルの基本操作

本機は、ディスプレイに表示されている項目やアイコンをタッチペンで触れたりなぞったりして操作します。また機能によっては、本機を縦または横にするとディスプレイの表示が切り替わり、使いやすいほうの表示で操作することができます。
ここではタッチパネルの操作のしかたと、本書での表記のしかたについて記載します。

タップ

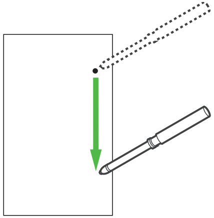
ディスプレイに軽く触れ、すぐに離す操作です。項目の選択や機能の実行などで使います。



- 本書では操作文中の項目を選んで実行する操作については簡略化して表記しています。（➔P.x）

スクロール

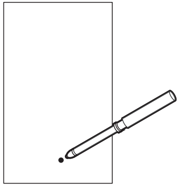
ディスプレイに軽く触れたまま、ディスプレイをなぞる操作です。
メニュー項目やインターネットにアクセスして表示される情報画面をスクロールするときなどで使います。



- 本書では「画面をスクロール」のように表記しています。

ホールド

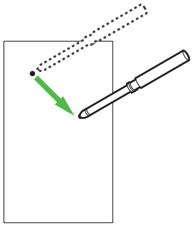
約 1 秒以上ディスプレイに触れたままにする操作です。
機能の実行などで使います。



- 本書では「アイコンをホールド」のように表記しています。

ドラッグ＆ドロップ

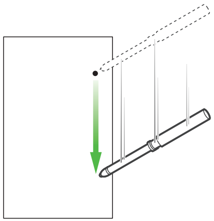
ディスプレイ上のアイテムなどに触れ、触れたままディスプレイ上を移動させた後、目的の場所でタッチペンを離す操作です。アイテムの移動などで使います。



- 本書では「バーからアイテムをドラッグし、待受画面にドロップ」のように表記しています。

スワイプ

ディスプレイに軽く触れたまま、ディスプレイをすばやくなぞる操作です。
ページをめくる操作やすばやくスクロールするときなどで使います。



- 本書では「画面をスワイプ」のように表記しています。

注意

- タッチパネルの操作は付属のタッチペンで行ってください。タッチパネルを指で押すと指紋が付きます。先の尖ったペンなどで押すと、タッチパネルの感度が悪くなる場合があります。また、タップするときはタッチパネルを強い力で押さず、正確にそっと押してください。
- 同時に複数の項目をタップすると、動作しない場合があります。
- 湿気の多い場所で使用したり、水に濡れたりすると、センサーが正しく動作しない場合がありますのでご注意ください。
- ディスプレイ保護フィルム、またはアクセサリなどをタッチパネルに付着して使用すると、正しく動作しない場合があります。

タッチパネルの操作例

ここでは各画面での基本的な操作について記載します。

- 次のような画面では、◀／▶ をタップして前後のデータや画面に表示を切り替えられます。



- 多数のメニューやタブなどがあるときや、メールの閲覧や PC サイトブラウザ、ドキュメントビューアで画面内に表示しきれない部分があるときは、画面をスクロールすることができます。また、文字入力画面／メール閲覧中／インターネット閲覧中などでは、▲／▼ を押してスクロールすることもできます。



- 項目にプルダウンメニューがある場合は、［　▼］をタップするとメニューが表示されます。



- すべての項目をチェックするには、「全チェック」をタップします。また、すべてのチェックを外すには、「全解除」をタップします。



次の機能で本機を縦または横にすると、ディスプレイの表示も合わせて切り替わります。本書では縦画面を基本として操作説明を記載しています。

- イメージビューア（➔P.12-5）
- PC サイトブラウザ（➔P.5-4）
- テレビ視聴（➔P.6-1）
- カメラ撮影（➔P.7-1）
- メディアプレイヤー（➔P.8-5）
- ドキュメントビューア（➔P.10-14）

使いこなしチェック!

設定

- タッチパネル消灯時の自動ロックを設定する（☞P.14-3）
- タッチパネル操作時の確認音の音量とバイブレータの強度を設定する（☞P.14-3）
- タッチスクリーンの調整をする（☞P.14-3）

モーションコントロールの基本操作

本機は、機能によって、振る、傾けるなどして操作することができます。

操作のしかた

ここではモーションコントロールの操作のしかたと、本書での表記のしかたについて記載します。

振る

本機を左右に振る操作です。ゲームなどで使います。



- 本書ではサイコロゲームで遊ぶときなどに使用します。（➲P.9-4）

傾ける

本機を左右に傾ける操作です。

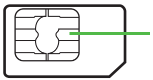


- 本書ではフォトアルバムで画像一覧をスクロールしたいときなどに使用します。（➲P.12-8）

USIM カードのお取り扱い

USIM カードをご利用になる前に

USIM カードは電話番号やお客様情報が入った IC カードです。USIM カード対応のソフトバンク携帯電話に取り付けて使用します。本機は、USIM カードが取り付けられていないと利用できません。



USIM（ユーシム）カード

USIM カードには電話帳と SMS を保存できます。USIM カードに保存したデータは、他の USIM カード対応のソフトバンク携帯電話でもご利用いただけます。次の点にご注意ください。USIM カードの詳細については、USIM カードに付属の説明書を参照してください。

- USIM カードの取り付けや取り外しをするときには、必要以上に力を入れないでください。
- 他社製品の IC カードリーダーなどに USIM カードを挿入し、故障したときは、お客様ご自身の責任となり当社では責任を負いかねますのでご注意ください。
- IC 部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れするときは、乾いた柔らかい布などで拭いてください。
- USIM カードにラベルなどを貼り付けないでください。USIM カードは非常に薄く、精密に作られているため、ラベルやシール程度の厚みでも接触不良やデータの破壊などの原因となることがあります。

注意

- USIM カードの所有権は当社に帰属します。
- 紛失、破損などによる USIM カードの再発行は有償となります。
- 解約、休止などの際は、USIM カードを当社にご返却ください。
- お客様からご返却いただいた USIM カードは、環境保全のためリサイクルされています。
- USIM カードの仕様、性能は予告なしに変更する可能性があります。ご了承ください。

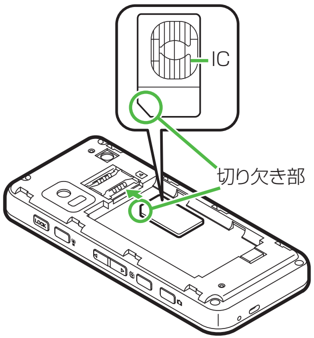
- 国内外を問わず、USIM カードならびにソフトバンク携帯電話（USIM カード挿入済み）の盗難・紛失の際は、必ず緊急利用停止の手続きを行ってください。緊急利用停止の手続きについては、お問い合わせ先(➔P.15-28)までご連絡ください。
- 本機の修理や USIM カードの交換、機種変更を行った場合、本体やメモリカードに保存した着うた®や着うたフル®、動画などのファイルがご利用になれなくなる可能性があります。あらかじめご了承ください。
- お客様ご自身で USIM カードに登録された情報内容は、別途メモなどに控えて保管することをおすすめします。万一、データが消失または変化した場合でも、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

USIM カードを取り付ける／取り外す

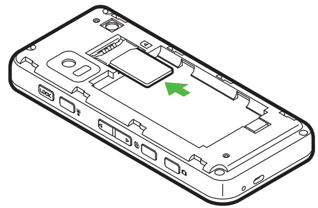
USIM カードの取り付けや取り外しをするときは、電池パックを取り外す前に必ず電源を切ってください。

取り付ける

1. 電池パックを取り外す（➔P.1-14）
2. USIM カードの金色の IC 部分を下側にし、切り欠き部の向きに注意して挿入口に差し込む

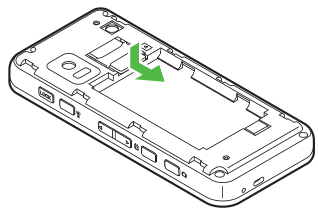


3. USIM カードが固定されるように、奥まで押し込む



取り外す

1. 電池パックを取り外す（➔P.1-14）
2. USIM カードに指を押し当て、スライドさせながら静かに引き抜く



注意

- 無理に取り付けたり取り外したりすると、USIM カードや本機が破損することがありますのでご注意ください。
- 取り外した USIM カードは、紛失しないようにご注意ください。
- USIM カードの取り付けや取り外しを行うときは、IC 部分に不用意に触れたり、傷をつけたりしないでください。また、電池パックとの接点部分にも触れないようにしてください。

電池パックと充電器のお取り扱い

電池パックと充電器をご利用になる前に

初めてお使いになるときや、長時間ご使用にならなかったときには、ご使用前に必ず充電してください。

充電について

- 電池残量のない状態で保管、放置はしないでください。電池パックを長期間保管または放置される場合でも、半年に1回程度、電池パックの充電を行ってください。長い間ご使用にならなかった電池パックは十分に充電されず、使用時間が短くなったり、使用できなくなる場合があります。
- 電池パックの使用条件によって、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れることがありますが、安全上問題はありません。
- 電池パックはリチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池はメモリ効果がないため、継ぎ足し充電ができます。
- 次のような場所では充電しないでください。
  - 周囲の温度が5℃以下、または40℃以上になる場所
  - 湿気、ほこり、振動の多い場所（誤動作の原因となります）
  - ラジオなどのそば（ラジオなどに雑音が入ることがあります）
- 充電中に電池パックや充電器が温かくなることがありますが、異常ではありません。ただし、手で触れられないほど熱くなった場合は、充電を中止し、お問い合わせ先(➔P.15-28)までご相談ください。
- 電池パックは消耗品です。電池パックを完全に充電しても使用できる時間が極端に短くなったら、交換時期です。新しい電池パックをお買い求めください。

注意

- **本機に使用する充電用機器は、必ず当社指定のものをご使用ください。**
- **電池パック単体で充電することはできません。必ず本機に電池パックを取り付けた状態で充電してください。電池パックなしの状態では、充電することも電源を入れることもできません。**
- **充電器を長時間ご使用にならない場合は、プラグをコンセントから抜いてください。**

電池パックの持ちについて

次のような使い方や操作をすると、電池パックの消耗が早まり、利用可能時間が短くなります。

- 使用環境
  - 極端な低温または高温の状態での使用、および保存（5～40℃の温度範囲でご使用ください）
  - 電波の弱い場所での通話や、圏外表示での待受（なるべく電波状態の良い環境でご使用ください）
  - 本機や電池パック、充電器の充電端子の汚れ（汚れのために接触が悪くなると、正常に充電できなくなります）
- 操作
  - カメラでの撮影を何度も行ったとき
  - 動画や音楽を再生したとき
  - メール作成などで連続した操作をしたとき（照明の点灯時間が長くなるため）
  - Bluetooth® 通信を何度も行ったとき
  - テレビを視聴しているとき
- 設定
  - スライドショーを設定しているとき
  - ディスプレイ設定の「バックライト」で明るさのレベルを上げているときや、長時間の点灯を設定しているとき
  - メディアプレイヤーのバックライトが「常時 On」に設定されている状態で、ムービーを再生したとき

不要になった電池パックは

不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てずに、端子にテープなどを貼り付けて絶縁し、個別回収に出すか最寄りのソフトバンクショップへお持ちください。電池を分別廃棄している市町村の場合は、その条例に基づいて廃棄してください。

リチウムイオン電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。

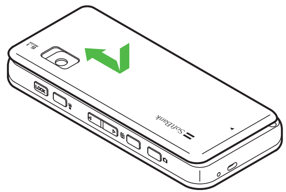
電池が切れると

電池がほとんど残っていない状態になると、警告音とメッセージでお知らせします。電池パックを充電してください。そのまま充電をしないでいると、自動的に本機の電源が切れます。

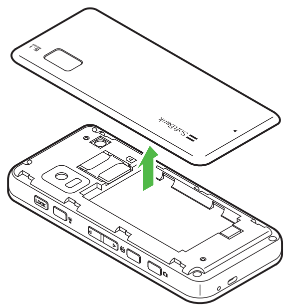
電池パックを取り付ける／取り外す

取り付ける

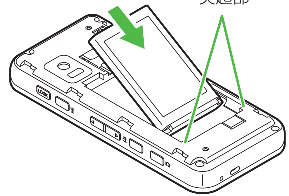
1 電池カバーを矢印の方向に押しながらスライドさせる



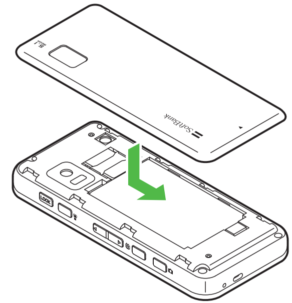
2 電池カバーを矢印の方向に引き上げて、取り外す



3 本機の突起部に電池パックのくぼみを合わせて取り付ける



4 電池カバーを本体にかぶせ、矢印の方向にスライドさせる



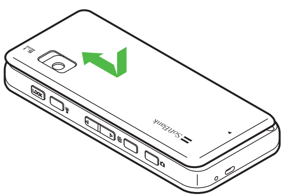
注意

- 取り付けるときに、電池パックに無理な力を加えないでください。本機の充電端子が壊れる場合があります。
- 電池カバーが外れた状態で使用すると、電池パックが抜ける恐れがあります。使用するときには、電池カバーを正しく取り付けてください。
- 強い衝撃などを与えると、電池カバーが曲がって取り付けにくくなることがあります。

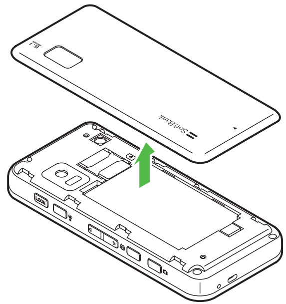
取り外す

電池パックの取り外しは、電源を切ってから行ってください。また、急速充電器を接続していない状態で行ってください。

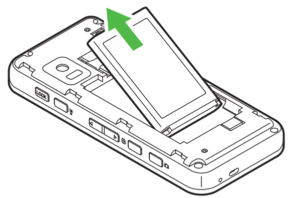
1 電池カバーを矢印の方向に押しながらスライドさせる



2 電池カバーを矢印の方向に引き上げて、取り外す



3 電池パックを持ち上げて、取り外す



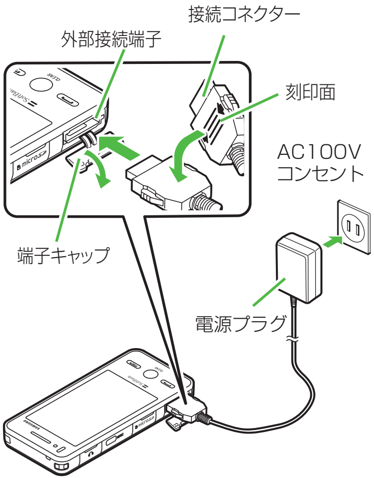
電池パックを充電する

- 電源が入っているときは、ディスプレイの電池アイコンで電池の充電状態が確認できます。充電中は→→のように残量表示が変わり、充電が完了するとが点滅します。電源を切っているときは、充電が開始されるとディスプレイに「充電中…」と表示され、完了すると、「充電が完了しました」と表示されます。また、充電中は着信ライトが赤色で点灯します。
- 充電にかかる時間は、約 155 分です。時間は本機の電源を OFF にした状態で充電した場合の目安です。周囲の温度によっても変わります。

急速充電器を利用して充電する

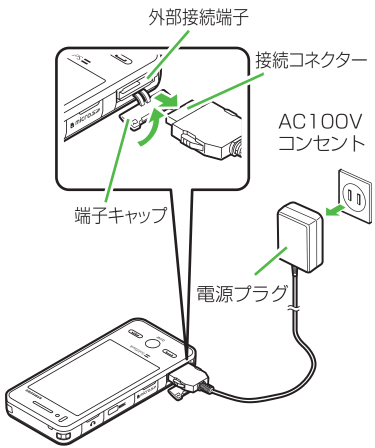
1 端子キャップを開き、外部接続端子に急速充電器の接続コネクターを差し込む

> **注意**
> •接続コネクターの刻印面を下側にして差し込んでください。



2 急速充電器の電源プラグをAC100Vコンセントに差し込む

3 充電が終わったら、本機から急速充電器の接続コネクターを抜いて端子キャップを閉め、電源コードの電源プラグをAC100Vコンセントから抜く



パソコンのUSBポートを利用して充電する

USBケーブルでパソコンと接続することにより、本機を充電できます。

1 端子キャップを開き、外部接続端子にUSBケーブルの接続コネクターを差し込む

> **注意**
> •接続コネクターの刻印面を下側にして差し込んでください。

2 USBケーブルのUSBコネクターをパソコンのUSBポートに差し込む

3 充電が終わったら、本機から接続コネクターを抜いて端子キャップを閉め、USBケーブルのUSBコネクターをUSBポートから抜く

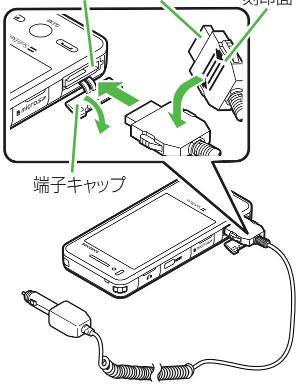
- 急速充電器を利用するときよりも、充電完了まで時間がかかります。また、接続するパソコンにより、充電にかかる時間が異なります。電池がほとんど残っていない場合、充電できないことがあります。

シガーライター充電器（オプション品）を利用して充電する

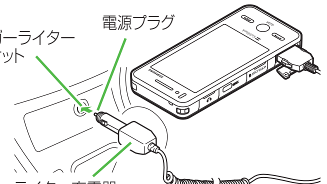
1 端子キャップを開き、外部接続端子に接続コネクターを差し込む

注意

- 接続コネクターの刻印面を下側にして差し込んでください。

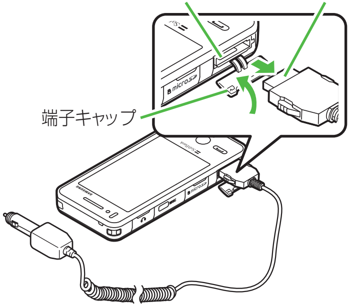


2 シガーライターソケットに電源プラグを差し込む



3 車のエンジンをかける

4 充電が終わったら、本機から接続コネクターを抜いて端子キャップを閉め、プラグをシガーライターソケットから抜く



- シガーライター充電器をお使いになる場合は、操作方法などについてはシガーライター充電器の取扱説明書を参照してください。充電するときは、本機を固定させるため、車載ホルダーを利用されることをおすすめします。

注意

- 炎天下で高温になった自動車内では充電しないでください。
- シガーライター充電器はマイナスアース車専用（12V/24V 両用）です。

電源の ON ／ OFF

電源を入れる

1 を画面が表示されるまで押し続ける





待受画面

- お客様の電話番号を確認するには、≪電話≫→「オーナー情報」をタップします。オーナー情報の一部としてお客様の電話番号が表示されます。オーナー情報の編集やメニュー操作ができます(➔P.1-18)。
- 操作をしない状態が続くと電池の消耗を抑えるため、自動的に画面表示が消えます(➔P.14-5)。また、お買い上げ時の設定では、画面表示が消えると同時に誤動作防止が設定されます（➔P.1-19）。

- お買い上げ後、初めて≪メール≫、≪ Y! ケータイ≫などをタップしてネットワーク接続が必要となる機能を起動すると、ネットワーク自動調整をうながす確認メッセージが表示されます。「はい」をタップし、画面の指示に従ってネットワーク自動調整を行ってください。
  - USIM カードを交換したときや、「オールリセット」を行ったときにも確認メッセージが表示されます。
  - ネットワーク自動調整を行うと、日付／時刻が設定されます。また、メールや Yahoo! ケータイ、S! ともだち状況などネットワークを利用するサービスがお使いいただけます。
  - ネットワーク自動調整は、手動で行うこともできます（➔P.14-31）。
  - 本書では、ことわりがない限り、日付／時刻が設定されている状態での操作を説明しています。

電源を切る

1 を画面が消えるまで押し続ける

- 終了画面が表示されたあと、電源が切れます。

注意

- 電源を切るときは、必ず を画面が消えるまで押し続けて正常に終了してください。

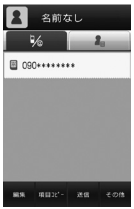
オーナー情報

オーナー情報として、名前、メールアドレス、血液型などを登録することができます。

オーナー情報を確認する

登録されているオーナー情報を確認することができます。

1 **≪メニュー≫→「電話帳」→「オーナー情報」**



- お買い上げ時の設定では、電話番号のみが登録されています。
- 待受画面から≪電話≫→「オーナー情報」でも確認することができます。

オーナー情報を編集する

ここでは例として、本機に姓名、電話番号、Eメールアドレスを登録します。

- 他の項目については、「電話帳に情報を登録したい」(➔P.2-25)を参照してください。



1 **≪メニュー≫→「電話帳」→「オーナー情報」→≪編集≫**

2 **名前欄をタップ**

3 **「名前／姓」／「名前／名」／「ヨミガナ／姓」／「ヨミガナ／名」→姓／名／ヨミガナを入力→≪ OK ≫**

4 **電話番号 2 欄をタップ→電話番号を入力→≪ OK ≫**

5 **E メールアドレス欄をタップ→ E メールアドレスを入力→「タイプ」をタップ→「個人携帯」／「自宅」／「会社」／「インターネット」→≪ OK ≫**

6 **≪保存≫**

- 文字の入力方法については「文字入力」(➔P.2-9)を参照してください。
- お買い上げ時の設定では、電話番号 1 欄にご契約の電話番号のみが登録されています。電話番号 1 欄は、変更できません。

持ち運ぶときのご注意（タッチパネルとボタンのロック）

本機を持ち運ぶときは、次の点にご注意ください。

- 鞄やポケットなどに入れて持ち運ぶときは、誤動作しないようにボタンをロックすることをおすすめします。
- 電源コードを持ち運ぶときは、プラグを倒してください。また、コードを強く引っぱったり無理にねじったりすると、断線の原因となります。

本機を持ち運ぶときなどに誤動作しないよう、タッチパネルとボタンをロックすることができます。

1 LOCK

- 誤動作防止が設定されます。

- 誤動作防止は機能の操作中でも設定できますが、機能によっては設定できない場合があります。
- 通話中は誤動作防止が設定されます。通話中に操作をする場合は、誤動作防止を解除してください。
- お買い上げ時の設定では、本機を操作しない状態が続くと画面表示が消え、自動的に誤動作防止が設定されます。自動的に誤動作防止が設定されないようにするには、「パネル消灯時自動ロック」を「Off」に設定します（➔P.11-4）。
- 誤動作防止を解除する場合は、LOCK を押して誤動作防止解除のガイダンスを表示した後、もう一度 LOCK を押します。

待受画面の見かた

待受画面では、操作したい機能をショートカットボタン、ウィジェットバー、ツールバーから呼び出すことができます（➔P.2-3）。また、データフォルダに保存した静止画を壁紙に設定することができます（➔P.12-19）。

マナーについて

携帯電話は、マナーを守ってご使用ください。

- 劇場や映画館、美術館などでは、電源を切っておきましょう。
- 航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、電源を切っておきましょう。
- レストランやホテルのロビーなど、静かな場所では、周囲の迷惑にならないように気をつけましょう。
- 新幹線や電車の中などでは、車内のアナウンスや掲示に従いましょう。
- 街中では、通行の妨げにならない場所で使いましょう。

本機には、マナーを守るための 2 つのモードが用意されています。

- 電波 Off モード

  電波の送受信を停止するモードです。通信以外の操作はできます。
- マナーモード

  着信音や操作音などをミュートまたはバイブレータにするモードです。マナーモードは、ワンタッチで設定／解除できます。

マナーモード以外に、着信音や操作音などが設定されたモードとして、通常モード、運転中モード、会議モード、アウトドアモードがあります。

- 電波 Off モードやマナーモードを利用して着信音をミュートにしたり、バイブレータにしたりする方法のほかにも、着信の種類（音声通話、TV コール、S! メールなど）ごとに個別に着信音量、バイブレータを設定することもできます（➔P.14-3）。

電波 Off モードを設定／解除する

1 ≪メニュー≫→「設定」→「通話設定」→「電波 Off モード」の「On」／「Off」



- 電波 Off モード中に電源を切ると、電源を入れ直したときに、電波 Off モードのままで電源が入ります。

マナーモードを設定／解除する

簡単な操作で現在設定中のモードからマナーモードを設定／解除できます。

1 （1 秒以上）

- マナーモード中はディスプレイ最上段にが表示されます。
- マナーモードを設定しても、カメラ撮影時のシャッター音は鳴ります。
- マナーモードを解除する場合は、設定と同様に を 1 秒以上押します。解除すると、マナーモードを設定する前に設定していたモードに戻ります。

モードを切り替える

マナーモードを含む 5 種類の中から選択できます。

1

2 「通常モード」／「マナーモード」／「運転中モード」／「会議モード」／「アウトドアモード」

モードは使用状況に合わせて選択し、必要に応じて設定を編集してご利用ください（➔P.1-21）。

モード	内容
通常モード※	本機から出る音を気にせずに使える状況に適したモード
マナーモード	本機から音を出さないモード
運転中モード	車の運転中にも使えるモード
会議モード	着信音や効果音が、あらかじめミュートに設定されているモード
アウトドアモード	着信音や効果音が、あらかじめ最大音量に設定されているモード

※通常モードのアイコンは、ディスプレイには表示されません。

各モードのお買い上げ時の設定

お買い上げ時に、各モードに設定されている音量や着信音などを次の表に示します。各モードの音声電話やTVコール、メールを受けたときの着信設定を変更できます（➔P.14-6）。

設定項目 ＼ モード		通常モード	マナーモード	運転中モード	会議モード	アウトドアモード
音量						
	音声着信	レベル3	－	－	レベル0	レベル5
	TVコール着信	レベル3	－	－	レベル0	レベル5
	メール着信	レベル3	－	－	レベル0	レベル5
	S!ともだち状況着信	レベル3	－	－	レベル0	レベル5
	着信お知らせ機能	レベル3	－	－	レベル0	レベル5
	S!速報ニュース	レベル0	－	－	レベル0	レベル0
	配信確認	レベル3	－	－	レベル0	レベル5
	効果音	レベル3	－	－	レベル0	レベル5
着信音（上段：着信音選択、下段：鳴動時間）						
	音声着信	Young hopefuls.mp4	－	－	Young hopefuls.mp4	Young hopefuls.mp4
	TVコール着信	Samsung Tune.mp4	－	－	Samsung Tune.mp4	Samsung Tune.mp4
	メール着信	A Toy Box.mp4 5秒	－	－	A Toy Box.mp4 5秒	A Toy Box.mp4 5秒
	S!ともだち状況着信	A Toy Box.mp4 5秒	－	－	A Toy Box.mp4 5秒	A Toy Box.mp4 5秒
	着信お知らせ機能	A Toy Box.mp4 5秒	－	－	A Toy Box.mp4 5秒	A Toy Box.mp4 5秒
	S!速報ニュース	A Toy Box.mp4 5秒	－	－	A Toy Box.mp4 5秒	A Toy Box.mp4 5秒
	配信確認	A Toy Box.mp4 5秒	－	－	A Toy Box.mp4 5秒	A Toy Box.mp4 5秒

設定項目＼モード		通常モード	マナーモード	運転中モード	会議モード	アウトドアモード
バイブ						
	音声着信	Off	パターン 1	－	Off	Off
	TV コール着信	Off	パターン 1	－	Off	Off
	メール着信	Off	パターン 1	－	Off	Off
	S! ともだち状況着信	Off	パターン 1	－	Off	Off
	着信お知らせ機能	Off	パターン 1	－	Off	Off
	S! 速報ニュース	Off	Off	－	Off	Off
	配信確認	Off	パターン 1	－	Off	Off
効果音		ポップアップ音／通話終了音／通話中イベント通知	通話中イベント通知	－	通話中イベント通知	ポップアップ音／通話終了音／通話中イベント通知
着信ライト						
	音声着信	グリーン	グリーン	グリーン	グリーン	グリーン
	TV コール着信	グリーン	グリーン	グリーン	グリーン	グリーン
	メール着信	グリーン	グリーン	グリーン	グリーン	グリーン
	S! ともだち状況着信	グリーン	グリーン	グリーン	グリーン	グリーン
	着信お知らせ機能	グリーン	グリーン	グリーン	グリーン	グリーン
	S! 速報ニュース	Off	Off	Off	Off	Off
	アラーム	グリーン	グリーン	グリーン	グリーン	グリーン
	配信確認	グリーン	グリーン	グリーン	グリーン	グリーン

モード 設定項目		通常モード	マナーモード	運転中モード	会議モード	アウトドアモード
通知ライト						
	不在着信	ブルー	ブルー	ブルー	ブルー	ブルー
	メール着信	グリーン	グリーン	グリーン	グリーン	グリーン
	簡易留守録	ホワイト	ホワイト	ホワイト	ホワイト	ホワイト
	S! ともだち状況着信	ライトブルー	ライトブルー	ライトブルー	ライトブルー	ライトブルー
	着信お知らせ機能	ブルー	ブルー	ブルー	ブルー	ブルー
	アラーム	ピンク	ピンク	ピンク	ピンク	ピンク
	配信確認	グリーン	グリーン	グリーン	グリーン	グリーン
簡易留守録		Off	On	—※	Off	Off

※「運転中モード」に設定すると、自動的に簡易留守録が「On」に設定されます。

暗証番号の取り扱い

本機のご使用にあたっては、「操作用暗証番号」「交換機用暗証番号」「発着信規制用暗証番号」が必要になります。

操作用暗証番号

お買い上げ時は「9999」に設定されています。本機の各機能を操作するときに使用します。

- 入力した操作用暗証番号は「*」で表示されます。
- 操作用暗証番号を間違って入力したときは、番号間違いのメッセージが表示されます。操作をやり直してください。
- 操作用暗証番号は、本機の操作で変更できます（➲P.11-3）。

交換機用暗証番号

ご契約時の４桁の数字です。ご契約内容の変更や、オプションサービスを一般電話から操作するときなどに必要な番号です。

発着信規制用暗証番号

ご契約時の４桁の数字です。本機で発着信規制サービスの設定を行うときに使用します。入力を３回続けて間違えると、発着信規制サービスの設定変更ができなくなります。この場合、発着信規制用暗証番号と交換機用暗証番号の変更が必要となりますので、ご注意ください。詳しくは、お問い合わせ先(➲P.15-28)までご連絡ください。

- 発着信規制用暗証番号は、本機の操作で変更できます（➲P.3-25）。

注意

- 操作用暗証番号や交換機用暗証番号、発着信規制用暗証番号はお忘れにならないようにご注意ください。万一お忘れになった場合は、所定の手続きが必要になります。詳しくは、お問い合わせ先(➲P.15-28)までご連絡ください。
- 操作用暗証番号や交換機用暗証番号、発着信規制用暗証番号は、他人に知られないようにご注意ください。他人に知られ悪用されたときは、その損害について当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

PIN コード

USIM カードには、「PIN コード」と「PIN2 コード」の２つの暗証番号があります。

PIN コード

第三者によるソフトバンク携帯電話の無断使用を防ぐための４～８桁の暗証番号です。

- PIN コードは変更できます（➲P.11-3）。
- 「PIN 認証」を「On」に設定すると、USIM カードを本機に取り付けて電源を入れたとき、PIN コードを入力しないと本機を使用できなくなります（➲P.11-4）。

PIN2 コード

累積通話料金のリセットや、通話料金の上限設定を行うときに使用する４～８桁の暗証番号です。

- PIN2 コードは変更できます（➲P.11-3）。

PIN ロック解除コード（PUK／PUK2 コード）

PIN ロック解除コード（PUK コード）とは、PIN ロック状態を解除するために使用する暗証番号です。PIN コードまたはPIN2 コードの入力を 3 回続けて間違えると、PIN ロック状態になります。
PIN ロック解除コードについては、お問い合わせ先(➔P.15-28)までご連絡ください。

注意

- PIN ロック解除コードを 10 回続けて間違えると、USIM カードがロックされ、本機を使用できなくなります。PIN ロック解除コードはメモに控えるなどして、お忘れにならないようにご注意ください。
- USIM カードがロックされた場合、ロックを解除する方法はありません。お問い合わせ先(➔P.15-28)までご連絡ください。

USIM 照合用パスワード

USIM パスワードとは、USIM カードの認証に使用する専用のパスワードです。
USIM パスワードが一致すれば、他のUSIM カードでも本機を使用できます。
USIM パスワードは、「USIM 照合」を「On」に設定するたびに変更できます。

共通機能／共通操作

2

いろいろ使える共通機能と共通操作

本機には、電話、メールなど様々な機能があります。
この章では、これらのたくさんの機能をお使いいただくために、機能の呼び出しかたや文字の入力方法など、本機をお使いいただくうえで共通して使う機能について説明しています。

様々な方法で機能を呼び出す



ツールバー、ウィジェットなどを使うと、本機の機能を簡単に呼び出すことができます（➔P.2-3）。

文字の入力方法



キーパッドで文字を入力するだけでなく、タッチパネルを利用して、手書きで文字を入力することもできます。
日本語、英語、ハングルを入力できます（➔P.2-9）。

着信時の動作設定



着信音の設定やバイブレータの設定など、着信時の動作を設定できます（➔P.2-5）。

電話帳



ご家族やお友達など、よく電話やメールをする相手の電話番号やメールアドレスなどを電話帳に登録できます（➔P.2-17）。

機能の呼び出しかた

本機には、機能の呼び出し方として次の4つの方法を用意しています。
1つの機能でもいろいろな呼び出しかたができるので、簡単に機能をご利用いただけます。

- ツールバー
- ウィジェット
- メインメニュー
- ショートカットボタン

ツールバーで機能を呼び出す

画面の下部には、ツールバーが表示されます。待受画面の下部にあるツールバーからは、「電話」「メール」「Yahoo! ケータイ」「メインメニュー」を呼び出すことができます。
ツールバーには、よく使う機能、または「選択」「保存」のような操作や設定の選択肢が表示されます。ツールバーに表示される内容や数は、操作する画面や機能によって変わります。
ツールバー上の機能を実行するには、目的の項目をタップします。



ウィジェットで機能を呼び出す

ウィジェットバーや待受画面に配置したウィジェットアイコンをタップして、機能を呼び出したり、待受画面で操作したりできます。
また、ウィジェット表示には、Aパッケージ、Bパッケージの2種類の表示パターンがあり、パッケージごとにウィジェットの配置を設定することができます。
ウィジェット操作について、詳しくは「ウィジェットを待受画面に配置する」(➔P.9-19)を参照してください。



お買い上げ時には、待受画面にあらかじめ次のウィジェットアイコンが表示されています。

パッケージ／ウィジェットアイコン	呼び出される機能
A パッケージ	
	コンテンツ得パック（➲P.9-18）
	S-1 バトル（➲P.9-18）
	選べるかんたん動画（➲P.9-18）
	S! 速報ニュース（➲P.9-21）
B パッケージ	
	S! アプリ（➲P.9-3）
	お絵かきアニメ（➲P.7-13）
	トップ3(➲P.9-24)

メインメニューから機能を呼び出す

本機のすべての機能は、このメインメニューから使うことができます。

1 待受中に≪メニュー≫



メインメニュー画面

2 目的の項目をタップ

3 操作 2 を繰り返して、目的の機能を呼び出し

〈例〉「壁紙」を変更する場合
「設定」→「ディスプレイ設定」→「壁紙」



「設定」をタップ



「ディスプレイ設定」をタップ



「壁紙」をタップ



壁紙の設定画面が表示される

- 操作を 1 つ前の状態に戻すには、CLEAR を押します。
- メニュー操作を終了するには、終話キー を押します。終話キー を押すと待受画面に戻ります。ただし、複数の機能を同時に使っている場合は、起動中のほかの機能に切り替わります。
- メニュー操作を途中でやめるには、終話キー を押します。設定中の内容を破棄して待受画面やもとの画面に戻ります。ただし、メニューによっては内容を破棄するかどうかの確認メッセージが表示されます。

待受中にショートカットボタンで機能を呼び出す

待受画面でショートカットボタンを押して、機能を呼び出すことができます。

ボタン	呼び出される機能
終話キー	発信履歴
CLEAR（1 秒以上）	録音メッセージの再生
LOCK	誤動作防止の設定／解除
マナーキー	マナーモードの選択
マナーキー（1 秒以上）	マナーモードの設定／解除
サイドキー（上）／サイドキー（下）	受話音量の調節
サイドキー（下）（2 秒以上）	見せかけ着信の起動（サイドキー（下）で実行設定時）
TV キー	TV メニュー
TV キー（1 秒以上）	テレビの起動
カメラキー（2 秒以上）	カメラの起動

着信時の動作の設定

音声通話、TV コール、メール、S! ともだち状況着信など、着信の内容ごとに着信音、着信音量、バイブレータの振動パターンを設定できます。
着信の内容ごとに設定を変えれば、着信音を聞くだけで（バイブレータの振動パターンだけで）、どの着信かを区別できます。

着信音量を変更する

着信音の音量を 0（ミュート）～ 5 の 6 段階で調整できます。

1 ≪メニュー≫→「設定」→「音・バイブ設定」→「音量」



2 ＋／－をタップして倍率を調節

- 3 をスクロールしても倍率を調節できます。

着信音を変更する

お買い上げ時にすでに本機に登録されている着信音のほかにも、インターネットからダウンロードした着信音や着うた、ムービーや着信音Flash®などを設定できます。

1 ≪メニュー≫→「設定」→「音・バイブ設定」→「着信音」



2 変更する着信の種類を選択

3 着信音の種類を選択

4 着信音データを選択

着信音データの▶をタップすると、データが再生されます。

バイブレータを使う／解除する

着信時のバイブの振動パターンをOff、パターン1～パターン5、音連動の7種類から設定できます。

1 ≪メニュー≫→「設定」→「音・バイブ設定」→「バイブ」



2 変更する着信の種類を選択

3 バイブの選択操作

■バイブを使わないとき
「Off」
■バイブのパターンから選択するとき
「パターン1」～「パターン5」
■着信音に合わせて振動するように設定するとき
「音連動」

バイブのパターンの▶をタップすると、バイブの震え方を確認できます。

待受画面

自分で撮影したお気に入りの写真やお絵かきアニメで作成したFlash®、複数の写真で作ったスライドショーなどで、待受画面をお好みに設定できます。

ディスプレイの壁紙を設定する

データフォルダに保存されている静止画やアニメーション、スライドショーを壁紙に設定できます。また、静止画を表示しないように設定することもできます。

1 ≪メニュー≫→「設定」→「ディスプレイ設定」→「壁紙」



❷ 壁紙の設定操作

■ データフォルダの画像を設定するとき
ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→≪設定≫

■ スライドショーを設定するとき
「スライドショー」→（➲P.2-7 スライドショーを設定する ❷）

■ 表示しないように設定するとき
「なし」

スライドショーを設定する

最大 9 枚の静止画を次々にスライド表示させる「スライドショー」を作成して、壁紙に設定できます。

❶ ≪メニュー≫→「設定」→「ディスプレイ設定」→「壁紙」→「スライドショー」



❷ 静止画の選択操作

■ 1 枚ずつ追加するとき
静止画を設定していない箇所を選択→ファイルの保存場所を選択→設定したい静止画を選択

■ まとめて追加するとき
≪まとめて設定≫→ファイルの保存場所を選択→設定したい静止画をチェック→≪ OK ≫

❸ スライドショーの編集操作

■ プレビューを見るとき
≪プレビュー≫→「はい」（画面サイズにあわせる）／「いいえ」（もとの縦横比率で表示）

■ 効果を設定するとき
「設定」タブをタップ→「効果」→項目を選択

■ 静止画 1 枚あたりの再生時間を変更するとき
「設定」タブをタップ→「切替時間」→時間を選択

❹ ≪保存≫→「はい」（画面サイズにあわせる）／「いいえ」（もとの縦横比率で表示）

- スライドショーのサイズ調整
ディスプレイに合わせて表示するには、操作 ❹ で「はい」を選択します。もとの縦横比率のまま全体を表示するには、「いいえ」を選択します。

使いこなしチェック!

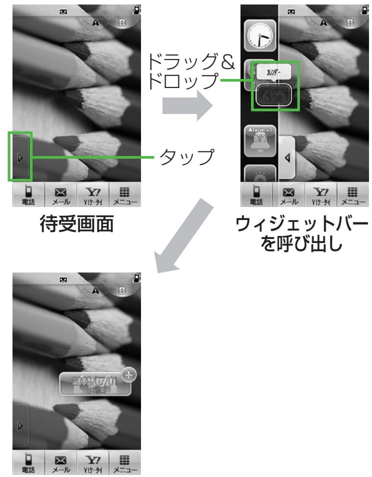
便利 ☞P.2-24
● 静止画を拡大して表示させたい
● 静止画を回転して表示させたい

ウィジェット機能

ウィジェット機能は、よく使う機能を簡単に使うための機能です。よく使う機能をウィジェットアイテムとして登録できます。登録した機能は、ショートカット操作で呼び出すことができます。また、その中でも特によく使う機能をウィジェットアイコンとして待受画面に配置することもできます。

登録可能な機能	
・アナログ時計	・バイオリズム
・デジタル時計	・ナンバープレイスワールド
・2ヶ国時計	・タッチゴルフ パンヤ
・カレンダー	・ヒドゥンキャッチ４
・予定リスト	・サイコロゲーム
・アラーム	・ランダムボール
・メモ（黄、青、赤）	・S! メール
・タイマー	・メモ帳
・ライト	・ボイスレコーダー
・壁紙設定	・電卓
・S! 情報チャンネル	・通貨・単位換算
・S! ともだち状況	・ストップウォッチ
・S! 速報ニュース	・辞典
・トップ３	・Bluetooth
・ミニプレイヤー	・赤外線
・お絵かきアニメ	・電話帳
・フォトアルバム	・Yahoo! ケータイブックマーク
・ミュージックプレイヤー	・S-1 バトル
・ムービープレイヤー	・コンテンツ得パック
・データフォルダ	・選べるかんたん動画
・カメラ	・PC サイトブラウザ ブックマーク
・TV	・設定
・S! アプリ	・ウィジェット設定
・ちかチャット	
・ブックサーフィン	

- ウィジェットバーと待受画面との間でのウィジェットアイテムの移動は、ドラッグ＆ドロップ操作でできます。
- ウィジェットバーに登録するウィジェットアイテムの選択方法は、「ウィジェットアイテムを登録する」(➔P.9-16)を参照してください。



待受画面

ウィジェットバーを呼び出し

ウィジェットアイコンが配置された待受画面

画面の見かた

ウィジェットバーには、登録した機能がウィジェットアイテムとして一覧で表示されます。
ウィジェットアイテムが多数ある場合は、ウィジェットバーをスクロールします。



文字入力

タッチペンでキーパッドをタップしたり手書きしたりして、漢字、ひらがな、カタカナ（全角／半角）、英数字（全角／半角）、記号（全角／半角）、絵文字、顔文字、ハングルを入力できます。

表示	入力モード	表示	入力モード
漢	漢字／かな（➔P.2-11）	記	全角記号（➔P.2-13）
カナ	全角カタカナ（➔P.2-13）	記半	半角記号（➔P.2-13）
ｶﾅ	半角カタカナ（➔P.2-13）	絵	絵文字（➔P.2-14）
Ａｂ	全角英字（➔P.2-13）	顔	顔文字（➔P.2-14）
Ab	半角英字（➔P.2-13）	韓	ハングル（➔P.2-15）
１２	全角数字（➔P.2-13）	ａｂ	全角英字（小文字）（➔P.2-13）
12	半角数字（➔P.2-13）	ab	半角英字（小文字）（➔P.2-13）

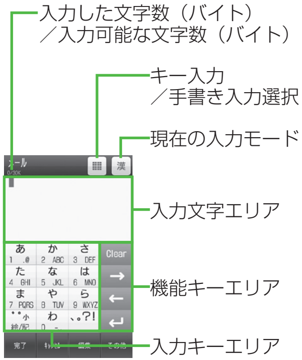
入力モードの切り替えについては、「入力モードを切り替える」（➔P.2-11）を参照してください。

文字入力画面の見かた

本機の文字入力方法には、キーパッドをタップして文字を入力する「キーパッド入力」と、画面に手書きで文字を書いて文字を入力する「手書き入力」があります。
文字入力方法の切り替え方については、「入力方法を切り替える」（➔P.2-10）を参照してください。

キーパッド入力画面の見かた

ディスプレイ上に表示されたキーパッドをタップして入力します。



手書き入力画面の見かた

手書き入力エリアに文字を直接書いて、文字を入力します。



入力した文字数（バイト）／入力可能な文字数（バイト）

入力文字エリア

キー入力／手書き入力選択

現在の入力モード
表示内容はキー入力画面と同じです。

候補表示エリア

候補表示エリアの拡大／縮小

機能キーエリア

手書き入力エリア

手書き入力

候補表示エリアの見かた



入力文字エリア

候補表示エリア※
予測候補／変換候補／入力文字候補が表示される

※候補表示エリアは、全角および半角のカタカナ、英字、数字の各入力モードでは表示されません。漢字／かな入力モードで「予測入力」を「Off」にしている場合、≪変換≫や≪英数カナ≫をタップしたときに表示されます。

- 日時設定やアラームの時刻設定など数字しか入力できない場合は、数字キー、Clear、←／→が表示されます。
- 文字の入力中や編集中に音声電話や TV コールがかかってきたときは、そのまま応答してください。通話が終了すると、もとの文字入力画面に戻ります。アラーム通知が起動した場合も、アラーム通知を終了させるともとの画面に戻ります。

文字入力の流れ

入力方法の選択→入力モードの選択→文字入力→予測変換→候補を選択

入力方法を切り替える

「キー入力」と「手書き入力」を切り替えます。使用できる入力方法は、状況によって制限されます。

1 文字入力画面で▦



2 「キー入力」または「手書き入力」を選択

入力モードを切り替える

入力モード（漢字ひらがな、カタカナ、英数字、記号、絵文字、顔文字、ハングル）を切り替えます。

1 文字入力画面で 漢



2 切り替えたい入力モードを選択

- 文字入力画面で 絵/記 をタップすると 絵 ／ 絵 ／ 記 ／ 記 ／ 顔 ／が表示されます。記 ／ 記 をタップすると記号、絵 ／ 絵 をタップすると絵文字、顔 をタップすると顔文字に切り替わります。

ひらがな／漢字を入力する

候補表示エリアに表示される予測候補を使って簡単に入力できます。予測候補を使わずに、入力したひらがなを目的の文字に変換することもできます。候補表示エリアにカタカナや絵文字などが表示されたときは、これらの文字も入力できます。ここでは例として、「鈴木」と入力します。

キーパッドで入力する

1 「キー入力」に切り替える（➲P.2-10）

2 漢 →「漢かな」

3 さ 3 DEF を 3 回タップ

- 「す」と入力されます。

4 → をタップ

- 続けて同じキーの文字を入力する場合、→ をタップしてカーソルを移動します。

5 さ 3 DEF を 3 回タップ→ 絵/記

- 「ず」と入力されます。

6 か 2 ABC を 2 回タップ



- 「き」と入力されます。

7 予測候補から「鈴木」をタップ

2

共通機能／共通操作

手書きで入力する

画面は「手書き入力」で入力する場合です。

1 「手書き入力」に切り替える
（➔P.2-10）

2 漢→「漢かな」

3 手書き入力エリアに「す」「ず」「き」と続けて入力



4 予測候補から「鈴木」をタップ

- キー入力中、「゛」や「゜」を付ける場合は、濁点や半濁点を付けるひらがなを入力したあと、小 絵/記 をタップします。
- キー入力中、「っ」などの小文字を入力する場合は、小文字にするひらがなを入力したあと、小 絵/記 をタップします。
- 文字を間違えた場合は、Clear または CLEAR をタップして文字を消し、もう一度入力します。
- キー入力中、キーをタップしすぎた場合は ⊂⊃ または ↺ を押すと、同じボタンの 1 つ前の割り当て文字に戻ります。
- ひらがなで決定する場合は、≪確定≫をタップします。
- 目的の予測候補が表示されていない場合は、≪変換≫→必要に応じて ← ／ → で変換する範囲を変更→目的の変換候補をタップ→同じ操作を繰り返してすべての文字を決定する操作をします。
- 予測候補や変換候補が多数ある場合は、候補表示エリアの + をタップして候補表示エリアを拡大します。− をタップすると、候補表示エリアが元の大きさに戻ります。
- 目的の漢字に変換されないときは、漢字の読みかたを変えて入力してください。一度に変換できない 2 文字以上の漢字は、変換する範囲を 1 文字に変更して変換してください。
- 候補表示エリアに予測候補が表示されているときに≪変換≫をタップすると変換候補が、変換候補が表示されているときに≪予測≫をタップすると予測候補が表示されます。
- 手書き入力で漢字を直接入力することはできません。
- 手書き入力では、文字を入力すると機能エリアに文字候補が表示されます。認識された文字が目的の文字と違う場合は、文字候補から文字を選択します。× をタップすると文字候補を閉じます。
- 手書き入力で文字入力モードが「漢かな」になっている場合は、ひらがな以外の文字を入力しても一番似ているひらがなとして認識されます。

カタカナ／英字／数字を入力する

1 文字入力画面で漢→「カナ」／「ｶﾅ」／「Ａｂ」／「Ab」／「１２」／「12」

2 キーパッドをタップして目的のカタカナ／英字／数字を入力

- キー入力中、「゛」や「゜」を付ける場合は、濁点や半濁点を付けるカタカナを入力したあと、゛゜小 絵/記をタップします。
- キー入力中、「ッ」などの小文字を入力する場合は、小文字にするカタカナを入力したあと、゛゜小 絵/記をタップします。
- 英字入力モード（Ab、Ab、ab、ab）で文字をタップした後にA/a 絵/記をタップすると、タップするたびに大文字と小文字が切り替わります。
- 文字を間違えた場合は、Clearをタップまたは CLEAR を押して文字を消し、もう一度入力します。
- キー入力中、キーをタップしすぎた場合は ▭ または ↺ を押して、同じキーの1つ前の割り当て文字に戻ります。
- キー入力中、続けて同じキーの文字を入力する場合は、→をタップしてカーソルを右に移動します。

- 漢かな入力モードで、文字を入力して≪英数カナ≫をタップするとカタカナ／英字／数字に変換できます。例として、「くも」と入力して≪英数カナ≫をタップすると、カタカナの「クモ」や英字の「C」、数字の「22277777」が変換候補として表示されます。また入力した文字の条件によっては、時刻や日付も変換候補として表示されます。
- 手書き入力では、どのような文字を入力しても文字入力モードで選択している文字として認識されます。

記号を入力する

￥や!などの記号を入力できます（➔P.15-13）。

1 文字入力画面で漢→「！＠＃」／「!@#」



- ゛゜小 絵/記→記／記でも入力モードを切り替えられます。
- 入力したい記号が表示されるまで≪前ページ≫／≪次ページ≫をタップします。

2 目的の記号を選択

- 続けて記号を入力できます。記号入力をやめるときは、≪キーパッドに戻る≫をタップします。

- 記号を一度入力すると履歴が残り、記号一覧の最初のページに表示されます。
- 漢かな入力モードで、文字を入力して≪変換≫をタップすると記号に変換できます。例として、「てん」と入力して≪変換≫をタップすると、記号の「･」や「･･･」が変換候補として表示されます。

絵文字／顔文字を入力する

絵文字の入力だけでなく、記号を組み合わせることで顔文字の入力も行うことができます（➲P.15-13）。

1 文字入力画面で漢→「絵文字」／「顔文字」



- 絵/記→絵／絵／顔でも入力モードを切り替えられます。
- 入力したい絵文字（顔文字）が表示されるまで≪前ページ≫／≪次ページ≫をタップします。

2 目的の絵文字／顔文字を選択

- 続けて絵文字／顔文字を入力できます。絵文字／顔文字入力をやめるときは、≪キーパッドに戻る≫をタップします。

- 絵は、メール本文／件名の入力画面のみで、選択できます。絵は、他社携帯で共通して使える絵文字を使う場合に選択します。
- 絵文字を一度入力すると履歴が残り、絵文字一覧の最初のページに表示されます。
- 漢かな入力モードで、「はーと」や「でんわ」と入力して絵文字に変換できます。同様に、「わーい」や「えーん」などを顔文字に変換することもできます。

改行する

改行の操作は、どの入力モードでも同じです。

1 文字入力画面で↵



- メールの件名入力画面など、画面によっては、改行の操作ができない場合があります。

スペースを入力する

入力モードによって、スペースの入力方法は異なります。

「漢かな」「カナ」「ｶﾅ」の場合



1 わ（ワ／ﾜ）を5回タップ

2 ≪確定≫

「A b」「Ab」の場合



1 ␣をタップ

「記」「記半」の場合



❶ ≪前ページ≫／≪次ページ≫をタップして、［ ］をタップ

「ﾊﾝｸﾞﾙ」の場合



❶ ［ㅇㅁ␣］を３回タップ

- 入力モードが「１２」「12」「絵文字」「顔文字」の場合は、上記の入力モードに切り替えて入力します。
- 文末にカーソルがある場合は、［→］でもスペースを入れられます。

ハングルを入力する

❶ 文字入力画面で［漢］→「ﾊﾝｸﾞﾙ」



❷ キーパッドをタップして文字を入力

- キー入力時は、画面に表示された文字に対応する数字をタップして、子音と母音を組み合わせて文字を入力します。

子音の入力例	
ㄱ	ㄱㅋ（1 回押す）
ㅋ	ㄱㅋ（2 回押す）
ㄲ	ㄱㅋ（3 回押す）
母音の入力例	
아	ㅇㅁ␣ ㅣ ・
야	ㅇㅁ␣ ㅣ ・ ・
어	ㅇㅁ␣ ・ ㅣ
여	ㅇㅁ␣ ・ ・ ㅣ
오	ㅇㅁ␣ ・ ー
요	ㅇㅁ␣ ・ ・ ー
왜	ㅇㅁ␣ ・ ー ㅣ ・ ㅣ

- S! メールでは受信したメールのハングルを表示できますが、S! メールの入力画面でハングルを入力することはできません。

メールアドレス／URL の一部を簡単に入力する

メール、予定リストなどの文字入力画面で、メールアドレスや URL の一部を簡単に入力することができます。

1 文字入力画面で、≪その他≫→「挿入」→「簡単アドレス入力」



2 目的のメールアドレス／URL の一部を選択

文字を消去／編集する

1 消去する文字にカーソルを合わせ Clear

- CLEAR を押しても消去できます。

- カーソル上に文字がない場合は、カーソルの左側の 1 文字が消去されます。
- カーソル以降の文字をすべて消去するには、Clear をホールドまたは CLEAR を 1 秒以上押します。カーソル以降に文字がない場合は、すべての文字が消去されます。
- メールキーを押すと、文字入力を終了するかどうかの確認メッセージが表示されます。「はい」または「いいえ」を選択します。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.2-24

- 範囲を指定して文字のコピー／カットをしたい
- コピー／カットした文字を貼り付けたい
- 文字をもとに戻したい
- 入力文字エリアを大きく表示したい

ユーザー辞書

よく使う単語や文（最大 20 文字）をユーザー辞書に登録しておくと、「読み」を入力しただけで目的の単語や文が候補表示エリアに表示され、入力が簡単になります。

ユーザー辞書を編集する

1 ≪メニュー≫→「設定」→「一般設定」→「ユーザー辞書」→≪新規作成≫

2 語句欄をタップ→単語や文を入力→≪完了≫

3 読み欄をタップ→文字を入力→≪完了≫



4 ≪保存≫

入力した文字をユーザー辞書に登録する

1 文字入力画面で≪その他≫→「ユーザー辞書登録」

2 登録する文字の先頭をタップして≪始点≫

3 登録する文字の末尾をタップして範囲を指定→≪終点≫



4 読み欄をタップ→文字を入力→≪完了≫

5 ≪保存≫

• 改行を含む範囲を指定すると、改行前までの文字列が語句に登録されます。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.2-25

● ユーザー辞書の登録内容を削除したい

設定

● ユーザー辞書を登録する（☞P.14-2）

● ユーザー辞書の登録内容を編集する（☞P.14-2）

● ユーザー辞書の登録内容を削除する（☞P.14-3）

電話帳

本機には最大 1,000 件の電話帳を登録できます。USIM カードに登録できる件数は、カードの種類によって異なります。USIM カードの電話帳は、カードを差し替えることにより、ほかのソフトバンク携帯電話でも利用できます。
1 件の電話帳に登録できる内容は次のとおりです。

項目／内容	登　録
名前／姓	
全角／半角文字（USIM カードには「名前」として登録）	931SC 本体：○（50 バイトまで）
	USIM カード：○[1]
名前／名	
全角／半角文字（USIM カードには「名前」として登録）	931SC 本体：○（50 バイトまで）
	USIM カード：○[1]
ヨミガナ／姓	
半角文字（USIM カードには「ヨミガナ」として登録）	931SC 本体：○（50 バイトまで）
	USIM カード：○[1]

項目／内容	登　録
ヨミガナ／名	
半角文字 （USIM カードには「ヨミガナ」として登録）	931SC 本体：○ （50 バイトまで）
	USIM カード：○[1]
電話番号	
市外局番も含めて登録	931SC 本体：○ （32 バイトまでで 5 件）
	USIM カード：○[1,2]
電話番号アイコン	
7 種類から選択	931SC 本体：○
	USIM カード：○[3]
E メールアドレス	
半角英数字	931SC 本体：○ （128 バイトまでで 5 件）
	USIM カード：○[1] （1 件）
E メールアドレスアイコン	
4 種類から選択	931SC 本体：○
	USIM カード：× （1 種類のみ）

項目／内容	登　録
フォト	
音声電話、TV コールの着信時に表示させる画像。データフォルダからの選択やカメラでの撮影が可能	931SC 本体：○
	USIM カード：×
着信音設定	
音声電話／ TV コール／メール／ S! ともだち状況の着信音。データフォルダからの選択が可能	931SC 本体：○
	USIM カード：×
バイブ設定	
音声電話／ TV コール／メール／ S! ともだち状況のバイブレータを設定	931SC 本体：○
	USIM カード：×
グループ	
「グループなし」を含めた5種類と追加されたグループの中から選択。最大 16 種類からの選択が可能	931SC 本体：○
	USIM カード：○[2]

項目／内容	登　録
シークレットモード	
On/Off	931SC 本体：○
	USIM カード：×
誕生日	
生年月日	931SC 本体：○
	USIM カード：×
血液型	
4 種類と「設定なし」から選択	931SC 本体：○
	USIM カード：×
会社	
64 バイトまで	931SC 本体：○
	USIM カード：×
役職	
64 バイトまで	931SC 本体：○
	USIM カード：×
住所	
郵便番号は 40 バイトまで、国名は 64 バイトまで、都道府県名、市町村名、番地、追加情報は 128 バイトまで	931SC 本体：○ （2 件）
	USIM カード：×

項目／内容		登　録
住所アイコン		
	2 種類から選択	931SC 本体：〇
		USIM カード：×
ホームページ		
	1024 バイトまで	931SC 本体：〇（2 件）
		USIM カード：×
ホームページアイコン		
	2 種類から選択	931SC 本体：〇
		USIM カード：×
メモ		
	512 バイトまで	931SC 本体：〇
		USIM カード：×

1 登録できる文字数は、USIM カードの種類によって異なります。

2 登録できる件数は、USIM カードの種類によって異なります。

3 登録できるアイコンの種類は、USIM カードの種類によって異なります。

• 電話帳が登録されている別の USIM カードに差し替えた場合、差し替えて初めて電話帳を利用するときに、USIM カードの電話帳の内容を本機にコピーするかどうかの確認メッセージが表示されます。「はい」を選択するとコピーが開始されます。

注意

• 大切なデータを失わないために電話帳に登録した電話番号や名前などは、電池パックを長い間外していたり電池残量のない状態で放置したりすると、消失または変化してしまうことがあります。事故や故障でも同様の可能性があります。大切な電話帳などは、控えをとっておかれることをおすすめします。電話帳が消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

電話帳の見かた

本機の電話帳に登録した各項目（➔P.2-17）は 3 つのタブに分かれています。
それぞれのタブをタップすることで表示する項目を切り替えます。

❶ 電話帳の各タブに表示される内容は次のとおりです。



タブ	項目
（電話/メールタブ）	電話番号 1
	E メールアドレス 1

タブ	項目
	グループ
	誕生日
	血液型
	住所 1
	ホームページ 1
	会社
	役職
	メモ
	シークレットモード
	着信音：音声通話
	着信音：TV コール
	着信音：メール
	着信音：S! ともだち状況
	バイブ：音声通話
	バイブ：TV コール
	バイブ：メール
	バイブ：S! ともだち状況

電話帳に登録する

電話帳は、本体と USIM カードに保存できます。お買い上げ時の電話帳の保存先は「本体」です。USIM カードに保存するには、保存先設定で設定を変更します（➲P.14-12）。ここでは、電話帳を新規に登録する方法と通話履歴から登録する方法について説明します。

新規に電話帳を登録する

本機に姓名、ヨミガナ、電話番号、E メールアドレスを登録します。

- 他の項目については、「電話帳に情報を登録したい」（➲P.2-25）を参照してください。

1 ≪電話≫→「電話帳」→≪新規登録≫

- 保存先設定（➲P.14-12）が「毎回確認」に設定されている場合、保存先を確認するメッセージが表示されます。「本体」／「USIM」をタップします。



電話帳の登録画面

2 名前欄をタップ

3 「名前／姓」／「名前／名」／「ヨミガナ／姓」／「ヨミガナ／名」→姓／名／ヨミガナを入力→≪完了≫→≪ OK ≫

4 電話番号欄をタップ→電話番号を入力→≪完了≫→タイプ欄をタップ→電話番号のタイプを選択→≪ OK ≫

5 E メールアドレス欄をタップ→ E メールアドレスを入力→≪完了≫→タイプ欄をタップ→メールアドレスのタイプを選択→≪ OK ≫

6 ≪保存≫

- 電話番号欄に入力できる電話番号には、0～9の数字のほか、#、*、P（ポーズ）、-、＋（国際コード）を登録できます。*、P、-は P-X をタップするごとに切り替わります。＋を入力するには、+0 をホールドします。
- メモリカードに保存されているファイルを着信画像や着信音などに設定すると、ファイルを本機にコピーしてから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。著作権保護ファイルの場合は、移動してから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると設定が完了します。
- Samsung New PC Studioで電話帳を同期すると、「シークレットモード-On」に設定されている電話帳は、同期されません（パソコン側にバックアップされません）。「シークレットモード-Off」から「シークレットモード-On」に変更した電話帳は、「シークレットモード-On」に設定して同期した時点から同期されなくなります。パソコン側でも削除されます。Samsung New PC Studioについては、SAMSUNGホームページ（http://jp.samsungmobile.com/pc/lineup/931download.html）からダウンロードしてご利用いただけます。

通話履歴から電話帳を登録する

通話履歴に記録されている電話番号を新規登録したり、既存の電話帳へ追加登録したりできます。

1 ／≪電話≫の「通話履歴」

2 登録したい通話履歴をタップして表示



3 ≪電話帳登録≫

- 保存先設定（➲P.14-12）が「毎回確認」に設定されている場合、保存先を確認するメッセージが表示されます。「本体」／「USIM」をタップします。

4 電話帳の登録操作

■ 新しい電話帳に登録するとき
「新規」→（➲P.2-20 電話帳に登録する **2**）

■ 既存の電話帳に追加登録するとき
「追加」→電話番号を登録する電話帳を検索して選択（➲P.2-21）→電話帳の登録操作（➲P.2-20）

電話帳を検索する

本機では、「あかさたな」、「グループ」、「ヨミガナ」の検索方法で電話帳を検索できます。

1 ≪電話≫→「電話帳」



電話帳の一覧画面

2 ／／をタップして、検索する場所に表示を切り替える（➲P.2-27）

3 検索方法のプルダウンメニューをタップ



❹「あかさたな」／「グループ」／「ヨミガナ」

- 変更した検索方法の設定は保存されます。

❺ 電話帳を検索

■「あかさたな」を選択したとき

電話帳が五十音、英字、ハングル、数字のタブに分かれて表示されます。

あ～わ／AB／ㄱㄴ／123／※のタブをタップして目的の行に切り替え→目的の電話帳を選択

・🔍をタップしてヨミガナ（先頭一部でよい）を入力しても検索することができます。

■「グループ」を選択したとき

電話帳に登録されているグループが一覧で表示されます。

目的のグループを選択→表示された一覧から目的の電話帳を選択

・目的のグループを選択したあと、🔍をタップしてヨミガナ（先頭の一部でよい）を入力して検索することができます。

■「ヨミガナ」を選択したとき

電話帳がヨミガナのあいうえお順に一覧で表示されます。

表示された一覧から目的の電話帳を選択

・🔍をタップしてヨミガナ（先頭の一部でよい）を入力しても検索することができます。



電話帳の詳細画面

- セキュリティ設定のシークレットモードが「表示しない」のとき、「シークレットモード-On」に設定されている電話帳は表示されません。検索する場合は、電話帳の検索画面で≪その他≫→「シークレット一時解除」→操作用暗証番号を入力で、一時的にシークレットモードを解除してから操作します。

電話帳から電話をかける

❶ 電話帳を検索して（➲P.2-21）、詳細画面で✉

- 電話帳に複数の電話番号が登録されている場合は、電話をかけたい電話番号の✉をタップします。



❷ 電話の発信操作

■ 音声電話をかけるとき
「音声発信」

■ TVコールをかけるとき
「TVコール発信」

■ 国際電話をかけるとき
「国際発信」（➲P.3-26 日本から国際電話をかけたい）

■ 発信前に電話番号を編集してかけるとき
「コピーしてダイヤル」→選択した電話番号を編集→≪発信≫／≪TVコール≫

- 電話帳の一覧画面で目的の電話帳の📞をタップすると、音声電話をかけることができます。1つの電話帳に複数の電話番号が登録されている場合は、電話番号を選択する画面が表示されます。

電話帳を削除する

1 ≪電話≫→「電話帳」→≪削除≫

2 電話帳の削除操作

■ **選択削除**

- 本体または USIM カードの電話帳のみを表示しているとき（選択削除）

  削除したい電話帳をチェック→≪削除≫→「はい」

- 本体と USIM カードの電話帳を両方表示しているとき（選択削除）

  「個別」→削除したい電話帳をタップ→「はい」

■ **全削除**

- 本体または USIM カードの電話帳のみを表示しているとき（全削除）

  「全チェック」→≪削除≫→操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫→「はい」

- 本体と USIM カードの電話帳を両方表示しているとき（全削除）

  「全件」→「本体」／「USIM」／「本体と USIM」→操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫→「はい」

- 電話帳の詳細画面で≪その他≫→≪削除≫→「はい」をタップしても電話帳を削除できます。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.2-25

- 電話帳に情報を登録したい
- 電話帳を v ファイルに変換して送信したい
- 電話帳を登録するときの保存先を設定したい
- USIM カードに保存されているサービス番号を表示したい
- 電話帳のシークレット設定を一時的に解除したい
- 電話帳を編集したい
- 電話帳から項目をコピーしたい
- 電話帳からお気に入りに追加したい
- 電話帳から S! ともだち状況メンバーに追加したい
- ユーザー辞書の登録内容を削除したい
- v ファイルを作成して「その他ファイル」フォルダに保存したい
- 電話帳の詳細を Bluetooth® 対応のプリンタで印刷したい
- 電話番号を入力してから登録したい

設定

- 優先的に登録される電話帳を変更する（☞P.14-12）
- 表示される電話帳（本機／ USIM カード）を変更する（☞P.14-12）
- 電話帳の検索方法を切り替える（☞P.14-12）
- 電話帳の内容を全件コピーして本機／USIM カードに登録する（☞P.14-12）

便利な機能

便利

待受画面の設定に関する便利な機能

静止画を拡大して表示させたい 【ズーム】

≪メニュー≫→「設定」→「ディスプレイ設定」→「壁紙」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→≪ズーム≫→ ／ をタップして倍率を調節→≪設定≫

- ≪元に戻す≫をタップするともとの表示に戻ります。

静止画を回転して表示させたい 【回転】

≪メニュー≫→「設定」→「ディスプレイ設定」→「壁紙」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→≪回転≫→ ／ →≪設定≫

- ≪元に戻す≫をタップするともとの表示に戻ります。

スライドショーを編集したい

≪メニュー≫→「設定」→「ディスプレイ設定」→「壁紙」→「スライドショー」

■ 静止画を変更するとき

変更したい静止画を選択→「画像変更」→ファイルの保存場所を選択→設定したい静止画を選択→≪保存≫→「はい」／「いいえ」

■ 静止画の順序を変更するとき

≪順序変更≫→順序を変更したい静止画をドラッグし、挿入する位置へドロップ→≪ OK ≫→≪保存≫→「はい」／「いいえ」

■ 静止画を削除するとき

削除したい静止画を選択→「リセット」→「はい」→≪保存≫→「はい」／「いいえ」

- 画像を画面サイズに合わせて表示するときは「はい」を、もとの縦横比のまま全体を表示するときは「いいえ」を選択します。

便利

文字入力に関する便利な機能

範囲を指定して文字のコピー／カットをしたい 【コピー】／【カット】

文字入力画面で≪編集≫→「コピー」／「カット」→コピー／カットをする最初の文字をタップして≪始点≫→最後の文字をタップして範囲を指定→≪終点≫

- 文字入力画面上のすべての文字をコピー／カットする場合は、≪全て≫をタップします。
- コピー／カットを行うと、コピー／カットをした内容は電源を切っても保持されます。

コピー／カットした文字を貼り付けたい 【貼り付け】

文字入力画面で文字を貼り付ける位置にカーソルを移動→≪編集≫→「貼り付け」

文字をもとに戻したい 【元に戻す】

文字入力画面で≪編集≫→「元に戻す」

- 漢字／かな入力モードで直前に行った文字の入力や切り取り、貼り付け、削除などの操作をもとに戻すことができます。変換した文字をもとに戻すこともできます。

入力文字エリアを大きく表示したい 【キーパッド非表示】

文字入力画面で≪編集≫→「キーパッド非表示」

便利

ユーザー辞書に関する便利な機能

ユーザー辞書の登録内容を削除したい【削除】

≪メニュー≫→「設定」→「一般設定」→「ユーザー辞書」→≪削除≫→削除したいユーザー辞書をチェック→≪削除≫→「はい」

- 「全チェック」をタップした場合は、≪削除≫→操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫→「はい」をタップします。

学習情報をリセットしたい

文字入力画面で≪その他≫→「入力／変換設定」→「学習リセット」→操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫→「はい」をタップします。

便利

電話帳に関する便利な機能

電話帳に情報を登録したい【新規登録】

≪電話≫→「電話帳」→≪新規登録≫

■ **グループを登録するとき**

→グループ欄をタップ→項目を選択→≪保存≫

■ **誕生日を登録するとき**

→誕生日欄をタップ→生年月日を入力→≪ OK ≫→≪保存≫

■ **血液型を登録するとき**

→血液型欄をタップ→項目を選択→≪保存≫

■ **住所を登録するとき**

→住所欄をタップ→タイプ欄をタップ→「個人」／「会社」→郵便番号欄をタップ→郵便番号を入力→≪完了≫→国欄をタップ→国名を入力→≪完了≫→都道府県欄をタップ→都道府県名を入力→≪完了≫→市町村欄をタップ→市町村名を入力→≪完了≫→番地欄をタップ→番地を入力→≪完了≫→追加情報欄をタップ→追加情報を入力→≪ OK ≫→≪保存≫

■ **ホームページの URL を登録するとき**

→ホームページ欄をタップ→ URL を入力→≪完了≫→タイプ欄をタップ→タイプを選択→≪ OK ≫→≪保存≫

■ **会社を登録するとき**

→会社欄をタップ→会社名を入力→≪完了≫→≪保存≫

■ **役職を登録するとき**

→役職欄をタップ→役職名を入力→≪完了≫→≪保存≫

■ **メモを登録するとき**

→メモ欄をタップ→内容を入力→≪完了≫→≪保存≫

■ **シークレットモードを設定するとき**

→シークレットモード欄で「On」／「Off」→≪保存≫

- グループ以外は USIM カードの電話帳には登録できません。

電話帳に着信画像を設定したい

≪電話≫→「電話帳」→≪新規登録≫→

または、

≪電話≫→「電話帳」→着信画像を設定する電話帳を検索（➲P.2-21）→≪編集≫→

■ **保存された画像を設定するとき**

「ピクチャー」→ファイルを選択→≪保存≫

- メモリカードを取り付けているときは、「ピクチャー」フォルダと「デジタルカメラ」フォルダからファイルを選択できます。

■ **静止画を撮影して設定するとき**

「カメラ起動」→静止画を撮影

■ **設定した着信画像を解除するとき**

「Off」→≪保存≫

- メモリカードに保存されているファイルを着信画像や着信音などに設定すると、ファイルを本機にコピーしてから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。著作権保護ファイルの場合は、移動してから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると設定が完了します。

電話帳に着信音を設定したい

≪電話≫→「電話帳」→≪新規登録≫→♪→着信音欄をタップ

または、

着信音を設定する電話帳を検索(➲P.2-21)→≪編集≫→♪→着信音欄をタップ

■ **音声着信／TV コール着信を設定するとき**

「着信音：音声通話」／「着信音：TV コール」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→≪保存≫

■ **メール着信／S! ともだち状況着信を設定するとき**

「着信音：メール」／「着信音：S! ともだち状況」→「着信音」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→「再生時間」→時間を入力→≪ OK ≫→≪保存≫

- ファイル選択時に▶をタップするとファイルが再生されます。
- メモリカードに保存されているファイルを着信画像や着信音などに設定すると、ファイルを本機にコピーしてから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。著作権保護ファイルの場合は、移動してから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると設定が完了します。

電話帳にバイブレータを設定したい

≪電話≫→「電話帳」→≪新規登録≫→♪→バイブ欄をタップ

または、

バイブを設定する電話帳を検索(➲P.2-21)→≪編集≫→♪→バイブ欄をタップ

振動パターンを選択→≪保存≫

- バイブパターン選択時に▶をタップすると本機が振動します。

電話帳からメールを作成したい

≪電話≫→「電話帳」→メールを作成したい電話帳を検索し、選択(➲P.2-21)→宛先にする電話番号の📞、または E メールアドレスの✉

■ **📞をタップした場合**

「メール作成」→「S! メール」／「SMS」→(➲P.4-4 S! メールを作成・送信する❺、P.4-7 SMS を作成・送信する❺)

■ **✉をタップした場合**

メール作成画面表示→(➲P.4-4 S! メールを作成・送信する❺)

電話帳からホームページに接続したい

≪電話≫→「電話帳」→ホームページが登録された電話帳を検索し、選択(➲P.2-21)→接続するホームページアドレスの●→「はい」

- PC サイトブラウザで接続するときは「PC サイトブラウザ」をタップします。

電話帳を v ファイルに変換して送信したい ［送信］

≪電話≫→「電話帳」→≪送信≫

■ **メールで送信するとき**

「メール添付」→送信したい電話帳を検索し、選択(➲P.2-21)→(➲P.4-4 S! メールを作成・送信する❷)

■ **Bluetooth® で送信するとき**

「Bluetooth」→送信したい電話帳をチェック→≪送信≫→(➲P.13-8 データを送信する❷)

■ **赤外線で送信するとき**

「赤外線通信」→送信したい電話帳をチェック→≪送信≫（➲P.13-4）

- 電話帳の詳細画面で≪その他≫→「送信」をタップしても送信できます。

本機と USIM カードとの間で電話帳をコピーしたい

≪電話≫→「電話帳」

■ **選択してコピーするとき**

≪その他≫→「USIM にコピー」／「本体にコピー」→コピーしたい電話帳をチェック→≪コピー≫→「はい」

- 本体と USIM カードの電話帳を両方表示している場合は、≪その他≫→「個別コピー」→コピーしたい電話帳をタップ→「はい」をタップします。
- 電話帳の詳細画面で≪その他≫→「USIM にコピー」／「本体にコピー」をタップしてもコピーできます。

- 電話帳の検索方法をグループ検索にしている場合は、コピーする電話帳を検索し、選択→≪その他≫→「USIM にコピー」／「本体にコピー」→「はい」をタップしてコピーします。

■ **本機／ USIM カードに保存されている電話帳をまとめてコピーするとき**

≪その他≫→「全件コピー」→「本体→ USIM」／「USIM →本体」→「はい」

電話帳を登録するときの保存先を設定したい **[保存先設定]**

≪電話≫→「電話帳」→≪その他≫→「保存先設定」→「本体」／「USIM」／「毎回確認」

USIM カードに保存されているサービス番号を表示したい **[サービス番号]**

≪電話≫→「電話帳」→≪その他≫→「サービス番号」

- USIM カードの種類によっては、「サービス番号」の項目は表示されません。

電話帳のシークレット設定を一時的に解除したい **[シークレット一時解除]**

≪電話≫→「電話帳」→≪その他≫→「シークレット一時解除」→操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫

- セキュリティ設定のシークレットモードを「表示しない」にしているときに、「シークレットモード -On」に設定した電話帳を一時的に表示することができます。
- 電話帳の検索方法をグループ検索にしている場合は、≪シークレット一時解除≫→操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫をタップします。

電話帳を編集したい **[編集]**

≪電話≫→「電話帳」→編集したい電話帳を検索し、選択(➋P.2-21)→≪編集≫→(➋P.2-20 電話帳に登録する ❷)

- 「シークレットモード -On」に設定している電話帳を編集するときは、あらかじめセキュリティ設定のシークレットモードを「表示する」にします。

電話帳から項目をコピーしたい **[項目コピー]**

≪電話≫→「電話帳」→電話帳を検索し、選択（➋P.2-21）→≪項目コピー≫

電話帳からお気に入りに追加したい **[お気に入り登録]**

≪電話≫→「電話帳」→電話帳を検索し、選択(➋P.2-21)→≪その他≫→「お気に入り登録」→登録する番号欄を選択

電話帳から S! ともだち状況メンバーに追加したい **[S! ともだち状況登録]**

≪電話≫→「電話帳」→電話帳を検索し、選択(➋P.2-21)→≪その他≫→「S! ともだち状況登録」→電話番号を選択→「はい」

S! ともだち状況を表示したい **[S! ともだち状況表示]**

≪電話≫→「電話帳」→電話帳を検索し、選択(➋P.2-21)→≪その他≫→「S! ともだち状況表示」→電話番号を選択

v ファイルを作成して「その他ファイル」フォルダに保存したい **[データフォルダに保存]**

≪電話≫→「電話帳」→電話帳を検索し、選択(➋P.2-21)→≪その他≫→「データフォルダに保存」→「本体」／「メモリカード」→「はい」

- メモリカードを取り付けているときは、「メモリカード」を選択できます。

電話帳の詳細を Bluetooth® 対応のプリンタで印刷したい **[Bluetooth で印刷]**

≪電話≫→「電話帳」→電話帳を検索し、選択(➋P.2-21)→≪その他≫→「Bluetooth で印刷」→(➋P.7-15 Bluetooth® 経由でプリントする ❺)

表示を USIM カード／本機の電話帳に切り替えたい

≪電話≫→「電話帳」→ ／ ／ →「本体」／「USIM」／「本体と USIM」

- 電話帳表示を変更すると、次に設定を変更するまで設定は保持されます。

電話番号を入力してから登録したい【電話帳登録】

≪電話≫→「ダイヤル」→電話番号を入力→≪電話帳登録≫

■ **新規で登録するとき**

「新規」→(➲P.2-20 電話帳に登録する❷)

■ **追加で登録するとき**

「追加」→電話帳を検索し、選択(➲P.2-21)→電話帳の登録操作（➲P.2-20）

- 姓名、ヨミガナ、E メールアドレス、グループ以外の項目は USIM カードの電話帳では登録できません。

グループを追加したい

≪電話≫→「電話帳」→検索方法のプルダウンメニューをタップ→グループ→≪グループ設定≫→「追加」

■ **着信画像を設定する**

→「ピクチャー」／「カメラ起動」／「Off」→着信画像を設定→≪保存≫

- 「ピクチャー」を選択した場合は、ファイルを選択します。
- 「カメラ起動」を選択した場合は、静止画を撮影します。
- 「Off」を選択した場合は、着信画像は設定しません。

■ **グループ名を設定する**

グループ名欄をタップ→グループ名を入力→≪完了≫

■ **グループアイコンを設定する**

グループアイコン欄をタップ→アイコンを選択

■ **着信音を設定する**

- 音声着信／ TV コール着信を設定するとき

  「着信音:音声通話」／「着信音:TV コール」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→≪保存≫

- メール着信／ S! ともだち状況着信を設定するとき

  「着信音：メール」／「着信音：S! ともだち状況」→「着信音」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→「再生時間」→時間を入力→≪ OK ≫→≪ OK ≫→≪保存≫

■ **バイブレータを設定する**

バイブ欄をタップ→振動パターンを選択→≪保存≫

- USIM カードのグループにはグループ名とアイコンのみ設定できます。
- 着信画像や着信音などを電話帳ごとの個別に設定している場合は、グループごとの設定よりもそちらが優先されます。

グループの設定を変更したい

≪電話≫→「電話帳」→「グループ設定」→「編集」→編集するグループを選択→追加の場合と同じように、各項目を編集（➲P.2-28）

電話

3

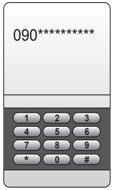
多様な通話方法とオプションサービス

本機では、音声通話をするだけでなく、TV コールをかけたり、お気に入りに登録することで簡単に通話することもできます。
また、留守番電話、転送電話など様々なオプションサービスを利用することもできます。
この章では、電話のかけかたとオプションサービスについて説明します。

通話の種類

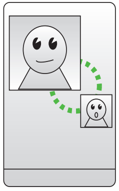
本機では、次の方法で通話することができます。

- 音声通話



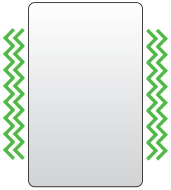
音声のみを使って通話します（➔P.3-4）。

- TV コール



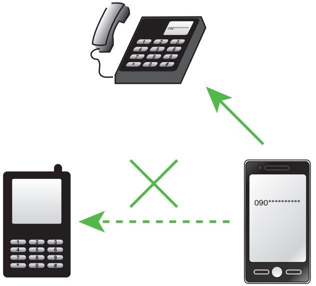
お互いの顔を見ながら通話できます。相手の機種も TV コールに対応している必要があります（➔P.3-7）。

電話にでられないときには



本機に着信中、電話にでられないときには簡易留守録などの機能を使用できます（➔P.3-12）。

また、電源を切っていたり、電波の届かないところで着信した場合に留守録を残したり、電話を転送するオプションサービスもあります（➔P.3-19）。



留守番電話のイメージ

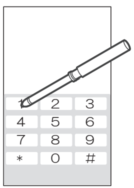
また、次のような機能を利用することもできます。

グローバルな通話

本機は、世界対応ケータイに対応しています。
別途お申し込みいただくと、日本だけでなく世界でも本機をご使用できます（➔P.3-16）。
また、国際電話も発信できますので、世界中で世界中の人々と通話を楽しめます。

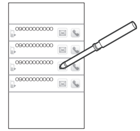


素早く電話をかける（お気に入り）



お気に入りを使うと、よく電話をかける相手に簡単な操作で電話をかけることができます（➔P.3-10）。

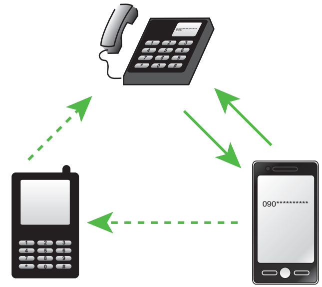
通話履歴の利用



累積通話時間や、前回の通話時間を確認できます。
また、通話料金の限度値を設定することもできます（➔P.3-15）。

様々なオプションサービスの利用

留守番電話、転送電話など様々なオプションサービスを利用できます（➔P.3-19）。


転送電話のイメージ

音声電話

ここでは、音声通話のかけ方、受け方、および通話中の操作について説明します。

音声電話をかける

ここでは、電話番号を直接入力して音声電話をかける方法について説明します。

電話帳から音声電話をかける場合は「電話帳から電話をかける」(➲P.2-22)を参照してください。

1 （1 秒以上）／≪電話≫→≪ダイヤル≫→電話番号全桁（市外局番を含む）を入力



電話番号入力画面

2 電話番号を確認→ ／≪発信≫

3 通話終了→

- 電話番号を間違えたときは「消去」をタップまたは を押します。「消去」をホールドまたは を 1 秒以上押すと、すべての数字が消えます。
- 電話番号として「P（ポーズ）」を入力するには、P-X を 2 回タップします。「+（国際コード）」を入力するには、+0 をホールドします。
- 相手がお話し中のときは、 を押して電話を切り、しばらくしてからかけ直してください。「オートリダイヤル」(➲P.14-11)を「On」に設定している場合は、自動的に電話を切ってリダイヤルする動作が繰り返されます。リダイヤルを停止するには、≪キャンセル≫をタップまたは を押します。
- イヤホンマイク（オプション品）を接続している場合は、「イヤホン通話」を「On」に設定すると、イヤホンマイクのスイッチを 1 秒以上押すだけで指定した電話番号に電話をかけることができます。電話を切るときもスイッチを 1 秒以上押します。
- 自動音声サービスなどでガイダンスに従って数字を入力するときは、 を押してキーパッドを表示してから数字をタップします。

音声電話を受ける

ここでは、かかってきた電話を受ける方法について説明します。

1 着信中に



2 通話終了→

- 着信中に応答せずに保留にするには、 を押します。保留を終了して通話をするには、保留中に≪応答≫をタップまたは を押します。
- 着信音量を調節するには、着信中に 、 を押します。
- イヤホンマイク（オプション品）を接続しているときは、着信中にイヤホンマイクのスイッチを 1 秒以上押しても音声電話を受けられます。電話を切るときもスイッチを 1 秒以上押します。
- 通話中の一時保留をご利用になるには、割込通話サービス（➔P.3-22）もしくはグループ通話サービス（➔P.3-23）へのお申し込みが必要です。万一、何らかの損害がお客様に発生した場合でも一切責任を負うものではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 電話に出なかったときは、不在着信としてお知らせします。通知をタップすると、着信履歴（➔P.3-13）を確認できます。
- 相手の電話番号が電話帳に登録され、個別またはグループごとの着信音が設定されている場合は、設定されている着信音が鳴ります（➔P.2-26、P.2-28）。それ以外の場合は、モードごとに設定されている着信音が鳴ります（➔P.1-21）。セキュリティ設定のシークレットモードが「表示しない」の場合で、電話帳のシークレットモードが「シークレットモード-On」の相手から着信があったときは、モードごとに設定されている着信音が鳴ります。
- 相手が電話番号を通知してかけてきたときは、ディスプレイに電話番号が表示されます。電話番号が電話帳に登録されている場合は、登録されている名前が表示されます。相手が電話番号を通知してこなかった場合は、「非通知設定」と表示されます。電話帳やグループに着信画像が設定されている場合は、画像も表示されます（➔P.2-28）。セキュリティ設定のシークレットモードが「表示しない」の場合で、電話帳のシークレットモードが「シークレットモード-On」の相手から着信があったときは、名前や画像は表示されません。
- 電話に出られないときは、転送電話サービスまたは留守番電話サービスをご利用になれます。着信中に≪転送≫をタップすると、すぐに転送先または留守番電話サービスセンターに転送できます（➔P.3-20、P.3-21）。また、着信中に≪簡易留守録≫をタップすると、すぐに簡易留守録を利用することができます（➔P.3-12）

通話中の操作

ここでは、通話中に使う操作方法について説明します。

音量調節

通話中に相手の声の音量を調節できます。

1 通話中



2 ／

- 変更した音量は、電源を切っても保持されています。

3
電話

通話録音

通話中に相手の声を録音できます。

1 通話中



2 「音声録音」

3 録音終了→ ■

- 通話中にボイスレコーダーを利用して、相手の声を録音できます。最長 2 分間録音できます。
- 録音中に一時停止する場合は をタップします。録音を再開する場合は 、一時停止したところまで保存する場合は≪保存≫をタップします。
- 録音された音声ファイルは、データフォルダの「着うた・メロディ」フォルダに保存されます。
- 割込通話サービスをご利用の場合、録音中に他の相手から電話がかかってくると、録音を終了して着信画面を表示します。
- 録音中に電話が切れると録音が自動的に終了し、音声が保存されます。

通話メモ

通話中にメモを作成できます。

1 通話中



2 ≪メニュー≫→「メモ帳」→「新規作成」→メモを入力→カテゴリを選択→≪保存≫

録音された用件を確認する

1 ≪メニュー≫→「設定」→「通話設定」→「簡易留守録」→「留守録再生」

2 用件を選択

- 簡易留守録に伝言メッセージが録音されると、ディスプレイに が表示されます。
- 待受画面で CLEAR を 1 秒以上押しても、録音された用件を確認できます。

録音された用件を削除する

1 ≪メニュー≫→「設定」→「通話設定」→「簡易留守録」→「留守録再生」→≪削除≫

2 削除したい用件をチェック→≪削除≫→「はい」

- 「簡易留守録」から用件は削除されますが、「着信履歴」には「音声通話の不在着信」として記録が残ります。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.3-26

- 入力した電話番号を電話帳に登録したい
- 入力した電話番号を宛先としたメールを作成したい
- 自分の電話番号を通知するかどうかを設定して電話をかけたい
- 音声の送信を設定したい
- 着信中の電話に応答せず、着信を拒否して電話を切りたい
- 通話中にスピーカーホン通話に切り替えたい
- 通話を保留にしたい
- 小さい声で通話したい
- ヘッドセットでの通話と本体での通話を切り替えたい
- 通話中に電話帳を検索したい
- 通話中にメールを作成したい
- 通話中にプッシュトーンを送信したい
- 通話中に相手の声を録音したい
- 通話中にメモを作成したい

設定

- 電話番号を指定して着信の許可／拒否を設定する（☞P.14-10）
- 着信拒否する電話番号を登録する（☞P.14-10）
- 電話帳に登録していない番号からの着信の許可／拒否を設定する（☞P.14-11）
- 非通知着信の許可／拒否を設定する（☞P.14-11）
- 公衆電話からの着信の許可／拒否を設定する（☞P.14-11）
- 電話番号が通知不可能な着信の許可／拒否を設定する（☞P.14-11）
- 発信者番号の通知／非通知を設定する（☞P.14-11）
- 話し中だった相手に自動的にリダイヤルする（☞P.14-11）

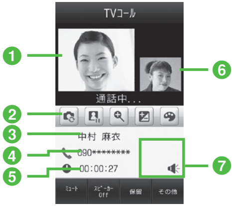
TV コール

TV コールに対応している携帯電話との間で、お互いの映像を見ながら通話できます。ここでは、TV コールのかけ方、受け方の操作について説明します。

- スピーカーホン通話(➔P.3-28)中は、受話音量を大きくすると会話しづらくなることがあります。この場合は音量を下げるか、イヤホンマイク（オプション品）をお使いになることをおすすめします。
- 周囲の騒音が大きい場所では、音声が途切れるなど良好な通話ができないことがあります。この場合はイヤホンマイク(オプション品）をお使いになることをおすすめします。
- スピーカーホン通話のときは、相手の音声がスピーカーから流れます。ほかの人の迷惑にならないようにご注意ください。

注意

- ソフトバンクの TV コールと異なる方式の携帯電話と接続した場合に、通話が切れることがあります。このときも、切れるまでの通話料金が課金されます。



1. 大画面（通常は相手の映像）
タップすると、小画面と表示を切り替えることができます。

2. 操作用アイコン
   - ：アウトカメラに切替／インカメラに切替
   - ／：自画像の送信を一時停止／再開
   - ：ズーム調整
   - ：明るさ調整
   - ：エフェクト

3. 相手の名前

4. 電話番号

5. 通話時間

6. 小画面（通常は自分の映像）
タップすると、大画面と表示を切り替えることができます。

7. 状態アイコン
   - ：ヘッドセットに切替
   - ：私の音声ミュート On
   - ／：スピーカー Off ／スピーカー On

TV コールをかける

ここでは、電話番号を直接入力して TV コールをかける方法について説明します。電話帳から TV コールをかける場合は「電話帳から電話をかける」(➔P.2-22)を参照してください。

1　（1 秒以上）→電話番号全桁（市外局番を含む）を入力

2　≪ TV コール≫

3　通話終了→

- **TV コールがつながらなかったときの操作**
  メニュー操作をうながす確認メッセージが表示されたときは「リトライ」を選択し、「音声電話」を選択して音声電話でかけ直したり、「メール作成」を選択して相手にメールを送信したりできます。「電話帳表示」を選択すると、登録している相手の電話帳の詳細画面を確認できます。
  「電話帳登録」を選択すると、相手の電話番号を本体または USIM カードの電話帳に登録できます。もう一度かけるときは「TV コール」を選択してください。

TV コールを受ける

1　TV コール着信中に

- 自画像を送信するかどうかの確認メッセージが表示されたときは、「はい」／「いいえ」を選択します。

2　通話終了→

- TV コール着信中に応答せずに保留にするには、≪応答保留≫をタップまたは を押します。保留を終了して TV コール通話を開始するには、保留中に≪応答≫をタップまたは を押します。
- 着信音量を調節するには、TV コール着信中に ／ を押します。
- イヤホンマイク（オプション品）を接続している場合は、TV コール着信中にイヤホンマイクのスイッチを 1 秒以上押しても受けられます。TV コールを切るときもスイッチを 1 秒以上押します。
- TV コールに応答せずに切るには、≪転送≫または≪着信拒否≫をタップします。
- 操作 1 で を押した直後には自分の映像が大画面に表示されますが、この映像は相手に送信されていません。確認メッセージが表示された場合、自画像を送信するときは「はい」、代替画像を送信するときは「いいえ」を選択してください。選択操作後、TV コール通話が開始されると、小画面に自画像または代替画像が表示されます。
- 受話音量を調節するには、TV コール中に ／ を押します。
- カメラ画像の送信を停止したときは、相手には代替画像が送信されます。

使いこなしチェック!

便利 (☞P.3-28)

- 自分の電話番号を通知するかどうかを設定して TV コールをかけたい
- 音声の送信を設定したい
- スピーカーホン通話と本体での通話を切り替えたい
- TV コール通話を保留にしたい
- 送信する画像を切り替えたい
- TV コール中の画像の表示を切り替えたい
- 相手画像を一時停止／再生したい
- ヘッドセットでの通話と本体での通話を切り替えたい
- TV コール着信を自動で受ける相手を指定したい
- TV コール着信の自動応答に指定した相手を削除したい
- TV コール中に電話帳を検索したい
- 通話中にメールを作成したい
- 相手の電話番号が登録されている電話帳の詳細画面を確認したい
- プッシュトーンを送信したい
- TV コール中にメモを作成し、保存したい

設定

- 自画像の代わりに送信する代替画像をお買い上げ時の画像に設定する（☞P.14-9）
- 自画像の代わりに送信する代替画像を設定する（☞P.14-9）
- TV コール中の相手画像の画質を調整する（☞P.14-9）
- TV コール中の自画像の画質を調整する（☞P.14-9）
- TV コール中の保留画像をお買い上げ時の画像に設定する（☞P.14-9）
- TV コール中の保留画像について設定する（☞P.14-9）
- TV コールに応答保留する際の画像をお買い上げ時の画像に設定する（☞P.14-9）
- TV コールに応答保留する際の画像について設定する（☞P.14-9）
- TV コール中の音声の送信について設定する（☞P.14-10）
- TV コール中にスピーカーを利用するかどうか設定する（☞P.14-10）
- TV コール中のバックライトの明るさを設定する（☞P.14-10）
- TV コールがつながらなかったときの動作を設定する（☞P.14-10）
- 指定した相手からの TV コール着信を自動で受ける（☞P.14-10）
- TV コール着信を自動で受ける相手を指定する（☞P.14-10）
- TV コール発信時の自画像の送信について設定する（☞P.14-10）
- 電話番号を指定して着信の許可／拒否を設定する（☞P.14-10）
- 着信拒否する電話番号を登録する（☞P.14-10）
- 電話帳に登録していない番号からの着信の許可／拒否を設定する（☞P.14-11）
- 非通知着信の許可／拒否を設定する（☞P.14-11）
- 公衆電話からの着信の許可／拒否を設定する（☞P.14-11）
- 電話番号が通知不可能な着信の許可／拒否を設定する（☞P.14-11）
- 発信者番号の通知／非通知を設定する（☞P.14-11）
- 話し中だった相手に自動的にリダイヤルする（☞P.14-11）
- イヤホン通話を使う（☞P.14-11）
- 通話中の音量を調節する（☞P.14-11）
- 着信音調節機能を設定する（☞P.14-11）
- 着信時の応答方法を設定する（☞P.14-29）

お気に入り

よく電話をかける相手をお気に入りに登録すると、簡単な操作で電話をかけることができます。

お気に入りに登録する

お気に入りは99件登録できます。

1. ≪メニュー≫→「電話帳」→「お気に入り」
2. ≪追加≫
3. 電話帳を検索し、選択（➲P.2-21）→登録したい電話番号を選択

- 登録した電話番号を削除するときは、≪メニュー≫→「電話帳」→「お気に入り」→≪解除≫→削除したい相手を選択→「はい」を選択します。
- 「シークレットモード-On」に設定している電話帳は、お気に入りに登録できません。
- すでにお気に入りに登録されている電話帳を、「シークレットモード-On」に設定した場合はお気に入りから自動的に削除されます。

お気に入りから電話をかける

1. ▭（1秒以上）／≪電話≫の≪ダイヤル≫→「お気に入り」
2. 電話をかける相手の📞

- 操作1のあと、電話をかける相手を選択→📞をタップすると「音声発信」／「TVコール発信」／「国際発信」／「メール作成」が選択できます。

緊急電話発信

緊急電話発信とは、緊急時に使用する電話発信「110（警察）」「119（消防）」「118（海上保安部）」のことです。
本機で発信の制限などを設定している場合、緊急電話発信の可否は次のとおりです。

本機の状態	緊急電話発信
電波Offモード中（➲P.1-20）	不可
通話料金上限（➲P.14-8）を超過したとき	「110」「119」「118」可
電源On時ロック中（➲P.11-4）	不可
パスワードロック中（➲P.11-4）	「110」「119」「118」可
PIN認証（➲P.11-4）で、未認証のとき	不可
USIM照合（➲P.11-5）で、未認証のとき	不可
発信規制中（➲P.3-25）	「110」「119」「118」可

緊急通報位置通知について

緊急通報位置通知とは、本機から緊急通報を行った場合、発信した際の位置の情報を緊急通報受理機関（警察など）に対して通知するシステムです。

本機では受信している基地局測位情報をもとに算出した、位置情報を通知します。

- 発信場所や電波の受信状況により、正確な位置が通知されないことがあります。緊急通報受理機関に対して、必ず口頭で発信場所や目標物をお伝えください。
- 基地局測位情報の精度は、数 100m ～ 10km 程度となります。また、実際の位置とは異なった位置情報が通知される場合があります（遠方の基地局電波を受信した場合など）。
- 緊急通報位置通知機能は、接続先となる緊急通報受理機関が、位置情報を受信できるシステムを導入したあと、ご利用いただけるようになります。
- 「184」を付けて、「110」「119」「118」の緊急通報番号をダイヤルした場合などは、緊急通報受理機関に位置情報は通知されません。ただし、緊急通報受理機関が人の生命などに差し迫った危険があると判断した場合には、同機関が発信者の位置情報を取得する場合があります。
- 申し込み料金、通信料は一切必要ありません。

注意

- 海外でのご利用にあたっては、無線ネットワークや無線信号、本機の機能の設定状態によって動作が異なるため、すべての国や地域での接続を保証するものではありません。

保留／簡易留守録／着信拒否

相手と通話が困難なとき、通話したくないときの操作について説明します。

着信を保留する

相手との通話を保留にして、あとから保留を終了して通話を再開することができます。

1 通話中に「保留」

- 保留中は相手に保留音が流れ、双方の声が聞こえなくなります。保留操作を行うには、割込通話サービスまたはグループ通話サービスのお申し込みが必要です。
- 通話に戻るときは「保留」をタップします。

簡易留守録を利用する

電話に出られないとき、相手の用件を本機自体に録音できます。用件は 1 件につき最長 15 秒間録音でき、3 件まで保存できます。

簡易留守録を設定／解除する

1 ≪メニュー≫→「設定」→「通話設定」→「簡易留守録」

2 「On/Off」の「On」／「Off」

- 簡易留守録を設定すると、ディスプレイにが表示されます。
- 留守録された電話は、着信履歴として記録されます。

注意

- 電波の届かない場所にいるときや本機の電源を切っているとき、電波 Off モード中は、簡易留守録を利用できません。着信ができない状況の場合は、オプションサービスの留守番電話サービスをご利用ください。
- 本機のメモリ残量が 600K バイトより少ない場合は、簡易留守録を利用できません。

着信拒否を設定する

着信中の電話を拒否する以外にも、特定の相手からの電話を拒否したり、知らない番号からの電話を拒否したりできます（➔P.14-10）。

着信中の電話を拒否する

1 着信中に≪拒否≫

- 拒否した電話は、着信拒否履歴として記録されます。
- 転送電話サービスまたは留守番電話サービスをご利用になっていない場合は、着信中に≪転送≫をタップすると、着信を拒否します。このとき相手のディスプレイには、こちらがお話し中である旨のメッセージが表示されます。ただし、相手がこの機能に対応していない場合は、メッセージ表示されません。

電話番号を指定して着信拒否を設定する

1 ≪メニュー≫→「設定」→「通話設定」→「着信拒否」

2 「電話番号指定」→「On/Off 設定」の「On」

- 着信拒否に登録した電話番号からかかってきたとき、相手には話中音を流し電話を受けません。待受画面には「不在着信通知」と表示してお知らせします。
  表示を選択すると着信履歴を確認できます。
- 指定している電話番号の着信を許可する場合は､「On/Off 設定」の「Off」を選択してください。

3 「拒否リスト」

4 ≪追加≫→項目を選択→電話番号の登録操作（➔P.14-10）

- 登録した電話番号を削除するには､「拒否リスト」を選択後、≪削除≫→削除したい電話番号をチェック→≪削除≫→「はい」を選択します。

電話帳に登録していない電話番号からの着信拒否を設定する

1. ≪メニュー≫→「設定」→「通話設定」→「着信拒否」
2. 「電話帳以外」の「On」
   - 電話帳に登録していない電話番号の着信を許可する場合は、「電話帳以外」の「Off」を選択してください。

非通知の相手からの着信拒否を設定する

1. ≪メニュー≫→「設定」→「通話設定」→「着信拒否」
2. 「非通知」の「On」
   - 非通知着信を許可する場合は、「非通知」の「Off」を選択してください。

公衆電話からの着信拒否を設定する

1. ≪メニュー≫→「設定」→「通話設定」→「着信拒否」
2. 「公衆電話」の「On」
   - 公衆電話からの着信を許可する場合は、「公衆電話」の「Off」を選択してください。

電話番号が通知不可能な相手からの着信拒否を設定する

1. ≪メニュー≫→「設定」→「通話設定」→「着信拒否」
2. 「通知不可」の「On」
   - 電話番号が通知不可能な着信を許可する場合は、「通知不可」の「Off」を選択してください。

通話履歴（発信履歴／着信履歴）

通話履歴には、着信履歴（かかってきた電話の履歴）と発信履歴（かけた電話の履歴）があります。それぞれの履歴から相手の電話番号や通話時間などを確認したり、履歴を利用して電話をかけたりすることができます。着信履歴、発信履歴はそれぞれ500件まで記録されます。

通話履歴を確認する

1. ／≪電話≫の「通話履歴」→「着信履歴」／「発信履歴」



一覧画面
（着信履歴の場合）

3

電話

❷ 確認したい履歴を選択

- 履歴一覧のアイコン
  履歴一覧には、音声電話、TVコールを識別するアイコンが表示されます。
  - ：音声通話発信
  - ：TVコール発信
  - ：音声通話着信
  - ：TVコール着信
  - ：音声通話の不在着信
  - ：TVコールの不在着信
  - ：音声電話の着信拒否
  - ：TVコールの着信拒否
  - ：留守番電話のお知らせ
  - ：着信のお知らせ
  - ：簡易留守録
- セキュリティ設定のシークレットモードを「表示しない」に設定しているとき、「シークレットモード-On」に設定されている電話帳は、履歴には電話帳に登録された名前などの情報は表示されません。
- 待受画面から≪メニュー≫→「電話帳」→「通話履歴」→「着信履歴」／「発信履歴」でも確認することができます。

通話履歴を使って電話をかける

❶ →「着信履歴」／「発信履歴」→目的の履歴を選択→目的の電話番号の

❷ 電話の発信操作

■ 音声電話をかけるとき
「音声発信」

■ TVコールをかけるとき
「TVコール発信」

■ 国際電話をかけるとき
「国際電話」

■ 番号を編集してかけるとき
「コピーしてダイヤル」

- 一覧画面で目的の履歴のをタップしても、音声電話をかけることができます。

通話履歴を削除する

❶ →「着信履歴」／「発信履歴」

❷ ≪削除≫→削除したい履歴をチェック→≪削除≫→「はい」

- 通話ごとの履歴を確認し、削除するときは、操作❶のあと、削除したい履歴を選択→履歴を確認後≪削除≫→「はい」を選択します。
- すべての履歴を削除するときは、操作❶のあと、≪削除≫→「全チェック」→≪削除≫を選択します。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.3-30

- 通話履歴の電話番号が登録されている電話帳の詳細画面を確認したい
- 通話履歴の電話番号を電話帳に登録したい
- 通話履歴の電話番号を着信拒否リストに追加したい

通話時間／通話料金／データ通信量などの確認

「通話後料金表示」は、ご契約の内容によりご利用になれない場合があります。また、「通話後料金表示」がご利用になれない場合、「通話料金上限設定」もご利用になれません。

通話データ管理の各項目から、次の操作ができます。

設 定	設定内容
累積	合計通話時間、合計通話料金の目安を確認、リセットできます。
直前の通話	前回の通話時間、通話料金の目安を確認、リセットできます。
累積データ通信量	累積送信データ量、累積受信データ量の目安を確認、リセットできます。
通話後料金表示	通話終了後に通話料金を表示するかどうか設定します。
通貨設定	通貨単位の変更ができます。
通話料金上限設定	通話料金の上限の設定ができます。

1. **≪メニュー≫→「設定」→「通話設定」→「通話時間・料金」**
2. **確認したい項目を選択**

- 確認した項目をリセットするには、≪リセット≫をタップします。

使いこなしチェック!

設定

- すべての通話の合計通話時間／合計通話料金を確認する（☞P.14-8）
- 前回の通話時間／通話料金を確認する（☞P.14-8）
- 累積データ通信量を確認する（☞P.14-8）
- 通話終了後に通話料金を表示するかどうか設定する（☞P.14-8）
- 通話料金の通貨単位を変更する（☞P.14-8）
- 通話料金の限度額を設定する（☞P.14-8）
- 通話料金の限度額の設定を解除する（☞P.14-9）

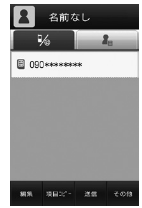
自分の電話番号を確認する

本機の USIM に登録されている電話番号を確認することができます。

オーナー情報を確認する

登録されているオーナー情報を確認することができます。

1. **≪メニュー≫→「電話帳」→「オーナー情報」**



- お買い上げ時の設定では、電話番号のみが登録されています。
- 待受画面から≪電話≫→「オーナー情報」でも確認することができます。

- オーナー情報表示中に≪編集≫をタップすることで、電話番号以外のオーナー情報を編集することができます。

使いこなしチェック!

便利☞P.3-31

- オーナー情報の内容を編集したい
- オーナー情報をｖファイルに変換して送信したい
- オーナー情報をリセットしたい
- ｖファイルを作成してオーナー情報をデータフォルダに保存したい
- Bluetooth® 対応のプリンタでオーナー情報を印刷したい

日本から海外へ電話をかける

日本から国際電話をかけることができます。

1 **(1 秒以上)/≪電話≫の「ダイヤル」→電話番号全桁(市外局番を含む)を入力**

2 **「国際発信」→発信先の国を選択/「ユーザ入力」を選択して国番号を入力**

3 **電話番号を確認→≪発信≫**

- 海外にいる相手のソフトバンク携帯電話へは、相手のいる国にかかわらず電話番号だけでかけることができます。

使いこなしチェック!

便利☞P.3-26

- 日本から国際電話をかけたい

海外での利用（世界対応ケータイ）

海外でのご利用の詳細については、『世界対応ケータイガイド』またはソフトバンクモバイルホームページ（http://www.softbank.jp）を参照してください。
海外にお出かけになるときは、『世界対応ケータイガイド』を携帯してください。

ネットワークモードを切り替える

ネットワークモードとは、携帯電話機の通信方式（3G や GSM）を利用した状態を示します。利用するネットワークの切り替え方を設定します。
お買い上げ時は自動的にネットワークモードが切り替わるように設定されています。手動で特定のネットワークモードを選択するように設定することもできます。

1 **≪メニュー≫→「設定」→「通話設定」→「通話サービス」→「国際設定」→「3G/GSM 選択」**

2 設定の選択操作

- ■自動的にネットワークモードを選択させるとき
  「自動」
- ■手動で特定のネットワークモードを選択するとき
  「手動」→「3G/GSM」／「3G」／「GSM」

- •ネットワークモードの設定
  「自動」：
  お使いの場所（ネットワークの状態）に応じて、自動的にモードが切り替わる
  「3G」：
  日本国内と海外の 3G/UMTS サービスエリアで使用できるモード
  「GSM」：
  海外の GSM サービスエリアで使用できるモード
- •通常は「自動」に設定してお使いになることをおすすめします。

ネットワークを設定する

ネットワークには、代表的なものに SoftBank 3G としてご提供している第三世代の 3G や多くの国で標準として使用されている GSM があります。

接続するネットワークを選択する

ご利用になる地域によって、ネットワーク（事業者）を切り替える必要があります。「手動」で切り替えることもできます。

1 ≪メニュー≫→「設定」→「通話設定」→「通話サービス」→「国際設定」→「事業者設定」→「自動・手動選択」

2 設定の選択操作

- ■自動的にネットワークを選択させるとき
  「自動」
- ■特定のネットワークを選択するとき
  「手動」→ネットワークを選択

優先されるネットワークを設定する

ネットワーク選択を「自動」に設定したときに、優先的に選択されるネットワークの一覧を編集できます。

1 ≪メニュー≫→「設定」→「通話設定」→「通話サービス」→「国際設定」→「事業者設定」→「優先度リスト」

2 優先度リストの編集操作

- ■ネットワークリストから選択して追加するとき
  ≪追加≫→「ネットワークリスト」→追加したいネットワークを選択
- ■ネットワークを新規追加するとき
  ≪追加≫→「新規ネットワーク」→国番号欄をタップ→国番号を入力→ネットワークコード欄をタップ→ネットワークコードを入力→ネットワーク名欄をタップ→ネットワーク名を入力→ネットワークタイプ欄をタップ→「GSM」／「3G」→≪追加≫

- 新規追加すると、一覧の最初にネットワークが追加されます。
- 操作 1 のあと、≪順序変更≫をタップすると優先順位を変更できます。変更したいネットワークをホールドし、選択されたのを確認後ドラッグして変更したい位置へドロップし、≪ OK ≫をタップします。
- 操作 1 のあと、≪削除≫をタップするとネットワークを削除できます。削除したいネットワークをタップします。
- **「新規ネットワーク」で設定できる項目は次のとおりです。**
  「国番号」：最大 3 桁
  「ネットワークコード」：最大 3 桁
  「ネットワーク名」：最大 20 桁
  「ネットワークタイプ」：GSM/3G から選択

海外で電話をかける

海外での緊急通報は、無線ネットワークや無線信号、本機の機能設定状態、USIM の状態によって動作が異なるため、全ての国やエリアでの接続を保証できるものではありません（➔P.3-10）。

1 **（1 秒以上）／≪電話≫の「ダイヤル」→電話番号を全桁（市外局番を含む）入力→**

2 **電話の発信操作**

■ 日本へ電話をかけるとき
「日本へ」

■ 日本以外の国へかけるとき
「他国番号付加」→発信したい国を選択

■ 滞在国の一般電話や携帯電話にかけるとき
「このまま発信」

- 国番号などを直接入力して電話をかけるには、+0 をホールドして「+」を入力します。続けて国番号、先頭の「0」を除いた電話番号の順に入力して を押すと発信できます。イタリアに電話をかける場合、先頭に「0」があるときは除かずにそのまま電話番号を入力します。
- 電話番号の最初に「＋国番号」が付く場合は、操作 2 が不要です。

使いこなしチェック!

設定

- ネットワークモードを切り替える（☞P.14-7）
- 国際コードを登録する（☞P.14-7）
- 国番号を追加／編集／削除する（☞P.14-7）
- 接続するネットワークを選択する（☞P.14-7）
- 優先されるネットワークをリストから設定する（☞P.14-8）
- 優先されるネットワークを新規追加する（☞P.14-8）
- ネットワーク自動調整を手動で行う（☞P.14-31）

オプションサービス

オプションサービスの種類は次のとおりです。

サービス	内　容
留守番電話サービス	電波の届かない場所にいるときや、電話に出られないときに、留守番電話サービスセンターで伝言メッセージをお預かりします。 ・「着信お知らせ機能」を設定すると、電源を切っているときや圏外のときにかかってきた電話をSMSでお知らせします（➔P.3-20）。
転送電話サービス	電波の届かない場所にいるときや、電話に出られないときに、かかってきた電話を指定した電話番号へ転送します。
割込通話サービス※	通話中の相手を保留にし、他の相手からの電話を受けたり、他の相手へ電話をかけることができます。また、相手を切り替えながら通話することもできます。
グループ通話サービス※	通話中に他の相手に音声電話をかけ、最大6人同時に通話できます。相手を切り替えながら通話することもできます。
発着信規制サービス	電話をかけたり受けたりすることを、状況に合わせて制限できます。
発信者番号通知サービス	お客様の電話番号を相手に通知したり、非通知にする設定ができます。

※サービスのご利用には、別途お申し込みが必要です。

注意

- 電波の届かない場所では、本機からは操作できません。一般電話からの操作、サービスの詳細についてはソフトバンクモバイルホームページ（http://www.softbank.jp）でご確認ください。

留守番電話サービス

下記の転送条件に従って、かかってきた音声電話を留守番電話サービスセンターに転送します。
留守番電話サービスの種類は次のとおりです。

転送条件	内　容
呼出なし	着信音を鳴らさずに、すべての着信を転送します。不在着信も記録されません。
呼出あり	設定した呼出時間内に電話に出なかったときや、通話中または圏外などのために電話がつながらないときに転送します。

注意

- 留守番電話サービスと転送電話サービスを同時に利用することはできません。
- すでに転送電話サービスを設定しているときに留守番電話サービスを設定すると、転送電話サービスは解除されます。

留守番電話サービスを設定する

1 ≪メニュー≫→「設定」→「通話設定」→「通話サービス」→「留守番・転送電話」→「留守番On」

2 項目の選択操作

■ すぐに転送電話につなぎたいとき
「呼出なし（0 秒）」

■ 呼び出し時間を設定したいとき
「呼出あり（5-30 秒）」→「5 秒」／「10 秒」／「15 秒」／「20 秒」／「25 秒」／「30 秒」

- 「呼出あり」で留守番電話サービスを設定したときは、着信中（呼出時間の設定秒数内）に電話に出ると、そのまま通話できます。また、着信中に≪転送≫をタップすると、すぐに転送できます。

留守番電話サービスを解除する

1 ≪メニュー≫→「設定」→「通話設定」→「通話サービス」→「留守番・転送電話」→「留守番・転送全て Off」→「はい」

注意

- 転送電話サービスが設定されている場合も、解除されます。

留守番電話の伝言メッセージを聞く

留守番電話サービスセンターに伝言メッセージが録音されると、その旨の通知画面が表示され、ディスプレイに が表示されます。



アイコンとメッセージでお知らせする

■ 通知画面が表示されているとき
通知をタップ→目的の履歴の

・伝言メッセージの詳細情報を確認するときは、通知画面で通知をタップ→目的の履歴を選択します。

・伝言メッセージを聞かずに通知画面を消すときは、≪閉じる≫をタップします。

■ 通知画面が表示されていないとき
（1 秒以上）→「1416」を入力→

- ガイダンスに従って数字を入力するときは、 を押してキーパッドを表示してから数字をタップします。
- 本機から伝言メッセージを聞き、ガイダンスに従ってメッセージを消去すると、ディスプレイの が消えます。

着信お知らせ機能を設定する

留守番電話サービス設定中に、電波の届かない場所や電源が入っていなかったために受けられなかった着信があったときは、SMS でお知らせします。また、通話中に留守番電話サービスセンターで伝言メッセージをお預かりした場合もお知らせします。

1 （1 秒以上）→「1414」を入力→

- 国内の固定電話から設定するときは、「090-665-1414」にかけます。

2 ガイダンスに従って操作

- 「通話サービス」の「着信お知らせ機能」からも設定できます。
- 通知された SMS は、メールではなく着信履歴として管理されます。
- 着信お知らせ機能は、通話料無料で設定できます。

使いこなしチェック!

設定

- 呼び出し時間なしで留守番電話サービスを開始する（☞P.14-6）
- 呼び出し時間を設定して留守番電話サービスを開始する（☞P.14-6）
- 留守番電話サービス／転送電話サービスを解除する（☞P.14-6）
- 留守番電話サービス／転送電話サービスの設定を確認する（☞P.14-6）
- 留守番電話の伝言メッセージを聞く（☞P.14-6）
- 着信お知らせ機能を設定する（☞P.14-7）

転送電話サービス

あらかじめ設定した転送条件(➔➔P.3-19)に従って、かかってきた電話を別の電話番号に転送します。転送は、着信種別（音声電話、TV コール）ごとに設定できます。

注意

- 転送電話サービスと留守番電話サービスを同時に利用することはできません。
- すでに留守番電話サービスを設定しているときに転送電話サービスを設定すると、留守番電話サービスは解除されます。

転送電話サービスを開始する／終了する

サービスを設定するときは転送先を指定します。「音声／ TV コール」「音声通話」「TV コール」から、それぞれ転送先を指定することができます。

1. **≪メニュー≫→「設定」→「通話設定」→「通話サービス」→「留守番･転送電話」→「転送 On」／「留守番・転送全て Off」**
   - 解除の場合は、確認メッセージが表示されますので、「はい」をタップします。手順は終了です。

注意

- 留守番電話サービスが設定されている場合も、解除されます。

2. **「音声／ TV コール」／「音声通話」／「TV コール」**
3. **「呼出なし（0 秒）」／「呼出あり（5-30 秒）」**

❹ 転送先の設定操作

■ 前回の転送先を設定するとき
「前回転送先番号」→前回の電話番号を選択

■ 電話帳から転送先を設定するとき
「電話帳」→電話帳を検索し、選択（➔P.2-21）→電話番号を選択

■ 電話番号を入力して設定するとき
「番号入力」→電話番号を入力

- 「呼出あり」で転送電話サービスを設定したときは、着信中（呼出時間の設定秒数内）に電話に出ると、そのまま通話できます。また、着信中に≪転送≫をタップすると、すぐに転送できます。

使いこなしチェック!

設定

- 転送電話サービスを設定する（☞P.14-6）
- 留守番電話サービス／転送電話サービスを解除する（☞P.14-6）
- 留守番電話サービス／転送電話サービスの設定を確認する（☞P.14-6）

割込通話サービス

サービスのご利用には、別途お申し込みが必要です。このサービスは、音声電話でのみご利用いただけます。

割込通話サービスを設定／解除する

❶ **≪メニュー≫→「設定」→「通話設定」→「通話サービス」→「割込通話」**

❷ **「On」／「Off」／「設定確認」**

- 現在の設定を確認するには操作 ❷ で「設定確認」を選択します。

割込通話を受ける

通話中に着信があったときは、割り込み音と画面表示でお知らせします。通話中の電話を保留にして、あとからかかってきた電話を受けることができます。

❶ **割り込み音が聞こえたら≪通話保留して応答≫／≪通話終了して応答≫**

- ⊂⊃を押して、電話を受けることも可能です。
- 現在の通話を保留にして、あとからかかってきた電話に出るときは≪通話保留して応答≫をタップします。
- 現在の通話を切って、あとからかかってきた電話に出るときは≪通話終了して応答≫をタップします。

❷ **相手を切り替えるときは、≪グループ通話機能≫**

❸ **通話相手の切替操作**

■ グループ通話に切り替えるとき
「グループ通話に切替」

■ 通話相手を切り替えるとき
「通話相手を切替」

■ 相手を選択して通話を切るとき
「個別に通話を終了」→通話を切りたい相手の☎

■ すべての通話を切るとき
「全ての相手と終話」

- 割込通話中に通話中の相手が電話を切ったときは、≪再開≫をタップすると、保留にしていた相手との通話になります。
- 転送電話サービスや留守番電話サービスを設定している場合に割り込みに応答しなかったときは、転送先または留守番電話サービスセンターに転送されます。転送条件を「呼出なし」に設定していると、割込通話サービスをご利用になれません。

使いこなしチェック!

設定

- 割込通話サービスを開始/解除する（☞P.14-6）
- 割込通話サービスの設定を確認する（☞P.14-7）

グループ通話サービス

サービスのご利用には、別途お申し込みが必要です。最大 6 人まで同時に通話できます。

通話中に別の相手に電話をかける

相手につながると、それまで通話していた相手は保留になります。

1 通話中に「ダイヤル」→電話番号を入力

- 電話帳から選択するときは、「電話帳検索」→電話帳を検索し、選択（➲P.2-21）→電話番号を選択します。

2 ⊂⊃ /≪発信≫→つながったら通話

- 3 人目以降に電話をかける場合は、グループ通話中でのみ可能です（保留中の相手がいるときはできません）。

通話相手を切り替える

1 複数の相手と通話中に≪グループ通話機能≫→「通話相手を切替」

- 通話中の相手が電話を切っても、保留中の相手は保留状態のままです。保留中の相手と通話するには、「保留」をタップして保留を解除します。

すべての相手と通話する

1 複数の相手と通話中に≪グループ通話機能≫→「グループ通話に切替」

- 個別通話に切り替えるには、通話中に≪グループ通話機能≫→「個別通話に切替」→通話したい相手の[icon]をタップします。

- すべての通話を切るには、通話中に≪グループ通話機能≫をタップして「全ての相手と終話」を選択します。
- グループ通話中に相手が電話を切ったときは、残された相手との通話になります。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.3-32

● グループ通話中に相手を選択して通話を切りたい

設定

● TV コール中の保留画像をお買い上げ時の画像に設定する（☞P.14-9）

発着信規制サービス

音声電話や TV コールの発着信、SMS の送受信を、次の規制内容で制限できます。

設定項目		内　容
発信規制		
	全発信規制	緊急通話以外、電話をかけられない、または SMS を送信できないようにします。
	滞在国以外規制	滞在国以外へ電話をかけられない、または SMS を送信できないようにします。
	日本／滞在国以外規制	滞在国と日本以外の国へ、国際電話をかけられない、または SMS を送信できないようにします。
着信規制		
	全着信規制	すべての電話を受けられない、または SMS を受信できないようにします。
	国際着信規制	滞在国以外からの電話を受けられない、または SMS を受信できないようにします。

- 設定時には、発着信規制用暗証番号（ご契約時の 4 桁の暗証番号）の入力が必要です。発着信規制用暗証番号は変更することもできます（➲P.3-25）。
- 発信規制中に電話をかけようとすると、発信規制中である旨のメッセージが表示されます。お客様がご利用になる地域によっては、表示されるまでに時間がかかることがあります。

注意

- 発着信規制用暗証番号の入力を 3 回続けて間違えると、発着信規制サービスの設定や解除ができなくなります。この場合は、発着信規制用暗証番号と交換機用暗証番号の変更が必要となりますので、ご注意ください。詳しくは、お問い合わせ先(➲P.15-28)までご連絡ください。
- 転送電話サービスまたは留守番電話サービスを開始しているときは、「全発信規制」および「全着信規制」はご利用になれません（転送電話サービスまたは留守番電話サービスが優先されます）。

発信規制／着信規制を設定／解除する

発信規制および着信規制は、通話や通信の種別ごとに設定できます。

1 ≪メニュー≫→「設定」→「通話設定」→「通話サービス」→「発着信規制」

2 規制内容の選択操作

■ 発信規制を選択するとき
「発信規制」→「全発信規制」／「滞在国以外規制」／「日本／滞在国以外規制」

■ 着信規制を選択するとき
「着信規制」→「全着信規制」／「国際着信規制」

3 「On」／「Off」

4 規制暗証番号を入力→≪ OK ≫

発着信規制の制限をすべて解除する

発信規制および着信規制の制限をすべて解除します。

1 ≪メニュー≫→「設定」→「通話設定」→「通話サービス」→「発着信規制」

2 「規制全停止」

3 規制暗証番号を入力→≪ OK ≫→「はい」

発着信規制の設定状況を確認する

1 ≪メニュー≫→「設定」→「通話設定」→「通話サービス」→「発着信規制」

2 「設定確認」→「全発信規制」／「滞在国以外規制」／「日本／滞在国以外規制」／「全着信規制」／「国際着信規制」

発着信規制用暗証番号を変更する

1 ≪メニュー≫→「設定」→「通話設定」→「通話サービス」→「発着信規制」→「規制暗証番号」

2 現在の規制暗証番号を入力→≪ OK ≫

3 新しい規制暗証番号を入力→≪ OK ≫

4 もう一度新しい規制暗証番号を入力→≪ OK ≫

使いこなしチェック!

設定

- 発信規制を設定する（☞P.14-7）
- 着信規制を設定する（☞P.14-7）
- 発着信規制の制限をすべて解除する（☞P.14-7）
- 発着信規制の設定を確認する（☞P.14-7）
- 発着信規制用暗証番号を変更する（☞P.14-7）

発信者番号通知サービス

お客様の電話番号を相手に通知するかどうか設定するサービスです。

発信者番号の通知／非通知を設定する

1. ≪メニュー≫→「設定」→「通話設定」→「発信者番号通知」
2. 「通知する」／「通知しない」

- 操作 1 のあと、「設定確認」を選択すると現在の設定を確認できます。
- 本サービスの設定にかかわらず、発信するごとに電話番号を通知／非通知にできます（➲P.3-26）。

使いこなしチェック!

設定

● 発信者番号の通知／非通知を設定する（☞P.14-11）

便利な機能

便利

電話に関する便利な機能

入力した電話番号を電話帳に登録したい 【電話帳登録】

（1 秒以上）→電話番号全桁（市外局番を含む）を入力→≪電話帳登録≫→（➲P.2-28 電話番号を入力してから登録したい）

入力した電話番号を宛先としたメールを作成したい 【メール作成】

（1 秒以上）→電話番号全桁を入力→≪その他≫→「メール作成」→「S! メール」／「SMS」→（➲P.4-4 S! メールを作成･送信する 5、P.4-7 SMS を作成･送信する 5）

日本から国際電話をかけたい 【国際発信】

（1 秒以上）→電話番号全桁（市外局番を含む）を入力→「国際発信」→発信先の国を選択／「ユーザ入力」を選択して国番号を入力→電話番号を確認→

- 海外にいる相手のソフトバンク携帯電話へは、相手のいる国にかかわらず電話番号だけでかけることができます。

自分の電話番号を通知するかどうかを設定して電話をかけたい 【番号非通知】／【番号通知】

（1 秒以上）→電話番号全桁（市外局番を含む）を入力→≪その他≫

■ 番号を非通知にするとき

「番号非通知」→

■ 番号を通知するとき

「番号通知」→

- 指定しない場合は、発信者番号通知サービスの設定に従います。
- （1 秒以上）→「186」を入力→相手の電話番号を入力→ と操作しても、通知して電話をかけることができます。
- （1 秒以上）→「184」を入力→相手の電話番号を入力→ と操作しても、非通知で電話をかけることができます。

着信中の電話に応答せず、着信を拒否して電話を切りたい 【拒否】

着信中に≪拒否≫

- 拒否した電話は、着信拒否履歴として記録されます。
- 転送電話サービスまたは留守番電話サービスをご利用になっていない場合は、着信中に≪転送≫をタップすると、着信を拒否します。このとき相手のディスプレイには、こちらがお話し中である旨のメッセージが表示されます。ただし、相手がこの機能に対応していない場合は、メッセージ表示されません。

通話中に相手の声の音量を調節したい

通話中に ▲／▼

- 受話口やイヤホンマイク（オプション品）のイヤホンから聞こえる相手の声の大きさを調節できます。変更した音量は、電源を切っても保持されています。

音声の送信を設定したい　【ミュート】

通話中に「ミュート」

- 通常の通話に切り替えるときは通話中にもう一度「ミュート」をタップします。

通話中にスピーカーホン通話に切り替えたい　【スピーカー】

通話中に「スピーカー」

- 通常の通話に切り替えるときは通話中にもう一度「スピーカー」をタップします。

通話を保留にしたい　【保留】

通話中に「保留」

- 保留中は相手に保留音が流れ、双方の声が聞こえなくなります。保留操作を行うには、割込通話サービスまたはグループ通話サービスのお申し込みが必要です。
- 通話に戻るときはもう一度「保留」をタップします。

小さい声で通話したい　【ささやき】

通話中に「ささやき」

- 「ささやき」に設定すると、小さい声でも相手に大きな音声で伝えられます。
- 通常の通話に切り替えるときは通話中にもう一度「ささやき」をタップします。

ヘッドセットでの通話と本体での通話を切り替えたい　【ヘッドセット】

通話中に「ヘッドセット」

- Bluetooth® 対応のヘッドセットをご利用の場合に切り替えることができます。

通話中に電話帳を検索したい　【電話帳】

通話中に≪メニュー≫→「電話帳」→（➔P.2-21 電話帳を検索する ❸）

通話中にメールを作成したい　【メール】

通話中に≪メニュー≫→「メール」→「メール作成」／「SMS新規作成」→（➔P.4-4 S! メールを作成・送信する ❷、P.4-7 SMS を作成・送信する ❷）

通話中にプッシュトーンを送信したい　【プッシュトーン送信】

通話中に≪プッシュトーン送信≫→ダイヤルキーをタップ→≪送信≫

- 電話帳から検索するには、≪プッシュトーン送信≫をタップしたあと、≪電話帳検索≫をタップします。

通話中に相手の声を録音したい　【音声録音】

通話中に「音声録音」→■

- 通話中にボイスレコーダーを利用して、相手の声を録音できます。最長 2 分間録音できます。
- 録音中に一時停止する場合は❚❚をタップします。録音を再開する場合は●、一時停止したところまで保存する場合は≪保存≫をタップします。
- 録音された音声ファイルは、データフォルダの「着うた・メロディ」フォルダに保存されます。
- 割込通話サービスをご利用の場合、録音中に他の相手から電話がかかってくると、録音を終了して着信画面を表示します。
- 録音中に電話が切れると録音が自動的に終了し、音声が保存されます。

通話中にメモを作成したい　【メモ】

通話中に≪メニュー≫→「メモ帳」→「新規作成」→メモを入力→項目を選択

便利

TVコールに関する便利な機能

自分の電話番号を通知するかどうかを設定してTVコールをかけたい

[番号非通知]／[番号通知]

（1秒以上）→電話番号全桁（市外局番を含む）を入力→≪その他≫

■ **番号を非通知にするとき**

「番号非通知」→≪TVコール≫

■ **番号を通知するとき**

「番号通知」→≪TVコール≫

- （1秒以上）→「186」を入力→相手の電話番号を入力→≪TVコール≫と操作しても、通知して電話をかけることができます。
- （1秒以上）→「184」を入力→相手の電話番号を入力→≪TVコール≫と操作しても、非通知で電話をかけることができます。

外側カメラ／内側カメラを切り替えたい

TVコール中に

自画像の送信を一時停止／再開したい

TVコール中に／

自画像を拡大／縮小したい

TVコール中に→ズームを調整

送信する映像の明るさを調節したい

TVコール中に→明るさを調節

送信する映像の色調を調節したい

TVコール中に→項目を選択

音声の送信を設定したい

[ミュート]／[ミュートオフ]

TVコール中に≪ミュート≫／≪ミュートオフ≫

スピーカーホン通話と本体での通話を切り替えたい

[スピーカーOn]／[スピーカーOff]

TVコール中に≪スピーカーOn≫／≪スピーカーOff≫

- 「スピーカーOn」にする場合は確認メッセージが表示されます。「はい」を選択するとスピーカーホン通話に切り替わります。
- TVコール中に≪その他≫→「設定」→「スピーカー」の「On」／「Off」と操作しても、スピーカーホン通話に切り替えることができます。

TVコール通話を保留にしたい **[保留]**

TVコール中に≪保留≫

- 保留中は代替画像が送信され、双方の音声が聞こえなくなります。
- 通話に戻るときは、保留中に≪再開≫をタップします。

送信する画像を切り替えたい

[自画像切替]

TVコール中に≪その他≫→「自画像切替」

■ **自画像に切り替えるとき**

「カメラ」

■ **代替画像に切り替えるとき**

「代替画像」

■ **送信する画像を選択するとき**

「画像送信」→「ピクチャー」→送信したい画像を選択→≪OK≫

- メモリカードを取り付けているときは、「デジタルカメラ」フォルダからもファイルを選択できます。

TVコール中の画像の表示を切り替えたい **[表示切替]**

TVコール中に≪その他≫→「表示切替」

- 相手画像を大きく自画像を小さく表示したり、相手画像を小さく自画像を大きく表示したり切り替えることができます。

相手画像を一時停止／再生したい

[相手画像一時停止]／[相手画像再生]

TVコール中に≪その他≫→「相手画像一時停止」／「相手画像再生」

ヘッドセットでの通話と本体での通話を切り替えたい

[ヘッドセットで通話]／[本体で通話]

TV コール中に≪その他≫→「ヘッドセットで通話」／「本体で通話」

- Bluetooth® 対応のヘッドセットをご利用の場合に切り替えることができます。

自画像の代わりに送信する画像を設定したい

TV コール中に≪その他≫→「設定」→「代替画像」

■ **お買い上げ時の画像に戻すとき**

「固定データ」→≪ OK ≫

■ **データフォルダから画像を選択するとき**

「ピクチャー」→送信したい画像を選択→≪ OK ≫

- メモリカードを取り付けているときは、「デジタルカメラ」フォルダからもファイルを選択できます。

TV コール中の相手画像の画質を調整したい

TV コール中に≪その他≫→「設定」→「受信画質」→項目を選択

TV コール中の自画像の画質を調整したい

TV コール中に≪その他≫→「設定」→「送信画質」→項目を選択

通話／応答保留中に送信する画像を設定したい

TV コール中に≪その他≫→「設定」→「保留設定」→「通話中保留」／「応答保留」

■ **お買い上げ時の画像に戻すとき**

「固定データ」→≪ OK ≫

■ **データフォルダから画像を選択するとき**

「ピクチャー」→送信したい画像を選択→≪ OK ≫

- メモリカードを取り付けているときは、「デジタルカメラ」フォルダからもファイルを選択できます。

音声を送信するかどうか設定したい

TV コール中に≪その他≫→「設定」→「私の音声ミュート」の「On」／「Off」

- 現在通話中の TV コールには設定が反映されません。次回の TV コールから設定が反映されます。

TV コール中のバックライトの明るさを設定したい

TV コール中に≪その他≫→「設定」→「バックライト」の「On」／「Off」

- TV コール中のディスプレイの明るさを設定します。「Off」に設定するとディスプレイは「On」の設定時より暗くなります。

再発信方法を設定したい

TV コール中に≪その他≫→「設定」→「再発信方法」→項目を選択

指定した相手からの TV コール着信を自動で受けたい

TV コール中に≪その他≫→「設定」→「自動応答」→「On/Off 設定」の「On」／「Off」

指定した相手から TV コールの着信があったときに、通知音でお知らせして自動的に電話を受けることができます。

TV コール着信を自動で受ける相手を指定したい **[追加]**

TV コール中に≪その他≫→「設定」→「自動応答」→「自動応答リスト」→≪追加≫

■ **電話帳から選択するとき**

「電話帳」→操作用暗証番号を入力→≪OK≫→電話帳を検索し、選択(➔P.2-21)→電話番号を選択

■ **通話履歴から選択するとき**

「通話履歴」→操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫→「着信履歴」／「発信履歴」→指定したい履歴を選択

■ **電話番号を直接入力するとき**

「直接入力」→操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫→電話番号を入力

- 指定した相手から TV コールの着信があったときに、通知音でお知らせして自動的に電話を受けることができます。

TV コール着信の自動応答に指定した相手を削除したい **[削除]**

TVコール中に≪その他≫→「設定」→「自動応答」→「自動応答リスト」→≪削除≫→削除したい電話番号をチェック→≪削除≫→「はい」

TV コール発信時に自画像を送信するかどうか設定したい

TV コール中に≪その他≫→「設定」→「自画像送信」の「On」／「Off」

- 現在通話中の TV コールには設定が反映されません。次回の TV コールから設定が反映されます。

TV コール中に電話帳を検索したい　【電話帳】

TV コール中に≪その他≫→「電話帳」→（➲P.2-21 電話帳を検索する ❸）

通話中にメールを作成したい　【メール作成】

TV コール中に≪その他≫→「メール作成」→「S! メール」／「SMS」→（➲P.4-4 S! メールを作成･送信する ❷、P.4-7 SMS を作成･送信する ❷）

相手の電話番号が登録されている電話帳の詳細画面を確認したい

TV コール中に≪その他≫→「電話帳」→（➲P.2-21 電話帳を検索する ❸～❺）→相手を選択

プッシュトーンを送信したい　【プッシュトーン送信】

TV コール中に≪その他≫→「プッシュトーン送信」→ダイヤルキーをタップ→≪送信≫

- 電話帳の番号から送信するときは、「プッシュトーン送信」を選択したあと、≪電話帳検索≫→電話帳を検索し、選択（➲P.2-21）→電話番号を選択します。

TV コール中にメモを作成し、保存したい　【メモ】

TV コール中に≪その他≫→「メモ」→メモを入力→項目を選択→≪保存≫

便利

通話履歴に関する便利な機能

通話履歴からメールを作成したい

⊂⊃ →「着信履歴」／「発信履歴」→宛先にしたい履歴を選択→[✉]→「S! メール」／「SMS」→（➲P.4-4 S! メールを作成･送信する ❺、P.4-7 SMS を作成･送信する ❺）

通話履歴の電話番号に国際コードと国番号を付加して国際電話をかけたい

⊂⊃ →「着信履歴」／「発信履歴」→目的の履歴を選択→[📞]→「国際発信」→発信先の国を選択／「ユーザ入力」を選択して国番号を入力→発信元を選択→電話番号を確認→ ⊂⊃

通話履歴から自分の電話番号を編集して電話をかけたい

⊂⊃ →「着信履歴」／「発信履歴」→目的の履歴を選択→[📞]→「コピーしてダイヤル」→ ⊂⊃

通話履歴の電話番号が登録されている電話帳の詳細画面を確認したい　【電話帳詳細】

⊂⊃ →「着信履歴」／「発信履歴」→確認したい履歴を選択→≪電話帳詳細≫

通話履歴の電話番号を電話帳に登録したい　[電話帳登録]

⊂⊃→「着信履歴」／「発信履歴」→登録したい履歴を選択→≪電話帳登録≫→(➲P.2-21 通話履歴から電話帳を登録する ❹)

通話履歴の電話番号を着信拒否リストに追加したい　[拒否リスト追加]

⊂⊃→「着信履歴」／「発信履歴」→着信拒否リストに追加したい履歴を選択→≪拒否リスト追加≫→「はい」

便利

オーナー情報に関する便利な機能

オーナー情報の内容を編集したい　[編集]

≪電話≫→「オーナー情報」→≪編集≫→(➲P.2-20 電話帳に登録する ❷)

オーナー情報をvファイルに変換して送信したい　[送信]

≪電話≫→「オーナー情報」→≪送信≫

■ メールで送信するとき

「メール添付」→(➲P.4-4 S! メールを作成・送信する ❷)

■ Bluetooth® で送信するとき

「Bluetooth」→(➲P.13-8 データを送信する ❷)

■ 赤外線で送信するとき

「赤外線通信」(➲P.13-4)

オーナー情報をリセットしたい　[リセット]

≪電話≫→「オーナー情報」→≪その他≫→「リセット」→「はい」

- USIM カードに登録されている電話番号を除くすべてのオーナー情報がリセットされます。

vファイルを作成してオーナー情報をデータフォルダに保存したい　[データフォルダに保存]

≪電話≫→「オーナー情報」→≪その他≫→「データフォルダに保存」→「本体」／「メモリカード」→「はい」

- メモリカードを取り付けているときは、「メモリカード」を選択できます。

Bluetooth® 対応のプリンタでオーナー情報を印刷したい　[Bluetooth で印刷]

≪電話≫→「オーナー情報」→≪その他≫→「Bluetooth で印刷」→(➲P.7-15 Bluetooth® 経由でプリントする ❹)

便利

グループ通話サービスに関する便利な機能

グループ通話中に相手を選択して通話を切りたい　【個別に通話を終了】

グループ通話中に≪グループ通話機能≫→「個別に通話を終了」→通話を切りたい相手の

グループ通話中にすべての通話を保留にしたい　【保留】

グループ通話中に≪グループ通話機能≫→「全て保留」

- 保留を解除するには、≪グループ通話機能≫→「再開」を選択します。

メール

4

4

メール

2種類のメールコミュニケーション

本機では、S! メールとSMSの2種類のメールを利用できます。
S! メールと使うと、デコレメールなどを利用することもできます。
この章では、メールの利用方法と管理方法について説明します。

S! メールとSMS

本機では、S! メールとSMSをご利用できます。
S! メールは、長いメッセージを送信するときやソフトバンク携帯電話以外とメールするときに利用します。
S! メールを使うと、メッセージをデコレーションしたり、画像を添付することもできます。

注意

S! メールを利用にする場合は、別途ご契約が必要です。

SMSは、ソフトバンク携帯電話と短いメッセージでメールするときに利用します。

		S! メール[1]	SMS
入力できる項目	宛先	○	○
	件名	○	×
	添付ファイル	○	×
	本文	○	○
送信できる最大文字数		全角で約15,000文字 半角で約30,000文字 (30Kバイトまで)[2]	全角で70文字 半角で70文字 半角英数記号で160文字[3]
送信できる相手		ソフトバンク携帯電話 ソフトバンク以外の携帯電話 パソコン	ソフトバンク携帯電話
送信できるもの		長い文字メッセージ、画像 サウンド、デコレメール フィーリングメール[4]	短い文字メッセージ

1 宛先や件名、メッセージ、添付ファイルなどを含めたメールサイズの合計は300Kバイトです(返信または転送するメールも同様)。

2 添付ファイルのサイズなどにより、送信できる文字数は変わります。

3 「文字コード」(➲P.14-17)を「英語」に設定したときの文字数です。

4 フィーリングメール対応機種間でのみ利用できます。

注意

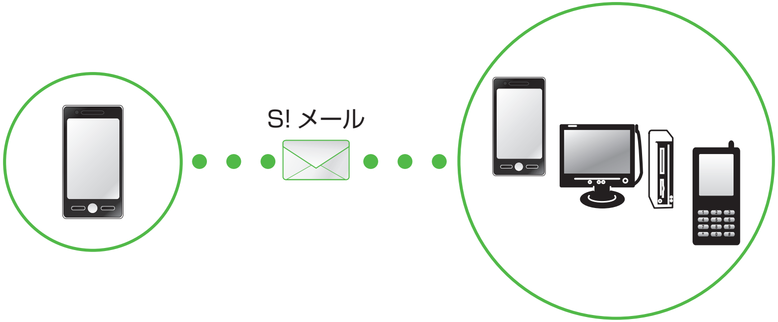
- 本機で作成したメールは、相手側の携帯電話によっては本機と同様に表示されない場合があります。
- 本文にハングルを含むS! メールやSMSを受信した場合は、ハングルを表示できます。ただし、ハングルの入力はSMSの本文にのみできます。
- S! メールで、本文にハングルを含む受信メールを返信/転送すると、ハングルが削除されます。
- SMSの本文をハングルで入力して送信した場合、相手側の携帯電話によっては入力した文字が削除されたりスペースとして表示されるときがあります。

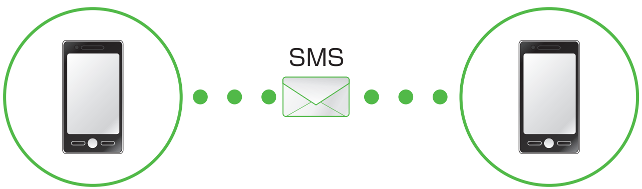
メール利用の流れ

注意

S! メールを利用する場合、メールアドレスの登録が必要となります。

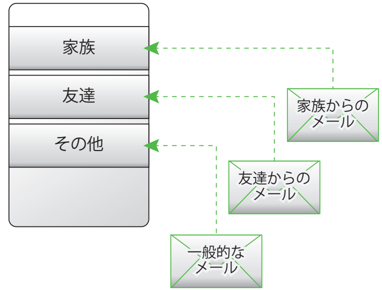
メールの送受信の流れは次のとおりです。





メールはフォルダで管理

振り分けルールを登録しておくと、メールが自動的に振り分けられます(➲P.4-18)。



E メールアドレスの登録／変更

ご契約時の E メールアドレスのアカウント名（@ より前の部分）は、ランダムな英数字に設定されています。アカウント名はお好きな文字に変更することができます。
E メールアドレス変更の詳細については、ソフトバンクモバイルホームページ（http://www.softbank.jp）でご確認ください。

パソコンなどからメールを受信するときに使用する E メールアドレスのアカウント名を変更できます。

1 ≪メール≫→「設定」→「メール・アドレス設定」

2 画面の指示に従って操作

- E メールアドレスの変更が完了すると、ソフトバンクより E メールアドレス変更の完了通知が届きます。

3 ≪メール≫→「受信ボックス」→フォルダを選択→ Information からのメールを選択→「はい」／「いいえ」

メール作成・送信

作成・送信したメールは、用途に応じてフォルダに振り分けられて管理されます。
たとえば送信したメールは、送信済みボックスに保存されます。
また、作成中のメールは、下書きに保存できます。
S! メールと SMS の作成・送信方法、デコレメールの作成方法、ファイルの添付方法について説明します。

S! メールを作成・送信する

ここでは例として、電話帳に登録している相手に S! メールを送信します。

> **注意**
> - S! メールではハングルの表示はできますが、入力や送信はできません。

1 ≪メール≫→「メール作成」



S!メール作成画面

2 宛先欄をタップ

3 「電話帳」→電話帳を検索し、送信したい宛先を選択
（➲P.2-21 電話帳を検索する❸）

4 電話番号／ E メールアドレスを選択

5 件名欄をタップ→件名を入力

6 ファイルを添付する場合は、添付欄をタップ（➲P.4-5）

7 本文入力欄をタップ→本文を入力

8 ≪送信≫

- 「番号入力」／「アドレス入力」／「グループ」／「送受信履歴」からも相手に S! メールを送信することができます。
- 待受画面で≪メール≫をホールドしても S! メール作成画面を呼び出すことができます。
- S! メールの宛先には電話番号または E メールアドレスを入力します。入力できる宛先の件数は最大 20 件です。
- 宛先、件名、本文のいずれかを入力した状態、またはファイルを添付した状態で CLEAR ／ [ボタン] を押すとメール作成の終了を確認するメッセージが表示されます。「はい」を選択するとただちにメール作成を終了します。CLEAR を押した場合は、「保存」を選択すると作成中のメールが下書きに保存されます。
- 送信したメールは送信済みボックス、または未送信ボックスに保存されます。送信済みボックスの「自動削除設定」(➔P.14-15) を「On（自動削除）」に設定している場合、メール送信時のメモリ容量がいっぱいになると、自動的に日時の古いメールから順に削除されます（保護されたメールを除く）。ただし、未送信ボックスがいっぱいのときや自動削除できない場合はメッセージが表示されるので、不要なメールを削除してから再度送信します。
- 作成中の S! メールのサイズは、S! メール作成画面の右上に表示されます。

ファイルを添付する

ファイルを添付する画像や動画、サウンドを選択して添付できるほか、電話帳やカレンダー、予定リスト、オーナー情報の登録内容を vCard 形式や vCalendar 形式にして添付できます。
S! メールに添付できるファイルのサイズは、宛先や件名、メッセージなどを含めて 300K バイトまでです。
1 通の S! メールに添付できるファイルの数は 20 個までです。

1 ≪メール≫→「メール作成」→添付ファイル欄をタップ

2 ファイルの添付操作

■ データフォルダ内のファイルを添付するとき
「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→添付したいファイルを選択
・画像のリサイズ画面が表示されたときは、サイズを選択してください。

■ カメラで撮影した画像を添付するとき
「カメラ起動」→静止画を撮影

■ ビデオカメラで撮影した動画を添付するとき
「ビデオカメラ起動」→動画を撮影

■ 電話帳の登録内容を vCard 形式で添付するとき
「電話帳データ」→電話帳を検索し、添付したい電話帳を選択(➔P.2-21)→≪追加≫

■ カレンダー／予定リストの登録内容を vCalendar 形式で添付するとき
「カレンダーデータ」→プルダウンメニューから「スケジュール」／「予定リスト」→添付したい登録内容を選択

■ メモ帳の登録内容を VNT 形式で添付するとき
「メモ帳」→添付したい登録内容を選択

■ オーナー情報の登録内容を vCard 形式で添付するとき
「オーナー情報引用」→≪追加≫

- ファイルを追加するには、添付ファイル欄をタップし、「ファイル追加」を選択して操作 2 を繰り返します。
- ファイルを添付すると、添付ファイル表示画面にファイルの種別を示すアイコンとファイル名が表示されます。

：画像	：サウンド
：動画	：vCalendar
：vCard	
：上記以外のファイル	

4 メール

注意

- メールを送信する相手によっては、添付したファイルを受信できない場合がありますのでご注意ください。ソフトバンク携帯電話が対応するファイルについては、ソフトバンクモバイルホームページ（http://www.softbank.jp）でご確認ください。
- S! メールで動画を添付するときは、「動画撮影」(➲P.7-10)で撮影したファイルを選択してください。送信できない動画を添付しようとした場合、添付できないという旨のメッセージが表示されます。
- オーナー情報の登録内容を添付する場合に、趣味の情報は添付できません。

本文をデコレメールに編集する

ここでは例として、次のとおりに設定します。

- 文字サイズ、背景色を変更
- データフォルダの画像、絵文字を挿入
- 文字を左右に移動表示（スクロール）
- 他の項目については、「S! メール送信に関する便利な機能」(➲P.4-19)を参照してください。

1 ≪メール≫→「メール作成」→本文入力欄をタップ

2 ≪その他≫→「デコレメール」



デコレメール
作成画面

3 「サイズ」→「大」／「標準」／「小」→本文を入力

- 続けて他の設定をするときは、≪装飾≫をタップして操作します。

4 ≪装飾≫→「背景」

5 背景色を選択

6 ≪装飾≫→「画像」

7 「ピクチャー」→ファイルを選択

- メモリカードを取り付けているときは、「デジタルカメラ」フォルダからファイルを選択することができます。
- 画像を撮影して挿入するときは「カメラ起動」を選択します。
- メモリカードを取り付けているときは、「ピクチャー」を選択したあとに をタップすると、メモリカードからファイルを選択することができます。

8 ≪装飾≫→「マイ絵文字」→絵文字を選択

9 ≪装飾≫→≪範囲選択≫→装飾する最初の箇所をタップ→≪始点≫→装飾する最後の箇所をタップ→≪終

点≫→「効果」

⑩「スクロール」

⑪「右から左へ」／「スイング」

• 1 つ前の状態に戻すには、デコレメール作成画面で「戻す」をタップします。
• 装飾をすべてやり直すには、デコレメール作成画面で「解除」をタップし、「はい」を選択します。
• 「手書き入力」は利用できません。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.4-19

- 送受信履歴の詳細を確認したい
- 送受信履歴を削除したい
- S! メールに情報を挿入したい
- S! メールの本文を作成中にカーソルを文頭／文末に移動させたい
- S! メールの本文を作成中にユーザー辞書登録したい
- S! メールの本文を作成中に文字の入力／変換設定をしたい
- 作成中の S! メールを下書きに保存したい
- フィーリングメールを送信したい
- フィーリング設定を解除したい
- 「アクション設定」を設定したメールを送信したい
- 送信前にデルモジ表示を確認したい
- 入力した本文をすべて削除したい
- デコレーションを確認したい
- デコレメールテンプレートを登録したい
- テンプレートを利用して S! メールを作成したい

設定

- 配信レポートの送信を設定する（☞P.14-13）
- 署名を設定する（☞P.14-16）
- 署名を編集する（☞P.14-16）
- 送信済みボックスのメールの自動削除を設定する（☞P.14-15）
- 送信中の進行状況表示を設定する（☞P.14-13）
- 送信の進行状況を表示しない場合の送信の結果表示を設定する（☞P.14-13）
- 送信メールの優先度を設定する（☞P.14-16）
- 送信メールのメールサーバへの保存期間を設定する（☞P.14-16）
- 送信メールをメールサーバから相手に配信する時間を設定する（☞P.14-16）
- 返信先を設定する（☞P.14-13）
- 返信先アドレスを設定する（☞P.14-13）
- メール本文の文字サイズを変更する（☞P.14-5）

SMS を作成・送信する

ここでは例として、電話帳に登録している相手に SMS を送信します。

1 ≪メール≫→「SMS 新規作成」



SMS作成画面

2 宛先欄をタップ

3 「電話帳」→電話帳を検索し、選択（➲P.2-21 電話帳を検索する ③）

4 電話番号を選択

5 本文入力欄をタップ→本文を入力

6 ≪送信≫

- SMSの宛先には電話番号を入力します。入力できる宛先の件数は最大20件です。
- SMSの本文で送信可能な文字数(➔P.4-2)を超えた場合、S!メールに変更する確認メッセージが表示されます。「はい」を選択するとS!メールに切り替わります。本文にハングルが含まれている場合は、ハングルを削除する旨の確認メッセージが表示されます。「はい」を選択するとハングルが削除されたS!メールに切り替わります。
- 送信したSMSは送信済みボックス、または未送信ボックスに保存されます。送信済みボックスの「自動削除設定」(➔P.14-15)を「On(自動削除)」に設定している場合、メール送信時のメモリ容量がいっぱいになると、自動的に日時の古いメールから順に削除されます(保護されたメールを除く)。ただし、未送信ボックスがいっぱいのときや自動削除できない場合はメッセージが表示されるので、不要なメールを削除してから再度送信します。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.4-23

- 送受信履歴の詳細を確認したい
- 送受信履歴を削除したい
- SMSに情報を挿入したい
- SMSの本文を作成中にユーザー辞書登録したい
- SMSの本文を作成中に文字の入力/変換設定をしたい
- 作成中のSMSを下書きに保存したい
- 作成中のSMSをS!メールに変更したい
- 送信前にデルモジ表示を確認したい
- 入力した本文をすべて削除したい

設定

- 配信レポートの送信を設定する(☞P.14-13)
- 送信中の進行状況表示を設定する(☞P.14-13)
- 送信の進行状況を表示しない場合の送信の結果表示を設定する(☞P.14-13)
- メールサーバへの保存期間を設定する(☞P.14-17)
- SMSセンター番号を設定する(☞P.14-17)
- 文字コードを変更する(☞P.14-17)

テンプレートを使ってメールを作成・送信する

ここでは例として、電話帳に登録している相手にテンプレートを使ってメールを送信します。

1 **≪メール≫→「デコレメールテンプレート」→デコレメールテンプレートを選択→≪メール≫**

2 **メールの送信方法(➔P.4-4 S!メールを作成・送信する 2 ～ 8)**

メール受信・確認／返信／転送

メールの受信方法には、主に自動受信と手動受信があります。
自動受信は、メール全文が自動的にお客様の機器に送られる受信方法です。
手動受信は、メールの一部分が自動的にお客様の機器に送られる受信方法です。
メール全文を受信するためには、続きを受信する必要があります。
新着メールを受信すると待受画面上に届いたメールが表示されます。見たいメールを選択することで内容を表示できます。
受信したメールは、受信ボックスに保存されます。
メールの受信／確認／返信／転送手順について説明します。

新着メールを確認する

メールを受信すると、待受画面に新着メール受信の通知画面が表示され、受信件数が表示されます。

- S! メールでは、添付ファイルを含む全文が自動的に受信されます。お客様のご契約の内容により、所定の料金が発生いたしますので、ご注意ください。自動受信しないように設定することもできます（➔P.4-10）。



受信の通知画面

1 **通知をタップ**



メッセージ画面（S!メールの場合）

- デルモジ表示設定の確認メッセージが表示されたときは、必要に応じて「常に表示」／「未読のみ表示」／「表示しない」を選択します。

- デルモジ
  デルモジとは、新着または未読のメールを確認するとメッセージが単語や絵文字、顔文字などに合わせた3Dアニメーションで表示されることです。「デルモジ表示設定」(➲P.14-14)を「表示しない」以外に設定している場合、メッセージがデルモジ表示されます。デルモジ表示が終了するか、デルモジ表示中に≪停止≫をタップすると、メッセージ画面が表示されます。各種操作を行う場合は、メッセージ画面が表示されてから操作してください。
- ファイルが添付されている場合は、メールの一番下にファイル名やサムネイルが表示されます。
- 待受画面以外を表示中にメールを受信すると、ディスプレイ最上段に受信件数と差出人の電話番号またはEメールアドレス（電話帳に登録されている場合は、登録した名前）などがスクロールして表示されます。スクロールが終了すると、ディスプレイ最上段に✉が表示されます(➲P.1-4、P.14-13)。
- 配信レポートを受信すると、ディスプレイ最上段に📄が点滅したあと表示が消えます。待受画面には配信レポート受信の通知画面が表示されます。

- 受信したメールは受信ボックスに保存されます。受信ボックスの「自動削除設定」(➲P.14-15)を「On(自動削除)」に設定している場合、メール受信時のメモリ容量がいっぱいになると、自動的に日時の古いメールから順に削除されます（保護されたメールを除く）。自動削除ができない場合はメッセージが表示されるので、不要なメールを削除してから再度受信します。

注意

- 海外でのご利用時に「受信設定」の「ローミング自動受信」を「自動受信」に設定すると、メール通信料が高額になる場合がありますので、ご注意ください。お買い上げ時は「自動受信」に設定されています(➲P.14-16)。「自動受信」では、お客様の携帯電話に送信されたメール（電話番号宛、Eメールアドレス宛ともに）は自動的に全文受信されます。

メールを手動で受信する

S!メールの「受信設定」(➲P.14-16)を「手動取得」に設定している場合は、受信したS!メールがメールサーバに一時保存され、メッセージの一部が受信通知としてお客様の本機に送信されます。続きはメールサーバから受信する必要があります。

1 ≪メール≫→「受信ボックス」

2 フォルダを選択→受信通知を選択



3 「続きを受信」をタップ

- メール一覧画面に表示される受信通知のアイコン
  未読の受信通知
  ：優先度高
  ：優先度標準
  ：優先度低
  既読の受信通知
  ：優先度高
  ：優先度標準
  ：優先度低

メール一覧からメールを表示する

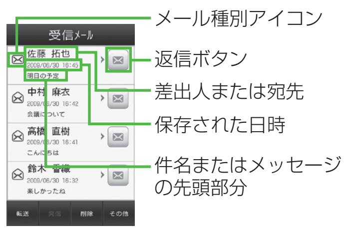
受信ボックスや下書き、送信済みボックス、未送信ボックスのメール一覧画面から、メッセージを確認できます。

1 ≪メール≫→「受信ボックス」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択



メールフォルダ一覧画面（受信ボックスの場合）

2 メールを選択



メール一覧画面（受信ボックスの場合）

- 「シークレット設定」を設定したフォルダは、セキュリティ設定のシークレットモードが「表示しない」に設定されていると確認できません。確認するには、≪その他≫→「シークレット一時解除」→操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫→フォルダを選択します。
- 画面をスクロールしたり、メール内の電話番号などを反転表示するには／／／をタップします。「選択」をタップすると、反転表示した項目を選択します。
- メッセージ画面で／をタップするか、右／左にスクロールすると、前後のメールのメッセージ画面に切り替わります。
- 受信ボックスや下書き、送信済みボックス、未送信ボックスにデータがない場合は「メールはありません」と表示されます。

- **受信ボックスのメール一覧画面に表示されるアイコン**

未読の S! メール
：優先度高
：優先度標準
：優先度低
：動画やサウンドの挿入あり

既読の S! メール
：優先度高
：優先度標準
：優先度低
：動画やサウンドの挿入あり

未読の受信通知
：優先度高
：優先度標準
：優先度低

既読の受信通知
：優先度高
：優先度標準
：優先度低

未読の SMS
：本体に保存
：USIM カードに保存

既読の SMS
：本体に保存
：USIM カードに保存

受信中
：S! メール

- **下書きのメール一覧画面に表示されるアイコン**

S! メール
：S! メール
：動画やサウンドの挿入あり

SMS
：SMS

- **未送信ボックスのメール一覧画面に表示されるアイコン**

S! メール
：S! メール
：動画やサウンドの挿入あり
：再送信

SMS
：SMS
：USIM カードに保存

- **送信済みボックスのメール一覧画面に表示されるアイコン**

S! メール
：S! メール
：動画やサウンドの挿入あり

SMS
：SMS
：USIM カードに保存

配信レポート
：未読の S! メール
：未読の SMS

- セキュリティ設定のシークレットモードを「表示しない」に設定している場合、電話帳のシークレットモードを「シークレットモード -On」に設定している相手とメールの送受信する際に、名前は表示されずに電話番号または E メールアドレスが表示されます。

受信したメールに返信する

受信したメールの差出人に返信します。

1. ≪メール≫→「受信ボックス」
2. フォルダを選択→返信するメールの✉を選択
3. メールの作成操作（➲P.4-4 S!メールを作成・送信する ⑤）

- 受信したメールの本文を引用して返信することができます（➲P.14-13）。
- 返信する S! メールの件名には「Re:」が自動的に付きます。
- 受信したメールに入力されているすべての宛先へ返信したいときは、操作 ② で≪全員に返信≫をタップします。
- ≪メール≫→「受信ボックス」→フォルダを選択→返信するメールを選択→≪返信≫／≪全員に返信≫→「S! メール」／「S! メール（引用付）」／「SMS」／「SMS（引用付）」を選択しても同じ操作が行えます。

受信したメールを転送する

受信したメールを他の宛先に転送します。

1. ≪メール≫→「受信ボックス」→フォルダを選択
2. 転送するメールを選択→≪転送≫
3. メールの作成操作（➲P.4-4 S!メールを作成・送信する ②）

- 転送する S! メールの件名には「Fw:」が自動的に付きます。
- 受信したSMSを転送する場合は、S! メールで転送するか SMS で転送するかを選択できます。
- ≪メール≫→「受信ボックス」→フォルダを選択→≪転送≫→転送したいメールの✉をタップしても同じ操作が行えます。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.4-25

- 受信通知／サーバメールを転送したい
- 差出人に電話をかけたい
- 受信通知からメールサーバに保存されているメールを削除したい

設定

- 文字サイズを設定する（☞P.14-15）
- メッセージ画面で本文をスクロールする単位を設定する（☞P.14-15）
- ナビゲーションバーを表示するかどうかを設定する（☞P.14-15）
- 受信の通知を設定する（☞P.14-13）
- シークレット設定を設定したフォルダの受信通知を設定する（☞P.14-13）
- メッセージのデルモジ表示を設定する（☞P.14-14）
- デルモジ表示の文字色と背景色のパターンを設定する（☞P.14-14）
- デルモジ表示の表示速度を設定する（☞P.14-14）
- S! メールの受信方法を設定する（☞P.14-16）
- ローミング中に受信する S! メールの受信方法を設定する（☞P.14-16）
- フィーリングメールを受信したときの着信ライトの有無を設定する（☞P.14-14）
- フィーリングメールを受信したときの着信ライトの色を設定する（☞P.14-14）

- フィーリングメールを受信したときのバイブレータを設定する（☞P.14-14）
- フィーリングメールを受信したときの着信音の有無を設定する（☞P.14-14）
- フィーリングメールの着信音を設定する（☞P.14-14）
- フィーリングメール着信音の鳴動時間を設定する（☞P.14-14）
- 添付画像の表示方法を設定する（☞P.14-16）
- 添付画像の自動再生を設定する（☞P.14-16）
- 添付サウンドの自動再生を設定する（☞P.14-16）

メールの利用

本機では、メールの種類ごとに 5 種類のメールボックスが用意されています。

メールボックス	メールの種類
受信ボックス	受信したメールが保存されます。
下書き	作成途中で保存したメールが保存されます。
デコレメールテンプレート	テンプレートとして登録したデコレメールテンプレートが保存されます。
送信済みボックス	送信済みのメールが保存されます。
未送信ボックス	送信に失敗したメール、送信をキャンセルしたメール、送信待機中のメールが保存されます。

メールの差出人や宛先、メール内の情報を利用する

メールのメッセージ画面や受信通知画面で、カーソルを合わせると反転表示する情報があります。反転表示された差出人や宛先、メール本文の電話番号、E メールアドレス、URL を使って、電話帳への登録や、電話の発信、メールの送信、ブックマークへの登録、インターネットへのアクセスを行います。

電話帳に登録する

1 **≪メール≫→「受信ボックス」→フォルダを選択→メールを選択→電話番号／E メールアドレス／URL を選択→「電話帳登録」**

2 **電話帳の登録操作**

■ 新しい電話帳に登録するとき
「新規」→（➲P.2-20 電話帳に登録する ❷）

■ 既存の電話帳に追加登録するとき
「追加」→電話帳を検索し、選択（➲P.2-21）→電話帳の登録操作（➲P.2-20）

4 メール

ブックマークに登録する

1. ≪メール≫→「受信ボックス」→フォルダを選択→メールを選択→URLを選択→「ブックマーク登録」
2. タイトルを入力

電話発信／メール送信／インターネットアクセスを行う

メールのメッセージ画面や受信通知画面に表示されている差出人や宛先、電話番号、Eメールアドレス、URLの情報を利用できます。

1. ≪メール≫→「受信ボックス」→フォルダを選択→メールを選択
2. 情報の利用操作

■音声電話をかけるとき
電話番号を選択→「音声通話」

■TVコールをかけるとき
電話番号を選択→「TVコール」

■電話番号を変更してから電話をかけるとき
電話番号を選択→「発信前に電話番号を編集」

■メールを送信するとき
電話番号／Eメールアドレスを選択→「メール作成」→「S!メール」／「SMS」→（➔P.4-4 S!メールを作成・送信する❺、P.4-7 SMSを作成・送信する❺）

■インターネットへアクセスするとき
URLを選択→「URLに接続」→「はい」

- 電話番号を選択してメールを送信する場合は、S!メールを送信するかSMSを送信するかを選択し、メールを作成します。
- 電話番号などは直接タップすることもできます。

メールを保護／保護解除する

メールを指定して保護したり、メールボックス内のすべてのメールをまとめて保護します。
保護設定したメールは、削除するときに一度お客様に確認するメッセージを表示します。
保護設定したメールは、その保護を解除できます。

1. ≪メール≫→「受信ボックス」／「下書き」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択
2. ≪保護設定≫（画面によっては≪その他≫→「保護設定」）→保護したいまたは保護解除したいメールをチェック→≪OK≫

メール／テンプレートを削除する

メールを削除する

メールを指定して削除したり、メールボックス内のすべてのメールをまとめて削除することができます。

1. **≪メール≫→「受信ボックス」／「下書き」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択**

2. **≪削除≫（画面によっては≪その他≫→「削除」）→削除したいメールをチェック→≪削除≫→「はい」**

テンプレートを削除する

テンプレートを指定して削除したり、登録されているすべてのテンプレートをまとめて削除することができます。

1. **≪メール≫→「デコレメールテンプレート」**

2. **≪削除≫→削除したいデコレメールテンプレートをチェック→≪削除≫→「はい」**

   - 保護されているメール／テンプレートが含まれる場合は、確認メッセージが表示されます。テンプレートの場合は、「はい」を選択すると保護されたテンプレート以外を削除し、「いいえ」を選択すると保護されたテンプレートを含めて削除します。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.4-25

- デルモジ表示したい
- 差出人や宛先を電話帳に登録したい
- 送信者や宛先を確認したい
- メールの内容をコピーしたい
- 表示中のメールを削除したい
- メールの文字コードを設定したい
- メッセージ画面の文頭／文末に移動したい
- メール／デコレメールテンプレートの詳細を確認したい
- メール一覧画面のメールを並べ替えたい
- メール／デコレメールテンプレートを保護／保護解除したい
- メールを既読／未読にしたい
- メール一覧画面で SMS を本機／ USIM カードに移動したい
- 下書きからメールを送信したい
- 送信済みメールを編集して送信したい
- 配信レポートを確認したい
- 未送信メールを編集して送信したい
- 未送信メールを再送信したい
- 未送信メールのエラー詳細を確認したい
- 登録したデコレメールテンプレートをメールで送信したい
- デコレメールテンプレートを移動したい

- デコレメールテンプレートをコピーしたい
- デコレメールテンプレートを送信したい
- デコレメールテンプレートを並べ替えたい
- デコレメールテンプレートを管理したい
- デコレメールテンプレートのフォルダに「シークレット設定」を設定したい
- メールリストを更新したい
- メールサーバに保存されているメールを転送したい
- メールリストを利用してサーバ内のメールを削除したい

設定

- 受信ボックスのメールの自動削除を設定する（☞P.14-15）
- 送信済みボックスのメールの自動削除を設定する（☞P.14-15）

添付ファイルをデータフォルダに保存する

1. **≪メール≫→「受信ボックス」／「送信済みボックス」→フォルダを選択→メールを選択**
2. **≪保存≫（画面によっては≪その他≫→「保存」→「添付ファイル保存」）→保存したいファイルをチェック→≪保存≫**
   - 保存時にファイル名が重複する旨のメッセージが表示されたときは、「OK」→ファイル名を編集します。

メールの管理

受信ボックス、送信済みボックス内に自分でフォルダを作成したり、フォルダにルールを設定して自動でメールを振り分けます。
フォルダには、セキュリティを設定することができます。ただし、「受信メール」フォルダ、「送信メール」フォルダは削除したり、設定を変更したりすることはできません。

フォルダを作成する

1. **≪メール≫→「受信ボックス」／「送信済みボックス」**
2. **≪フォルダ作成≫**
3. **フォルダ名を編集**
   - 新しく作られたフォルダは画面の一番下に位置されます。
   - 同じ名前のフォルダが存在していても、確認メッセージは表示されません。

メールを移動する

1 ≪メール≫→「受信ボックス」／「送信済みボックス」→必要に応じてフォルダを選択

2 ≪その他≫→「フォルダへ移動」→移動したいメールをチェック→≪フォルダへ移動≫

3 移動先のフォルダを選択

- 受信したメールは「受信メール」フォルダに、送信したメールは「送信メール」フォルダに保存されます。他のフォルダに移動したあと、メールを元のフォルダに戻す場合は、操作 2 を実行し、「受信メール」フォルダ／「送信メール」フォルダを選択します。

メールを振り分ける

送受信したメールを相手の電話番号やEメールアドレスによって自動的に指定したフォルダに振り分けることができます。S! メールでの件名や、SMS の本文に入力されたテキストでも振り分けることができます。1 つのフォルダに設定できるルールは最大 20 件です。

1 ≪メール≫→「受信ボックス」／「送信済みボックス」

2 ≪メール振り分け設定≫→移動先に指定したいフォルダを選択

3 振り分けルールの設定操作

■振り分ける電話番号／Eメールアドレスを電話帳から選択するとき

≪ルール追加≫→「送信者」（画面によっては「宛先」）→「電話帳」→電話帳を検索し、選択（➔P.2-21）→電話番号／Eメールアドレスを選択

■振り分ける電話番号／Eメールアドレスを直接入力するとき

≪ルール追加≫→「送信者」／「送信者（部分一致）」（画面によっては「宛先」／「宛先（部分一致）」）→（「送信者」／「宛先」を選択した場合のみ「番号入力」／「アドレス入力」）→電話番号／Eメールアドレスを入力

■振り分ける電話番号／Eメールアドレスを電話帳のグループから選択するとき

≪ルール追加≫→「送信者」（画面によっては「宛先」）→「グループ」→グループを選択

・USIM カードに登録されているグループは設定できません。

■振り分ける電話番号／Eメールアドレスを履歴から選択するとき

≪ルール追加≫→「送信者」（画面によっては「宛先」）→「送受信履歴」→プルダウンメニューから「送信履歴」／「受信履歴」→履歴を選択

■テキストから選択するとき

≪ルール追加≫→「件名」→振り分けルールに設定するテキストを入力

4 ≪ OK ≫

使いこなしチェック!

便利 ☞P.4-30

- フォルダ名を変更したい
- シークレット設定を設定したい
- フォルダを削除したい
- フォルダの詳細情報を確認したい
- 振り分けルールを削除したい

設定

- 受信ボックスのメールの表示方法を設定する（☞P.14-15）
- 送信済みボックスのメールの表示方法を設定する（☞P.14-15）

便利な機能

便利

S! メール送信に関する便利な機能

「電話帳」以外の方法で宛先を入力したい

S! メール作成画面で宛先欄をタップ

■ 電話番号を直接入力するとき

「番号入力」→電話番号を入力

■ E メールアドレスを直接入力するとき

「アドレス入力」→ E メールアドレスを入力

■ 電話帳のグループから選択するとき

「グループ」→「本体」／「USIM」→グループを選択

・グループに 21 件以上登録されている場合、送信したい宛先をチェック→≪追加≫をタップします。

・電話番号や E メールアドレスが複数登録されている電話帳が含まれている場合、宛先の選択画面が表示されることがあります。電話番号／ E メールアドレスを選択してください。

■ 履歴から入力するとき

「送受信履歴」→プルダウンメニューから「送信履歴」／「受信履歴」→履歴を選択

宛先を追加したい

宛先が入力済みの S! メール作成画面で宛先欄をタップ→≪宛先追加≫

■ 電話帳から選択するとき

「電話帳」→電話帳を検索し、選択（➔P.2-21）→電話番号／ E メールアドレスを選択

■ 履歴から入力するとき

「送受信履歴」→プルダウンメニューから「送信履歴」／「受信履歴」→履歴を選択

■ 電話帳のグループから宛先を選択するとき

「グループ」→「本体」／「USIM」→グループを選択

・電話番号や E メールアドレスが複数登録されている電話帳が含まれている場合、宛先の選択画面が表示されることがあります。電話番号／ E メールアドレスを選択してください。

■ 電話番号を直接入力するとき

「番号入力」→電話番号を入力

■ E メールアドレスを直接入力するとき

「アドレス入力」→ E メールアドレスを入力

- メール作成画面の宛先欄 👤 の横に宛先件数が表示されます。

送受信履歴の詳細を確認したい【表示】

S! メール作成画面で宛先欄をタップ→「送受信履歴」→プルダウンメニューから「送信履歴」／「受信履歴」→≪表示≫→表示したい履歴を選択

送受信履歴を削除したい【削除】

S! メール作成画面で宛先欄をタップ→「送受信履歴」→プルダウンメニューから「送信履歴」／「受信履歴」→≪削除≫

■ **1 件削除するとき**

削除したい履歴をチェック→≪削除≫→「はい」

■ **すべて削除するとき**

「全チェック」→≪削除≫→「はい」

宛先の種類を TO/CC/BCC に変更したい

宛先が入力済みの S! メール作成画面で宛先欄をタップ→変更したい宛先のをタップ→項目を選択

宛先を削除したい

宛先が入力済みの S! メール作成画面で宛先欄をタップ→≪宛先削除≫

■ **1 件削除するとき**

削除したい宛先をチェック→≪宛先削除≫→「はい」

■ **すべて削除するとき**

「全チェック」→≪宛先削除≫→「はい」

添付したファイルを確認したい

S! メール作成画面で添付ファイル欄をタップ→確認したいファイルを選択

添付したファイルを削除したい

S! メール作成画面で添付ファイル欄をタップ→≪添付削除≫

■ **1 件削除するとき**

削除したい添付ファイルをチェック→≪添付削除≫→「はい」

■ **すべて削除するとき**

「全チェック」→≪添付削除≫→「はい」

S! メールに情報を挿入したい【挿入】

S! メールの本文を作成中に≪その他≫→「挿入」

■ **メモ帳を挿入するとき**

「メモ帳」→項目を選択

■ **バーコードを挿入するとき**

「バーコードリーダー」→(➲P.10-12 バーコード／ QR コードを読み取る ❷)

■ **署名を挿入するとき**

「署名」

■ **電話帳の番号を挿入するとき**

「電話帳引用」→電話帳を検索し、選択(➲P.2-21)→項目を選択

■ **オーナー情報を挿入するとき**

「オーナー情報引用」→項目を選択

■ **アドレスの一部を挿入するとき**

「簡単アドレス入力」→項目を選択

S! メールの本文を作成中にカーソルを文頭／文末に移動させたい【カーソル移動】

S! メールの本文を作成中に≪その他≫→「カーソル移動」→項目を選択

S! メールの本文を作成中にユーザー辞書登録したい【ユーザー辞書登録】

S! メールの本文を作成中に≪その他≫→「ユーザー辞書登録」→(➲P.2-17 入力した文字をユーザー辞書に登録する ❷)

S! メールの本文を作成中に文字の入力／変換設定をしたい【入力／変換設定】

S! メールの本文を作成中に≪その他≫→「入力／変換設定」

■ **予測入力機能を設定／解除するとき**

「予測入力」の「On」／「Off」

■ **学習機能を設定／解除するとき**

「学習」の「On」／「Off」

■ **学習機能をリセットするとき**

「学習リセット」→操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫→「はい」

■ **絵文字／記号の履歴をリセットするとき**

「絵／記号履歴リセット」→「はい」

作成中のS!メールを下書きに保存したい　【下書きに保存】

S!メール作成画面で≪保存≫→「下書きに保存」

- 宛先、件名、本文のいずれかが入力されている、またはファイルが添付／挿入されている場合のみ保存できます。

フィーリングメールを送信したい　【フィーリング設定】

S!メール作成画面で≪設定≫→「フィーリング設定」→フィーリングを選択→感情を表す絵文字を選択

フィーリング設定を解除したい　【フィーリング設定解除】

S!メール作成画面で≪設定≫→「フィーリング設定解除」

「アクション設定」を設定したメールを送信したい　【アクション設定】

S!メール作成画面で≪設定≫→「アクション設定」

■ 相手がメールを読むと自動で削除されるかどうか設定するとき

「メール自動消去」の「On」／「Off」

■ 相手に返信を要求するとき

「返信リクエスト」の「On」

・「On」に設定しているときは、「返信リクエスト」の「メッセージ編集」からメッセージを編集することができます。

■ 相手が転送できないようにするとき

「転送NG」の「On」

・「On」に設定しているときは、「転送NG」の「メッセージ編集」からメッセージを編集することができます。

■ 相手が削除できないようにするとき

「削除NG」の「On」

・「On」に設定しているときは、「削除NG」の「メッセージ編集」からメッセージを編集することができます。

■ 相手がクイズ（一問一答）に答えないとメールを読めないようにするとき

「クイズ」→「クイズ設定」→「一問一答」→「問題」→問題を入力→「答え」→答えを入力→「メッセージ（正解時）」→正解の場合のメッセージを入力→「メッセージ（不正解時）」→不正解の場合のメッセージを入力→≪OK≫

・問題を編集し直すときは、「クイズ」の「問題編集」を選択します。

■ 相手がクイズ（選択式）に答えないとメールを読めないようにするとき

「クイズ」→「クイズ設定」→「選択式」→「問題」→問題を入力→「答え」→正解番号を選択→選択肢1～4欄をタップしそれぞれに選択肢を入力→「メッセージ（正解時）」→正解の場合のメッセージを入力→「メッセージ（不正解時）」→不正解の場合のメッセージを入力→≪OK≫

・問題を編集し直すときは、「クイズ」の「問題編集」を選択します。

・「アクション設定」を設定すると、メールを受け取った相手側の動作を設定できます。

作成中のS!メールの配信確認を設定したい

S!メール作成画面で≪設定≫→「送信オプション」→「配信確認」の「On」／「Off」

- 「On」に設定すると、メールサーバからメールが相手に送信されたときに、配信レポートがお客様の本機に送信されます。作成中のメールにのみ設定が反映されます。

作成中のS!メールの返信先を設定したい

S!メール作成画面で≪設定≫→「送信オプション」→「返信先指定」の「On」／「Off」

- 返信先は「返信先アドレス設定」(➔P.14-13)から設定できます。

作成中のS!メールの優先度を設定したい

S!メール作成画面で≪設定≫→「送信オプション」→「優先度」→項目を選択

作成中のS!メールのメールサーバに保存する期限を設定したい

S!メール作成画面で≪設定≫→「送信オプション」→「有効期限」→項目を選択

作成中のS!メールの配信時間を指定したい

S!メール作成画面で≪設定≫→「送信オプション」→「配信時間指定」→項目を選択

サーバメール転送後、サーバからメールを削除するかどうか設定したい

S!メール作成画面で≪設定≫→「送信オプション」→「サーバーメール転送設定」→項目を選択

- サーバメール転送時(➔P.4-30)のみ設定できます。

送信前にデルモジ表示を確認したい **[デルモジ表示]**

S!メール作成画面で≪その他≫→「デルモジ表示」

入力した本文をすべて削除したい **[本文削除]**

S!メール作成画面で≪その他≫→「本文削除」→「はい」

文字色を変更したい

デコレメール作成画面で「色」→文字色を選択→本文を入力

文字を点滅させたい

デコレメール作成画面で「効果」→「点滅」→「On」→本文を入力

- 効果をもとに戻した文字を続けて入力したいときは、「効果」→「点滅」→「Off」と操作してから入力します。

文字を整列させたい

デコレメール作成画面で「効果」→「整列」→項目を選択→本文を入力

BGM／Flash®／区切り線を挿入したい

デコレメール設定画面で「挿入」

■ データフォルダからBGMを挿入するとき

「BGM挿入」→「着うた・メロディ」／「ミュージック」→ファイルを選択

■ BGMを録音して挿入するとき

「BGM挿入」→「ボイスレコーダー起動」→（➔P.10-10 音声を録音する ❷）

■ Flash® を挿入するとき

「Flash挿入」→ファイルを選択

■ 区切り線を挿入するとき

「区切り線挿入」

挿入したBGMを解除したい

BGMが挿入されたデコレメール設定画面で「挿入」→「BGM解除」

入力済みの文字の文字色／文字サイズ／効果を変更したい

文字が入力済みのデコレメール作成画面で≪範囲選択≫→装飾する最初の文字をタップ→≪始点≫→変更したい最後の文字をタップ→≪終点≫

■ 文字色を変えるとき

「色」→文字色を選択

■ 文字サイズを変えるとき

「サイズ」→項目を選択

■ 効果を変えるとき

「効果」→効果を選択→項目を選択

■ 元に戻すとき

「戻す」

デコレーションを確認したい **[プレビュー]**

デコレメールの本文入力中に「その他」→「プレビュー」

デコレメールテンプレートを登録したい **[デコレメールテンプレート保存]**

S!メール作成画面で≪保存≫→「デコレメールテンプレート保存」→ファイル名を入力

- 本文を装飾している場合のみ、デコレメールテンプレートに保存できます(➔P.4-6)。

テンプレートを利用して S! メールを作成したい 【デコレメールテンプレート呼出し】

S! メール作成画面で≪その他≫→「デコレメールテンプレート呼出し」→テンプレートを選択

- すでにテンプレートを利用しているときは、編集内容を破棄する旨の確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると編集内容は破棄され、新たにテンプレートを呼び出すことができます。

便利

SMS 送信に関する便利な機能

「電話帳」以外の方法で宛先を入力したい

SMS 作成画面で宛先欄をタップ

■ 電話番号を直接入力するとき

「番号入力」→電話番号を入力

■ 電話帳のグループから選択するとき

「グループ」→「本体」／「USIM」→グループを選択

・グループに 21 件以上登録されている場合、送信したい宛先をチェック→≪追加≫をタップしてください。

・電話番号が複数登録されている電話帳が含まれている場合、宛先の選択画面が表示されることがあります。電話番号を選択してください。

■ 履歴から入力するとき

「送受信履歴」→プルダウンメニューから「送信履歴」／「受信履歴」→履歴を選択

宛先を追加したい

宛先が入力済みの SMS 作成画面で宛先欄をタップ→「宛先追加」

■ 電話帳から選択するとき

「電話帳」→電話帳を検索し、選択（➲P.2-21）→電話番号を選択

■ 履歴から入力するとき

「送受信履歴」→プルダウンメニューから「送信履歴」／「受信履歴」→履歴を選択

■ 電話帳のグループから選択するとき

「グループ」→「本体」／「USIM」→グループを選択

・電話番号が複数登録されている電話帳が含まれている場合、宛先の選択画面が表示されることがあります。電話番号を選択してください。

■ 電話番号を直接入力するとき

「番号入力」→電話番号を入力

- SMS 作成画面の宛先欄 の横に宛先件数が表示されます。

送受信履歴の詳細を確認したい 【表示】

SMS 作成画面で宛先欄をタップ→「送受信履歴」→プルダウンメニューから「送信履歴」／「受信履歴」→≪表示≫→表示したい履歴を選択

送受信履歴を削除したい 【削除】

SMS 作成画面で宛先欄をタップ→「送受信履歴」→プルダウンメニューから「送信履歴」／「受信履歴」→≪削除≫

■ 1 件削除するとき

削除したい履歴をチェック→≪削除≫→「はい」

■ すべて削除するとき

「全チェック」→≪削除≫→「はい」

宛先を削除したい

SMS 作成画面で宛先欄をタップ→≪宛先削除≫

■ **1 件削除するとき**
削除したい宛先をチェック→≪宛先削除≫→「はい」

■ **すべて削除するとき**
「全チェック」→≪宛先削除≫→「はい」

SMS に情報を挿入したい **[挿入]**

SMS の本文を作成中に≪その他≫→「挿入」

■ **メモ帳を挿入するとき**
「メモ帳」→項目を選択

■ **バーコードを挿入するとき**
「バーコードリーダー」→(➲P.10-12 バーコード/ QR コードを読み取る ❷)

■ **署名を挿入するとき**
「署名」

■ **電話帳の番号を挿入するとき**
「電話帳引用」→電話帳を検索し、選択(➲P.2-21)→項目を選択

■ **オーナー情報を挿入するとき**
「オーナー情報引用」→項目を選択

■ **アドレスの一部を挿入するとき**
「簡単アドレス入力」→項目を選択

SMS の本文を作成中にユーザー辞書登録したい **[ユーザー辞書登録]**

SMS の本文を作成中に≪その他≫→「ユーザー辞書登録」→(➲P.2-17 入力した文字をユーザー辞書に登録する ❷)

SMS の本文を作成中に文字の入力/変換設定をしたい **[入力/変換設定]**

SMS の本文を作成中に≪その他≫→「入力/変換設定」

■ **予測入力機能を設定/解除するとき**
「予測入力」の「On」/「Off」

■ **学習機能を設定/解除するとき**
「学習」の「On」/「Off」

■ **学習機能をリセットするとき**
「学習リセット」→操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫→「はい」

■ **絵文字/記号の履歴をリセットするとき**
「絵/記号履歴リセット」→「はい」

作成中の SMS を下書きに保存したい **[下書きに保存]**

SMS 作成画面で≪下書きに保存≫

- 宛先、本文のいずれかが入力されている場合のみ、下書きに保存できます。

作成中の SMS を S! メールに変更したい **[S! メールに変換]**

SMS 作成画面で≪ S! メールに変換≫

作成中の SMS の配信確認を設定したい

SMS 作成画面で≪その他≫→「送信オプション」→「配信確認」の「On」/「Off」

- 「On」に設定すると、メールサーバから メールが相手に送信されたときに、配信レポートがお客様の本機に送信されます。作成中のメールにのみ設定が反映されます。

作成中の SMS の有効期限を設定したい

SMS 作成画面で≪その他≫→「送信オプション」→「有効期限」→項目を選択

送信前にデルモジ表示を確認したい **[デルモジ表示]**

SMS 作成画面で≪その他≫→「デルモジ表示」

入力した本文をすべて削除したい **[本文削除]**

SMS 作成画面で≪その他≫→「本文削除」→「はい」

便利

受信メールに関する便利な機能

手動でメールを受信したい

≪メール≫→「新着メール受信」

添付画像の表示サイズを設定したい

≪メール≫→「受信ボックス」→フォルダを選択→メールを選択→≪その他≫→「設定」→「画像表示設定」→項目を選択

受信通知／サーバメールを転送したい 【転送】

≪メール≫→「受信ボックス」→フォルダを選択→転送したい受信通知を選択→≪転送≫→項目を選択→(➔P.4-4 S! メールを作成・送信する ❷)

差出人に電話をかけたい 【発信】

≪メール≫→「受信ボックス」→フォルダを選択→「発信」→目的のメールの📞

- 宛先人が電話番号の場合のみ利用できます。

受信通知からメールサーバに保存されているメールを削除したい 【削除】

≪メール≫→「受信ボックス」→フォルダを選択→受信通知を選択→≪その他≫→「削除」→項目を選択

便利

メールの利用／管理に関する便利な機能

添付ファイルを確認したい

≪メール≫→「受信ボックス」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択→メールを選択→ファイルを選択→「開く」

- 確認前にファイルをデータフォルダに保存するには、メッセージ画面でファイルを選択し、「保存」を選択します。
- 確認前に vCard や vCalendar を電話帳やカレンダー、予定リストに登録するには、メッセージ画面でファイルを選択し、「電話帳登録」／「カレンダーに登録」を選択します。
- 確認後に vCard や vCalendar を電話帳やカレンダー、予定リストに登録するには、≪登録≫をタップします。
- コンテンツ・キーの購入／取得が必要なファイルが添付されている場合は、確認メッセージが表示されます。ファイルを確認するときは、「はい」を選択してコンテンツ・キーを購入または取得します。
- 回数制限があり、1 回だけ再生／表示できるファイルが添付されているときは、表示／再生回数が 1 回だけ残っていることをお知らせするメッセージが表示されます。

S! メールに添付／挿入されているファイルをデータフォルダに保存したい

≪メール≫→「受信ボックス」／「送信済みボックス」→フォルダを選択→メールを選択→≪保存≫（画面によっては≪その他≫→「保存」→「添付ファイル保存」）→保存したいファイルをチェック→≪保存≫

- 保存時にファイル名が重複する旨のメッセージが表示されたときは、「OK」→ファイル名を編集します。

受信 S! メールや送信済み S! メールをデコレメールテンプレートに保存したい

≪メール≫→「受信ボックス」／「送信済みボックス」→フォルダを選択→メールを選択→≪保存≫（画面によっては≪その他≫→「保存」）→「デコレメールテンプレート保存」→ファイル名を入力

- 本文を装飾している場合のみ、デコレメールテンプレートに保存できます（➔P.4-6）。

デルモジ表示したい 【デルモジ表示】

≪メール≫→「受信ボックス」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択→メールを選択→≪その他≫→「デルモジ表示」

差出人や宛先を電話帳に登録したい 【電話帳登録】

≪メール≫→「受信ボックス」／「送信済みボックス」→フォルダを選択→≪その他≫→「電話帳登録」→メールを選択→電話番号／Eメールアドレスを選択

■新しい電話帳に登録するとき

「新規」→(➲P.2-20 電話帳に登録する❷)

■既存の電話帳に追加登録するとき

「追加」→電話帳を検索し、選択(➲P.2-21)→電話帳の登録操作（➲P.2-20）

- ≪メール≫→「受信ボックス」／「送信済みボックス」→フォルダを選択→≪その他≫→「電話帳登録」→目的のメールの🔲→電話番号／Eメールアドレスを選択しても同じ操作が行えます。

送信者や宛先を確認したい 【メールアドレス表示】

≪メール≫→「受信ボックス」／「送信済みボックス」→フォルダを選択→メールを選択→≪その他≫→「メールアドレス表示」

メールの内容をコピーしたい 【コピー】

≪メール≫→「受信ボックス」／「送信済みボックス」→フォルダを選択→メールを選択→≪コピー≫（画面によっては≪その他≫→「コピー」）

■差出人や宛先をコピーするとき

「アドレス」→コピーしたいアドレスを選択

■件名をコピーするとき

「件名」(➲P.2-24 範囲を指定して文字のコピー／カットをしたい)

■本文をコピーするとき

「本文」(➲P.2-24 範囲を指定して文字のコピー／カットをしたい)

表示中のメールを削除したい 【削除】

≪メール≫→「受信ボックス」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択→メールを選択→≪削除≫（画面によっては≪その他≫→「削除」）→「はい」

メールの文字サイズを設定したい

≪メール≫→「受信ボックス」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択→メールを選択→≪その他≫→「設定」→「文字サイズ」→項目を選択

メッセージ画面のスクロール単位を設定したい

≪メール≫→「受信ボックス」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択→メールを選択→≪その他≫→「設定」→「スクロール単位」→項目を選択

ナビゲーションバーを表示／非表示にしたい

≪メール≫→「受信ボックス」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択→メールを選択→≪その他≫→「設定」→「ナビゲーションバー」の「On」／「Off」

メールの文字コードを設定したい 【文字コード変換】

≪メール≫→「受信ボックス」→フォルダを選択→メールを選択→≪その他≫→「文字コード変換」→項目を選択

メッセージ画面の文頭／文末に移動したい 【画面移動】

≪メール≫→「受信ボックス」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択→メールを選択→≪その他≫→「画面移動」→項目を選択

メール／デコレメールテンプレートの詳細を確認したい　【詳細】

≪メール≫→「受信ボックス」／「デコレメールテンプレート」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択→メール／デコレメールテンプレートを選択→≪詳細≫（画面によっては≪その他≫→「詳細」）

- ≪メール≫→「受信ボックス」／「下書き」／「デコレメールテンプレート」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択→≪詳細≫（画面によっては≪その他≫→「詳細」）→メール／テンプレートを選択しても同じ操作が行えます。

メール一覧画面のメールを並べ替えたい　【ソート】

≪メール≫→「受信ボックス」／「下書き」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択→≪ソート≫（画面によっては≪その他≫→「ソート」）→項目を選択

- 並べ替えができる項目は、次のとおりです。
  - 日付の順（「日付：新しい順」／「日付：古い順」）
  - 送信者の順（「送信者順」）
  - 未読／既読を分けて表示（「未読／既読順」）
  - 件名の順（「件名順」）
  - メールサイズの大きい順（「サイズ順」）
  - 添付ファイルあり／なしを分けて表示（「添付順」）
  - 保護されている／されていないメールを分けて表示（「保護順」）
- 「送信者順」「件名順」を選択したときは、半角記号、半角数字、半角英字、半角カタカナ、全角記号、全角ひらがな、全角カタカナ、漢字、全角数字、全角英字の順で表示されます。ただし、「件名順」を選択したときは「タイトルなし」が優先されます。

メール／デコレメールテンプレートを保護／保護解除したい　【保護設定】

≪メール≫→「受信ボックス」／「下書き」／「デコレメールテンプレート」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択→≪保護設定≫（画面によっては≪その他≫→「保護設定」）→保護したいメール／デコレメールテンプレートの🔓→≪ OK ≫

- 保護を解除する場合には🔒をタップします。

メールを既読／未読にしたい　【既読・未読に変更】

≪メール≫→「受信ボックス」→フォルダを選択→≪その他≫→「既読・未読に変更」→既読にしたいメールを✉／未読にしたいメールを✉にする→≪ OK ≫

- アイコンをタップするたびに設定が切り替わります。

メール一覧画面で SMS を本機／USIM カードに移動したい 【USIM・本体に移動】

≪メール≫→「受信ボックス」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択→≪その他≫→「USIM・本体に移動」→移動したい SMS の▯／▯

- ▯をタップすると USIM に、▯をタップすると本機に移動します。
- USIM カードには、最大 10 通の SMS を保存できます。USIM カードに保存できる件数は、カードの種類によって異なります。
- 作成したフォルダにある受信 SMS を USIM カードに移動する場合は、確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると USIM カードに移動します。

下書きからメールを送信したい 【送信】

≪メール≫→「下書き」→メールを選択→≪送信≫

- 宛先が入力されていないときは≪送信≫はタップできません。

送信済みメールを編集して送信したい 【編集】

≪メール≫→「送信済みボックス」→フォルダを選択→メールを選択→≪編集≫→(➲P.4-4 S! メールを作成·送信する❷、P.4-7 SMS を作成・送信する❷)

- ≪メール≫→「送信済みボックス」→フォルダを選択→≪編集≫→編集したいメールの▯をタップしても同じ操作が行えます。

配信レポートを確認したい 【レポート】

≪メール≫→「送信済みボックス」→フォルダを選択→「配信確認」を設定したメールを選択→≪レポート≫

- SMS または電話番号を宛先にした S! メールで送信した場合に、確認できます。

未送信メールを編集して送信したい 【編集】

≪メール≫→「未送信ボックス」→メールを選択→≪編集≫→(➲P.4-4 S! メールを作成·送信する❷、P.4-7 SMS を作成·送信する❷)

- ≪メール≫→「未送信ボックス」→≪編集≫→編集したいメールの▯をタップしても同じ操作が行えます。

未送信メールを再送信したい 【再送信】

≪メール≫→「未送信ボックス」→≪再送信≫→再送信したいメールの▯

未送信メールのエラー詳細を確認したい 【エラー詳細】

≪メール≫→「未送信ボックス」→≪その他≫→「エラー詳細」→確認したいメールを選択

登録したデコレメールテンプレートを表示して確認したい

≪メール≫→「デコレメールテンプレート」→デコレメールテンプレートを選択

登録したデコレメールテンプレートを編集したい

≪メール≫→「デコレメールテンプレート」→登録したデコレメールテンプレートを選択→≪メール≫→本文入力欄をタップ→本文を入力→≪ OK ≫→≪保存≫→「デコレメールテンプレート保存」→ファイル名を入力

登録したデコレメールテンプレートをメールで送信したい 【メール添付送信】

≪メール≫→「デコレメールテンプレート」→デコレメールテンプレートを選択→≪メール添付送信≫→(➲P.4-4 S! メールを作成・送信する❷)

デコレメールテンプレートを移動したい　【移動】

≪メール≫→「デコレメールテンプレート」→≪移動≫→「フォルダ」／「ファイル」→移動したいフォルダ／デコレメールテンプレートをチェック→≪移動≫→移動先を選択

- 新規にフォルダを作成してその中に移動する場合は、≪フォルダ作成≫→フォルダ名を入力します。

デコレメールテンプレートをコピーしたい　【コピー】

≪メール≫→「デコレメールテンプレート」→≪コピー≫→「フォルダ」／「ファイル」→コピーしたいフォルダ／デコレメールテンプレートをチェック→≪コピー≫→コピー先を選択

デコレメールテンプレートを送信したい　【送信】

≪メール≫→「デコレメールテンプレート」→≪その他≫→「送信」

■ メールで送信するとき

「メール添付」→デコレメールテンプレートを選択→（➔P.4-4 S! メールを作成·送信する ❷）

■ Bluetooth® で送信するとき

「Bluetooth」→送信したいデコレメールテンプレートをチェック→≪送信≫→（➔P.13-8 データを送信する ❷）

■ 赤外線で送信するとき

「赤外線通信」→送信したいデコレメールテンプレートをチェック→≪送信≫（➔P.13-4）

デコレメールテンプレートを並べ替えたい　【ソート】

≪メール≫→「デコレメールテンプレート」→≪その他≫→「ソート」→項目を選択

デコレメールテンプレートを管理したい　【データ管理】

≪メール≫→「デコレメールテンプレート」→必要に応じてフォルダを選択→≪その他≫→「データ管理」

■ フォルダ名／ファイル名を変更するとき

「フォルダ·ファイル名変更」（画面によっては「テンプレート名変更」）→フォルダ／ファイルを選択→名前を入力

■ フォルダを作成するとき

「フォルダ作成」→フォルダ名を入力

■ コンテンツ・キー情報を確認したい

「コンテンツ・キー情報」→確認したいコンテンツ・キーを選択

■ コンテンツ・キーを購入または取得したい

「コンテンツ・キー再取得」→テンプレートを選択

デコレメールテンプレートのフォルダに「シークレット設定」を設定したい　【シークレット設定】

≪メール≫→「デコレメールテンプレート」→≪その他≫→「シークレット設定」→操作用暗証番号を入力→≪OK≫→シークレット設定したいフォルダをチェック→≪OK≫

- 「シークレット設定」を設定したフォルダは、セキュリティ設定のシークレットモードが「表示しない」に設定されていると確認できません。確認するには、≪その他≫→「シークレット一時解除」→操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫をタップします。

メールサーバに保存されているメールを確認したい

≪メール≫→「サーバーメール操作」→「メールリスト」→確認メッセージが表示されたときは「はい」

メールリストを更新したい　【更新】

≪メール≫→「サーバーメール操作」→「メールリスト」→≪更新≫

メールリストからメールを受信したい

≪メール≫→「サーバーメール操作」

■ メールを選択して受信するとき

「メールリスト」→確認メッセージが表示されたときは「はい」→≪受信≫→受信したいメールを選択

■ すべてのメールを受信するとき

「メール全受信」

・「メールリスト」→確認メッセージが表示されたときは「はい」→≪メール全受信≫をタップしても同じ操作を行うことができます。

メールサーバに保存されているメールを転送したい　【サーバーメール転送】

≪メール≫→「サーバーメール操作」→「メールリスト」→確認メッセージが表示されたときは「はい」→≪その他≫→「サーバーメール転送」→転送したいメールの→（➔P.4-4 S! メールを作成・送信する ❷）

- 転送するメールの件名には「Fw:」が自動的に付きます。
- サーバメール転送後、サーバからメールを削除するかどうかをあらかじめ設定することができます（➔P.4-22 サーバメール転送後、サーバからメールを削除するかどうか設定したい）。

メールサーバに保存されているメールをすべて削除したい

≪メール≫→「サーバーメール操作」→「メール全削除」→項目を選択→操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫→「はい」

メールリストを利用してサーバ内のメールを削除したい　【削除】

≪メール≫→「サーバーメール操作」→「メールリスト」→確認メッセージが表示されたときは「はい」→≪その他≫→「削除」→削除したいメールをチェック→≪削除≫→「はい」

メールサーバの使用状況を確認したい

≪メール≫→「サーバーメール操作」→「サーバーメール容量」

- 最新の情報に更新する場合は≪更新≫をタップします。

メモリの使用状況を確認したい

≪メール≫→「メモリ容量確認」→プルダウンメニューから「サイズ（KB）」／「件数」

- 「受信ボックス」／「下書き」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」／「SMS（USIM）」別に表示されます。
- USIM カード内に保存した SMS は、「件数」のみ確認できます。
- 確認したメモリを削除するには≪削除≫をタップします（➔P.12-20 登録／保存した内容を削除してメモリを整理したい）。

便利

フォルダ管理に関する便利な機能

フォルダ名を変更したい　【フォルダ名変更】

≪メール≫→「受信ボックス」／「送信済みボックス」→≪フォルダ名変更≫→フォルダを選択→名前を入力

シークレット設定を設定したい　【シークレット設定】

≪メール≫→「受信ボックス」／「送信済みボックス」→≪その他≫→「シークレット設定」→フォルダを選択→操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫→≪ OK ≫

- 「シークレット設定」を設定したフォルダは、セキュリティ設定のシークレットモードが「表示しない」に設定されていると確認できません。確認するには、≪その他≫→「シークレット一時解除」→操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫をタップします。

フォルダを削除したい　【削除】

≪メール≫→「受信ボックス」／「送信済みボックス」→≪その他≫→「削除」→削除したいフォルダを選択→操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫→「はい」

フォルダの詳細情報を確認したい **[詳細]**

≪メール≫→「受信ボックス」／「送信済みボックス」→≪その他≫→「詳細」→フォルダを選択

メールの自動振り分けルールを変更したい

≪メール≫→「受信ボックス」／「送信済みボックス」→≪メール振り分け設定≫→ルールを変更したいフォルダを選択

■ **振り分ける電話番号／Eメールアドレス／部分一致のEメールアドレスを変更するとき**

変更したいルール欄を選択→(➔P.4-18 メールを振り分ける ❸)

■ **テキストを変更するとき**

変更したいテキスト欄を選択→テキストを編集→≪ OK ≫

振り分けルールを削除したい **[削除]**

≪メール≫→「受信ボックス」／「送信済みボックス」→≪メール振り分け設定≫→削除したいルールがあるフォルダを選択→≪削除≫→削除したいルールをチェック→≪削除≫

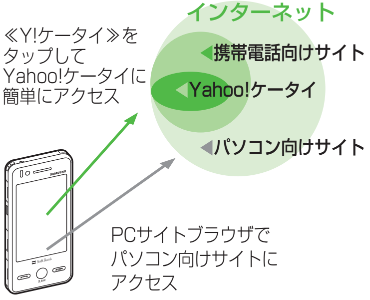
メモ

インターネット

5

世界が広がるインターネット

本機では、Yahoo! ケータイや PC サイトブラウザでインターネットにアクセスし、コンテンツの閲覧や、画像やサウンドなどのダウンロードを行うことができます。
この章では、インターネットの使い方について説明します。



- Yahoo! ケータイや PC サイトブラウザでインターネットにアクセスしたとき、表示される画面を情報画面といいます。
- 本書では、ソフトバンクのポータルサイトを「Yahoo! ケータイ」、PC サイトブラウザを利用して閲覧できるサイトを「PC サイト」とし、これらの総称を「インターネット」と表記しています。
- インターネットのご利用には、別途ご契約が必要です。
- インターネットのご利用前に、あらかじめネットワーク自動調整を行う必要があります。

注意

- 情報画面への接続時にパケット通信料がかかります。

安全に通信するしくみ（SSL／TLS）

SSL（Secure Sockets Layer）と TLS（Transport Layer Security）とは、データを暗号化して送受信するためのプロトコル（通信規約）です。SSL/TLS 接続時の画面では、データを暗号化し、プライバシーにかかわる情報やクレジットカード番号、企業秘密などを安全に送受信することができ、盗聴、改ざん、なりすましなどのネット上の危険から保護します。
本機では、あらかじめ認証機関から発行されたサーバ証明書が登録されていて、確認することもできます(➔P.5-13、P.5-15)。

注意

- SSL/TLS の利用について
  セキュリティで保護されている情報画面を表示する場合、お客様は自己の判断と責任において SSL/TLS を利用するものとします。
  お客様自身による SSL/TLS の利用に際し、ソフトバンクおよび認証会社である日本ベリサイン株式会社、ビートラステッド・ジャパン株式会社、エントラストジャパン株式会社、日本ジオトラスト株式会社、RSA セキュリティ株式会社、セコムトラストネット株式会社は、お客様に対し SSL/TLS の安全性に関して何ら保証を行うものではありません。万一、何らかの損害がお客様に発生した場合でも一切責任を負うものではありませんので、あらかじめご了承ください。

一時保存用メモリ（キャッシュ）ですばやく表示

キャッシュとは、インターネットで入手したメニューや情報を、一時的に保存するメモリです。キャッシュに保存された情報は、インターネットを終了したり電源を切ったりしても保持されますが、メモリの容量がいっぱいになると古い情報から自動的に消去されます。
キャッシュに情報が保存されている情報画面を再表示すると、サービスセンター内の最新情報ではなく、以前に表示した情報画面が表示される場合があります。最新の情報を表示するには、情報を更新してください。

- 本機に他のUSIMカードを取り付けたときは、キャッシュに保存されている情報が自動的に消去されます。
- 有効期限が設定されている情報が保存されているときは、設定されている期限になると、キャッシュから自動的に消去されます。

Yahoo! ケータイ

Yahoo! ケータイを利用すれば、いろいろなコンテンツを閲覧したり、ダウンロードすることができます。
Yahoo! ケータイの利用方法には、メインメニューからアクセスする方法と、URLを直接入力する方法、閲覧履歴を利用する方法があります。

Yahoo! ケータイのメインメニューからアクセスする

Yahoo! ケータイのメインメニューから項目を選択し、目的の情報画面にアクセスできます。

1. **《Y! ケータイ》**
2. **項目を選択**

- お買い上げ後に初めてインターネットにアクセスすると、操作 1 でネットワーク自動調整画面が表示されます。ネットワーク自動調整を行うと、情報画面が表示されます。
- PCサイトブラウザの情報画面に切り替えるには、Yahoo! ケータイの情報画面で《その他》→「PCサイトブラウザ切替」→「このページ」／「リンク先」→「はい」／「いいえ」を選択します。

注意

- 「Referer送出」を「送出しない」に設定していると、情報画面を表示できない場合があります（➔P.5-12）。

URLを入力してアクセスする

Yahoo! ケータイのURL入力から閲覧したい情報画面のURLを入力することで、目的の情報画面にアクセスできます。

1. **《メニュー》→《Y! ケータイ》→「URL入力」**
   - URL欄には、あらかじめ「http://」が入力されています。
2. **URLを入力**

一度みたサイトにアクセスする（閲覧履歴）

Yahoo! ケータイからアクセスしたサイトは、Yahoo! ケータイの閲覧履歴に登録されます。
閲覧履歴では、閲覧したいサイトを選択し、目的の情報画面にアクセスできます。

1. **《メニュー》→《Y! ケータイ》→「閲覧履歴」**

❷ サイトを選択

使いこなしチェック!

便利 ☞P.5-10

- 情報画面でキーパッドを表示／非表示にしたい
- 情報画面のテキストをコピーしたい
- 情報画面を最新の情報に更新したい
- 情報画面で URL を入力して他の情報画面にアクセスしたい
- 表示しているページとは別に Web 検索をしたい
- 情報画面のテキストを検索したい
- 表示しているページの文頭／文末へ移動したい
- 情報画面の URL をメールで送信したい
- 閲覧履歴を削除したい
- 閲覧履歴を送信したい
- 閲覧履歴の詳細を確認したい
- 情報画面を拡大／縮小したい
- 情報画面から Flash® を操作したい
- 選択中のフレームだけを表示したい
- 表示中の情報画面のプロパティを確認したい
- 情報画面から Yahoo! ケータイのメインメニューに移動したい
- メニュー操作からブラウザを終了したい

設定

- 情報画面のキャッシュ／ Cookie ／認証情報を消去する（☞P.14-17）
- 製造番号を自動的に通知するかどうか設定する（☞P.14-18）
- Referer を送信するかどうか設定する（☞P.14-18）
- Cookie の有効／無効を設定する（☞P.14-18）
- スクリプトの有効／無効を設定する（☞P.14-18）
- ルート証明書を確認する（☞P.14-18）
- 認証情報の保存期間を設定する（☞P.14-18）
- ブラウザを初期化する（☞P.14-18）
- 設定をリセットする（☞P.14-18）

PC サイトの閲覧

PC サイトブラウザを利用すれば、パソコン向けに作成された情報画面にアクセスし、コンテンツを閲覧したり、ダウンロードすることができます。
PC サイトの閲覧方法には、メインメニューからアクセスする方法と、URL を直接入力する方法、閲覧履歴を利用する方法があります。

PC サイトブラウザのホームページからアクセスする

PC サイトブラウザのホームページから項目を選択し、パソコン向けサイトの情報画面にアクセスできます。

❶ ≪メニュー≫→≪ Y! ケータイ≫→「PC サイトブラウザ」→「ホームページ」

- 警告メッセージが表示されたときは、「はい」／「いいえ」を選択します。

❷ 項目を選択

- PCサイトブラウザを起動すると、ディスプレイ最上段に💻が表示されます。
- PCサイトブラウザでは、ドキュメントファイル以外のデータをダウンロードまたはストリーミングすることはできません。
- サイトによっては正しく表示されない場合があります。
- Yahoo!ケータイの情報画面に切り替えるには、PCサイトブラウザの情報画面で≪その他≫→「ブラウザ切替」→警告メッセージが表示されたときは、「はい」／「いいえ」を選択します。

注意

- 「Referer送出」を「送出しない」に設定していると、情報画面を表示できない場合があります（➔P.5-15）。
- データ量の多い情報画面を表示するときはパケット通信料が高額になりますので、ご注意ください。

URLを入力してアクセスする

PCサイトブラウザのURL入力から閲覧したい情報画面のURLを入力することで、目的の情報画面にアクセスできます。

1 ≪メニュー≫→≪Y!ケータイ≫→「PCサイトブラウザ」→「URL入力」

- URL欄には、あらかじめ「http://」が入力されています。

2 URLを入力

- 警告メッセージが表示されたときは、「はい」／「いいえ」を選択します。

一度みたサイトにアクセスする（閲覧履歴）

PCサイトブラウザからアクセスしたサイトは、PCサイトブラウザの閲覧履歴に登録されます。
閲覧履歴では、閲覧したいサイトを選択し、目的の情報画面にアクセスできます。

1 ≪メニュー≫→≪Y!ケータイ≫→「PCサイトブラウザ」→「閲覧履歴」

2 サイトを選択

- 警告メッセージが表示されたときは、「はい」／「いいえ」を選択します。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.5-13

- 情報画面を拡大／縮小したい
- 情報画面のテキストをコピーしたい
- 情報画面のテキストを検索したい
- 情報画面のURLをメールで送信したい
- 表示しているページの文頭／文末へ移動したい
- 閲覧履歴を削除したい
- 閲覧履歴を送信したい
- 閲覧履歴の詳細を確認したい
- 情報画面からFlash®を操作したい
- 選択中のフレームだけを表示したい
- 表示中の情報画面のプロパティを確認したい
- 情報画面からPCサイトブラウザのメインメニューに移動したい
- 情報画面の表示幅を変更したい
- メニュー操作からブラウザを終了したい

設定

- 情報画面のキャッシュ／ Cookie ／認証情報を消去する（☞P.14-19）
- 製造番号を自動的に通知するかどうか設定する（☞P.14-19）
- Referer を送信するかどうか設定する（☞P.14-19）
- Cookie の有効／無効を設定する（☞P.14-19）
- スクリプトの有効／無効を設定する（☞P.14-19）
- ルート証明書を確認する（☞P.14-19）
- 認証情報の保存期間を設定する（☞P.14-19）
- 警告メッセージを表示するかどうか設定する（☞P.14-19）
- ブラウザを初期化する（☞P.14-19）
- 設定をリセットする（☞P.14-19）

情報画面の操作

情報画面では、文字や画像などが表示されます。
表示された文字などは、拡大したり縮小したりすることもできます。
情報画面では、メニューなどを選択して閲覧したい情報画面にリンクしたり、ラジオボタンを選択して条件を設定することができます。

メニューを選択する



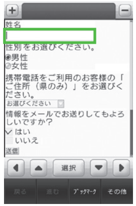
情報画面
（Yahoo!ケータイ）

1. ◀／▲／▼／▶：上下左右にスクロール、カーソルで移動します。
2. 目的メニューが選択できたら、「選択」

- 項目を直接タップして、リンクを選択することもできます。
- 画面を直接触って、スクロールすることもできます。
- 前の情報画面がない状態で CLEAR を押すと、インターネット接続終了の確認メッセージが表示され、「はい」を選択するとインターネット接続を終了します。
- ≪戻る≫または CLEAR を選択すると、ひとつ前の情報画面へ戻ります。
- リンクなどを反転表示して「選択」を選択すると、選択した情報画面に進みます。
- ≪進む≫を選択すると、≪戻る≫または CLEAR を選択する前の状態に戻ります。
- PC サイトブラウザの場合、本機を横に持つと横画面表示になります。操作は縦画面と同様です。
- PC サイトブラウザの場合、▭ を押すと全画面表示になります。もう一度押すともとに戻ります。
- PC サイトブラウザの場合、項目をホールドすると、リンクを新しいタブで開きます（全画面表示中は開けません）。

文字を入力する

登録内容や認証のパスワードなどを入力します。



❶ **文字入力欄を選択**

❷ **文字を入力**

注意

- 文字入力や項目選択の表示は、表示する情報画面によって異なる場合があります。

画面の一部分を拡大する／縮小する

PC 表示ブラウザでのみ画面の拡大／縮小ができます。

❶ **≪拡大縮小≫**

❷ **＋／－タップして倍率を調節**



- ▭をスクロールしても倍率を調節できます。

複数の画面を切り替えて表示する（タブ）

画面上部に表示されるタブを利用して、最大３つの情報画面を表示できます。



❶ **＋**

❷ **閲覧したい情報画面にアクセス（➔P.5-16）**

❸ **タブを選択して情報画面を切り替える**

- －を選択すると表示中のタブを閉じることができます。

- Yahoo! ケータイの情報画面と PC サイトブラウザの情報画面は同時に表示できません。
- 情報画面によっては、自動的にタブが追加されることがあります。
- 複数の情報画面を表示しているときは、情報画面が一部表示できないことがあります。不要となった情報画面は閉じて閲覧することをおすすめします。

ボタン／チェックボックス／ラジオボタンなどを利用する



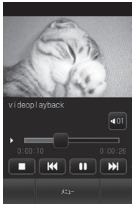
❶ ラジオボタン
複数の選択項目から 1 つの項目を選択するには、○→◉

❷ メニュー欄
メニューを表示して項目を選択するには、メニューを反転表示→「選択」

❸ チェックボックス
複数の選択項目から複数の項目を選択するには、□→☑

❹ 実行ボタン
ボタンに表示されている操作を実行するには、ボタンを反転表示→「選択」

情報画面のリンクからストリーミングする



1 リンクが表示されている情報画面を表示

2 リンクを選択

使いこなしチェック!

設定

- 情報画面に表示されるテキスト情報の文字サイズを設定する(☞P.14-17､P.14-18)
- 情報画面でのスクロール単位を設定する（☞P.14-17）
- 拡大／縮小時にガイドを表示するかどうかを設定する（☞P.14-18）
- 情報画面で画像を表示するかどうか設定する（☞P.14-17、P.14-18）
- 情報画面でサウンドを再生するかどうか設定する（☞P.14-17、P.14-18）
- Yahoo! ケータイの情報画面の文字サイズを変更する（☞P.14-5）
- PC サイトブラウザの情報画面の文字サイズを変更する（☞P.14-5）

ブックマーク／画面メモ

ブックマークには情報画面のURLが登録され、インターネットに接続することで情報画面を表示できます。
画面メモには情報画面そのものが登録され、インターネットに接続せずに情報画面を表示できます。

ブックマークに登録する

ブックマークは、Yahoo!ケータイとPCサイトブラウザそれぞれで最大50件まで保存できます。

1. 情報画面を表示
2. ≪ブックマーク≫→「登録」
3. タイトルを入力

ブックマークから接続する

1. ≪Y!ケータイ≫→必要に応じて「PCサイトブラウザ」→「ブックマーク」
2. ブックマークを選択

注意

- 情報画面への接続時には、パケット通信料が発生します。

画面メモに登録する

画面メモは、Yahoo!ケータイとPCサイトブラウザでそれぞれ最大30件まで登録できます。

1. 情報画面を表示
2. ≪画面メモ≫（画面によっては≪その他≫→「画面メモ」）→「登録」
3. タイトルを入力

画面メモを表示する

1. ≪メニュー≫→≪Y!ケータイ≫→必要に応じて「PCサイトブラウザ」→「画面メモ」
2. 画面メモを選択

注意

- 画面メモを保存したときに取り付けていたUSIMカードを差し替えると、画面メモは表示できません。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.5-17

- 情報画面を表示中にブックマークから接続したい
- ブックマークを直接入力して登録したい
- ブックマークのタイトルや URL を編集したい
- ブックマークを削除したい
- ブックマークの一覧表示にフォルダを作成したい
- ブックマークの URL をメールで送信したい
- ブックマークの URL を Bluetooth® で送信したい
- ブックマークの URL を赤外線通信で送信したい
- ブックマークをフォルダの中に移動したい
- ブックマークを並び替えたい
- ブックマークをデータフォルダに保存したい
- ブックマークの詳細を確認したい
- 情報画面を表示中に画面メモを表示したい
- 画面メモのタイトルを編集したい
- 画面メモを削除したい
- 画面メモを並び替えたい

便利な機能

便利

Yahoo! ケータイに関する便利な機能

情報画面でキーパッドを表示／非表示にしたい 【キーパッド表示】／【キーパッド非表示】

情報画面で≪その他≫→「キーパッド表示」／「キーパッド非表示」

- 情報画面によっては、キーパッドの数字／＊／＃をタップして項目を選択できます。
- キーパッド表示中は、表示されているスライダーを動かすことでキーパッドの透過率を調節できます。

情報画面のテキストをコピーしたい 【テキストコピー】

情報画面で≪その他≫→「テキストコピー」

■ **文字を選択してコピーするとき**

コピーしたい最初の文字をタップ→≪始点≫→コピーしたい最後の文字をタップ→≪終点≫

■ **文字入力画面上のすべての文字をコピーするとき**

≪全て≫

情報画面を最新の情報に更新したい 【更新】

情報画面で≪その他≫→「更新」

情報画面で URL を入力して他の情報画面にアクセスしたい 【URL 入力】

情報画面で≪その他≫→「URL 入力」→ URL を入力

履歴を使って URL を入力したい

■ **Yahoo! ケータイから操作するとき**

≪メニュー≫→≪ Y! ケータイ≫→「URL 入力」→≪その他≫→「挿入」→「URL 入力履歴」→ URL を選択

■ **情報画面から操作するとき**

情報画面で≪その他≫→「URL 入力」→≪その他≫→「挿入」→「URL 入力履歴」→ URL を選択

- URL 入力画面で履歴を使って URL を入力することができます。URL 入力履歴は、新しいものから順に最大 10 件まで表示されます。最大件数を超えたときは、古い履歴から順に消去されます。

表示しているページとは別に Web 検索をしたい 【Web 検索】

情報画面で≪その他≫→「Web 検索」→検索文字を入力

情報画面のテキストを検索したい **[ページ内検索]**

情報画面で≪その他≫→「ページ内検索」→検索語を入力

- 一致する語句が反転表示されます。≪前≫／≪次≫をタップすると、前後のテキストを検索します。

表示しているページの文頭／文末へ移動したい **[移動]**

情報画面で≪その他≫→「移動」→項目を選択

情報画面の URL をメールで送信したい **[URL 送信]**

情報画面で≪その他≫→「URL 送信」→「S! メール」／「SMS」→（➔P.4-4 S! メールを作成･送信する ❷、P.4-7 SMS を作成･送信する ❷）

以前に表示した情報画面を表示したい

■ **Yahoo! ケータイから操作するとき**

≪メニュー≫→≪ Y! ケータイ≫→「閲覧履歴」→表示したい URL を選択

■ **情報画面から操作するとき**

情報画面で≪その他≫→「閲覧履歴」→表示したい URL を選択

- 履歴にはアクセスした情報画面の URL が最大 50 件まで記録されます。

閲覧履歴を削除したい **[削除]**

≪メニュー≫→≪ Y! ケータイ≫→「閲覧履歴」→≪削除≫→削除したい履歴をチェック→≪削除≫→「はい」

- 情報画面で≪その他≫→「閲覧履歴」→≪削除≫→削除したい履歴をチェック→≪削除≫→「はい」を選択しても同じ操作を行うことができます。

閲覧履歴を送信したい **[URL 送信]**

≪メニュー≫→≪ Y! ケータイ≫→「閲覧履歴」→≪ URL 送信≫→「S! メール」／「SMS」→送信したい履歴を選択→「はい」→（➔P.4-4 S! メールを作成･送信する ❷、P.4-7 SMS を作成・送信する ❷）

- 情報画面で≪その他≫→「閲覧履歴」→≪ URL 送信≫→「S! メール」／「SMS」→送信したい履歴を選択→「はい」を選択しても同じ操作を行うことができます。

閲覧履歴の詳細を確認したい **[詳細]**

≪メニュー≫→≪ Y! ケータイ≫→「閲覧履歴」→≪詳細≫→目的の履歴を選択

- 情報画面で≪その他≫→「閲覧履歴」→≪詳細≫→目的の履歴を選択しても同じ操作を行うことができます。

情報画面を拡大／縮小したい **[拡大縮小表示]**

情報画面で≪その他≫→「拡大縮小表示」→ズームを調節

情報画面から Flash® を操作したい **[Flash® メニュー]**

情報画面の Flash® を表示し≪その他≫→「Flash® メニュー」

■ **一時停止／再生するとき**

「一時停止」／「再生」

■ **始めから再生するとき**

「始めから再生」

選択中のフレームだけを表示したい **[フレームイン]／[フレームアウト]**

情報画面で≪その他≫→「フレームイン」

- 情報画面によっては、画面が分割されていることがあります。このとき分割された 1 つ 1 つの画面を「フレーム」と呼びます。
- もとに戻るには、≪その他≫→「フレームアウト」を選択します。

表示中の情報画面のプロパティを確認したい **[プロパティ表示]**

情報画面で≪その他≫→「プロパティ表示」

■ **ページ情報を確認するとき**

「ページ情報」

■ **サーバ証明を確認するとき**

「サーバ証明」

情報画面から Yahoo! ケータイのメインメニューに移動したい

[Yahoo! ケータイ]

情報画面で≪その他≫→「Yahoo! ケータイ」

ナビゲーションバーを表示するかどうか設定したい

情報画面で≪その他≫→「設定」→「ナビゲーションバー」の「On」／「Off」

情報画面の文字サイズを変更したい

情報画面で≪その他≫→「設定」→「文字サイズ」→項目を選択

情報画面のスクロール幅を変更したい

情報画面で≪その他≫→「設定」→「スクロール単位」→項目を選択

文字コードを変更したい

情報画面で≪その他≫→「設定」→「文字コード変換」→項目を選択

- 情報画面のテキスト情報が正しく表示されない場合、文字コードを変更すると正しく表示されることがあります。

情報画面で画像やサウンドを表示／再生するかどうか設定したい

情報画面で≪その他≫→「設定」→「画像・音設定」

■ 画像の設定をするとき

「画像表示」の「On」／「Off」

■ サウンドの設定をするとき

「音再生」の「On」／「Off」

情報画面の画像などの保存先を設定したい

≪メニュー≫→≪ Y! ケータイ≫→「設定」→「保存先設定」→「本体」／「メモリカード」／「毎回確認」

- 情報画面で≪その他≫→「設定」→「保存先設定」→「本体」／「メモリカード」／「毎回確認」を選択しても同じ操作を行うことができます。

キャッシュに保存された情報を消去したい

情報画面で≪その他≫→「設定」→「メモリ操作」→「キャッシュ消去」→「はい」

Cookie を消去したい

情報画面で≪その他≫→「設定」→「メモリ操作」→「Cookie 消去」→「はい」

認証情報を消去したい

情報画面で≪その他≫→「設定」→「メモリ操作」→「認証情報消去」→「はい」

製造番号を通知するかどうか設定したい

情報画面で≪その他≫→「設定」→「セキュリティ設定」→「製造番号通知」の「On」／「Off」

Referer 情報の転送を設定したい

情報画面で≪その他≫→「設定」→「セキュリティ設定」→「Referer 送出」→項目を選択

- Referer とは、情報画面にアクセスする際にウェブサーバへ送信するリンク元の URL 情報のことです。

Cookie の設定をしたい

情報画面で≪その他≫→「設定」→「セキュリティ設定」→「Cookie 設定」→項目を選択

- 「毎回確認」を選択すると Cookie の記録を行うごとに受け入れるかどうかの確認メッセージが表示されます。
- Cookie とは、情報の提供者が訪問者を識別するためのデータを、自動的に本機に記録する仕組みです。Cookie には、ユーザー情報やアクセス日時などが記録されます。

スクリプト設定をしたい

情報画面で≪その他≫→「設定」→「セキュリティ設定」→「スクリプト設定」→項目を選択

ルート証明書を確認したい

情報画面で≪その他≫→「設定」→「セキュリティ設定」→「ルート証明書表示」→証明書を選択

- 本機にあらかじめ登録されている認証機関から発行されたルート証明書を確認できます。

認証情報の設定をしたい

情報画面で≪その他≫→「設定」→「セキュリティ設定」→「認証情報保持設定」→項目を選択

保存された情報を初期化したい

情報画面で≪その他≫→「設定」→「ブラウザ初期化」→操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫→「はい」

- ブラウザの設定やブックマーク、画面メモなどの保存された情報を初期化できます。

Yahoo! ケータイの設定をリセットしたい

情報画面で≪その他≫→「設定」→「設定リセット」→操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫→「はい」

メニュー操作からブラウザを終了したい **[ブラウザ終了]**

情報画面で≪その他≫→「ブラウザ終了」

便利

PC サイトブラウザに関する便利な機能

情報画面を拡大／縮小したい **[拡大縮小]**

情報画面で≪拡大縮小≫→ズームを調節

情報画面のテキストをコピーしたい **[テキストコピー]**

情報画面で≪その他≫→「テキストコピー」

■ 文字を選択してコピーするとき

コピーしたい最初の文字をタップ→≪始点≫→コピーしたい最後の文字をタップ→≪終点≫

■ 文字入力画面上のすべての文字をコピーするとき

≪全て≫

履歴を使って URL を入力したい

■ PC サイトブラウザから操作するとき

≪メニュー≫→≪ Y! ケータイ≫→「PC サイトブラウザ」→「URL 入力」→≪その他≫→「挿入」→「URL 入力履歴」→ URL を選択

■ 情報画面から操作するとき

情報画面で URL 欄をタップ→≪その他≫→「挿入」→「URL 入力履歴」→ URL を選択

- URL 入力画面で履歴を使って URL を入力することができます。URL 入力履歴は、新しいものから順に最大 10 件まで表示されます。最大件数を超えたときは、古い履歴から順に消去されます。

情報画面のテキストを検索したい **[ページ内検索]**

情報画面で≪その他≫→「ページ内検索」→検索語を入力

- 一致する語句が反転表示されます。≪前≫／≪次≫をタップすると、前後のテキストを検索します。

情報画面の URL をメールで送信したい **[URL 送信]**

情報画面で≪その他≫→「URL 送信」→「S! メール」／「SMS」→（➔P.4-4 S! メールを作成･送信する ❷、P.4-7 SMS を作成･送信する ❷）

表示しているページの文頭／文末へ移動したい **[クイック移動]**

情報画面で≪その他≫→「クイック移動」→枠をドラッグして表示したい範囲へドロップ→≪選択≫

以前に表示した情報画面を表示したい

■ PC サイトブラウザから操作するとき

≪メニュー≫→≪ Y! ケータイ≫→「PC サイトブラウザ」→「閲覧履歴」→表示したい URL を選択

■ 情報画面から操作するとき

情報画面で≪その他≫→「閲覧履歴」→表示したいURLを選択

- 履歴にはアクセスした情報画面のURLが最大50件まで記録されます。

閲覧履歴を削除したい【削除】

≪メニュー≫→≪Y!ケータイ≫→「PCサイトブラウザ」→「閲覧履歴」→≪削除≫→削除したい履歴をチェック→≪削除≫→「はい」

- 情報画面で≪その他≫→「閲覧履歴」→≪削除≫→削除したい履歴をチェック→≪削除≫→「はい」を選択しても同じ操作を行うことができます。

閲覧履歴を送信したい【URL送信】

≪メニュー≫→≪Y!ケータイ≫→「PCサイトブラウザ」→「閲覧履歴」→≪URL送信≫→「S!メール」／「SMS」→送信したい履歴を選択→「はい」→（➲P.4-4 S!メールを作成･送信する ❷、P.4-7 SMSを作成･送信する ❷）

- 情報画面で≪その他≫→「閲覧履歴」→≪URL送信≫→「S!メール」／「SMS」→送信したい履歴を選択→「はい」を選択しても同じ操作を行うことができます。

閲覧履歴の詳細を確認したい【詳細】

≪メニュー≫→≪Y!ケータイ≫→「PCサイトブラウザ」→「閲覧履歴」→≪詳細≫→目的の履歴を選択

- 情報画面で≪その他≫→「閲覧履歴」→≪詳細≫→目的の履歴を選択しても同じ操作を行うことができます。

情報画面からFlash®を操作したい【Flash®メニュー】

情報画面のFlash®を表示し≪その他≫→「Flash®メニュー」

■ 一時停止／再生するとき

「一時停止」／「再生」

■ 始めから再生するとき

「始めから再生」

選択中のフレームだけを表示したい【フレームイン】／【フレームアウト】

情報画面で≪その他≫→「フレームイン」

- 情報画面によっては、画面が分割されていることがあります。このとき分割された1つ1つの画面を「フレーム」と呼びます。
- もとに戻るには、≪その他≫→「フレームアウト」を選択します。

表示中の情報画面のプロパティを確認したい【プロパティ表示】

情報画面で≪その他≫→「プロパティ表示」

■ ページ情報を確認するとき

「ページ情報」

■ サーバ証明を確認するとき

「サーバ証明」

情報画面からPCサイトブラウザのメインメニューに移動したい【ホームページ】

情報画面で≪その他≫→「ホームページ」

情報画面の文字サイズを変更したい

情報画面で≪その他≫→「設定」→「文字サイズ」→項目を選択

拡大／縮小時にガイドを表示するかどうかを設定したい

情報画面で≪その他≫→「設定」→「ガイド表示」の「On」／「Off」

文字コードを変更したい

情報画面で≪その他≫→「設定」→「文字コード変換」→項目を選択

- 情報画面のテキスト情報が正しく表示されない場合、文字コードを変更すると正しく表示されることがあります。

情報画面で画像やサウンドを表示／再生するかどうか設定したい

情報画面で≪その他≫→「設定」→「画像･音設定」

■ 画像の設定をするとき

「画像表示」の「On」／「Off」

■ サウンドの設定をするとき

「音再生」の「On」／「Off」

情報画面の画像などの保存先を設定したい

≪メニュー≫→≪ Y! ケータイ≫→「PC サイトブラウザ」→「PC サイトブラウザ設定」→「保存先設定」→「本体」/「メモリカード」/「毎回確認」

- 情報画面で≪その他≫→「設定」→「保存先設定」→「本体」/「メモリカード」/「毎回確認」を選択しても同じ操作を行うことができます。

キャッシュに保存された情報を消去したい

情報画面で≪その他≫→「設定」→「メモリ操作」→「キャッシュ消去」→「はい」

Cookie を消去したい

情報画面で≪その他≫→「設定」→「メモリ操作」→「Cookie 消去」→「はい」

認証情報を消去したい

情報画面で≪その他≫→「設定」→「メモリ操作」→「認証情報消去」→「はい」

製造番号の通知/非通知を設定したい

情報画面で≪その他≫→「設定」→「セキュリティ設定」→「製造番号通知」の「On」/「Off」

Referer 情報の転送を設定したい

情報画面で≪その他≫→「設定」→「セキュリティ設定」→「Referer 送出」→項目を選択

- Referer とは、情報画面にアクセスする際にウェブサーバへ送信するリンク元の URL 情報のことです。

Cookie の設定をしたい

情報画面で≪その他≫→「設定」→「セキュリティ設定」→「Cookie 設定」→項目を選択

- 「毎回確認」を選択すると、Cookie の記録を行うごとに受け入れるかどうかの確認メッセージが表示されます。
- Cookie とは、情報の提供者が訪問者を識別するためのデータを、自動的に本機に記録する仕組みです。Cookie には、ユーザー情報やアクセス日時などが記録されます。

スクリプト設定をしたい

情報画面で≪その他≫→「設定」→「セキュリティ設定」→「スクリプト設定」→項目を選択

ルート証明書を確認したい

情報画面で≪その他≫→「設定」→「セキュリティ設定」→「ルート証明書表示」→証明書を選択

- 本機にあらかじめ登録されている認証機関から発行されたルート証明書を確認できます。

認証情報の設定をしたい

情報画面で≪その他≫→「設定」→「セキュリティ設定」→「認証情報保持設定」→項目を選択

警告メッセージの表示を設定したい

情報画面で≪その他≫→「設定」→「警告画面表示設定」→「PC サイトブラウザ起動·切替時」/「Yahoo! ケータイ切替時」の「On」/「Off」

- Yahoo! ケータイと PC サイトブラウザを切り替えたとき、または PC サイトブラウザを起動したときに警告メッセージを表示するかどうか設定できます。

保存された情報を初期化したい

情報画面で≪その他≫→「設定」→「ブラウザ初期化」→操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫→「はい」

- ブラウザの設定やブックマーク、画面メモなどの保存された情報を初期化できます。

PC サイトブラウザの設定をリセットしたい

情報画面で≪その他≫→「設定」→「設定リセット」→操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫→「はい」

情報画面の表示幅を変更したい　【スモールスクリーン】／【PC スクリーン】

情報画面で≪その他≫→「スモールスクリーン」／「PC スクリーン」

メニュー操作からブラウザを終了したい　【ブラウザ終了】

情報画面で≪その他≫→「ブラウザ終了」

便利

情報画面操作に関する便利な機能

情報画面内の電話番号／E メールアドレスを電話帳に登録したい

電話番号／E メールアドレスが表示されている情報画面で電話番号／E メールアドレスを選択→「電話帳登録」→「本体」／「USIM」

■ **新しい電話帳に登録するとき**

「新規」→（➲P.2-20 新規に電話帳を登録する ❷）

■ **既存の電話帳に追加登録するとき**

「追加」→電話帳を検索し、選択（➲P.2-21）→電話帳の登録操作（➲P.2-20）

- 利用できる電話番号／E メールアドレスには、アンダーラインが表示されます。

情報画面内の電話番号／E メールアドレスを利用してメールを送信したい

電話番号／E メールアドレスが表示されている情報画面で電話番号／E メールアドレスを選択→「メール作成」→「S! メール」／「SMS」→（➲P.4-4 S! メールを作成・送信する ❺、P.4-7 SMS を作成・送信する ❺）

- 利用できる電話番号／E メールアドレスには、アンダーラインが表示されます。

情報画面内の電話番号を利用して電話をかけたい

電話番号が表示されている情報画面で電話番号を選択→「音声通話」／「TV コール」

- 利用できる電話番号には、アンダーラインが表示されます。

情報画面内の URL を利用して他の情報画面にアクセスしたい

URL が表示されている情報画面で URL を選択

- 利用できる URL には、アンダーラインが表示されます。

情報画面から画像や各種ファイルを保存したい

■ **情報画面内に表示されている画像を保存するとき**

目的の情報画面で≪その他≫→「保存」→「ファイル保存」→保存したい画像を選択→≪保存≫

- Yahoo! ケータイでは、画像が複数あるときのみ、保存したい画像を選択します。

■ **背景画像を保存するとき**

目的の情報画面で≪その他≫→「保存」→「背景画像を保存」→≪保存≫

■ **バックグラウンドで再生されるサウンドを保存するとき**

目的の情報画面で≪その他≫→「保存」→「ファイル保存」→≪保存≫

- PC サイトブラウザでは保存できません。

■ リンク先の各種ファイルを保存するとき

リンクが表示されている情報画面で保存したいファイルのリンクを選択→≪保存≫

- 自動保存形式のファイルの場合は、リンクを選択すると自動で保存を行います。
- ファイルの詳細が表示されている画面では、次の操作を行うことができます（ファイルにより、行える操作が異なります）。

  ≪ディスプレイ≫：画像などを表示

  ≪再生≫：ファイルを再生

  ≪マイ絵文字で保存≫：絵文字として保存

  ≪ブラウザへ戻る≫：情報画面へ戻る

  ≪登録≫：保存したファイルを各種の画面／着信音に設定
- ファイル名が重複する旨の確認メッセージが表示されたときは「はい」を選択すると別名で保存します。「いいえ」を選択するとファイル名を編集できます。

便利

ブックマークに関する便利な機能

情報画面を表示中にブックマークから接続したい　[一覧表示]

情報画面で≪ブックマーク≫→「一覧表示」→表示したいブックマークを選択

- ブックマークの一覧画面で／をタップして、リスト表示とサムネイル表示を切り替えることができます。

ブックマークを直接入力して登録したい　[新規登録]

■ Yahoo! ケータイから操作するとき

≪メニュー≫→≪ Y! ケータイ≫→「ブックマーク」→≪新規登録≫→ URL 欄をタップ→ URL を入力→タイトル欄をタップ→タイトルを入力→≪保存≫

■ PC サイトブラウザから操作するとき

≪メニュー≫→≪ Y! ケータイ≫→「PC サイトブラウザ」→「ブックマーク」→≪新規登録≫→ URL 欄をタップ→ URL を入力→タイトル欄をタップ→タイトルを入力→≪保存≫

■ 情報画面から操作するとき

情報画面で≪ブックマーク≫→「一覧表示」→≪新規登録≫→ URL 欄をタップ→ URL を入力→タイトル欄をタップ→タイトルを入力→≪保存≫

ブックマークのタイトルや URL を編集したい　[編集]

■ Yahoo! ケータイから操作するとき

≪メニュー≫→≪ Y! ケータイ≫→「ブックマーク」→≪編集≫→編集したいブックマークを選択→ URL 欄をタップ→ URL を編集→タイトル欄をタップ→タイトルを編集→≪保存≫

■ PC サイトブラウザから操作するとき

≪メニュー≫→≪ Y! ケータイ≫→「PC サイトブラウザ」→「ブックマーク」→≪編集≫→編集したいブックマークを選択→ URL 欄をタップ→ URL を編集→タイトル欄をタップ→タイトルを編集→≪保存≫

■ 情報画面から操作するとき

情報画面で≪ブックマーク≫→「一覧表示」→≪編集≫→編集したいブックマークを選択→ URL 欄をタップ→ URL を編集→タイトル欄をタップ→タイトルを編集→≪保存≫

ブックマークを削除したい　[削除]

■ Yahoo! ケータイから操作するとき

≪メニュー≫→≪ Y! ケータイ≫→「ブックマーク」→≪削除≫→削除したいブックマークをチェック→≪削除≫→「はい」

■ PC サイトブラウザから操作するとき

≪メニュー≫→≪ Y! ケータイ≫→「PC サイトブラウザ」→「ブックマーク」→≪削除≫→削除したいブックマークをチェック→≪削除≫→「はい」

■ 情報画面から操作するとき

情報画面で≪ブックマーク≫→「一覧表示」→≪削除≫→削除したいブックマークをチェック→≪削除≫→「はい」

- サムネイル表示では、削除したいブックマークを選択→「はい」と操作します。

ブックマークの一覧表示にフォルダを作成したい 【フォルダ作成】

■ Yahoo! ケータイから操作するとき

≪メニュー≫→≪ Y! ケータイ≫→「ブックマーク」→≪その他≫→「フォルダ作成」→フォルダ名を入力

■ PC サイトブラウザから操作するとき

≪メニュー≫→≪ Y! ケータイ≫→「PC サイトブラウザ」→「ブックマーク」→≪その他≫→「フォルダ作成」→フォルダ名を入力

■ 情報画面から操作するとき

情報画面で≪ブックマーク≫→「一覧表示」→≪その他≫→「フォルダ作成」→フォルダ名を入力

ブックマークの URL をメールで送信したい 【送信】

■ Yahoo! ケータイから操作するとき

≪メニュー≫→≪ Y! ケータイ≫→「ブックマーク」→≪その他≫→「送信」→「メール」→「添付して送信」／「SMS 本文に挿入」→メールで送信したいブックマークを選択→（➲P.4-4 S! メールを作成・送信する❷、P.4-7 SMS を作成・送信する❷）

■ PC サイトブラウザから操作するとき

≪メニュー≫→≪ Y! ケータイ≫→「PC サイトブラウザ」→「ブックマーク」→≪その他≫→「送信」→「メール」→「添付して送信」／「SMS 本文に挿入」→メールで送信したいブックマークを選択→（➲P.4-4 S! メールを作成・送信する❷、P.4-7 SMS を作成・送信する❷）

■ 情報画面から操作するとき

情報画面で≪ブックマーク≫→「一覧表示」→≪その他≫→「送信」→「メール」→「添付して送信」／「SMS 本文に挿入」→メールで送信したいブックマークを選択→（➲P.4-4 S! メールを作成・送信する❷、P.4-7 SMS を作成・送信する❷）

ブックマークの URL を Bluetooth® で送信したい 【送信】

■ Yahoo! ケータイから操作するとき

≪メニュー≫→≪ Y! ケータイ≫→「ブックマーク」→≪その他≫→「送信」→「Bluetooth」→ Bluetooth® で送信したいブックマークをチェック→≪送信≫→（➲P.13-8 データを 1 件ずつ送信する❷）

■ PC サイトブラウザから操作するとき

≪メニュー≫→≪ Y! ケータイ≫→「PC サイトブラウザ」→「ブックマーク」→≪その他≫→「送信」→「Bluetooth」→ Bluetooth® で送信したいブックマークをチェック→≪送信≫→（➲P.13-8 データを 1 件ずつ送信する❷）

■ 情報画面から操作するとき

情報画面で≪ブックマーク≫→「一覧表示」→≪その他≫→「送信」→「Bluetooth」→ Bluetooth® で送信したいブックマークをチェック→≪送信≫→（➲P.13-8 データを 1 件ずつ送信する❷）

- サムネイル表示では、送信したいブックマークを選択→「はい」と操作します。

ブックマークの URL を赤外線通信で送信したい 【送信】

■ Yahoo! ケータイから操作するとき

≪メニュー≫→≪ Y! ケータイ≫→「ブックマーク」→≪その他≫→「送信」→「赤外線通信」→赤外線で送信したいブックマークをチェック→≪送信≫（➲P.13-4）

■ PC サイトブラウザから操作するとき

≪メニュー≫→≪ Y! ケータイ≫→「PC サイトブラウザ」→「ブックマーク」→≪その他≫→「送信」→「赤外線通信」→赤外線で送信したいブックマークをチェック→≪送信≫（➲P.13-4）

■ 情報画面から操作するとき

情報画面で≪ブックマーク≫→「一覧表示」→≪その他≫→「送信」→「赤外線通信」→赤外線で送信したいブックマークをチェック→≪送信≫（➲P.13-4）

- サムネイル表示では、送信したいブックマークを選択→「はい」と操作します。

ブックマークをフォルダの中に移動したい　【移動】

■ Yahoo! ケータイから操作するとき

≪メニュー≫→≪ Y! ケータイ≫→「ブックマーク」→≪その他≫→「移動」→移動したいブックマークをチェック→≪移動≫→移動先のフォルダを選択

■ PC サイトブラウザから操作するとき

≪メニュー≫→≪ Y! ケータイ≫→「PC サイトブラウザ」→「ブックマーク」→≪その他≫→「移動」→移動したいブックマークをチェック→≪移動≫→移動先のフォルダを選択

■ 情報画面から操作するとき

情報画面で≪ブックマーク≫→「一覧表示」→≪その他≫→「移動」→移動したいブックマークをチェック→≪移動≫→移動先のフォルダを選択

- 新規にフォルダを作成してその中に移動する場合は、≪フォルダ作成≫→フォルダ名を入力します。
- サムネイル表示では、移動したいブックマークを選択→移動先のフォルダを選択します。

ブックマークを並び替えたい　【並び替え】

■ Yahoo! ケータイから操作するとき

≪メニュー≫→≪ Y! ケータイ≫→「ブックマーク」→≪その他≫→「並び替え」→移動したいブックマークをホールドし、選択されたことを確認後ドラッグして移動先へドロップ→≪完了≫

■ PC サイトブラウザから操作するとき

≪メニュー≫→≪ Y! ケータイ≫→「PC サイトブラウザ」→「ブックマーク」→≪その他≫→「並び替え」→移動したいブックマークをホールドし、選択されたことを確認後ドラッグして移動先へドロップ→≪完了≫

■ 情報画面から操作するとき

情報画面で≪ブックマーク≫→「一覧表示」→≪その他≫→「並び替え」→移動したいブックマークをホールドし、選択されたことを確認後ドラッグして移動先へドロップ→≪完了≫

ブックマークをデータフォルダに保存したい　【データフォルダに保存】

■ Yahoo! ケータイから操作するとき

≪メニュー≫→≪ Y! ケータイ≫→「ブックマーク」→≪その他≫→「データフォルダに保存」→「本体」→保存したいブックマークを選択→「はい」

■ PC サイトブラウザから操作するとき

≪メニュー≫→≪ Y! ケータイ≫→「PC サイトブラウザ」→「ブックマーク」→≪その他≫→「データフォルダに保存」→「本体」→保存したいブックマークを選択→「はい」

■ 情報画面から操作するとき

情報画面で≪ブックマーク≫→「一覧表示」→≪その他≫→「データフォルダに保存」→「本体」→保存したいブックマークを選択→「はい」

- メモリカードを取り付けているときは、保存先に「メモリカード」も選択できます。

ブックマークの詳細を確認したい　【詳細】

■ Yahoo! ケータイから操作するとき

≪メニュー≫→≪ Y! ケータイ≫→「ブックマーク」→≪その他≫→「詳細」→目的のブックマークを選択

■ PC サイトブラウザから操作するとき

≪メニュー≫→≪ Y! ケータイ≫→「PC サイトブラウザ」→「ブックマーク」→≪その他≫→「詳細」→目的のブックマークを選択

■ 情報画面から操作するとき

情報画面で≪ブックマーク≫→「一覧表示」→≪その他≫→「詳細」→目的のブックマークを選択

便利

画面メモに関する便利な機能

情報画面を表示中に画面メモを表示したい　［画面メモ］

情報画面で≪画面メモ≫（画面によっては≪その他≫→「画面メモ」）→「一覧表示」→表示したい画面メモを選択

- 画面メモの一覧画面で／をタップして、リスト表示とサムネイル表示を切り替えることができます。

画面メモのタイトルを編集したい　［ページ名変更］

■ **Yahoo! ケータイから操作するとき**

≪メニュー≫→≪ Y! ケータイ≫→「画面メモ」→≪ページ名変更≫→編集したい画面メモを選択→名前を入力

■ **PC サイトブラウザから操作するとき**

≪メニュー≫→≪ Y! ケータイ≫→「PC サイトブラウザ」→「画面メモ」→≪ページ名変更≫→編集したい画面メモを選択→名前を入力

■ **情報画面から操作するとき**

情報画面で≪画面メモ≫（画面によっては≪その他≫→「画面メモ」）→「一覧表示」→≪ページ名変更≫→編集したい画面メモを選択→名前を入力

画面メモを削除したい　［削除］

■ **Yahoo! ケータイから操作するとき**

≪メニュー≫→≪ Y! ケータイ≫→「画面メモ」→≪削除≫→削除したい画面メモを選択→「はい」

■ **PC サイトブラウザから操作するとき**

≪メニュー≫→≪ Y! ケータイ≫→「PC サイトブラウザ」→「画面メモ」→≪削除≫→削除したい画面メモを選択→「はい」

■ **情報画面から操作するとき**

情報画面で≪画面メモ≫（画面によっては≪その他≫→「画面メモ」）→「一覧表示」→≪削除≫→削除したい画面メモを選択→「はい」

- リスト表示では、削除したい画面メモをチェック→≪削除≫→「はい」と操作します。

画面メモを並び替えたい　［並び替え］

■ **Yahoo! ケータイから操作するとき**

≪メニュー≫→≪ Y! ケータイ≫→「画面メモ」→≪並び替え≫→移動したい画面メモをホールドし、選択されたことを確認後ドラッグして移動先へドロップ→≪完了≫

■ **PC サイトブラウザから操作するとき**

≪メニュー≫→≪ Y! ケータイ≫→「PC サイトブラウザ」→「画面メモ」→≪並び替え≫→移動したい画面メモをホールドし、選択されたことを確認後ドラッグして移動先へドロップ→≪完了≫

■ **情報画面から操作するとき**

情報画面で≪画面メモ≫（画面によっては≪その他≫→「画面メモ」）→「一覧表示」→≪並び替え≫→移動したい画面メモをホールドし、選択されたことを確認後ドラッグして移動先へドロップ→≪完了≫

テレビ

6

大画面でワンセグを楽しむ

本機では、地上デジタルテレビ放送の携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」を視聴できます。
この章では、ワンセグの楽しみかたについて説明します。

チャンネル設定

ワンセグ放送を視聴できるようにチャンネルを設定します（➡P.6-4）。

テレビを見る

待受画面で を 1 秒以上押すだけで、テレビを視聴できます（➡P.6-4）。



番組表を利用する



ダウンロードした番組表を利用して、自分の見たい番組を簡単に探すことができます（➡P.6-6）。

データ放送を見る



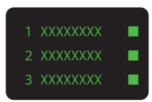
番組に関連した情報などが入手できるデータ放送を視聴できます（➡P.6-6）。

テレビの録画／再生／予約



番組表や日時を指定してテレビを録画／予約できます。録画したテレビは再生できます（➡P.6-9）。

TV リンク



TV リンクを使って番組に参加できます（➡P.6-6）。

地上デジタル放送とワンセグについて

ワンセグは地上デジタル放送の携帯・移動体向けサービスです。
ワンセグとは、地上デジタル放送の電波の一部を使用して、携帯電話などの小型機器でもご家庭と同じようにテレビやデータ放送の視聴を可能にした、携帯・移動体向けの地上デジタルテレビサービスです。
地上デジタル放送の 6MHz の帯域を 13 分割して送る日本独自の放送方式によって実現したサービスで、13 分割された 1 つの部分（セグメント）だけで放送されるため「ワンセグ」と呼ばれるようになりました。
ワンセグは 2006 年 4 月 1 日から三大広域圏（都市圏）と 13 の県の放送局で開始されているサービスです。受信料などについて詳しくは、下記のホームページなどを参照してください。

- 社団法人 デジタル放送推進協会 -
  http://www.dpa.or.jp/（パソコン用）
  http://www.dpa.or.jp/1seg/k/
  （携帯電話用）

テレビ利用時のご注意

テレビをご利用になる前に、次のことをご確認ください。

- 本機のテレビは日本国内の地上波デジタルテレビ放送の携帯・移動体通信向けサービス「ワンセグ」を利用できます。海外では放送方式や放送の周波数が異なるため利用できません。
- 自転車やバイク、自動車などの運転中はテレビを利用しないでください。周囲の音が聞こえにくく、映像や音声に気をとられるため、交通事故の原因となります。[道路交通法により、運転中の携帯電話の使用は罰則の対象となります（2004 年 11 月 1 日改正施行)]。また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。踏切や横断歩道などでは特にご注意ください。
- テレビ視聴中に音声電話での通話やメールを受信すると、テレビの映像や音声に影響を与えることがあります。また、テレビ視聴中にほかの携帯電話を近づけると、テレビの映像や音声に影響を与えることがあります。
- 静かな場所や音を出せない場所では、イヤホンマイク（オプション品）の使用をおすすめします。

電波の受信状況

電波の受信状況が悪い次のような場所では、テレビが正しく利用できないことがあります。

- 放送局から遠い地域または放送局から極端に近い地域
- 山間部やビルの陰
- 移動中の電車や自動車の中
- 高圧線、ネオン、無線局の近くなど
- 線路や高速道路の近くなど
- 地下街、トンネルの中など
- その他、妨害電波が多かったり、電波が遮断されたりする場所

電池残量

電池レベル表示が□のときは、テレビは起動できません。

- 視聴中に電池残量が不足すると、テレビは自動的に終了します。

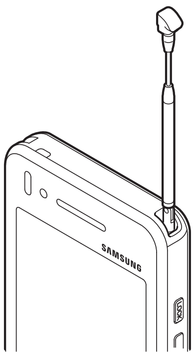
充電中の視聴

テレビは充電しながらでも視聴できます。

- 充電中に視聴するときは、ソフトバンクが指定した充電器を使用してください。
- 充電中に急速充電器のコードをアンテナに近づけると、映像に影響を与えることがあります。
- テレビを利用しながら充電すると、充電が完了するまでに時間がかかります。

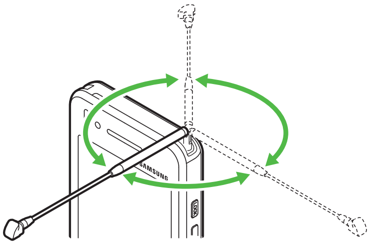
アンテナの取り扱い

- アンテナは 2 段式になっています。固定されるまで十分に引き出してください。



- 収納するときは、アンテナの下の方を持ってください。上の方を持って無理に押し込むと、破損の原因となります。先端が収納されるまで、完全に収納してください。

- アンテナをご使用になるときは、十分引き出してください。ただし、放送局が極端に近いときは、アンテナを縮めた方がテレビがきれいに映ることがあります。
- アンテナは折り曲げると360°回転します。受信感度に合わせて調整してください。



チャンネルを設定する（エリア設定）

初めてテレビをお使いになるとき（エリア設定）

本機には、あらかじめ各地域のチャンネル情報が登録されています。初めてお使いになるときは、地域を指定してエリアの設定をします。

1. （1 秒以上）
2. 確認画面が表示されたら「はい」
3. エリアを選択
4. 都道府県を選択
5. ローカルエリアを選択
   - チャンネルの検索を開始します。
   - 開始されたチャンネルの検索を中止する場合は、「キャンセル」をタップします。
6. ≪次≫→名前を入力→エリアを選択

テレビ視聴

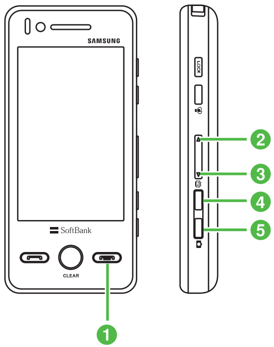
チャンネル設定がされていれば、テレビを見ることはもちろん、番組表を利用したり、データ放送、テレビリンクを利用できます。

テレビを見る

1. （1 秒以上）
2. チャンネル番号欄をタップ→チャンネルを選択
   - 1 つずつ選択して変更する場合は、◀／▶をタップします。
3. テレビを終了する場合は → 「はい」

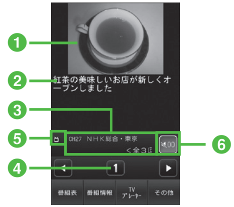
- テレビ視聴中に音量を調節するには、／ を押します。

テレビで使用するボタン

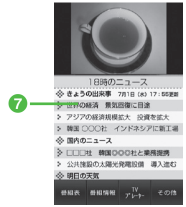


番　号	機　能
①	テレビの終了
②③	音量の調節
④（1 秒以上）	テレビの起動
⑤（1 秒以上）	録画／録画終了

テレビ画面の見かた



縦画面／③〜⑥を表示（字幕あり）



縦画面／データ放送を表示



横画面／③〜⑥を表示



横画面／③〜⑥を非表示

① テレビ映像

② 字幕

③ 放送局名／番組名

④ チャンネル

- チャンネルが設定されていない場合は、▦が表示されます。

⑤ テレビ受信状態

⑥ 音量

⑦ データ放送

- 縦画面／横画面を切り替えるには、本機を縦／横に持ちます。
- テレビ映像をタップまたは ○、▭ を除くいずれかのボタンを押すと、③〜⑥が数秒間表示されます。
- データ放送は縦画面のみです。

番組表（G ガイドモバイル）を利用する

番組表（G ガイドモバイル）は、地上波アナログ、地上波デジタルの番組表を見ることができる便利なアプリです。
いつでもどこでも知りたいテレビ番組の番組情報をジャンルやキーワードから検索し、簡単に取得して録画や視聴の予約ができます。

1 → 「番組表」

- テレビ画面で≪番組表≫をタップしても番組表を表示できます。
- 番組表を初めて起動したときは、「G ガイドモバイル」の初期設定画面が表示されます。初期設定を行うと、番組表が表示されます。

- 番組表で項目を反転表示するには、↑、↓、←、→をタップします。○をタップすると、反転表示した項目を選択します。
- 番組表で、視聴したい番組を反転表示して≪ TV 起動≫をタップすると、テレビ画面が表示されます。また、「選択」をタップすると、反転表示した番組の詳細が表示されます。

データ放送を利用する

テレビでは、映像／音声に加えてデータ放送を利用できます。データ放送では、画面に表示される説明に従って操作することで、番組に関連した情報を入手したり、投票などで番組に参加するなど、さまざまな情報を利用できます。
データ放送の利用方法は、番組によって異なります。

1 テレビ視聴中に▲／▼で表示したい項目を反転表示→「選択」

- データ放送、放送局サーバによっては、インターネットに接続するかどうかの確認画面が表示されます。データ放送を見る（放送で情報を受信する）ときは、通信料はかかりませんが、データ放送サイトなどでインターネットを利用したサービスを利用するときは、通信料がかかります。

注意

- データ放送の視聴には通信料はかかりません。ただし、データ放送で提供される双方向サービスを利用するときや、インターネットを利用したサービスを利用するときなどには、通信料がかかります。

TV リンクを利用する

TV リンクの登録操作は番組によって異なります。詳しくはデータ放送内の情報を確認してください。

TV リンクを登録する

1 データ放送を行っている番組で、「テレビリンク登録」などの項目を選択

TV リンクを表示する

1 → 「TV リンク」→ TV リンクを選択

使いこなしチェック!

便利 ☞P.6-11

- テレビを視聴中に着信を拒否して電話を切りたい
- 視聴しているチャンネルの番組情報を確認/利用したい
- 放送中の番組を画像で一覧表示してチャンネルを選択したい
- エリア内のチャンネル情報を更新したい
- エリア名を変更したい
- エリアを削除したい
- チャンネル情報をすべてリセットしたい
- エリアの詳細を確認したい
- チャンネル番号を変更したい
- チャンネル情報を削除したい
- チャンネル情報の詳細を確認したい
- 字幕の表示を設定したい
- データ放送を全画面で見たい
- データ放送のトップページに戻りたい
- TV リンクを表示したい
- テレビの視聴中に Bluetooth® 対応のステレオヘッドフォンに切り替えたい
- 視聴中の番組を録画したい
- テレビを終了したい
- TV リンクを削除したい
- TV リンクの詳細を確認したい

設定

- 通信接続確認を設定する(☞P.14-20)
- 製造番号を自動的に通知するかどうか設定する(☞P.14-20)
- 放送局データを削除する(☞P.14-20)
- 横画面でディスプレイ最上段に各種お知らせのアイコンを表示するかどうかを設定する(☞P.14-21)
- 横画面で 4:3 の映像を拡大表示するかどうかを設定する(☞P.14-21)
- 縦画面で 4:3 の映像を拡大表示するかどうかを設定する(☞P.14-21)
- 画面の明るさを設定する(☞P.14-21)
- 番組に合わせた音質に設定する(☞P.14-21)
- 音声切り替えを設定する(☞P.14-21)
- 音声出力を設定する(☞P.14-21)
- テレビ視聴中の着信・アラームの動作を設定する(☞P.14-22)
- 設定時間でテレビが消えるようにする(☞P.14-22)

番組の録画/再生

番組を録画する前に

- メモリカードに録画する際は、あらかじめ、本機でフォーマット(初期化)したメモリカードを取り付けておいてください(➔P.12-13)。
- 録画中は、絶対にメモリカードを取り外さないでください。録画したデータが消えたり、メモリカードが破損する原因となります。
- 本機/メモリカードの空き容量が少ないときは、録画できません。
- 録画中に電池残量が不足すると、録画は終了します。充電しながら録画することをおすすめします。
- 録画した番組は、コピー、転送、メール添付送信などを行うことはできません。
- 1 件あたり最大約 12 時間録画できます。ただし、12 時間の録画を行うには、約 2G バイトのメモリが必要です。
- データが何も保存されていない 256M バイトのメモリカードに録画できる時間の目安は、約 90 分です。

著作権保護について（番組録画時）
本機には、著作権保護のための暗号化技術が組み込まれており、データを記録する際に、メモリカードとの間でデータの暗号化／認証処理を行っています。
SD-Video 規格「ISDB-T mobile Video profile」に対応した機器以外では、この暗号化されたデータは再生できません。

注意

- お客様が録画したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 録画した内容は、事故や故障によって、消失または変化してしまうことがあります。なお、データが消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 録画したデータを、別のメモリカードなど他のメディアにデジタル録画（コピー）することはできません。

放送中の番組を録画する

放送中の番組を録画できます。

1 テレビ画面で ▭◘（1 秒以上）

- 録画が始まります。

2 録画を終了するには≪保存≫／ ▭◘（1 秒以上）

- データ放送があるときは、映像とデータ放送の両方が録画されます。映像だけ録画するように設定しておくこともできます（➔P.14-20）。
- 録画中に音量、画面サイズ、サウンド設定を変更しても、録画内容には反映されません。
- メモリカードに録画した場合は、SD_VIDEO フォルダに保存されます。

注意

- 録画中にメモリ残量や電池残量が不足したりすると、録画は終了します。このとき、終了するまでに録画していた番組は保存されます。
- 音声電話の着信があったときは、録画は継続されます。TV コールの着信があったときは、録画を継続するかどうかの確認メッセージが表示されます。
- 動画を着信音に設定しているとき、テレビ録画中に着信があると、お買い上げ時の着信音が鳴ることがあります。

録画した番組を再生する

1 ▭ →「TV プレイヤー」

- テレビ画面で≪ TV プレイヤー≫をタップしても TV プレイヤーを表示できます。

2 ファイルを選択

- メモリカードに録画されたファイルを表示するには、▯をタップします。
- 前回の再生時に途中で停止していたときは、続きから再生されます。
- ⏸で一時停止、▶で再生します。
- ⏪／⏩で巻き戻し／早送りができます。1 回タップすると「× 2」、2 回タップすると「× 10」になります。
- 早送り／巻き戻しを解除するときは、▶をタップします。
- 停止するときは≪停止≫をタップします。

- 録画したファイルの詳細を確認するには、操作 1 のあと、≪詳細≫をタップしてからファイルを選択します。
- ファイル名を変更するには、操作 1 のあと、≪ファイル名変更≫→変更したいファイルを選択→ファイル名を入力します。
- 録画したファイルを削除するには、操作 1 のあと、≪削除≫→削除したいファイルをチェック→≪削除≫をタップします。

使いこなしチェック!

設定

- データ放送の録画内容を設定する（☞P.14-20）
- データ放送を保存するときの保存先を設定する（☞P.14-20）

録画／視聴の予約

録画／視聴予約する前に

最大 5 件まで、録画／視聴予約を登録できます。ただし、録画／視聴予約の「日付」で「1 回のみ」を選択したときは、1週間より先の番組の録画／視聴予約はできません。また、1 件あたりに設定可能な録画時間は、最大 4 時間です。ただし、メモリの容量によっては、録画可能時間が少なくなることがあります（4 時間の録画を行うには、約 680M バイト以上のメモリが必要です）。

録画予約時のご注意

録画が開始される前に次のことを確認しておいてください。

- 他の機能が終了していること
- アンテナを調整し、TV が良好に受信できるようにすること
- 電池残量が不足していないこと（充電しながら録画することをおすすめします）。
- メモリ残量が不足していないこと

録画の保存先について

- 録画の保存先がメモリカードに設定されていて、メモリカードが取り付けられていない場合は、本機に録画されます。
- 録画開始時に保存先のメモリが不足しているときは、保存先を切り替えて録画されます。

録画開始／終了時刻について

デジタル TV では、実際の番組開始時刻よりも、少し遅れて番組が受信されます。そのため、予約した番組が始まる少し前から録画が始まることがあります。
録画終了時刻は、番組の最後が切れないよう、設定した時刻よりも数秒間遅くなります。

視聴予約時のご注意

視聴が開始される前に次のことを確認しておいてください。

- 誤動作防止が解除されていること
- 「パネル消灯時自動ロック」が「Off」に設定されていること

番組表から予約したときについて

番組表を利用して、選択した番組を録画／視聴予約することができます（➔P.6-6）。

注意

- 誤動作防止が設定されていると、視聴予約した時間になってもテレビが起動されません。

番組表から予約する

1 📺▭ →「録画／視聴予約」

2 ≪新規予約≫→「番組表から」

- 以降の操作について詳しくは番組表のヘルプを参照してください。

日付やチャンネルを指定して予約する

1 📺▭ →「録画／視聴予約」

2 ≪新規予約≫→「手動設定」

3 「録画」の「On」／「Off」

- 録画する場合は「On」、視聴のみの場合は「Off」を選択します。

4 「予約日」→「1 回のみ」→日付欄をタップ→日付を入力

5 「開始時間」→開始時間を入力

6 「終了時間」→終了時間を入力

7 「チャンネル」→チャンネルを選択

- チャンネル番号を入力するときは、≪手動≫をタップします。

8 ≪保存≫

- 録画／視聴予約の時刻が近づく（アラーム通知時間になる）と、予約時刻が近づいていることを、画面表示とアラームでお知らせします。
  テレビ視聴以外の機能が起動しているときは、使用中の機能を終了してください。待受画面に戻ると予約内容が実行されます。

予約内容を確認する

1 📺▭ →「録画／視聴予約」

2 「予約」／「結果」→予約内容を選択

- 予約時刻前の予約は「予約」、予約時刻を過ぎた予約は「結果」に表示されます。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.6-14

- 予約内容を編集したい
- 予約内容を削除したい
- メモリ残量を確認したい

設定

- 予約通知のアラームを設定する（☞P.14-19）
- 予約通知のアラーム音を設定する（☞P.14-19）
- 予約通知の音量を設定する（☞P.14-19）
- 予約時間にバイブレータでお知らせする（☞P.14-20）
- 予約時間にライトでお知らせする（☞P.14-20）
- アラームの通知時間を設定する（☞P.14-20）
- アラームの鳴動時間を設定する（☞P.14-20）
- マナーモード時のアラーム音／バイブレータを設定する（☞P.14-20）
- 録画の保存先を設定する（☞P.14-21）

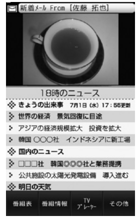
テレビ視聴中の着信

電話が着信すると



着信画面が表示されます。 を押すと電話を受けられます。
通話中は相手の電話番号が表示されます。
通話を終了するとテレビ画面に戻ります。

メールを受信すると



ディスプレイ最上段に電話帳に登録されている相手の名前などが表示されます。
表示をタップするとメールを見られます。
 を押すとテレビ画面に戻ります。

- メールを確認しないで待受画面に戻ると、受信の通知画面に新着メールと未読メールの合計が表示されます。
- テレビ視聴中に音声電話で通話をしたりメールを受信すると、テレビの映像や音声に影響を与えることがあります。また、テレビ利用中に他の携帯電話を近づけると、テレビの映像や音声に影響を与えることがあります。

便利な機能

便利

テレビ視聴中の便利な機能

テレビを視聴中に電話を受けたい

テレビ視聴中に

- 通話が終了するとテレビ画面に戻ります。

テレビを視聴中に着信を拒否して電話を切りたい　【拒否】

着信画面で≪拒否≫

視聴しているチャンネルの番組情報を確認／利用したい　【番組情報】

テレビ画面で≪番組情報≫

■ 番組の詳細を確認するとき

確認したい番組を選択

■ 録画予約するとき

≪録画予約≫→録画予約したい番組を選択→「はい」／「いいえ」

- 放送中の番組を選択した場合は、すぐに録画が開始されます。

■ 視聴予約するとき

≪視聴予約≫→視聴予約したい番組を選択

■ 予約一覧を表示するとき

≪予約一覧≫

■ メモリ残量を確認するとき

≪メモリ残量≫→「本体メモリ」／「メモリカード」

放送中の番組を画像で一覧表示してチャンネルを選択したい　【チャンネルプレビュー】

テレビ画面で≪その他≫→「チャンネルプレビュー」→チャンネルを選択

エリアを変更したい

テレビ画面で≪その他≫→「チャンネル設定」→「エリア切替」→エリアを選択

エリアを設定したい

テレビ画面で≪その他≫→「チャンネル設定」→「エリア切替」→未設定のエリアを選択→「はい」→エリアを選択→都道府県を選択→ローカルエリアを選択→≪次≫→名前を入力→≪完了≫

- エリアは 10 件まで登録できます。

エリア内のチャンネル情報を更新したい　【チャンネル更新】

テレビ画面で≪その他≫→「チャンネル設定」→「エリア切替」→≪チャンネル更新≫

■ 全更新するとき

「全更新」→エリアを選択→「はい」

- 登録されているチャンネルを消去して更新します。

■ 追加更新するとき

「追加更新」→エリアを選択

- 登録されているチャンネルは変更されずに、受信したチャンネルを追加します。チャンネル番号が重複しているときは、登録済みのチャンネルに上書きされます。

- テレビ画面で≪その他≫→「チャンネル設定」→「チャンネル切替」→≪チャンネル更新≫→「全更新」／「追加更新」→必要に応じて「はい」と操作しても、エリア内のチャンネル情報を更新できます。

エリア名を変更したい　【エリア名変更】

テレビ画面で≪その他≫→「チャンネル設定」→「エリア切替」→≪エリア名変更≫→エリアを選択→名前を入力→≪完了≫

エリアを削除したい　【削除】

テレビ画面で≪その他≫→「チャンネル設定」→「エリア切替」→≪削除≫→削除したいエリアを選択→「はい」

チャンネル情報をすべてリセットしたい　【設定リセット】

テレビ画面で≪その他≫→「チャンネル設定」→「エリア切替」→≪その他≫→「設定リセット」→「はい」

エリアの詳細を確認したい　【詳細】

テレビ画面で≪その他≫→「チャンネル設定」→「エリア切替」→≪その他≫→「詳細」→エリアを選択

チャンネルを一覧から選択したい

テレビ画面で≪その他≫→「チャンネル設定」→「チャンネル切替」→チャンネルを選択

チャンネル番号を変更したい　【移動】

テレビ画面で≪その他≫→「チャンネル設定」→「チャンネル切替」→≪移動≫→移動したいチャンネルをホールドし、選択されたことを確認後ドラッグして移動先へドロップ→≪ OK ≫

チャンネル情報を削除したい　【削除】

テレビ画面で≪その他≫→「チャンネル設定」→「チャンネル切替」→≪削除≫→削除したいチャンネルをチェック→≪削除≫→「はい」

チャンネル情報の詳細を確認したい　【詳細】

テレビ画面で≪その他≫→「チャンネル設定」→「チャンネル切替」→≪詳細≫→チャンネルを選択

チャンネル情報を保存したい

テレビ画面で≪その他≫→「チャンネル設定」→「チャンネル保存」→チャンネルを選択→「はい」

チャンネルの選択方法を設定したい

テレビ画面で≪その他≫→「チャンネル設定」→「チャンネル選択設定」→項目を選択

字幕の表示を設定したい　【字幕表示】／【字幕非表示】

テレビ画面で≪その他≫→「字幕表示」／「字幕非表示」

- 字幕なしの番組のときは字幕表示の設定にかかわらず、字幕は表示されません。
- 字幕付きの番組でも、字幕が表示されていないときは、字幕エリアだけが表示されます。

データ放送を全画面で見たい　【データ放送全画面表示】

テレビ画面で≪その他≫→「データ放送全画面表示」

- テレビ映像を選択するには、≪ TV ≫をタップします。

データ放送のトップページに戻りたい　【データ放送トップに戻る】

テレビ画面で≪その他≫→「データ放送トップに戻る」

TV リンクを表示したい　【TV リンク】

テレビ画面で≪その他≫→「TV リンク」→表示したい TV リンクを選択→「はい」

- TV リンクをタップすると、ネットワークに接続します。

テレビの視聴中に Bluetooth® 対応のステレオヘッドフォンに切り替えたい　【ヘッドフォンに接続】／【本体で聴く】

テレビ画面で≪その他≫→「ヘッドフォンに接続」→接続先のデバイスをタップし、選択されたことを確認後ドラッグして[アイコン]へドロップ

- 「ヘッドフォンに接続」に設定すると、本機での音量調節はできません。AV ヘッドフォン側で調節してください。
- 著作権保護規格「SCMS-T」対応の Bluetooth® ステレオヘッドフォンのみご利用可能です。
- モノラルヘッドフォンでは再生できません。
- 接続先が登録されていないときは、周辺デバイスを検索し、登録します。
- テレビの視聴中に音声出力を本機に切り替えるには、≪その他≫→「本体で聴く」を選択します。

予約時間お知らせを設定したい

テレビ画面で≪その他≫→「設定」→「予約時間お知らせ」

■ アラーム音を設定するとき
「アラーム音」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択

■ 音量を設定するとき
音量欄で音量を調節

■ バイブレータを設定するとき
「バイブ」→項目を選択

■ ライトを設定するとき
「ライト」の「On」／「Off」

■ 通知時間を設定するとき
「アラーム通知時間」→項目を選択

■ 鳴動時間を設定するとき
「アラーム鳴動時間」→項目を選択

■ マナーモード時のアラームを設定するとき
「マナーモード時設定」→「アラーム音」／「バイブ」→「On」／「Off」

データ放送を設定したい

テレビ画面で≪その他≫→「設定」→「データ放送」

■ 録画内容を設定するとき
「録画設定」→項目を選択

■ 保存先を設定するとき
「画像保存先設定」→項目を選択

■ 通信接続確認を設定するとき
「通信接続確認」→項目を選択

■ 製造番号通知を設定するとき
「製造番号通知」の「On」／「Off」

■ 放送局メモリを削除するとき
「放送局メモリ削除」→削除したい項目の[削除アイコン]→「はい」

- 全削除する場合は、≪全削除≫→操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫→「はい」を選択します。

画面を設定したい

テレビ画面で≪その他≫→「設定」→「画面設定」

■ **ピクトの表示設定をするとき**
「ピクト表示設定」の「On」／「Off」

■ **横画面の表示設定をするとき**
「横画面表示設定」→項目を選択

■ **縦画面の表示設定をするとき**
「縦画面表示設定」→項目を選択

■ **画面の明るさを設定するとき**
画面明るさ設定欄で明るさを調節

- バックライトの明るさが「手動」に設定されているときのみ、本設定が反映されます。

音声を設定したい

テレビ画面で≪その他≫→「設定」→「サウンド設定」

■ **音質を設定するとき**
「サウンドモード設定」→項目を選択

■ **言語を設定するとき**
「音声言語設定」→項目を選択

録画の保存先を設定したい

テレビ画面で≪その他≫→「設定」→「録画保存先設定」→項目を選択

テレビ視聴中の優先動作を設定したい

テレビ画面で≪その他≫→「設定」→「着信時優先動作」→項目を選択→動作を選択

自動でテレビを終了するようにしたい

テレビ画面で≪その他≫→「設定」→「オートオフ時間設定」→項目を選択

視聴中の番組を録画したい **[録画開始]**

テレビ画面で≪その他≫→「録画開始」→≪保存≫

- 録画中はテレビ画面で≪その他≫→「録画停止」→「はい」を選択しても、録画を終了できます。

テレビを終了したい **[TV 終了]**

テレビ画面で≪その他≫→「TV 終了」

TV リンクを削除したい **[削除]**

→「TV リンク」→≪削除≫→削除したい TV リンクをチェック→≪削除≫→「はい」

- テレビ視聴中に≪その他≫→「TV リンク」→≪削除≫→「はい」を選択しても同じ操作ができます。

TV リンクの詳細を確認したい **[詳細]**

→「TV リンク」→≪詳細≫→確認したい TV リンクを選択

- テレビ視聴中に≪その他≫→「TV リンク」→≪詳細≫をタップしても同じ操作ができます。

便利

録画／視聴の予約に関する便利な機能

毎日／曜日を指定して繰り返し予約したい

→「録画／視聴予約」→≪新規予約≫→「手動設定」→「予約日」→「1 回のみ」／「毎日」／「曜日指定」

- 「曜日指定」を選択した場合は、さらに予約する曜日を選択します。

予約する番組の番組名を入力したい

→「録画／視聴予約」→≪新規予約≫→「手動設定」→「番組名」→番組名を入力

予約した時間の前にアラームを鳴らしたい

→「設定」→「予約時間お知らせ」→「アラーム」の「On」

予約内容を編集したい **[編集]**

→「録画／視聴予約」→≪編集≫→編集したい予約を選択→(➲P.6-10 日付やチャンネルを指定して予約する ❸）→≪保存≫

予約内容を削除したい 【削除】

📺▭→「録画／視聴予約」→≪削除≫→削除したい予約をチェック→≪削除≫→「はい」

メモリ残量を確認したい 【メモリ残量】

📺▭→「録画／視聴予約」→≪メモリ残量≫→「本体メモリ」／「メモリカード」

メモ

カメラ／静止画編集

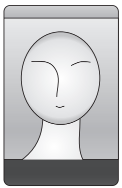
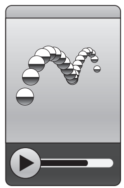
7

写真も動画も編集も本格派

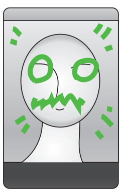
本機では、カメラを使って写真や動画を撮影できます。また、写真の加工や、Bluetooth®、USB 経由で写真をプリントすることもできます。この章では、写真や動画の撮影方法や静止画の編集方法について説明します。

写真／動画の撮影

本機では、カメラを使って写真や動画を撮影できます。
写真の撮影では、シーンに合わせた撮影、連続写真の撮影などいろいろな撮影方法があります（➔P.7-3）。
動画の撮影では、1 回で 2 時間まで撮影できます（➔P.7-10）。

画像の加工



本機では、撮影した写真などの画像を加工できます。
画像サイズを変更（編集機能）したり、画像にお絵かき（お絵かきアニメ）することができます（➔P.7-13）。

写真のプリント

プリンタと本機をつないで、写真をプリントできます（➔P.7-15）。



撮影方法ごとの撮影サイズは、次のとおりです。

撮影方法	使用できる撮影サイズ
通常撮影 シーン撮影 Face Mode	メール（240x320／320x240） Wide S（240x400／400x240） 壁紙（480x800／800x480） 0.3M（480x640／640x480） 1M（960x1280／1280x960） 2M（1200x1600／1600x1200） 3M（1536x2048／2048x1536） 5M（1920x2560／2560x1920）
連写 フォトコンビ フレーム	壁紙（480x800／800x480） 0.3M（480x640／640x480）
ビデオ	SQCIF（128x96） QCIF（176x144） QVGA（320x240） VGA（640x480） S! メール（176x144） S! メール（128x96）

静止画撮影

静止画撮影では、用途に合わせて撮影モードを設定できます。撮影モードは、1 枚ずつ撮影するときは「通常撮影」、連写するときは「連写」または「フォトコンビ」、フレーム付きの静止画を撮影するときは「フレーム」、撮影モードを設定します。
撮影した静止画は「ピクチャー」フォルダに保存されます。メモリカードを取り付けているときは、「デジタルカメラ」フォルダにも保存できます。

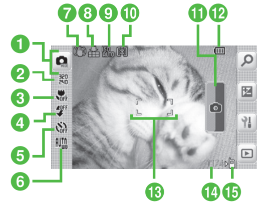
注意

ライトを目に近づけて使用しないでください。
視力低下などの傷害を起こす原因となります。

静止画ビューファインダー（撮影画面）の見かた

本機を横に持つと横向き表示になります。縦に持つと縦向き表示になります。

- 撮影中（連写／フォトコンビ／動画撮影時など）には、縦／横表示は切り替わりません。
- 本書では、横向き撮影で説明を記載しています。



静止画のビューファインダー

1 撮影モード

- ：通常撮影
- ：シーン撮影
  - ：オート※
  - ：風景※
  - ：スポーツ※
  - ：夜景※
  - ：室内※
  - ：ビーチ／スノー※
  - ：夜明け※
  - ：文字※

：人物撮影
- ：ナチュラル※
- ：ドラマチック※

：連写
- ：枚数（6 枚）※
- ：枚数（9 枚）※
- ：スピード（速い）※
- ：スピード（普通）※
- ：スピード（遅い）※
- ：スピード（マニュアル）※

：フレーム

：フォトコンビ

：パノラマ

※撮影モードと撮影サイズの間に表示されます。

❷ 撮影サイズ（向きによって数値が入れ換わります）
- ：5M（2560 × 1920）※
- ：3M（2048 × 1536）※
- ：2M（1600 × 1200）※
- ：1M（1280 × 960）※
- ：壁紙（800 × 480）
- ：0.3M（640 × 480）
- ：Wide S（400 × 240）※
- ：メール（320 × 240）※

※撮影モードが「通常撮影」／「シーン撮影」／「人物撮影」時のみ

❸ フォーカス
：マクロ　：AF

❹ ライト
：ライト On　：ライト Off

❺ タイマー
：Off　：3 秒　：5 秒　：10 秒

❻ ホワイトバランス
：オート　：晴天　：白熱灯　：蛍光灯
：曇り

❼ 手振れ補正
：手振れ補正 On　表示なし：手振れ補正 Off

❽ 画質設定
- ：スーパーファイン
- ：ファイン
- ：ノーマル
- ：エコノミー

❾ ISO
：自動　：100
：200　：400　：800

❿ 測光
- ：多分割測光
- ：中央部重点測光
- ：スポット測光

⓫ シャッター

⑫ 電池残量

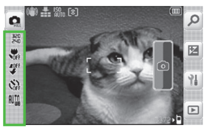
⑬ フォーカスフレーム

⑭ 撮影可能残数

⑮ 保存先設定
　本体アイコン：本体、毎回確認
　SDアイコン：メモリカード、デジタルカメラ

- ビューファインダー左端のアイコン表示部（❷～❻）をタップすると、メニューが表示されます。
- ビューファインダー上に映される画像をタップすると、アイコンや設定内容などを表示／非表示します。

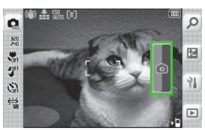
静止画撮影の流れ



ビューファインダー左端のアイコン表示部をタップ



撮影方法の設定して「OK」をタップ



撮影ボタンをタップ



自動保存設定がOffの場合のみ、保存／送信／登録などを行う静止画保存確認画面が表示される。

- 静止画撮影では、明るさやサイズを設定できます。(➲P.14-23)
- 「自動保存設定」(➲P.14-22)を「Off」にすることで、撮影した画像をメール添付(➲P.4-5)、プリント(➲P.7-15)することもできます。

撮影モード	特　長
通常撮影	メールに添付したり待受画面の背景にしたり、携帯電話で利用するのに適したサイズの静止画を撮影できます。
シーン撮影	ポートレート（人物）、風景など撮影対象に適した静止画を撮影できます。
人物撮影	人物などの撮影に適した撮影方法です。
連写	6、9 枚の静止画を自動で連続撮影できます。
フレーム	フレーム付きの静止画を撮影できます。
フォトコンビ	手動で連続撮影できます。フレームを選んで撮影すると、連続撮影したすべての静止画が縮小されて 1 枚の静止画内に配置されます。
パノラマ	風景などをパノラマ形式で撮影できます。パノラマ撮影時に最大 6 枚まで撮影された画像を、自動的に 1 枚のパノラマ画像に生成します。

通常撮影する

撮影した静止画は「ピクチャー」フォルダに保存されます。メモリカードを取り付けているときは、撮影サイズが「0.3M」以上の場合、「デジタルカメラ」フォルダにも保存できます。

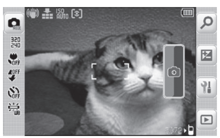
- メモリカードを取り付けて「デジタルカメラ」フォルダを保存先に設定しているとき、「メール」、「Wide S」の各サイズの画像は自動的に本機の「ピクチャー」フォルダに保存されます。

1 ▭◘（2 秒以上）

- ≪メニュー≫→「カメラ」→「カメラ」でも起動できます。
- 必要に応じて撮影前に設定を行います。

2 撮影したい被写体をビューファインダーに表示

- ▯／▯を押すと拡大／縮小できます。



3 ▭◘／[◎]

- 自動的に保存されます。

- 「自動保存設定」(➲P.14-22)が「Off」の場合
  上記手順 3 のあとに、静止画保存確認画面が表示されます。
  撮影をやり直す場合は、○(CLEAR) を押します。
  保存する場合は、[保存]をタップします。
- オートフォーカスを利用する
  「フォーカス」が「AF」に設定されている場合は、画面中央部の被写体に自動でピントを合わせるオートフォーカス機能が利用できます。▭◘を半押しする（軽く押す）と、ピントが合います。そのあとで ▭◘ を押し切ると、撮影されます。オートフォーカスでピントが合ったときは緑色、合わなかったときは茶色の枠が表示されます。

シーンに合わせて撮影する

1 ▭◘（2 秒以上）

2 [MODE]→「シーン撮影」

3 ビューファインダー左端のアイコン表示部をタップ→「シーン設定」→シーンを選択→≪ OK ≫

- 必要に応じて撮影前に設定を行います。
- メニューを閉じるには、メニュー項目以外をタップします。

4 撮影したい被写体をビューファインダーに表示

- ▯／▯を押すと拡大／縮小できます。

5 ▭◘／[◎]

- 自動的に保存されます。

- 「自動保存設定」(➲P.14-22)が「Off」の場合
  上記手順 5 のあとに、静止画保存確認画面が表示されます。
  撮影をやり直す場合は、○(CLEAR) を押します。
  保存する場合は、[保存]をタップします。
- シーン撮影では、マクロ／手振れ補正／ISO ／測光／ワイドダイナミックレンジは使用できません。

人物撮影で撮影する

人物撮影の撮影タイプを変更することができます。

1 ▭◘（2 秒以上）

2 [MODE]→「人物撮影」

3 ビューファインダー左端のアイコン表示部をタップ→タイプ→タイプを選択

- 必要に応じて撮影前に設定を行います。
- メニューを閉じるには、メニュー項目以外をタップします。

4 撮影したい被写体をビューファインダーに表示

- [↑]／[↓]を押すと拡大／縮小できます。

5 [カメラ]／[シャッター]

- 自動的に保存されます。

- 「自動保存設定」(➲P.14-22)が「Off」の場合
  上記手順 5 のあとに、静止画保存確認画面が表示されます。
  撮影をやり直す場合は、[CLEAR]を押します。
  保存する場合は、[保存]をタップします。
- 人物撮影では、マクロ／手振れ補正／ISO／測光／ワイドダイナミックレンジは使用できません。

連続写真を撮影する

1 [カメラ]（2 秒以上）

2 [MODE]→「連写」

3 ビューファインダー左端のアイコン表示部をタップ→「連写枚数」→連写枚数を選択

4 「連写スピード」→「速い」／「普通」／「遅い」／「マニュアル」

- 必要に応じて撮影前に設定を行います。
- メニューを閉じるには、メニュー項目以外をタップします。

5 撮影したい被写体をビューファインダーに表示

- [↑]／[↓]を押すと拡大／縮小できます。

6 [カメラ]／[シャッター]

- 連写枚数分撮影が終了すると、自動的に保存されます。
- 連写スピードで「マニュアル」を選択した場合は、操作 6 を繰り返します。[■]をタップすると、撮影を終了して保存されます。撮影をやり直す場合は、[戻る]または[CLEAR]を押します。

- 「自動保存設定」(➲P.14-22)が「Off」の場合
  上記手順 6 のあとに、保存する画像を確認する画面が表示されます。
  撮影をやり直す場合は、[戻る]または[CLEAR]を押します。
  保存する場合は、保存する写真をチェックして≪保存≫をタップします。
- 連続撮影では、手振れ補正／ワイドダイナミックレンジは使用できません。

フレーム付きの静止画を撮影する

1 [カメラ]（2 秒以上）

2 [MODE]→「フレーム」

3 ビューファインダー左端のアイコン表示部をタップ→「フレーム」→フレームを選択

- 必要に応じて撮影前に設定を行います。
- メニューを閉じるには、メニュー項目以外をタップします。

4 撮影したい被写体をビューファインダーに表示

- [↑]／[↓]を押すと拡大／縮小できます。

5 [カメラ]／[シャッター]

- 自動的に保存されます。

- 「自動保存設定」(➲P.14-22)が「Off」の場合
  上記手順 5 のあとに、静止画保存確認画面が表示されます。
  撮影をやり直す場合は、[戻る]または[CLEAR]を押します。
  保存する場合は、[保存]をタップします。
- フレーム付き撮影では、手振れ補正／ワイドダイナミックレンジは使用できません。

分割撮影（フォトコンビ）をする

1. ▭◘（2 秒以上）
2. ◘→「フォトコンビ」
3. ビューファインダー上端のアイコン表示部をタップ→「スタイル」→スタイルを選択
   - 必要に応じて撮影前に設定を行います。
   - メニューを閉じるには、メニュー項目以外をタップします。
4. 撮影したい被写体をビューファインダーに表示→選んだフレームに合わせて ▭◘
   - ▯／▯ を押すと拡大／縮小できます。
5. 操作 4 を繰り返して撮影したい被写体を撮影→ ▭◘ ／ ◘
   - 撮影をやり直す場合は、⊃または ○ を押します。
   - 枚数分撮影が終了すると、自動的に保存されます。

- 「自動保存設定」(➲P.14-22)が「Off」の場合
  上記手順 5 のあとに、静止画保存確認画面が表示されます。
  撮影をやり直す場合は、⊃または ○ を押します。
  保存する場合は、▭ をタップします。
- フォトコンビでは、手振れ補正／ワイドダイナミックレンジは使用できません。

パノラマ撮影をする

1. ▭◘（2 秒以上）
2. ◘→「パノラマ」
   - パノラマ撮影では画面が横向きになります。
   - 必要に応じて撮影前に設定を行います。
   - メニューを閉じるには、メニュー項目以外をタップします。
3. 撮影したい被写体をビューファインダーに表示
   - ▯／▯ を押すと拡大／縮小できます。
4. ▭◘ ／ ◘
5. 撮りたい方向（上下または左右）に本機を動かす→小さい白枠を大きい黒枠の中に合わせると自動的に撮影
6. 操作 5 を繰り返して撮影したい範囲を撮影→ ▭◘ ／ ■
   - 撮影をやり直す場合は、⊃または ○ を押します。
   - 撮影が終了します。また、6 枚まで撮影すると、自動的に撮影が終了します。
   - 自動的にパノラマ画像が生成、保存されます。
     パノラマ撮影時の撮影枚数により、生成に時間がかかることがあります。

- 「自動保存設定」(➔P.14-22)が「Off」の場合
  上記手順 6 のあとに、静止画保存確認画面が表示されます。
  撮影をやり直す場合は、[↩]または[CLEAR]を押します。
  保存する場合は、[保存]をタップします。
- パノラマ撮影では、手振れ補正／ワイドダイナミックレンジは使用できません。
- パノラマ撮影中は、本機をゆっくり動かして撮影してください。
- パノラマ撮影は、室外の風景を撮影するのに適した形式です。被写体との撮影距離を 10m 以上とられることをおすすめします。被写体との距離が近すぎると、パノラマ画像が生成できないことがあります。
- 暗い場所や、濃淡のない背景を撮影すると、パノラマ画像が生成できないことがあります。

撮影した静止画を見る（クイック再生）

撮影して保存した静止画を撮影画面から確認することができます。

1 [カメラ]（2 秒以上）→[▶]

2 [◁]／[▷]で画像を確認

- メモリカードを取り付けているときのみ、「メモリカード」／「デジタルカメラ」を選択できます。
- 撮影した静止画は、データフォルダから確認することもできます（➔P.12-4）。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.7-16

- 撮影した静止画を送信したい
- 撮影した静止画の保存時にファイル名を入力したい
- 撮影した静止画を各種の画面に設定したい
- クイック再生で表示した静止画を編集したい
- クイック再生で表示した静止画でお絵かきアニメを利用したい
- クイック再生で表示した静止画を各種の画面に設定したい
- クイック再生で静止画の詳細を確認したい
- クイック再生をスライドショーで再生したい
- クイック再生で表示した静止画を送信したい
- クイック再生で表示した静止画を削除したい
- クイック再生を終了したい

設定

- 手振れ補正を設定する（☞P.14-22）
- 自動保存を設定する（☞P.14-22）
- コントラストを設定する（☞P.14-22）
- 彩度を設定する（☞P.14-22）
- シャープネスを設定する（☞P.14-23）
- 明るさを調節する（☞P.14-23）
- 撮影サイズを設定する（☞P.14-23）
- 画質を設定する（☞P.14-23）
- ISO を設定する（☞P.14-23）
- 測光モードを設定する（☞P.14-23）
- ワイドダイナミックレンジを設定する（☞P.14-23）
- 保存先を設定する（☞P.14-23）
- グリッド線の表示を設定する（☞P.14-23）
- 顔リンク表示を設定する（☞P.14-23）
- シャッター音を設定する（☞P.14-23）

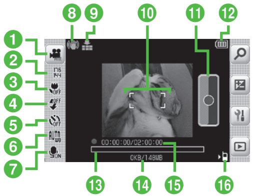
動画撮影

手軽に動画を撮影できます。撮影した動画は、3GP 形式でデータフォルダの「ムービー」フォルダに保存されます。メールに添付／挿入する動画を撮影する場合は撮影サイズを「S! メール」に設定してください（➔P.14-23）。

注意

ライトを目に近づけて使用しないでください。
視力低下などの傷害を起こす原因となります。

動画ビューファインダー（撮影画面）の見かた



動画のビューファインダー

❶ 撮影モード
: 動画撮影

❷ 撮影サイズ（向きによって数値が入れ換わります）
: VGA（640 × 480）※
: QVGA（320 × 240）※
: QCIF（176 × 144）
: SQCIF（128 × 96）
: S! メール（176 × 144）
: S! メール（128 × 96）

※ 横向き表示のみ

❸ フォーカス
: マクロ　: AF

❹ ライト
: ライト On　: ライト Off

❺ タイマー
: Off　: 3 秒　: 5 秒　: 10 秒

❻ ホワイトバランス
: オート　: 晴天
: 白熱灯　: 蛍光灯　: 曇り

❼ 録音設定
: On（映像＋音）　: Off（映像のみ）

❽ 手振れ補正
: 手振れ補正 On　表示なし : 手振れ補正 Off

❾ 画質設定
: ファイン　: ノーマル　: エコノミー

❿ フォーカスフレーム

⓫ シャッター

⓬ 電池残量

⓭ プログレスバー

⑭ 撮影データの容量／撮影開始時のメモリ残量
- 撮影サイズが「S! メール」の場合は、撮影データの容量／撮影可能容量が表示されます。

⑮ 撮影経過時間／撮影可能時間
- 撮影サイズが「S! メール」の場合は、撮影経過時間のみです。

⑯ 保存先設定
：本体、毎回確認
：メモリカード、デジタルカメラ

- ビューファインダー左端のアイコン表示部（② ～ ⑦）をタップすると、メニューが表示されます。
- ビューファインダー上に映される画像をタップすると、アイコンや設定内容などを表示／非表示できます。

撮影モード	特　長
ビデオ	メールに添付する動画や本機に保存して楽しむ動画を撮影できます。

動画撮影の流れ



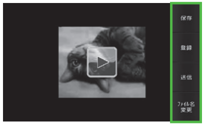
ビューファインダー左端のアイコン表示部をタップ



撮影方法を設定して「OK」をタップ



録画ボタンをタップ


自動保存設定がOffの場合のみ、保存／送信／登録などを行う動画保存確認画面が表示される。

- 動画撮影では、明るさやサイズを設定できます（➔P.14-23）。
- 「自動保存設定」（➔P.14-22）を「Off」にすることで、撮影した動画をメール添付（➔P.4-5）、プリント（➔P.7-15）することもできます。

動画を撮影する

1 回の動画撮影について、最大 2 時間まで撮影できます。

1 ≪メニュー≫→「カメラ」→「ビデオカメラ」

- 必要に応じて撮影前に設定を行います。

2 撮影したい被写体をビューファインダーに表示

- ／を押すと拡大／縮小できます。

3 ／

- 撮影中に一時停止する場合はをタップします。撮影を再開する場合はをタップします。

4 ／をタップ

- 撮影が終了し、自動的に保存されます。撮影時間が経過した場合は、自動的に撮影が終了します。

- 「自動保存設定」(➲P.14-22)が「Off」の場合
  上記手順 4 のあとに、動画保存確認画面が表示されます。
  撮影をやり直す場合は、を押します。
  保存する場合は、≪保存≫をタップします。
- オートフォーカスを利用する
  「フォーカス」が「AF」に設定されている場合は、画面中央部の被写体に自動でピントを合わせるオートフォーカス機能が利用できます（撮影中のピントは固定となります）。
  を半押しする（軽く押す）と、ピントが合います。そのあとでを押し切ると、撮影されます。
  オートフォーカスでピントが合ったときは緑色、合わなかったときは茶色の枠が表示されます。
- 動画撮影では、ワイドダイナミックレンジは使用できません。

撮影した動画を見る（クイック再生）

撮影して保存した動画を撮影画面から確認することができます。

1 ≪メニュー≫→「カメラ」→「ビデオカメラ」→

2 ／で動画を確認

- 撮影した動画は、データフォルダから確認することもできます(➲P.12-4)。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.7-18

- 撮影した動画を送信したい
- 撮影した動画の保存時にファイル名を入力したい
- 撮影した動画を各種の着信音に設定したい
- クイック再生で表示した動画を各種の着信音に設定したい
- クイック再生で表示した動画の詳細を確認したい
- クイック再生で表示した動画を送信したい
- クイック再生で表示した動画を削除したい
- クイック再生を終了したい

設定

- 手振れ補正を設定する（☞P.14-22）
- 自動保存を設定する（☞P.14-22）
- コントラストを設定する（☞P.14-22）
- 彩度を設定する（☞P.14-22）
- シャープネスを設定する（☞P.14-23）
- 明るさを調節する（☞P.14-23）
- 撮影サイズを設定する（☞P.14-23）
- 画質を設定する（☞P.14-24）
- 保存先を設定する（☞P.14-24）
- グリッド線の表示を設定する（☞P.14-24）

画像加工

撮影した静止画などの明るさやサイズを変えたり、静止画に文字を書き込んだりして加工することができます。

静止画を編集する

データフォルダに保存された静止画を編集します。画像の明るさ、サイズ、効果などを設定することができます。

1 ≪メニュー≫→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択

2 ファイルを選択

3 ≪編集≫→「画像編集」

4 画像の編集操作

■ 画像にエフェクトを設定するとき

≪効果≫→「フィルター」／「スタイル」／「ワープ」／「フィンガーワープ」→エフェクトを選択／画像をドラッグ→≪完了≫

・選択したエフェクトによっては、効果を調節できます。

■ 画像を自動調整するとき

≪画像調整≫→「自動レベル調整」

■ 画像を調整するとき

≪画像調整≫→「明るさ」／「コントラスト」／「色」→画像を調整→≪完了≫

■ 画像のサイズを変更するとき

≪変形≫→「サイズ変更」→サイズを選択

・「カスタマイズ」を選択したときは、「幅」と「高さ」を入力して≪完了≫をタップします。

■ 画像を回転するとき

≪変形≫→「回転」→［左回転］／［右回転］→≪完了≫

■ 画像を反転するとき

≪変形≫→「反転」→［左右反転］／［上下反転］→≪完了≫

・直前に行った編集を取り消すには、［戻る］／ CLEAR を押します。

5 ≪保存≫→画像名を入力

お絵かきアニメ

静止画の上に線や図形を描いたり、文字を書き込んだりできます。また、描いた絵などを動かして Flash® 画像を作成したりできます。

1 ≪メニュー≫→「お絵かきアニメ」

2 ≪キャンバス≫→「ピクチャー」／「デジタルカメラ」→もとにする静止画を選択

- メモリカードを取り付けているときのみ「デジタルカメラ」を選択できます。

3 画像サイズを選択

■ 壁紙などに設定するとき

「通常」

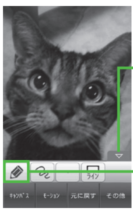
・画像サイズが 800 × 480 以下になるように自動で調整されます。

■ メールに添付して送信するとき

「S! メール」

・画像サイズが S! メールで送信できるサイズに調整されます。

4 お絵かき操作



タップすると、操作パネルを非表示

モード切替アイコン

お絵かきアニメ画面

■ 線を描くとき

モード切替アイコンをタップ→「ペン」→→線種を選択→→線幅を選択→→線色を選択→線を描く

■ 図形を描くとき

モード切替アイコンをタップ→「シェイプ」→→図形を選択→→線幅を選択→→輪郭色を選択→→塗り色を選択→図形を描く

・図形の対角線を描くようにドラッグします。

■ 文字を書き込むとき

モード切替アイコンをタップ→「文字」→→文字を入力→→文字サイズを調節→→文字種を選択→→文字色を選択→文字をホールドし、選択されたことを確認後ドラッグして移動先へドロップ

■ スタンプを付けるとき

モード切替アイコンをタップ→「スタンプ」→→「基本スタンプ」→→スタンプを選択→スタンプを貼り付けたい場所をタップ

■ 貼り付けたスタンプにモーションを付けるとき

≪モーション≫→モーションを付けたいスタンプをタップ→≪ OK ≫→「基本モーション」→モーションを選択→≪ OK ≫

- 各アイコンは現在の設定を示しています。設定を変更すると、アイコンの表示も変わります。

5 ≪その他≫→「プレビュー」→画像を確認



お絵かき手順再生速度を設定

プレビュー画面

- お絵かき手順再生を設定すると、次の操作ができます。
  - ／：一時停止／再開
  - ：最初から再生

6 ≪保存≫→「Flash® 保存」／「画像保存」→ファイル名を入力

- メモリカードを取り付けているときのみ「メモリカード」を選択できます。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.7-20

- 静止画を切り取って加工したい
- カメラで撮影した画像を利用してお絵かきアニメしたい
- 色のついた背景を利用してお絵かきアニメしたい
- お絵かきの加工をもとに戻したい
- 作成した画像を壁紙に設定したい
- 作成した画像を保存して送信したい

プリント

本機に保存されている静止画をBluetooth® やUSBを使用してプリンタに接続し、プリントすることができます。
プリンタ側の操作や用紙のセット方法については、プリンタに付属の取扱説明書を参照してください。

Bluetooth® 経由でプリントする

- Bluetooth® に対応したプリンタでプリントできます。
- あらかじめ、プリンタをBluetooth® 受信できる状態にしておいてください。

1 **≪メニュー≫→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択**

2 **≪その他≫→「印刷」**

3 **「Bluetooth」→プリントするファイルをチェック→≪印刷≫**

4 **送信先デバイスをタップし、選択されたことを確認後ドラッグして🔲へドロップ**

- 送信先が登録されていないときは、周辺デバイスを検索し、登録します。

5 **必要に応じて設定操作**

■ フチのあり／なしを設定するとき
「フチあり印刷」の「On」／「Off」

■ プリントサイズを設定するとき
「プリントサイズ」→プリントサイズを選択

■ 印刷枚数を設定するとき
「枚数」→枚数（1～99）を入力

■ 1枚の用紙に何面印刷するかを設定するとき
「ページ設定」→設定を選択
・「複製印刷」を選択したときは「割り付けページ数」を選択し、設定（1～16アップ）を選択します。

■ 日付を印刷するかどうか設定するとき
「印刷日記入」の「On」／「Off」

■ 印刷品質を設定するとき
「印刷品質」→設定を選択

6 **≪プレビュー≫→≪印刷≫**

USB接続でプリントする

1. ≪メニュー≫→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択
2. ≪その他≫→「印刷」
3. 「USB」→プリントするファイルをチェック→≪印刷≫→「はい」
4. 本機とプリンタをUSBケーブルで接続
5. 必要に応じて設定操作

■フチのあり／なしを設定するとき
「フチあり印刷」の「On」／「Off」

■プリントサイズを設定するとき
「プリントサイズ」→プリントサイズを選択

■印刷枚数を設定するとき
「枚数」→枚数（1～99）を入力

■1枚の用紙に何面印刷するかを設定するとき
「ページ設定」→設定を選択
・「複製印刷」を選択したときは「割り付けページ数」を選択し、設定（1～16アップ）を選択します。

■日付を印刷するかどうか設定するとき
「印刷日記入」の「On」／「Off」

■印刷品質を設定するとき
「印刷品質」→設定を選択

6. ≪プレビュー≫→≪印刷≫

便利な機能

便利

静止画撮影に関する便利な機能

マクロ機能を設定したい

ビューファインダー左端のアイコン表示部をタップ→「フォーカス」→「マクロ」

ライトの設定をしたい

ビューファインダー左端のアイコン表示部をタップ→「ライト」→「ON」／「OFF」

タイマーの設定をしたい

ビューファインダー左端のアイコン表示部をタップ→「タイマー」→項目を選択

ホワイトバランスの設定をしたい

ビューファインダー左端のアイコン表示部をタップ→「ホワイトバランス」→項目を選択

撮影効果（色調）の設定をしたい

ビューファインダー左端のアイコン表示部をタップ→「撮影効果」→項目を選択

撮影した静止画を送信したい　【送信】

静止画撮影後に≪送信≫

- 「自動保存設定」を「Off」に変更してから操作してください（➲P.14-22）。

■ メールで送信するとき

「メール添付」→（➲P.4-4 S! メールを作成･送信する ❷）

- 撮影した静止画が 300K バイトを超えている場合は、データフォルダに保存されたあと、画像のリサイズ画面へ移動します。サイズを変更してから添付してください（➲P.4-5 ファイルを添付する）。

■ Bluetooth® で送信するとき

「Bluetooth」→（➲P.13-8 データを 1 件ずつ送信する ❷）

■ 赤外線で送信するとき

「赤外線通信」（➲P.13-4）

撮影した静止画の保存時にファイル名を入力したい　【ファイル名変更】

静止画撮影後に≪ファイル名変更≫→ファイル名を入力

- 「自動保存設定」を「Off」に変更してから操作してください（➲P.14-22）。

撮影した静止画を各種の画面に設定したい　【登録】

静止画撮影後に≪登録≫

- 「自動保存設定」を「Off」に変更してから操作してください（➲P.14-22）。

■ ディスプレイの壁紙に設定するとき

「壁紙」→必要に応じて≪回転≫→ ／ で向きを調節または≪ズーム≫→ ／ でサイズを調整→≪設定≫

■ 個別着信音の着信画像に設定するとき

「個別着信画像」→電話帳を検索し、選択（➲P.2-21）→≪設定≫

■ TV コールの代替画像に設定するとき

「TV コール代替画像」→≪ OK ≫

クイック再生で静止画を確認したい

（2 秒以上）→ → ／ で画像を確認

- 保存先に指定されているメディアのデータが表示されます。メディアを切り替える場合は、保存先の設定を変更してください（➲P.14-23）。

クイック再生で表示した静止画を編集したい　【画像編集】

（2 秒以上）→ → ／ で画像を確認→≪画像編集≫→（➲P.7-13 静止画を編集する ❹）

クイック再生で表示した静止画でお絵かきアニメを利用したい　【お絵かきアニメ】

（2 秒以上）→ → ／ で画像を確認→≪お絵かきアニメ≫→（➲P.7-14 お絵かきアニメ ❸）

- 保存先に指定されているメディアのデータが表示されます。メディアを切り替える場合は、保存先の設定を変更してください（➲P.14-23）。

クイック再生で表示した静止画を各種の画面に設定したい　【登録】

（2 秒以上）→ → ／ で画像を確認→≪登録≫

■ ディスプレイの壁紙に設定するとき

「壁紙」→必要に応じて≪回転≫→ ／ で向きを調節または≪ズーム≫→ ／ でサイズを調整→≪設定≫

■ 個別着信音の着信画像に設定するとき

「個別着信画像」→電話帳を検索し、選択（➲P.2-21）→≪設定≫

■ TV コールの代替画像に設定するとき

「TV コール代替画像」→≪ OK ≫

- 保存先に指定されているメディアのデータが表示されます。メディアを切り替える場合は、保存先の設定を変更してください（➲P.14-23）。

クイック再生で静止画の詳細を確認したい　【詳細】

▭◘（2 秒以上）→▣→◁／▷で画像を確認→≪詳細≫

- 保存先に指定されているメディアのデータが表示されます。メディアを切り替える場合は、保存先の設定を変更してください（➲P.14-23）。

クイック再生をスライドショーで再生したい　【スライドショー】

▭◘（2 秒以上）→▣→≪スライドショー≫

- 再生中に CLEAR を押すと、スライドショーを停止します。
- 保存先に指定されているメディアのデータが表示されます。メディアを切り替える場合は、保存先の設定を変更してください（➲P.14-23）。

クイック再生で表示した静止画を送信したい　【送信】

▭◘（2 秒以上）→▣→◁／▷で画像を確認→≪送信≫

■ メールで送信するとき

「メール添付」→（➲P.4-4 S! メールを作成・送信する ❷）

■ Bluetooth® で送信するとき

「Bluetooth」→（➲P.13-8 データを 1 件ずつ送信する ❷）

■ 赤外線で送信するとき

「赤外線通信」（➲P.13-4）

- 保存先に指定されているメディアのデータが表示されます。メディアを切り替える場合は、保存先の設定を変更してください（➲P.14-23）。

クイック再生で表示した静止画を削除したい　【削除】

▭◘（2 秒以上）→▣→◁／▷で画像を確認→≪削除≫→「はい」

- 保存先に指定されているメディアのデータが表示されます。メディアを切り替える場合は、保存先の設定を変更してください（➲P.14-23）。

クイック再生を終了したい　【カメラ】

クイック再生中に≪カメラ≫

便利

動画撮影に関する便利な機能

マクロ機能を設定したい

ビューファインダー左端のアイコン表示部をタップ→「フォーカス」→「マクロ」

ライトの設定をしたい

ビューファインダー左端のアイコン表示部をタップ→「ライト」→「ON」／「OFF」

タイマーの設定をしたい

ビューファインダー左端のアイコン表示部をタップ→「タイマー」→項目を選択

ホワイトバランスの設定をしたい

ビューファインダー左端のアイコン表示部をタップ→「ホワイトバランス」→項目を選択

撮影効果（色調）の設定をしたい

ビューファインダー左端のアイコン表示部をタップ→「撮影効果」→項目を選択

録音の設定をしたい

ビューファインダー左端のアイコン表示部をタップ→「録音設定」→「On」／「Off」

撮影した動画を保存前に確認したい

動画撮影後に▶

- 「自動保存設定」を「Off」に変更してから操作してください（➲P.14-22）。

撮影した動画を送信したい　【送信】

動画撮影後に≪送信≫

- 「自動保存設定」を「Off」に変更してから操作してください（➲P.14-22）。

■ メールで送信するとき

「メール添付」→（➲P.4-4 S! メールを作成・送信する ❷）

■ Bluetooth® で送信するとき

「Bluetooth」→（➲P.13-8 データを 1 件ずつ送信する ❷）

■ 赤外線で送信するとき

「赤外線通信」（➲P.13-4）

撮影した動画の保存時にファイル名を入力したい　【ファイル名変更】

動画撮影後に≪ファイル名変更≫→ファイル名を入力

- 「自動保存設定」を「Off」に変更してから操作してください（➲P.14-22）。

撮影した動画を各種の着信音に設定したい　【登録】

動画撮影後に≪登録≫

- 「自動保存設定」を「Off」に変更してから操作してください（➲P.14-22）。

■ 音声着信音に設定するとき

「音声着信音」

■ TV コール着信音に設定するとき

「TV コール着信音」

■ 個別着信音に設定するとき

「個別着信音」→電話帳を検索し、選択（➲P.2-21）

クイック再生で動画を確認したい

≪メニュー≫→「カメラ」→「ビデオカメラ」→▣→◁／▷で動画を確認

- 保存先に指定されているメディアのデータが表示されます。メディアを切り替える場合は、保存先の設定を変更してください（➲P.14-24）。

クイック再生で表示した動画を各種の着信音に設定したい　【登録】

≪メニュー≫→「カメラ」→「ビデオカメラ」→▣→◁／▷で動画を確認→≪登録≫

■ 音声着信音に設定するとき

「音声着信音」

■ TV コール着信音に設定するとき

「TV コール着信音」

■ 個別着信音に設定するとき

「個別着信音」→電話帳を検索し、選択（➲P.2-21）

- 保存先に指定されているメディアのデータが表示されます。メディアを切り替える場合は、保存先の設定を変更してください（➲P.14-24）。

クイック再生で表示した動画の詳細を確認したい　【詳細】

≪メニュー≫→「カメラ」→「ビデオカメラ」→▣→◁／▷で動画を確認→≪詳細≫

- 保存先に指定されているメディアのデータが表示されます。メディアを切り替える場合は、保存先の設定を変更してください（➲P.14-24）。

クイック再生で表示した動画を送信したい　【送信】

≪メニュー≫→「カメラ」→「ビデオカメラ」→▣→◁／▷で動画を確認→≪送信≫

■ メールで送信するとき

「メール添付」→（➲P.4-4 S! メールを作成・送信する ❷）

■ Bluetooth® で送信するとき

「Bluetooth」→（➲P.13-8 データを 1 件ずつ送信する ❷）

■ 赤外線で送信するとき

「赤外線通信」（➲P.13-4）

- 保存先に指定されているメディアのデータが表示されます。メディアを切り替える場合は、保存先の設定を変更してください（➲P.14-24）。

クイック再生で表示した動画を削除したい [削除]

≪メニュー≫→「カメラ」→「ビデオカメラ」→[再生]→◁／▷で動画を確認→≪削除≫→「はい」

- 保存先に指定されているメディアのデータが表示されます。メディアを切り替える場合は、保存先の設定を変更してください（➔P.14-24）。

クイック再生を終了したい [ビデオカメラ]

クイック再生中に≪ビデオカメラ≫

便利

静止画の加工に関する便利な機能

静止画を切り取って加工したい [切り取り]

≪メニュー≫→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→≪編集≫→「画像編集」→≪変形≫→「切り取り」

■ **位置を調節するとき**

切り取り枠の内側をタップしてドラッグ→≪切り取り≫→≪保存≫→画像名を入力

■ **サイズを調節／形状を変えるとき**

切り取り枠の四隅のいずれかをタップしてドラッグ→≪切り取り≫→≪保存≫→画像名を入力

カメラで撮影した画像を利用してお絵かきアニメしたい [カメラ起動]

≪メニュー≫→「お絵かきアニメ」→≪キャンバス≫→「カメラ起動」→静止画を撮影→通常 /S! メール

色のついた背景を利用してお絵かきアニメしたい [カラーキャンバス]

≪メニュー≫→「お絵かきアニメ」→≪キャンバス≫→「カラーキャンバス」→背景色を選択

入力した文字を編集したい

お絵かきアニメ画面で[✎]→「文字」→入力済みの文字をタップ→[T]／[≣]／[あA サイズ]／[T スタイル]／[色]→文字を編集／文字サイズ／文字種／文字色／文字の位置を編集

静止画をスタンプとして貼り付けたい

お絵かきアニメ画面で[✎]→「スタンプ」→[スタンプ]→「フォトスタンプ」→必要に応じて[♥]

■ **保存されている静止画から選択するとき**

「ピクチャー」／「デジタルカメラ」→スタンプにする静止画を選択→必要に応じて、「はい」／「いいえ」→スタンプを貼り付けたい場所をタップ

- メモリカードを取り付けているときのみ「デジタルカメラ」を選択できます。

■ **カメラで撮影するとき**

「カメラ起動」→静止画を撮影→「はい」（画像を切り取る場合、切り取り）／「いいえ」（画像を切り取らない場合）→スタンプを貼り付けたい場所をタップ

- 各アイコンは現在の設定を示しています。設定を変更すると、アイコンの表示も変わります。

描いた線／図形にモーションを付けたい

お絵かきアニメ画面で≪モーション≫→画面をタップ→モーションを付けたい線／図形を囲むようにドラッグ→≪OK≫→「基本モーション」→モーションを選択→≪OK≫

- モーションを付けたい範囲の対角線を描くようにドラッグします。

線に沿って動かしたい

お絵かきアニメ画面で≪モーション≫→画面をタップ

■ **線／図形のとき**

目的の線／図形を囲むようにドラッグ→≪OK≫→「モーションライン」→選択した線／図形から動線を描く→「プレビュー」→≪OK≫

- 目的の範囲の対角線を描くようにドラッグします。

■ **スタンプのとき**

目的のスタンプをタップ→≪OK≫→「モーションライン」→選択したスタンプから動線を描く→「プレビュー」→≪OK≫

- 動線を描き直したいときは、「やり直し」をタップします。

モーションを削除したい

お絵かきアニメ画面で≪モーション≫→モーションを削除したい線／図形／スタンプをタップ→≪OK≫

■ **基本モーションを削除するとき**

「基本モーション」→(icon)→≪OK≫

■ **モーションラインを削除するとき**

「モーションライン」→「Off」→≪OK≫

お絵かきの加工をもとに戻したい **［元に戻す］**

お絵かきアニメ画面で≪元に戻す≫

- お絵かきアニメ画面で直前に行った描画やモーションの設定などの操作をもとに戻すことができます。

線／図形／文字／スタンプを削除したい

お絵かきアニメ画面でモード切替アイコンをタップ→「削除」

■ **モーションのない線／図形のとき**

削除したい線／図形を囲むようにドラッグ

- 削除したい範囲の対角線を描くようにドラッグしてください。

■ **モーションを付けた線／図形のとき**

削除したい線／図形をタップ

■ **文字／スタンプのとき**

削除したい文字／スタンプをタップ

作成した画像を壁紙に設定したい **［壁紙登録］**

≪その他≫→「プレビュー」→≪壁紙登録≫→「Flash®」／「画像」を選択→ファイル名を入力

作成した画像を保存して送信したい **［送信］**

≪その他≫→「プレビュー」→≪送信≫

■ **メールで送信するとき**

「メール添付」→「Flash®」／「画像」を選択→（➲P.4-4 S! メールを作成・送信する ❷）

■ **Bluetooth® で送信するとき**

「Bluetooth」→「Flash®」／「画像」を選択→（➲P.13-8 データを1件ずつ送信する ❷）

■ **赤外線で送信するとき**

「赤外線通信」→「Flash®」／「画像」を選択（➲P.13-4）

作成した画像の保存先を変更したい

お絵かきアニメ画面で≪その他≫→「設定」→「保存先設定」の「本体」／「メモリカード」／「毎回確認」

- メモリカードを取り付けていないときは、自動的に保存先が「本体」に変更されます。

お絵かき手順再生速度を設定したい

お絵かきアニメ画面で≪設定≫→お絵かき手順再生速度を調節

ファイルを圧縮したい

お絵かきアニメ画面で≪その他≫→「設定」→ファイル圧縮設定で高圧縮／通常を選択→≪OK≫

メモ

メディアプレイヤー

8

音楽も動画もメディアプレイヤー

本機では、メディアプレイヤーを利用して、音楽や動画を楽しめます。
音楽や動画は、Yahoo! ケータイからダウンロードしたり、自分好みのプレイリストを作成することができます。
この章では、メディアプレイヤーの利用方法について説明します。

音楽／動画の再生



メディアプレイヤーから音楽／動画を再生できます（➔P.8-6、P.8-8）。
フォルダやプレイリストなど様々な方法で再生できます。

プレイヤー	ファイル（拡張子）
ミュージック	MPEG4 Audio（mp4、m4a、3gp（音声のみ））Softbank Music Contents（smc）、Windows Media Audio（wma）
ムービー	MPEG4（mp4、3gp）、H.263、H.264、Windows Media Video（wmv）

- 上記以外の、メディアプレイヤーに対応していない音楽ファイルを再生したい場合は、データフォルダの「着うた･メロディ」フォルダからファイルを選択します。この場合、対応しているファイルでも、「着うた・メロディ」フォルダ以外の場所に保存したときは再生できません。

注意

動画ファイルの場合は、次の解像度を超えるファイルは再生できません。mp4、3gp：640 × 480 wmv：320 × 240

音楽／動画のダウンロード



Yahoo! ケータイへ直接アクセスし、音楽や動画をダウンロードできます。
また、ストリーミング機能を利用すると、ダウンロードしながら順次再生できます（➔P.8-3）。

プレイリストの作成



お気に入りの音楽や動画をプレイリストに登録することができます。
プレイリストを作成すれば、自分だけのアルバムを作ることができます（➔P.8-9）。

音楽／動画のダウンロード

Yahoo! ケータイにアクセスすれば、音楽や動画をダウンロードできます。
また、ご自宅のパソコンから本機へ音楽や動画をコピーすることもできます。

音楽／動画をダウンロードする

Yahoo! ケータイに直接アクセスし、音楽や動画をダウンロードできます。

1 ≪メニュー≫→「メディアプレイヤー」

2 音楽／動画のダウンロード操作

■ 音楽をダウンロードするとき
「ミュージック」→「全曲一覧」→「ミュージックダウンロード」／「ミュージックサーチ」
・「ミュージックサーチ」を選択すると、音楽検索サイト「Music Search」へアクセスし、楽曲種別やアーティスト名などで音楽を検索できます。

■ 動画をダウンロードするとき
「ムービー」→「全ムービー一覧」→「ムービーダウンロード」

注意

- データ量の多い音楽や動画をダウンロードするときはパケット通信料が高額になりますので、ご注意ください。

WMA/WMV 形式の音楽／動画をパソコンからメモリカードに保存する

1 本機にメモリカードを取り付ける

- ≪メニュー≫→「データフォルダ」→をタップしてフォルダが生成されていることを確認します。

2 本機とパソコンを USB ケーブルで接続

3 ≪メニュー≫→「設定」→「外部接続」→「USB 接続モード」→「PC との同期」→「はい」

4 操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫

5 パソコン内の WMA/WMV 形式の音楽／動画をメモリカード内の指定のフォルダに保存する

6 接続中に≪終了≫

7 USB ケーブルの取り外し

- 「PC との同期」の利用中は、通話やメッセージの受信などができません。
- 保存するファイルの種類別に、メモリカード内の次のフォルダに保存してください。
  WMA ファイル：WMAudio
  WMV ファイル：WMVideo

その他の形式の音楽／動画をパソコンからメモリカードに保存する

音楽／動画のファイル形式を変換できるソフトウェアが必要です。

- 当社では、特定のソフトウェアの動作保証はしておりません。
- ソフトウェアの仕様や使用方法については、ソフトウェア提供各社のホームページなどでご確認ください。

1 本機にメモリカードを取り付ける

- 以降は、(➔P.12-13)の指示に従って操作してください。

- 保存するファイルの種類別に、メモリカード内の次のフォルダに保存してください。
  音楽ファイル：PRIVATE/MYFOLDER/My Items/Music
  PRIVATE/MYFOLDER/My Items/Sounds & Ringtones
  動画ファイル：PRIVATE/MYFOLDER/My Items/Videos
- WMA ／ WMV 形式の音楽／動画を直接メモリカードにコピーすると、再生できない場合があります。必ず、「PC との同期」を利用してメモリカードに保存してください（➔P.8-3）。
- ファイルの保存後、メモリカードの読込みが完了すると、ファイルの再生が可能となります。

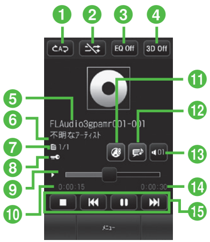
音楽再生

ミュージックのフォルダ構成は次のとおりです。

フォルダ	概　要
続き再生／再生中のミュージック	最後に再生したファイルを表示／現在再生中のファイルを表示
全曲一覧	「ミュージック」で再生できるすべてのファイルを最大 9999 件表示
プレイリスト	「ミュージック」で再生できるファイルから任意で作成するフォルダを表示
アーティスト	「ミュージック」で再生できるすべてのファイルをアーティスト別に表示
アルバム	「ミュージック」で再生できるすべてのファイルをアルバム別に表示
ジャンル	「ミュージック」で再生できるすべてのファイルをジャンル別に表示
フォルダ	データフォルダおよびメモリカードの「着うた・メロディ」フォルダや「ミュージック」フォルダに保存されているファイルと、メモリカード内の「WMAudio」を表示
最近聴いた曲	最近再生したファイルの履歴を最大 100 件表示（最後に再生したファイルを一番上に表示）
よく聴く曲	再生回数の多いファイルの履歴を最大 100 件表示（最も再生回数が多いファイルを一番上に表示）

- 再生できるファイルが保存されたメモリカードを取り付けているときに、ファイルを一覧表示するまで時間がかかることがあります。

音楽再生画面の見かた



音楽再生画面

❶ 再生パターン設定
タップすると設定を切り替えることができます。
→：Off
↻1：1 曲リピート
↻A：全てリピート

❷ シャッフル設定
タップすると設定を切り替えることができます。
⤨：シャッフルあり
⤨：シャッフルなし

❸ サウンドエフェクト設定
・タップすると設定を切り替えることができます。
・Bluetooth® 対応ステレオヘッドフォンを利用して聴いているときは使用できません。

❹ 3D サウンド設定
・タップすると設定を切り替えることができます。
・Bluetooth® 対応ステレオヘッドフォンを利用して聴いているときは使用できません。

❺ タイトル（タイトル情報がない場合はファイル名）

❻ アーティスト名

❼ ファイル番号／総ファイル数

❽ 著作権保護

❾ プログレスバー
ドラッグ／タップして再生箇所を指定できます。

❿ 再生経過時間

⓫ ウェブリンク情報あり
タップすると関連したサイトに接続できます。

⓬ 歌詞情報あり
タップすると歌詞を表示できます。

⓭ 再生音量
タップすると音量が調節できます。

⓮ 総再生時間

⓯ 再生操作部
■：停止
▶：再生
❚❚：一時停止
⏮：頭出し／前の曲
・曲の再生後 3 秒以内にタップすると前の曲に、3 秒過ぎてタップすると再生中の曲の頭出しとなります。
⏮をホールド：巻き戻し
⏭：次の曲
⏭をホールド：早送り

• 本機を横に持つと横画面表示になります。操作は縦画面と同様です。

音楽を再生する

1 ≪メニュー≫→「メディアプレイヤー」→「ミュージック」

2 ファイルの選択操作

■最後に再生したファイルを再生するとき

「続き再生」

・再生中は「再生中のミュージック」と表示され、音楽再生画面が表示されます。

■すべてのファイルの一覧からファイルを選択するとき

「全曲一覧」→ファイルを選択

■プレイリストからファイルを選択するとき

「プレイリスト」→プレイリストを選択→ファイルを選択

■アーティスト別の一覧からファイルを選択するとき

「アーティスト」→アーティストを選択→ファイルを選択

■アルバム別の一覧からファイルを選択するとき

「アルバム」→アルバムを選択→ファイルを選択

■ジャンル別の一覧からファイルを選択するとき

「ジャンル」→ジャンルを選択→ファイルを選択

■フォルダの一覧からファイルを選択するとき

「フォルダ」→フォルダを選択→ファイルを選択

■最近再生したファイルの一覧からファイルを選択するとき

「最近聴いた曲」→ファイルを選択

■よく再生するファイルの一覧からファイルを選択するとき

「よく聴く曲」→ファイルを選択

- 「全曲一覧」やプレイリスト名などの横に表示される▶をタップすると、該当するファイルの一覧をすべて再生します。
- メモリカードを取り付けているときは、「全曲一覧」や「フォルダ」の一覧画面にメモリカードに保存されているファイルも表示されます。該当するファイルにはSDが表示されます。

- メディアプレイヤーを起動して音楽を再生している場合は、CLEARを繰り返し押すと再生を継続したまま音楽再生画面を終了します。また、終話キーを押すとメディアプレイヤーを終了させるか、BGMとして再生を続けるかを選択できます。

  再生を終了するには、待受画面で終話キーを押します。再生を終了するかどうかの確認メッセージが表示されたら、「はい」を選択します。
- 音楽再生しながら一覧画面を表示中は、♫をタップすると音楽再生画面に戻ることができます。
- メディアプレイヤー画面で音楽を再生中に電話がかかってきたときは、再生が一時停止され、着信音が鳴ります。通話が終了すると、音楽再生が一時停止のまま、音楽再生画面に戻ります。

  BGMとして再生中は、通話が終了すると再生を再開します。
- メディアプレイヤー画面で音楽を再生中にアラームの設定時刻になったときは、再生が一時停止され、アラームを音と表示でお知らせします。いずれかのボタンを押すとアラーム音が止まり、表示が消えます。BGMとして再生中のときは、アラーム音を止める時点で再生を再開します。
- タッチパネルがロック状態などの場合、BGMとして再生中に▲／▼を押すと音量を調整することができます。

8 メディアプレイヤー

使いこなしチェック!

便利 ☞P.8-11

- タイトルやアーティスト名でファイルを探したい
- ファイルをプレイリストに追加したい
- ファイルを送信したい
- ファイルを通常モードの着信音に設定したい
- ファイルの順序を変更したい
- 著作権保護ファイルのコンテンツ・キーを購入または取得したい
- ファイルの詳細情報を確認したい
- プレイリスト内のファイルの順序を変更したい
- プレイリスト名を編集したい
- プレイリストを削除したい
- 音楽の再生を停止したい
- 音楽の再生中に Bluetooth® 対応のステレオヘッドフォンに切り替えたい

設定

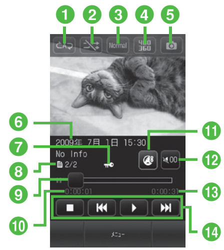
- 再生パターンを設定する（☞P.14-24）
- シャッフル再生をするかどうか設定する（☞P.14-24）
- サウンドエフェクトを設定する（☞P.14-24）
- 立体的な音響効果を設定する（☞P.14-24）

動画再生

ムービーのフォルダ構成は、次のとおりです。

フォルダ	概　要
続き再生	最後に再生したファイルを表示
全ムービー一覧	「ムービー」で再生できるすべてのファイルを最大 9999 件表示
プレイリスト	「ムービー」で再生できるファイルから任意で作成するフォルダを表示
フォルダ	データフォルダおよびメモリカード内の「ムービー」フォルダに保存されているファイルと、メモリカード内の「WMVideo」を表示
最近見たムービー	最近再生したファイルの履歴を最大 100 件表示（最後に再生したファイルを一番上に表示）
よく見るムービー	再生回数の多いファイルの履歴を最大 100 件表示（最も再生回数が多いファイルを一番上に表示）

動画再生画面の見かた



動画再生画面

❶ 再生パターン設定
タップすると設定を切り替えることができます。
➡：Off
：1 曲リピート
：全てリピート

❷ シャッフル設定
タップすると設定を切り替えることができます。
：シャッフルあり
：シャッフルなし

❸ 再生スピード
タップすると設定を切り替えることができます。

❹ 表示サイズ
タップすると設定を切り替えることができます。

❺ 静止画保存
・タップすると静止画を保存できます。
・著作権保護されている動画からは、静止画を保存できません。

❻ ビデオタイトル（ビデオタイトルがない場合はファイル名）と制作者名

❼ 著作権保護

❽ ファイル番号／総ファイル数

❾ プログレスバー
ドラッグ／タップして再生箇所を指定できます。

❿ 再生経過時間

⓫ ウェブリンク情報あり
タップすると関連したサイトに接続できます。

⓬ 再生音量
タップすると音量が調節できます。

⓭ 総再生時間

⓮ 再生操作部
■：停止
▶：再生
⏸：一時停止
⏮：頭出し／前のムービー
・ムービーの再生後３秒以内にタップすると前のムービーに、３秒過ぎてタップすると再生中のムービーの頭出しとなります。
⏮をホールド：巻き戻し
⏭：次のムービー
⏭をホールド：早送り

- 本機を横に持つと横画面表示になります。操作は縦画面と同様です。
- 映像をタップすると、縦画面表示では❶～❺のアイコンを表示します。横画面表示では再生操作部、プログレスバーなど、映像以外のすべてを表示します。

動画を再生する

❶ ≪メニュー≫→「メディアプレイヤー」→「ムービー」

❷ ファイルの選択操作

■ 最後に再生したファイルを再生するとき
「続き再生」

■ すべてのファイルの一覧からファイルを選択するとき
「全ムービー一覧」→ファイルを選択

■ プレイリストからファイルを選択するとき
「プレイリスト」→プレイリストを選択→ファイルを選択

■ フォルダの一覧からファイルを選択するとき
「フォルダ」→ファイルを選択

■ 最近再生したファイルの一覧からファイルを選択するとき
「最近見たムービー」→ファイルを選択

■ よく再生するファイルの一覧からファイルを選択するとき
「よく見るムービー」→ファイルを選択

- 「全ムービー一覧」やプレイリスト名などの横に表示される▶をタップすると、該当するファイルの一覧をすべて再生します。
- メモリカードを取り付けているときは、「全ムービー一覧」や「フォルダ」の一覧画面にメモリカードに保存されているファイルも表示されます。該当するファイルにはSDが表示されます。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.8-13

- タイトルや制作者名でファイルを探したい
- ファイルをプレイリストに追加したい
- ファイルを送信したい
- ファイルを通常モードの着信音に設定したい
- ファイルの順序を変更したい
- 著作権保護ファイルのコンテンツ・キーを購入または取得したい
- ファイルの詳細情報を確認したい
- プレイリスト内のファイルの順序を変更したい
- プレイリスト名を編集したい
- プレイリストを削除したい
- 動画の再生を停止したい
- 動画の再生中にBluetooth® 対応のヘッドフォンに切り替えたい

設定

- 再生パターンを設定する（☞P.14-25）
- シャッフル再生をするかどうか設定する（☞P.14-25）
- バックライトを設定する（☞P.14-25）
- 縦画面の表示サイズを設定する（☞P.14-25）
- 横画面の表示サイズを設定する（☞P.14-25）
- サムネイル表示を設定する（☞P.14-25）
- リンク情報を持つファイルの再生後にリンク先に接続するかどうか設定する（☞P.14-25）

プレイリスト

プレイリストを作成すれば、自分だけのアルバムを作ることができます。

プレイリストを作成する

プレイリストは最大20件作成でき、1件のプレイリストには最大100件のファイルを登録できます。

1. **≪メニュー≫→「メディアプレイヤー」→「ミュージック」／「ムービー」→「プレイリスト」→≪プレイリスト作成≫**
2. **プレイリスト名を入力**
3. **作成したプレイリストを選択**
4. **≪追加≫**
5. **登録するファイルをチェック→≪プレイリストに追加≫**

プレイリストを再生する

1 ≪メニュー≫→「メディアプレイヤー」→「ミュージック」／「ムービー」→「プレイリスト」

2 再生したいプレイリストを選択

3 再生したいファイルを選択

- プレイリストに登録したファイルを削除した場合や、メモリカードのファイルを登録しメモリカードを取り外した場合は再生できません。メモリカードを再度取り付けてファイルの読込みが完了すると、再生できるようになります。

ストリーミング

音楽や動画などのデータをダウンロードしながら順次再生します。情報画面に表示されているリンクなどからアクセスして、ストリーミングができます。

情報画面のリンクからストリーミングする

1 リンクが表示されている情報画面を表示

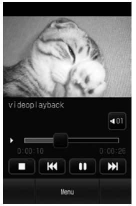
2 リンクを選択

URLを直接入力する

1 ≪メニュー≫→「メディアプレイヤー」→「ストリーミング」→「URL入力」

- URL欄には、あらかじめ「rtsp://」が入力されています。

2 URLを入力



ストリーミング画面

- ストリーミング中の操作は、メディアプレイヤー再生中の操作と同様です（➔P.8-5、P.8-7）。

注意

- ストリーミング中は、一時停止した場合でも通信は継続されるため、パケット通信料が発生します。

ブックマークから接続する

アクセスしたストリーミング画面のブックマークを最大20件まで保存できます。

1 ≪メニュー≫→「メディアプレイヤー」→「ストリーミング」→「ブックマーク」

2 ブックマークを選択

アクセス履歴から接続する

アクセスしたストリーミング画面のURLを最大20件まで保存できます。

1 ≪メニュー≫→「メディアプレイヤー」→「ストリーミング」→「履歴」

2 履歴を選択

使いこなしチェック!

便利 ☞P.8-15

- ストリーミング中にブックマークに登録したい
- ストリーミング画面でブックマークに登録したストリーミングにアクセスしたい
- ストリーミング画面で以前に利用したストリーミングにアクセスしたい
- ブックマークに登録したストリーミングのURLを編集したい
- ストリーミングのブックマークを直接入力して登録したい
- ブックマークに登録したストリーミングを削除したい
- ストリーミングのアクセス履歴を編集したい
- ストリーミングのアクセス履歴を削除したい

便利な機能

便利

音楽再生に関する便利な機能

タイトルやアーティスト名でファイルを探したい　【検索】

≪メニュー≫→「メディアプレイヤー」→「ミュージック」→「全曲一覧」→≪検索≫→「タイトル」または「アーティスト」をチェック→検索欄をタップ→タイトルまたはアーティスト名を入力→≪検索≫

ファイルをプレイリストに追加したい　【プレイリストに追加】

≪メニュー≫→「メディアプレイヤー」→「ミュージック」→「全曲一覧」→≪プレイリストに追加≫→追加したいファイルをチェック→≪プレイリストに追加≫→プレイリストを選択

- 新規にプレイリストを作成して追加する場合は、追加画面で≪プレイリスト作成≫→プレイリスト名を入力→作成したプレイリストを選択します。

ファイルを送信したい　【送信】

≪メニュー≫→「メディアプレイヤー」→「ミュージック」→「全曲一覧」→≪送信≫

■ メールで送信するとき

「メール添付」→ファイルを選択→(➲P.4-4 S! メールを作成・送信する **2**)

■ Bluetooth® で送信するとき

「Bluetooth」→送信したいファイルをチェック→≪送信≫→(➲P.13-8 データを1件ずつ送信する **2**)

■ 赤外線で送信するとき

「赤外線通信」→送信したいファイルをチェック→≪送信≫（➲P.13-4）

ファイルを通常モードの着信音に設定したい　【登録】

≪メニュー≫→「メディアプレイヤー」→「ミュージック」→「全曲一覧」→≪その他≫→「登録」→ファイルを選択→項目を選択

- 音楽再生画面で、音楽停止中に≪メニュー≫→「登録」をタップしても同じ操作を行うことができます。
- 着信音に設定できないファイルの場合は操作できません。

ファイルの順序を変更したい【ソート】

≪メニュー≫→「メディアプレイヤー」→「ミュージック」→「全曲一覧」→≪その他≫→「ソート」→項目を選択

- 他のフォルダでも同様に操作できます。
- 待受画面に戻ると、ソート内容は初期化されます。

著作権保護ファイルのコンテンツ・キーを購入または取得したい【コンテンツ・キー再取得】

≪メニュー≫→「メディアプレイヤー」→「ミュージック」→「全曲一覧」→≪その他≫→「コンテンツ・キー再取得」→ファイルを選択

ファイルの詳細情報を確認したい【詳細】

≪メニュー≫→「メディアプレイヤー」→「ミュージック」→「全曲一覧」→≪その他≫→「詳細」→ファイルを選択

- 音楽再生画面で≪メニュー≫→「詳細」をタップしても同じ操作を行うことができます。
- 他のフォルダでも同様に操作できます。

プレイリスト内のファイルの順序を変更したい【順序変更】

≪メニュー≫→「メディアプレイヤー」→「ミュージック」→「プレイリスト」→プレイリストを選択→≪順序変更≫→移動したいファイルをホールドし、選択されたことを確認後ドラッグして移動先へドロップ→≪ OK ≫

プレイリスト名を編集したい【プレイリスト名変更】

≪メニュー≫→「メディアプレイヤー」→「ミュージック」→「プレイリスト」→≪プレイリスト名変更≫→プレイリストを選択→プレイリスト名を入力

プレイリストを削除したい【削除】

≪メニュー≫→「メディアプレイヤー」→「ミュージック」→「プレイリスト」→≪削除≫→削除したいプレイリストをチェック→≪削除≫→「はい」

音楽の再生を停止したい【停止】

音楽再生画面で■

音楽の再生中に Bluetooth® 対応のステレオヘッドフォンに切り替えたい【ヘッドフォンに接続】／【本体で聴く】

音楽再生画面で≪メニュー≫→「ヘッドフォンに接続」→接続先のデバイスをタップし、選択されたことを確認後ドラッグして📱へドロップ

- 接続先が登録されていないときは、周辺デバイスを検索し、登録します。
- 「ヘッドフォンに接続」に設定すると、本機での音量調節はできませんので、ヘッドフォン側で調節します。
- モノラルヘッドフォンでは再生できません。
- ファイル形式によってはご利用になれない場合があります。
- 音楽の再生中に音声出力を本機に切り替えるには、≪本体で聴く≫をタップします。
- Bluetooth® 対応のステレオヘッドフォンを登録していたり、接続したことがある場合は、接続先のデバイスを📱へドラッグ＆ドロップせずに、ステレオヘッドフォンに切り替えることができます。

再生パターンを設定したい

音楽再生画面で≪メニュー≫→「設定」→「再生パターン設定」→項目を選択

シャッフルを設定したい

音楽再生画面の≪メニュー≫→「設定」→「シャッフル設定」の「On」／「Off」

サウンドエフェクトを設定したい

音楽再生画面で≪メニュー≫→「設定」→「サウンドエフェクト設定」→項目を選択

- Bluetooth® 対応ステレオヘッドフォンを利用して聴いているときは設定できません。

立体的な音響効果を設定したい

音楽再生画面で≪メニュー≫→「設定」→「3D サウンド」の「On」／「Off」

- Bluetooth® 対応ステレオヘッドフォンを利用して聴いているときは設定できません。

便利

動画再生に関する便利な機能

タイトルや制作者名でファイルを探したい 【検索】

≪メニュー≫→「メディアプレイヤー」→「ムービー」→「全ムービー一覧」→≪検索≫→「タイトル」または「制作者」をチェック→検索欄をタップ→タイトルまたは制作者名を入力→≪検索≫

ファイルをプレイリストに追加したい 【プレイリストに追加】

≪メニュー≫→「メディアプレイヤー」→「ムービー」→「全ムービー一覧」→≪プレイリストに追加≫→追加したいファイルをチェック→≪プレイリストに追加≫→プレイリストを選択

- 新規にプレイリストを作成して追加する場合は、追加画面で≪プレイリスト作成≫→プレイリスト名を入力→作成したプレイリストを選択します。

ファイルを送信したい 【送信】

≪メニュー≫→「メディアプレイヤー」→「ムービー」→「全ムービー一覧」→≪送信≫

■ メールで送信するとき

「メール添付」→ファイルを選択→(➲P.4-4 S! メールを作成・送信する ❷)

■ Bluetooth® で送信するとき

「Bluetooth」→送信したいファイルをチェック→≪送信≫→(➲P.13-8 データを1件ずつ送信する ❷)

■ 赤外線で送信するとき

「赤外線通信」→送信したいファイルをチェック→≪送信≫（➲P.13-4）

ファイルを通常モードの着信音に設定したい 【登録】

≪メニュー≫→「メディアプレイヤー」→「ムービー」→「全ムービー一覧」→≪その他≫→「登録」→ファイルを選択→項目を選択

- 動画再生画面で≪メニュー≫→「登録」をタップしても同じ操作を行うことができます。
- 着信音に設定できないファイルの場合は操作できません。

ファイルの順序を変更したい 【ソート】

≪メニュー≫→「メディアプレイヤー」→「ムービー」→「全ムービー一覧」→≪その他≫→「ソート」→項目を選択

- 他のフォルダでも同様に操作できます。

著作権保護ファイルのコンテンツ・キーを購入または取得したい
[コンテンツ・キー再取得]

≪メニュー≫→「メディアプレイヤー」→「ムービー」→「全ムービー一覧」→≪その他≫→「コンテンツ・キー再取得」→ファイルを選択

ファイルの詳細情報を確認したい
[詳細]

≪メニュー≫→「メディアプレイヤー」→「ムービー」→「全ムービー一覧」→≪その他≫→「詳細」→ファイルを選択

- ファイルを再生中に≪メニュー≫→「詳細」をタップしても同じ操作を行うことができます。
- 他のフォルダでも同様に操作できます。

プレイリスト内のファイルの順序を変更したい
[順序変更]

≪メニュー≫→「メディアプレイヤー」→「ムービー」→「プレイリスト」→プレイリストを選択→「順序変更」→移動したいファイルをホールドし、選択されたことを確認後ドラッグして移動先へドロップ→≪OK≫

プレイリスト名を編集したい
[プレイリスト名変更]

≪メニュー≫→「メディアプレイヤー」→「ムービー」→「プレイリスト」→≪プレイリスト名変更≫→プレイリストを選択→プレイリスト名を入力

プレイリストを削除したい
[削除]

≪メニュー≫→「メディアプレイヤー」→「ムービー」→「プレイリスト」→≪削除≫→削除したいプレイリストをチェック→≪削除≫→「はい」

動画の再生を停止したい
[停止]

動画再生画面で■

動画の再生中にBluetooth® 対応のヘッドフォンに切り替えたい
[ヘッドフォンに接続]／[本体で聴く]

動画再生画面で≪メニュー≫→「ヘッドフォンに接続」→接続先のデバイスをタップし、選択されたことを確認後ドラッグして📱へドロップ

- 接続先が登録されていないときは、周辺デバイスを検索し、登録します。
- 「ヘッドフォンに接続」に設定すると、本機での音量調節はできませんので、ヘッドフォン側で調節します。
- モノラルヘッドフォンでは再生できません。
- ファイル形式によってはご利用になれない場合があります。
- 動画の再生中に音声出力を本機に切り替えるには、≪本体で聴く≫をタップします。

再生パターンを設定したい

動画再生画面で≪メニュー≫→「設定」→「再生パターン設定」→項目を選択

シャッフルを設定したい

動画再生画面で≪メニュー≫→「設定」→「シャッフル設定」の「On」／「Off」

バックライトを設定したい

動画再生画面で≪メニュー≫→「設定」→「バックライト」→項目を選択

縦画面の表示サイズを設定したい

動画再生画面で≪メニュー≫→「設定」→「縦画面表示設定」→項目を選択

横画面の表示サイズを設定したい

動画再生画面で≪メニュー≫→「設定」→「横画面表示設定」→項目を選択

サムネイル表示を設定したい

動画再生画面で≪メニュー≫→「設定」→「サムネイル表示」の「On」／「Off」

リンク情報を持つファイルの再生後にリンク先に接続するかどうか設定したい

動画再生画面で≪メニュー≫→「設定」→「リンク接続事前確認設定」の「On」／「Off」

便利

ストリーミングに関する便利な機能

最後に再生したストリーミングを再生したい

≪メニュー≫→「メディアプレイヤー」→「ストリーミング」→「続き再生」

ストリーミング中にブックマークに登録したい [ブックマーク登録]

ストリーミング画面で≪メニュー≫→≪ブックマーク登録≫→タイトル欄をタップ→タイトルを入力→URL欄をタップ→URLを入力→≪保存≫

ストリーミング画面でブックマークに登録したストリーミングにアクセスしたい [ブックマーク一覧]

ストリーミング画面で≪メニュー≫→≪ブックマーク一覧≫→ブックマークを選択

ストリーミング画面で以前に利用したストリーミングにアクセスしたい [履歴一覧]

ストリーミング画面で≪メニュー≫→≪履歴一覧≫→履歴を選択

ブックマークに登録したストリーミングのURLを編集したい [編集]

≪メニュー≫→「メディアプレイヤー」→「ストリーミング」→「ブックマーク」→≪編集≫→編集したいブックマークを選択→タイトル欄をタップ→タイトルを編集→URL欄をタップ→URLを編集→≪保存≫

- ストリーミング画面で≪メニュー≫→≪ブックマーク一覧≫→≪編集≫→編集したいブックマークを選択→タイトル欄をタップ→タイトルを編集→URL欄をタップ→URLを編集→≪保存≫をタップしても同じ操作を行うことができます。

ストリーミングのブックマークを直接入力して登録したい [新規登録]

≪メニュー≫→「メディアプレイヤー」→「ストリーミング」→「ブックマーク」→≪新規登録≫→タイトル欄をタップ→タイトルを入力→URL欄をタップ→URLを入力→≪保存≫

- ストリーミング画面で≪メニュー≫→≪ブックマーク一覧≫→≪新規登録≫→タイトル欄をタップ→タイトルを入力→URL欄をタップ→URLを入力→≪保存≫をタップしても同じ操作を行うことができます。

ブックマークに登録したストリーミングを削除したい [削除]

≪メニュー≫→「メディアプレイヤー」→「ストリーミング」→「ブックマーク」→≪削除≫→削除したいブックマークをチェック→≪削除≫→「はい」

- ストリーミング画面で≪ブックマーク一覧≫→≪削除≫→削除したいURLをチェック→≪削除≫→「はい」を選択しても同じ操作を行うことができます。

ストリーミングのアクセス履歴を編集したい [履歴編集]

≪メニュー≫→「メディアプレイヤー」→「ストリーミング」→「履歴」→≪履歴編集≫→編集したい履歴を選択→タイトル欄をタップ→タイトルを入力→URL欄をタップ→URLを入力→≪保存≫

- ストリーミング画面で≪メニュー≫→≪履歴一覧≫→≪履歴編集≫→編集したい履歴を選択→タイトル欄をタップ→タイトルを入力→URL欄をタップ→URLを入力→≪保存≫をタップしても同じ操作を行うことができます。

ストリーミングのアクセス履歴を削除したい　**[削除]**

≪メニュー≫→「メディアプレイヤー」→「ストリーミング」→「履歴」→≪削除≫→削除したいURLをチェック→≪削除≫→「はい」

- ストリーミング画面で≪メニュー≫→≪履歴一覧≫→≪削除≫→削除したいURLをチェック→≪削除≫→「はい」を選択しても同じ操作を行うことができます。

エンタテイメント

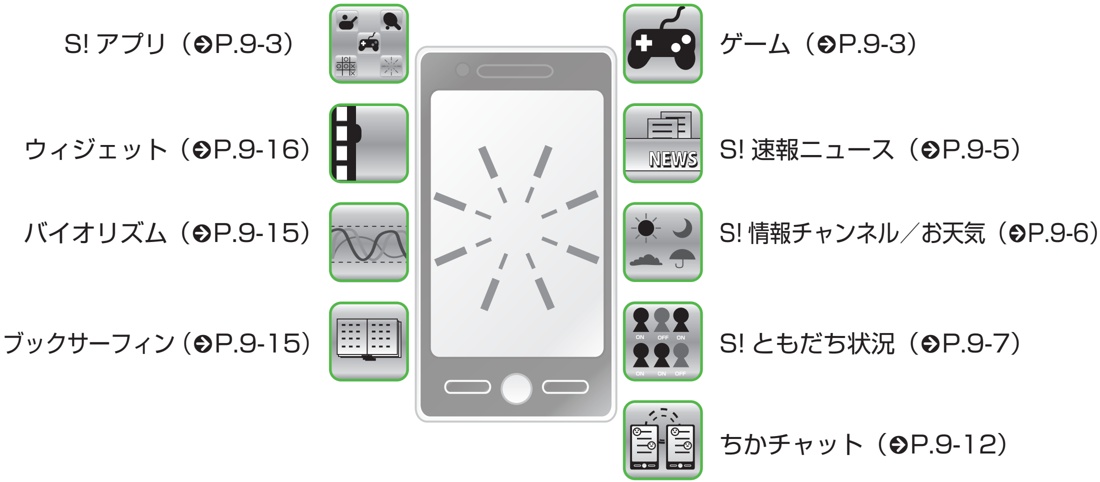
9

エンタテイナーな機能たち

本機では、インターネットにアクセスして、様々なコンテンツをダウンロードしたり閲覧したりすることができます。
また、コンテンツを登録することによって、最新情報を自動的に受信できます。
ここでは、コンテンツのダウンロード方法と利用方法について説明します。

注意

次のコンテンツのご利用には、別途お申し込みが必要です。
- S! 速報ニュース
- S! 情報チャンネル
- S! ともだち状況



S! アプリ

ダウンロードしたり、あらかじめ登録されているゲームなど、ソフトバンク携帯電話専用のアプリケーション（S! アプリ）を楽しめます。

- 操作方法について詳しくは S! アプリ内のヘルプやダウンロードしたインターネットの情報画面などを参照してください。

S! アプリをダウンロードする

1 ≪メニュー≫→「エンタテイメント」→「S! アプリ」→「S! アプリ一覧」→「S! アプリダウンロード」

- 以降は、画面の指示に従って操作してください。

S! アプリを使う

S! アプリを起動する

1 ≪メニュー≫→「エンタテイメント」→「S! アプリ」→「S! アプリ一覧」

2 利用する S! アプリを選択

ネットワーク接続型 S! アプリを選ぶと
- ネットワーク（インターネット）へ接続するかどうかの確認が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

S! アプリ起動中に着信があると
- S! アプリは一時停止し、着信画面が表示されます。

S! アプリの通知履歴を確認するとき
- ≪メニュー≫→「エンタテイメント」→「S! アプリ」→「S! アプリ開始要求履歴」

S! アプリを終了する

1 S! アプリ起動中に

2 「終了」

S! アプリを一時停止するとき
- 画面から「一時停止」を選択

一時停止中の S! アプリを再開するとき
- ≪メニュー≫→「エンタテイメント」→「S! アプリ」→「再開」

一時停止中の S! アプリを終了するとき
- ≪メニュー≫→「エンタテイメント」→「S! アプリ」→「終了」

ゲーム

本機には、5 種類のゲームが登録されています。

注意

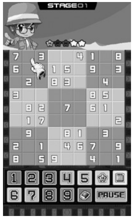
- これらのゲームには、本機を振って遊ぶゲームが含まれています。振りすぎなどが原因で、人や物などにあたって事故や破損などにつながる可能性があります。遊ぶ際は、本機をしっかりと握り、必要以上に振りすぎず、周囲の安全を確認して遊びましょう。

ナンバープレイスワールド

81 のマスを数字で埋めるゲームです。横の 9 マス、縦の 9 マス、縦横 3x3 のボックスに 1 から 9 の文字が 1 回だけ使われるように数字をタップして入れます。

1 ≪メニュー≫→「エンタテイメント」→「ナンバープレイスワールド」

2 画面の指示に従って操作



タッチゴルフ パンヤ

簡単な操作でゴルフを知らない人でも手軽に楽しめるゴルフゲームです。

1 ≪メニュー≫→「エンタテイメント」→「タッチゴルフ パンヤ」

2 画面の指示に従って操作



ヒドゥンキャッチ 4

2 枚の絵を比べて間違いを探す「間違い探し」、時間経過とともに変化する部分を見つける、「変わる絵」、隠れている精霊を見つける「隠し絵」の 3 種類をクリアしながらステージを進めるゲームです。

1 ≪メニュー≫→「エンタテイメント」→「ヒドゥンキャッチ 4」

2 画面の指示に従って操作



サイコロゲーム

本機を振ると、画面内の 2 つのサイコロが転がります。

1 ≪メニュー≫→「エンタテイメント」→「サイコロゲーム」

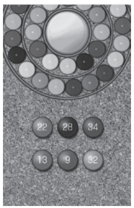
2 本機を振る



ランダムボール

数字の範囲とボールの数を設定して、ビンゴの抽選を行います。

1. ≪メニュー≫→「エンタテイメント」→「ランダムボール」
2. 「表示設定」→「最小」／「最大」値を入力→「ボール数」→ボールの数を入力→≪ OK ≫
3. 本機を振る



S! 速報ニュース

S! 速報ニュースでは、登録した Yahoo! ケータイのコンテンツの更新情報を見ることができます。

- 待受画面で S! 速報ニュース一覧に登録したコンテンツの最新情報を確認することができます（➔P.9-21）。
- S! 速報ニュースのご利用には、別途お申し込みが必要です。

リスト画面を表示する

1. ≪メニュー≫→「エンタテイメント」→「S! 速報ニュース」



S!速報ニュース一覧画面

：速報未読
：一般未読
：速報既読
：一般既読
：S! 速報／一般自動更新停止中

注意

- S! 速報ニュースのご利用時には、パケット通信料が発生します。

更新情報を確認する

1. ≪メニュー≫→「エンタテイメント」→「S! 速報ニュース」
2. コンテンツを選択
3. 情報を選択
   - S! 速報ニュース一覧画面／内容一覧画面に戻るときは、≪リスト≫／≪一覧≫をタップします。
   - インターネットに接続して更新情報を確認するには、項目を選択し、「はい」を選択します。
   - 前の情報があるときは、≪前≫をタップすると前の情報画面を表示します。
   - 次の情報があるときは、≪次≫をタップすると次の情報画面を表示します。
   - ≪キーパッド表示≫をタップすると、キーパッドを表示できます。

S! 速報ニュース一覧に登録する

S! 速報ニュース一覧には速報が 1 件、一般が最大 4 件まで登録できます。

1. ≪メニュー≫→「エンタテイメント」→「S! 速報ニュース」
2. 「登録はこちら」→「はい」
3. コンテンツを選択→画面の指示に従って操作

S! 速報ニュース一覧を手動で更新する

1. ≪メニュー≫→「エンタテイメント」→「S! 速報ニュース」
2. ≪更新≫→更新したいコンテンツの項目をチェック→≪ OK ≫
   - 更新中に中止したいときは≪キャンセル≫をタップします。

S! 速報ニュース一覧を削除する

1. ≪メニュー≫→「エンタテイメント」→「S! 速報ニュース」
2. ≪削除≫→削除したいコンテンツの項目をチェック→≪削除≫→「はい」

使いこなしチェック!

便利 ☞P.9-26

- コンテンツの詳細を確認したい
- S! 速報ニュース一覧の内容一覧画面で情報を更新したい
- S! 速報ニュース一覧の内容一覧画面から更新情報を確認したい

S! 情報チャンネル

S! 情報チャンネルでは、登録したニュースなどを夜間にお届けします。また、待受画面にお天気情報をアイコンでお知らせします。

- 日本国内だけで利用できるサービスです。
- S! 情報チャンネルのご利用には、別途お申し込みが必要です。

サービス登録を行う

1. ≪メニュー≫→「エンタテイメント」→「S! 情報チャンネル／お天気」→「サービス登録・解除」
2. 画面の指示に従って操作

新着情報を確認する

S! 情報チャンネルの情報は自動的に受信され、待受画面に通知が表示されます。

1 通知をタップ

2 画面の指示に従って操作

- 操作方法は、Yahoo! ケータイと同様です。

お天気アイコンを利用する

S! 情報チャンネルのサービス登録を行うと、現在いる地域の天気を示すマーク（お天気アイコン）が、待受画面に表示されます。

：晴れ（昼）
：晴れ（夜）
：曇り
：雨
：雪
：雷雨
：のち
：時々
例：→曇り時々雨

- 上記以外に、降水確率や季節情報なども表示されます。

注意

- S! 情報チャンネルのご利用時には、パケット通信料が発生します。

使いこなしチェック!

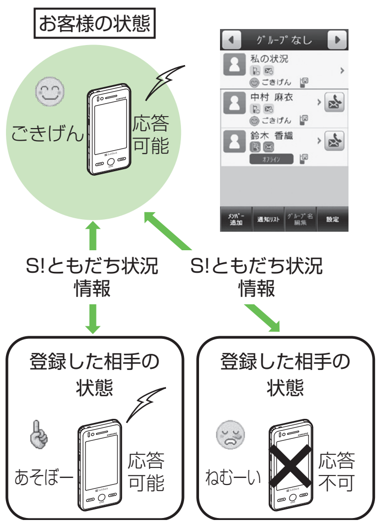
設定

- お天気アイコンが更新されたときに通知するかどうかを設定する（☞P.14-25）
- お天気アイコンを自動的に更新するかどうかを設定する（☞P.14-25）

S! ともだち状況

S! ともだち状況とは、現在の状況（気分・応答可能かなど）を S! ともだち状況に登録したメンバーどうしで確認し合える機能です。

- S! ともだち状況のご利用には、別途お申し込みが必要です。
- S! ともだち状況の対応機種どうしだけでご利用いただけます。



- S! ともだち状況メンバーリストに相手を登録すると、S! ともだち状況の情報をお互いに確認し合えるようになります。以降は、お互いの S! ともだち状況情報の変更も自動的に更新されます。

注意

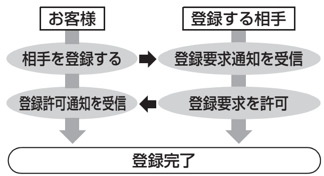
- ご利用の際には「IP サービス設定」(➲P.14-27)が「On」であることを確認してください。

S! ともだち状況メンバーリストに登録する

お客様の S! ともだち状況の情報を知らせたり、S! ともだち状況の情報を知りたい相手を、S! ともだち状況メンバーリストに登録します。

- S! ともだち状況メンバーは、最大 30 件まで登録できます。

登録の流れ



- 登録が完了すると、お客様の S! ともだち状況情報（私の状況）が登録相手に送信され、お互いの情報を確認できるようになります。
- S! ともだち状況通知は、登録を解除するときなどにも送信されます。

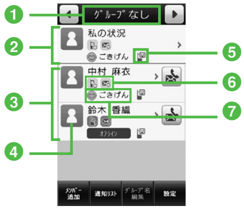
S! ともだち状況通知の種類は次のとおりです。

種　類	内　容
登録要求通知	相手がお客様を S! ともだち状況メンバーリストに登録したときに受信します。
登録許可通知	S! ともだち状況メンバーリストへの登録が相手に許可されたときに受信します。
登録不可通知	S! ともだち状況メンバーリストへの登録が相手に拒否されたときや、相手が 2 時間以内に応答を返さなかったときに受信します。
登録解除通知	相手が S! ともだち状況メンバーリストの登録を解除したときに受信します。
オフライン通知	ネットワーク障害などで、S! ともだち状況が利用できなくなったときに受信します。

注意

- 私の状況のネットワーク接続状況(➔P.9-27)が「オフライン」のときには、S! ともだち状況メンバーリストに登録できません。登録するときには、ネットワーク接続状況を「オンライン」にしてください。

S! ともだち状況画面の見かた



S!ともだち状況メンバーリスト画面



S!ともだち状況メンバー状況画面

❶ S! ともだち状況のグループ名

❷ お客様の情報（私の状況：➔P.9-11）

❸ 登録した相手の情報

❹ 私の状況ではオーナー情報に登録している画像が表示されます。メンバー状況では電話帳に登録している画像や名前、電話番号が表示されます。

❺ S! ともだち状況ウィジェット設定状況《ウィジェットに表示》で「はい」に設定した場合に表示されます。

❻ 応答ステータス電話やメールの応答状況が表示されます。

❼ 状態アイコン、状態ラベル絵文字（状態アイコン）や短い文章（状態ラベル）で、お客様や登録した S! ともだち状況メンバーの状態が表示されます。

❽ ネットワーク接続状況お客様や登録した S! ともだち状況メンバーの S! ともだち状況への接続状況が表示されます。

❾ コメント

電話帳または電話番号から登録する

1 **《メニュー》→「エンタテイメント」→「S! ともだち状況」**

- メンバー未登録のときは「はい」を選択し、操作 ❸ へ進みます。

2 **《メンバー追加》**

3 **メンバーの登録操作**

■ 電話帳から登録するとき

「電話帳から登録」→電話帳を検索し、選択(➔P.2-21)→電話番号を選択

■ 電話番号を入力して登録するとき

「新規登録」→電話番号を入力→《完了》

4 **登録要求の送信確認メッセージが表示されたら「はい」**

- 登録要求が相手に許可され、登録許可通知を受信すると登録完了です。
- 登録許可通知を受信するまで、登録する相手の S! ともだち状況情報は、応答ステータスは「待機中」、状態は「不明」と表示されます。

・登録するときに、お買い上げ時の私の状況情報を相手に送信したくない場合は、先に私の状況を変更してから登録してください。

注意

・S! ともだち状況メンバーリストに S! ともだち状況メンバーを 30 件登録しているときは、追加登録できません。追加登録を行いたいときは、登録している S! ともだち状況メンバーを削除してください。
・S! ともだち状況に対応していない機種を登録したときは、登録不可通知が返信されます。

受信した登録要求通知から登録する

受信した登録要求通知を利用して、登録要求通知を送信してきた相手を S! ともだち状況メンバーリストに登録します。

- 登録要求通知を受信すると、送信してきた相手の情報と、相手を S! ともだち状況メンバーリストに登録するかどうかの確認メッセージが表示されます。次の操作を行うと、相手を S! ともだち状況メンバーリストに登録できます。



登録要求通知画面

1 通知をタップ→登録要求通知を選択

2 登録要求通知が表示されたら「はい」

- 登録許可通知が返信され、相手が S! ともだち状況メンバーリストに登録されます。
- 登録しないときは「いいえ」を選択します。登録不可通知が返信されます（相手は S! ともだち状況メンバーリストに登録されません）。
- あとで確認するときは「後で確認」を選択します。

・次の状態のときに登録要求通知を受信すると、登録不可通知が自動的に送信されます。
- 2 時間以上応答できないとき
- S! ともだち状況メンバーを 30 件登録しているとき

注意

・「いいえ」を選択し、登録不可通知を送信すると、送信後 24 時間は、送信した相手を S! ともだち状況メンバーリストに登録できません。
・相手が 24 時間以上登録不可通知を受信できなかったときは、再度同じ相手から登録要求通知が送信されます。

9 エンタテイメント

私の状況を設定する

お客様のS! ともだち状況の情報（私の状況）を設定できます。

私の状況詳細画面を表示する

❶ ≪メニュー≫→「エンタテイメント」→「S! ともだち状況」→「私の状況」



私の状況詳細画面

❶ 画像
オーナー情報に登録している画像が表示されます。

❷ 待受ウィンドウ設定状況
「待受ウィンドウ設定」が「はい」に設定されている場合に表示されます。

❸ ネットワーク接続状況（➲P.9-27）

❹ 状態アイコン、状態ラベル
絵文字（状態アイコン）と短い文章（状態ラベル）を変更できます。状態アイコンと状態ラベルの組み合わせや内容は、≪編集≫をタップして変更することもできます（➲P.9-28）。

❺ 応答ステータス
電話やメールの応答ステータスを個別に変更できます。

❻ コメント
最大15文字までの短いメッセージを編集することができます。

私の状況の情報を変更する

❶ 私の状況詳細画面を表示→変更する項目（ネットワーク接続状況以外の項目）を選択→設定内容を変更→≪更新≫

- 変更した私の状況が、登録しているS! ともだち状況メンバーに送信されます。

変更できる項目と設定内容は次のとおりです。

項　目	設定内容	
状態	状態アイコンと状態ラベルの16の組み合わせ	
一括設定		
	すべてOK	電話：応答OK メール：返信OK
	メールのみOK	電話：応答NG メール：返信OK
	すべてNG	電話：応答NG メール：後で確認
	ユーザー設定	―※
電話	応答OK、急用のみ、応答NG	
メール	返信OK、後で確認	
コメント	最大15文字	

※「応答状況一括設定」で組み合わせを変更できます（➲P.9-27）。

メンバーの登録を解除したい

1. ≪メニュー≫→「エンタテイメント」→「S! ともだち状況」→削除したいメンバーを選択→「登録解除」→「はい」

- 一度登録を解除すると、再登録するには24時間かかります。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.9-27

- 私の状況をウィジェットアイコンに表示するかどうかを設定したい
- S! ともだち状況メンバーをウィジェットアイコンに登録したい
- S! ともだち状況通知リストを確認したい
- S! ともだち状況通知リストを削除したい
- S! ともだち状況メンバーを電話帳に登録したい
- S! ともだち状況メンバーの電話帳を編集したい
- S! ともだち状況グループ名を編集したい
- 私の画像を設定したい
- S! ともだち状況メンバーの画像を設定したい

設定

- IPサービス設定を設定する（☞P.14-27）

ちかチャット

- 本アプリには、18 歳未満のお子様による本アプリの利用を保護者の方が制限することができる「利用制限機能」を搭載しております。
- 利用制限機能について詳しくは、S! アプリ「ちかチャット」の「使い方」を参照してください。
- 本アプリは、Bluetooth® の特性上、意図しない相手から接続を要求されることがありますが、拒否することもできます。

ちかチャットについて

近く（半径 10m 程度の範囲）にあるちかチャット対応端末どうしで、リアルタイムに文字メッセージをやり取りできます。

- ちかチャットは Bluetooth® を利用します。このため、通信料はかかりません。
- ちかチャットの利用には、ちかチャット専用 S! アプリが必要です。本機には､あらかじめ S! アプリ｢ちかチャット｣が登録されています。

注意

- 通信可能範囲は、周囲の環境により変動することがあります。
- あらかじめ登録されている S! アプリ「ちかチャット」は削除できません。
- 相手機器の特性や仕様によっては、接続できなかったり、動作が異なったり、データの送受信ができなかったりすることがあります。

ちかチャットを利用する

ちかチャットの準備をする

ちかチャットを利用するには、あらかじめ次の各機能を有効にしておく必要があります。

- Bluetooth On/Off 設定
- マイデバイス設定の公開設定
- S! アプリ要求

- ちかチャットを起動すると、Bluetooth® の「Bluetooth On/Off 設定」は「On」になります。ちかチャットを終了しても、設定は「On」のままです。

注意

- Bluetooth® の On/Off 設定を「Off」にすると､S! アプリの｢ちかチャット｣は利用できません。
- Bluetooth® の On/Off 設定を｢On｣､「公開設定」を「公開する」にすると、周りの Bluetooth® 対応機器に本機のデバイス名称を公開します。他の機器から接続要求されることがありますので、ご注意ください。
- Bluetooth® デバイスの「公開設定」を「非公開にする」、および「S! アプリ要求」を「Off」にすると、相手からの開始要求でちかチャットを開始することはできません。

S! アプリの起動を設定する

1 ≪メニュー≫→「設定」→「外部接続」→「Bluetooth」

2 ≪その他≫→「マイデバイス設定」

3 「S! アプリ要求」の「On」／「Off」

ちかチャットを開始する

1 ≪メニュー≫→「エンタテイメント」→「ちかチャット」→「はい」



- Bluetooth® の On/Off 設定が「Off」のときは「はい」を選択します。

2 S! アプリの操作でちかチャット開始

3 ちかチャットを終了するときは、S! アプリを終了させる（➲P.9-3）

ちかチャットを受ける

ちかチャットの操作方法について詳しくは、S! アプリ「ちかチャット」の「使い方」を参照してください。

1 ちかチャット起動要求が表示されたら「はい」



2 確認メッセージが表示されたら「はい」

3 ちかチャットを終了するときは、S! アプリを終了させる（➲P.9-3）

- 開始要求後、約 30 秒間何も操作しないでおくと、起動要求の通知画面が表示されます。

ブックサーフィン

ブックサーフィンを利用する

ブックサーフィンは、データフォルダの「ブック」フォルダに保存されている電子コミックや電子写真集など（CCF ファイル）を閲覧するためのビューアです。画像を拡大／縮小したり、簡単な操作で画面をスクロールしたり、サウンドやバイブレーションなどの効果により臨場感ある演出も可能です。
CCF ファイルを閲覧するには、コンテンツ･キーを取得してください。ただし、あらかじめ本機に保存されているサンプルでは、コンテンツ･キーは不要です。
機種を変更した後は、メモリーカードで CCF ファイルを移動してください。
また、移動したファイルを閲覧するには、コンテンツ･キーを再度ダウンロードする必要があります。
なお、ファイルによっては CCF ファイルを再度ダウンロードする必要があります。

電子書籍をダウンロードする

1. ≪メニュー≫→「エンタテイメント」→「ブックサーフィン」
2. 「作品をさがす（Web から）」→「はい」
   - 以降は、画面の指示に従って操作してください。

電子書籍を読む

1. ≪メニュー≫→「エンタテイメント」→「ブックサーフィン」
   - 起動後の操作については、ブックサーフィンのヘルプを参照してください。

バイオリズム

人の体調、感情、ひらめきは、それぞれ 23 日、28 日、33 日周期というリズムを持っています。
本機は、誕生日を登録することによって、その日、その月のあなたおよび友達のバイオリズムをグラフで表示します。また、月の絶好調および要注意日を注目で表示します。

誕生日を登録する

1. ≪メニュー≫→「エンタテイメント」→「バイオリズム」→「誕生日入力」
2. 誕生日を入力

- 誕生日登録画面は、誕生日が登録されていない場合のみ表示されます。すでに誕生日が登録されている場合は、今日／月間（グラフ／注目）のバイオリズムを表示することができます。

バイオリズムを見る

今日のバイオリズム

1 ≪メニュー≫→「エンタテイメント」→「バイオリズム」



- ◀／▶をタップすると、バイオリズムを表示する日を変更できます。

月間バイオリズム

1 ≪メニュー≫→「エンタテイメント」→「バイオリズム」→≪月別表示≫→◀／▶



- ◀／▶をタップすると、バイオリズムを表示する月を変更できます。



- 「グラフ」／「注目！」をタップすると、表示方法を切り替えることができます。

ウィジェット

ウィジェットに機能を登録すると、待受画面に配置したウィジェットアイコンをタップするだけで、簡単に機能を呼び出すことができます。

ウィジェットアイテムを登録する

機能を一覧から選択し、最大 17 件まで登録できます。

1 ≪メニュー≫→「設定」→「ディスプレイ設定」→「ウィジェット設定」



2 登録したい項目をチェック→≪ OK ≫

9 エンタテイメント

登録できる機能

機能名	概　要
アナログ時計	アナログ時計を表示します。
デジタル時計	デジタル時計を表示します。
2ヶ国時計	世界地図から選択した2つの地域の時刻を表示します。時計をタップすると地域を設定できます（➔P.9-22）。
カレンダー	カレンダーを表示します。1ヶ月表示と1日表示を切り替えられます（➔P.9-23）。
予定リスト	タップすると全予定リストを表示します（➔P.9-24）。
アラーム	アラーム設定状況を表示します（➔P.9-23）。
メモ（黄）	黄色のメモを表示します。
メモ（青）	青色のメモを表示します。
メモ（赤）	赤色のメモを表示します。
タイマー	タップするとタイマーを起動します。
ライト	タップするとバックライトが30秒間点灯します。
壁紙設定	データフォルダへのショートカットが作成され、ファイルを選択して壁紙に設定できます（➔P.9-20）。
S! 情報チャンネル	S! 情報チャンネルにワンタッチでアクセスできます（➔P.9-22）。
S! ともだち状況	S! ともだち状況を表示します（➔P.9-20）。
S! 速報ニュース	S! 速報ニュースを表示します（➔P.9-21）。

機能名	概　要
トップ3	通話やメール送信が多い上位3名を表示します。
ミニプレイヤー	待受画面でミュージックプレイヤーを操作できます（➔P.9-21）。
お絵かきアニメ	タップするとお絵かきアニメを起動します。
フォトアルバム	タップするとフォトアルバムを起動します。
ミュージックプレイヤー	タップするとミュージックファイル選択メニューを表示します。
ムービープレイヤー	タップするとムービーファイル選択メニューを表示します。
データフォルダ	タップするとデータフォルダを開きます。
カメラ	タップするとカメラを起動します。
TV	タップするとテレビを起動します。
S! アプリ	タップするとS! アプリ選択メニューを表示します。
ちかチャット	タップするとちかチャットを起動します。
ブックサーフィン	タップするとブックサーフィンを起動します。
バイオリズム	タップするとバイオリズムを起動します。
ナンバープレイスワールド	タップするとナンバープレイスワールドを起動します。
タッチゴルフ パンヤ	タップするとタッチゴルフ パンヤを起動します。
ヒドゥンキャッチ4	タップするとヒドゥンキャッチ4を起動します。
サイコロゲーム	タップするとサイコロゲームを起動します。
ランダムボール	タップするとランダムボールを起動します。
S! メール	タップすると受信ボックスを表示します。

機能名	概　要
メモ帳	タップするとメモ帳を起動します。
ボイスレコーダー	タップするとボイスレコーダーを起動します。
電卓	タップすると電卓を起動します。
通貨・単位換算	タップすると通貨・単位換算を起動します。
ストップウォッチ	タップするとストップウォッチを起動します。
辞典	タップすると辞典を起動します。
Bluetooth	タップすると Bluetooth® を起動します。
赤外線	タップすると赤外線通信メニューを表示します。
電話帳	タップすると電話帳を表示します。
Yahoo! ケータイブックマーク	タップするとブックマークを表示します。
S-1 バトル	タップすると S-1 バトルの情報画面を表示します。
コンテンツ得パック	タップするとコンテンツ得パックの情報画面を表示します。
選べるかんたん動画	タップすると選べるかんたん動画の情報画面を表示します。
PC サイトブラウザブックマーク	タップするとブックマークを表示します。
設定	タップすると設定メニューを表示します。
ウィジェット設定	タップするとウィジェット設定メニューを表示します。

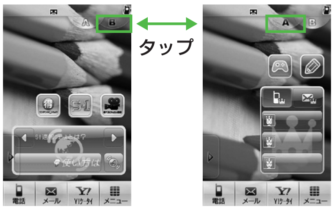
注意

- S! ともだち状況や S! 速報ニュースを利用するには、あらかじめ登録や設定が必要です。

ウィジェット表示をパッケージで切り替える

ウィジェット表示には、A パッケージ、B パッケージの 2 種類の表示パターンがあり、パッケージごとにウィジェットの配置を設定することができます。

1 A パッケージアイコン／ B パッケージアイコンをタップ



A パッケージ　　B パッケージ

- パッケージごとに配置したウィジェットは、パッケージを切り替えたり、電源を切っても保持されます。

ウィジェットを待受画面に配置する

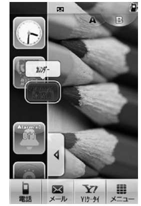
ウィジェットバーからウィジェットアイテムを待受画面に配置すると、待受画面で機能を利用したり、ショートカットアイコンとして利用したりできます。

- デジタル時計／アナログ時計のウィジェットアイコンは、待受画面にデジタル時計／アナログ時計を表示します。タップしても動作しません。

1 ウィジェットバーのタブをタップ



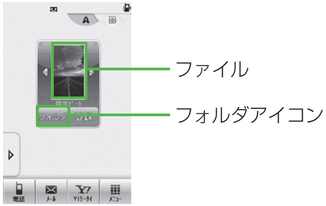
2 ウィジェットバーからウィジェットアイテムをドラッグし、待受画面にドロップ



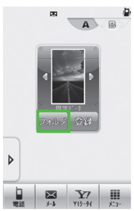
3 ウィジェットアイコンをタップ

- ウィジェットアイコンは重ねて配置できます。
- 待受画面上でウィジェットアイコンをドラッグし、好きな位置へドロップして配置を変更できます。
- ウィジェットバー内でウィジェットアイテムの並び替えができます。移動させるウィジェットアイテムをドラッグし、好きな位置へドロップします。

壁紙設定ウィジェット



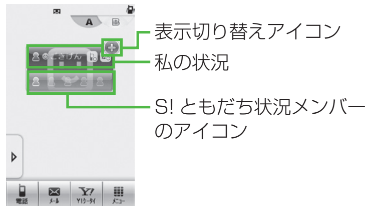
1. ウィジェットバーのタブをタップ
2. ウィジェットバーから「壁紙設定」のウィジェットアイテムをドラッグし、待受画面にドロップ
3. 「フォルダ」



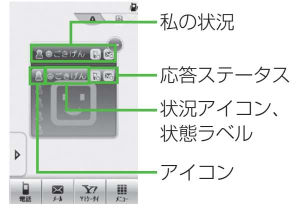
4. 「固定データ」／「ピクチャー」を選択
5. ◀／▶をタップしてファイルを選択
6. 「登録」

S! ともだち状況ウィジェット

S! ともだち状況を待受画面で確認・操作できます。「私」を含め、メンバーの状態を最大 6 人まで表示できます。



アイコン表示



メンバーリスト表示

1. ウィジェットバーのタブをタップ
2. ウィジェットバーから「S! ともだち状況」のウィジェットアイテムをドラッグし、待受画面にドロップ
   - 待受画面に S! ともだち状況ウィジェットがアイコン表示されます。
3. S! ともだち状況表示切り替えアイコンをタップ
   - S! ともだち状況のメンバーリストが表示されます。

ウィジェットアイコンに私の状況を表示する

1 をタップ

2 ≪私の状況表示≫→「はい」

- 非表示にする場合は≪私の状況非表示≫→「はい」を選択します。

ウィジェットアイコンに表示するメンバーを登録する

1 をタップ

2 ≪追加≫→メンバーを登録する欄をタップ

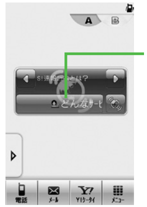
3 メンバーの登録操作

■ 電話帳から登録するとき
「電話帳」→電話帳を検索し、選択（➲P.2-21）→電話番号を選択

■ S! ともだち状況メンバーリストから登録するとき
「メンバーリストから」→ S! ともだち状況メンバーを選択

S! 速報ニュースウィジェット

S! 速報ニュースのウィジェットアイコンは、お買い上げ時にあらかじめ待受画面に表示されています。



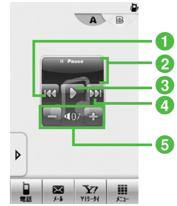
1 ニューステロップをタップ

- 内容一覧画面が表示されます。

2 情報の確認操作（➲P.9-5 更新情報を確認する ❸）

- 「S! 速報ニュース」のウィジェットアイコンをウィジェットバーに移動している場合は、待受画面にドロップしてから操作します。

ミニプレイヤーウィジェット



❶ 頭出し／前の曲
曲の再生後 3 秒以内にタップすると前の曲に、3 秒過ぎてタップすると再生中の曲の頭出しとなります。

❷ タイトル（タイトル情報がない場合はファイル名）表示、アーティスト名表示、メディアプレイヤーを起動

❸ 再生／一時停止

❹ 次の曲

❺ 再生音量表示

1 ウィジェットバーのタブをタップ

2 ウィジェットバーから「ミニプレイヤー」のウィジェットアイテムをドラッグし、待受画面にドロップ

3 曲の再生操作

- ▲／▼を押すと音量を調節できます。
- 曲を再生中に、待受画面で ⊂⊃ →「はい」をタップすると曲を停止します。

•「ミニプレイヤー」のウィジェットアイコンで再生すると、「全曲一覧」の最初に表示されている曲、または前回再生した曲の途中から再生されます。

2ヶ国時計ウィジェット



- 表示する地域を変更するには、時計をタップ→登録したい都市をタップ→「第1時計に設定」／「第2時計に設定」→≪ OK ≫をタップします。

S! 情報チャンネルウィジェット



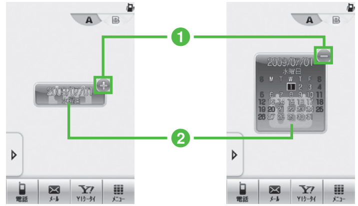
- 📡をタップすると S! 情報チャンネル／お天気のメニューを表示します。
- S! 情報チャンネルの登録については「サービス登録を行う」(➔P.9-6)を参照してください。

お天気ウィジェット



- お天気アイコン表示部分をタップすると詳しい天気予報を確認できます。をタップするとS! 情報チャンネル／お天気のメニューを表示します。
- お天気アイコン未登録の場合は、テロップやをタップするとS! 情報チャンネルメニューへ移動します。S! 情報チャンネルの登録が終了すると、お天気アイコンが表示されます。S! 情報チャンネルの登録については「サービス登録を行う」(➔P.9-6) を参照してください。
- お天気アイコンについては「お天気アイコンを利用する」(➔P.9-7)を参照してください。

カレンダーウィジェット



1 日表示　1 ヶ月表示

❶ ／ ：表示切替

タップすると 1 日表示／ 1 ヶ月表示を切り替えます。

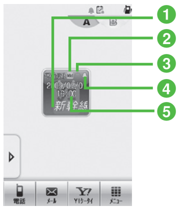
❷ カレンダータップするとカレンダーを起動します。

アラームウィジェット



- アラームの設定時刻が表示されます。複数のアラームを設定している場合は、現在時刻に一番近い設定を表示します。
- ウィジェットアイコンをタップするとアラームを起動します（➔P.10-5)。

予定リストウィジェット



❶ 件名

❷ 重要度

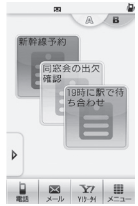
❸ ステータス
- ○：処理済み
- ◌：未処理
- ×：期限切れ

❹ アラーム設定

❺ 期限日時

- 複数の予定リストを設定している場合は、期限日時が現在時刻に一番近い予定リストを表示します。

メモウィジェット



- 背景色が黄／青／赤のメモを表示します。
- ウィジェットアイコンをタップすると内容を編集できます。

トップ３ウィジェット

トップ３のウィジェットアイコンは、お買い上げ時にあらかじめ待受画面に表示されています。



- 通話やメール送信が多い上位３名を表示します。

電話をかける

1 **タブをタップ**

2 **名前をタップ**

- 名前をタップすると、ダイヤルが開始します。

メール作成・送信

1 **タブをタップ**

2 **名前をタップ**

- 名前をタップすると、メールの作成画面が表示されます。

ウィジェットアイコンをショートカットとして利用する

次のウィジェットアイコンは、タップすると各機能が起動します。

- タイマー
- ライト
- お絵かきアニメ
- フォトアルバム
- ミュージックプレイヤー
- ムービープレイヤー
- データフォルダ
- カメラ
- TV
- S! アプリ※
- ちかチャット
- ブックサーフィン
- バイオリズム
- ナンバープレイスワールド
- タッチゴルフ パンヤ
- ヒドゥンキャッチ 4
- サイコロゲーム
- ランダムボール
- S! メール
- メモ帳
- ボイスレコーダー
- 電卓
- 通貨・単位換算
- ストップウォッチ
- 辞典（英和辞典／和英辞典）
- Bluetooth
- 赤外線
- 電話帳
- ブックマーク（Yahoo! ケータイ／ PC サイトブラウザ）※
- S-1 バトル※
- コンテンツ得パック※
- 選べるかんたん動画※
- 設定
- ウィジェット設定

※アイコンをタップすると、サイトにアクセスし、通信料がかかる場合があります。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.9-29

- S! 速報ニュースの設定を解除したい

設定

- よく使う機能をウィジェットバーに登録する（☞P.14-5）

便利な機能

便利

S! 速報ニュースに関する便利な機能

コンテンツの詳細を確認したい

[詳細]

S! 速報ニュース一覧画面で≪詳細≫→確認したいコンテンツを選択

S! 速報ニュース一覧の内容一覧画面で情報を更新したい **[更新]**

S! 速報ニュース一覧画面でコンテンツを選択→≪更新≫

- 更新中に中止するときは≪キャンセル≫をタップします。

S! 速報ニュース一覧の内容一覧画面から更新情報を確認したい

[サイトに接続]

S! 速報ニュース一覧画面でコンテンツを選択→「サイトに接続」→「はい」

- 接続中に中止するときは≪キャンセル≫をタップします。

S! 速報ニュース一覧を自動更新したい

≪メニュー≫→「エンタテイメント」→「S! 速報ニュース」→≪設定≫→「自動更新設定」

■「速報」を自動更新するとき

「速報」→項目を選択

■「一般」を自動更新するとき

「一般」→「On」／「Off」

- 自動更新に設定した時刻を基準に自動更新が行われます。次回の自動更新の時刻は、S! 速報ニュース一覧画面で≪詳細≫をタップし、確認したいコンテンツを選択すると確認できます。
- 「一般」を「On」に設定すると 1 日に 1 回自動更新されます。
- 「速報」は、夜間から早朝の間は自動更新が行われません。「一般」の場合は、この時間帯にも自動更新が行われます。
- ローミング中は自動更新は行われません。ただし、手動で更新できます（➔P.9-6）。
- 圏外や電波の悪い場所では、自動更新されないことがあります。
- 何らかの事情で自動更新が停止したときは、手動で更新できます（➔P.9-6）。
- USIM カードを交換したときは、「自動更新しない」または「Off」に設定されます。

S! 速報ニュース一覧を全削除したい

≪メニュー≫→「エンタテイメント」→「S! 速報ニュース」→≪設定≫→「S! 速報ニュース一覧消去」→操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫→「はい」

便利

S! 情報チャンネルに関する便利な機能

通知が消えた後で確認したい

≪メニュー≫→「エンタテイメント」→「S! 情報チャンネル／お天気」→「最新情報」

以前受信した情報を確認したい

≪メニュー≫→「エンタテイメント」→「S! 情報チャンネル／お天気」→「バックナンバー」→項目を選択

受信できなかった情報を再度受信したい

≪メニュー≫→「エンタテイメント」→「S! 情報チャンネル／お天気」→「再配信要求」→「はい」

天気予報を表示したい

≪メニュー≫→「エンタテイメント」→「S! 情報チャンネル／お天気」→「お天気アイコン」→「天気予報」

お天気アイコンを手動で更新したい

≪メニュー≫→「エンタテイメント」→「S! 情報チャンネル／お天気」→「お天気アイコン」→「手動更新」→「はい」→画面の指示に従って操作

便利

S! ともだち状況に関する便利な機能

S! ともだち状況の接続を設定したい

私の状況詳細画面を表示→ネットワーク接続状況欄の「オンライン」／「オフライン」→「はい」

- 私の状況の編集や更新をする場合は、「オンライン」に設定します。

私の状況をウィジェットアイコンに表示するかどうかを設定したい 【ウィジェットに表示】

私の状況詳細画面を表示→≪ウィジェットに表示≫／≪ウィジェットに非表示≫→「はい」／「いいえ」

- ウィジェットアイコンに表示する場合は≪ウィジェットに表示≫→「はい」、非表示にする場合は≪ウィジェットに非表示≫→「はい」を選択します。

S! ともだち状況メンバーをウィジェットアイコンに登録したい 【ウィジェットに表示】

≪メニュー≫→「エンタテイメント」→「S! ともだち状況」→登録したい S! ともだち状況メンバーを選択→≪ウィジェットに表示≫→「はい」→ S! ともだち状況メンバーを登録したい場所を選択

- 未登録の場所がないときは、上書きして登録します。

S! ともだち状況通知リストを確認したい 【通知リスト】

≪メニュー≫→「エンタテイメント」→「S! ともだち状況」→≪通知リスト≫→確認したい通知リストを選択

- S! ともだち状況通知の詳細を確認するときは、各通知をタップします。
- 登録要求通知も選択できます(➲P.9-10)。

S! ともだち状況通知リストを削除したい 【削除】

≪メニュー≫→「エンタテイメント」→「S! ともだち状況」→≪通知リスト≫→≪削除≫→削除したい通知リストをチェック→≪削除≫

S! ともだち状況メンバーに電話／ TV コール／メールを送信したい

≪メニュー≫→「エンタテイメント」→「S! ともだち状況」→ S! ともだち状況メンバーを選択

■ 電話をかけるとき

応答ステータスの電話欄をタップ→「音声発信」／「TV コール発信」

■ メールを送信するとき

応答ステータスのメール欄をタップ→「S! メール」／「SMS」→(➲P.4-4 S! メールを作成･送信する❺、P.4-7 SMS を作成･送信する❺)

- S! ともだち状況メンバーリスト画面で ／ をタップしても、電話／ TV コール／メールを送信できます。

S! ともだち状況メンバーを電話帳に登録したい 【電話帳登録】

≪メニュー≫→「エンタテイメント」→「S! ともだち状況」→ S! ともだち状況メンバーを選択→≪電話帳登録≫→(➲P.2-28 電話番号を入力してから登録したい)

S! ともだち状況メンバーの電話帳を編集したい 【電話帳編集】

≪メニュー≫→「エンタテイメント」→「S! ともだち状況」→ S! ともだち状況メンバーを選択→≪電話帳編集≫→電話帳の編集操作（➲P.2-27）

登録要求時の登録の動作を設定したい

≪メニュー≫→「エンタテイメント」→「S! ともだち状況」→≪設定≫→「メンバー登録応答」→項目を選択

- 「常に無視」を選択したときは、登録要求受信時には必ず登録不可通知を返信します。

応答ステータスの組み合わせを設定したい

≪メニュー≫→「エンタテイメント」→「S! ともだち状況」→≪設定≫→「応答状況一括設定」→「ユーザー設定」→応答ステータスを選択→応答ステータスアイコンを選択→≪保存≫

状態アイコンや状態ラベルを変更したい

≪メニュー≫→「エンタテイメント」→「S! ともだち状況」→≪設定≫→「状態設定」→変更したいアイコンを選択→「状況アイコン」→アイコンを選択→「状況名」→文字を入力→「完了」→≪保存≫

- 状態アイコンで選択できるアイコンは、絵文字と同じです。
- 状態ラベルは最大4文字まで入力できます。

リスト更新をしたい

≪メニュー≫→「エンタテイメント」→「S! ともだち状況」→≪設定≫→「リスト更新」

- 基本的にS! ともだち状況の情報は自動で更新されます。

S! ともだち状況グループ名を編集したい 【グループ名編集】

≪メニュー≫→「エンタテイメント」→「S! ともだち状況」→◀／▶でグループ名を変更したいグループに切り替え→≪グループ名編集≫→グループ名を入力

S! ともだち状況メンバーのグループを変更したい

≪メニュー≫→「エンタテイメント」→「S! ともだち状況」→グループを変更したいS! ともだち状況メンバーを選択→グループ欄をタップ→移動先のグループを選択

S! ともだち状況メンバーの登録を解除したい

≪メニュー≫→「エンタテイメント」→「S! ともだち状況」→登録解除したいS! ともだち状況メンバーを選択→≪登録解除≫→「はい」

- 解除してから24時間は、解除した相手をS! ともだち状況メンバーリストに登録できません。
- 相手が24時間以上登録解除通知を受信できなかったときは、相手から登録要求通知が送信されます。

S! ともだち状況メンバーの名前を編集したい

≪メニュー≫→「エンタテイメント」→「S! ともだち状況」→名前を編集したいS! ともだち状況メンバーを選択

■ 電話帳に未登録のメンバーのとき

≪電話帳登録≫→(➲P.2-28 電話番号を入力してから登録したい)

■ 電話帳に登録済みのメンバーのとき

≪電話帳編集≫→電話帳の編集操作(➲P.2-27)

- 電話帳の氏名も変更されます。

私の画像を設定したい 【オーナー情報編集】

私の状況詳細画面を表示→≪オーナー情報編集≫→👤

■ 保存された静止画を設定するとき

「ピクチャー」→ファイルを選択

- メモリカードを取り付けているときは、「ピクチャー」を選択したあとに「ピクチャー」フォルダと「デジタルカメラ」フォルダからファイルを選択できます。

■ 静止画を撮影して設定するとき

「カメラ起動」→静止画を撮影(➲P.7-6 通常撮影する ❷～❸)

■ 設定した画像を取り消すとき

「Off」

- オーナー情報の画像も変更されます。

S! ともだち状況メンバーの画像を設定したい　[電話帳編集]

≪メニュー≫→「エンタテイメント」→「S! ともだち状況」→着信画像を変更したい S! ともだち状況メンバーを選択→≪電話帳編集≫→

■ **保存された静止画を設定するとき**

「ピクチャー」→ファイルを選択

- メモリカードを取り付けているときは、「ピクチャー」を選択したあとに「ピクチャー」フォルダと「デジタルカメラ」フォルダからファイルを選択できます。

■ **静止画を撮影して設定するとき**

「カメラ起動」→静止画を撮影(➲P.7-6 通常撮影する 2 ～ 3)

■ **設定した着信画像を取り消すとき**

「Off」

- 電話帳に未登録のメンバーのときは、≪電話帳登録≫→(➲P.2-28 電話番号を入力してから登録したい)と操作します。電話帳に登録済みのメンバーのときは、≪電話帳編集≫→電話帳の編集操作(➲P.2-27)を行います。
- 電話帳の着信画像も変更されます。

便利

ウィジェットに関する便利な機能

S! ともだち状況メンバーの登録を解除したい

メンバーリスト表示で「解除」→ S! ともだち状況メンバーを選択→「はい」

S! ともだち状況メンバーのアイコンを変更したい

メンバーリスト表示で「画像変更」→ S! ともだち状況メンバーを選択→アイコンを選択

S! ともだち状況メンバーに電話／メールを送信したい

■ **音声電話をかけるとき**

メンバーリスト表示で→「音声通話」

■ **TV コールをかけるとき**

メンバーリスト表示で→「TV コール」

■ **メールを送信するとき**

メンバーリスト表示で→「S! メール」／「SMS」→(➲P.4-4 S! メールを作成･送信する 5、P.4-7 SMS を作成･送信する 5)

S! 速報ニュースを登録したい

→(➲P.9-6 S! 速報ニュース一覧に登録する 2)

S! 速報ニュースの設定を解除したい　[削除]

→≪削除≫→削除したい項目をチェック→≪削除≫→「はい」

- 「全チェック」をタップした場合は、操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫→「はい」をタップします。

S! 速報ニュース一覧を自動更新したい

→≪設定≫→「自動更新設定」→(➲P.9-26)

S! 速報ニュースの表示を変更したい

→≪設定≫→「ウィジェット表示」→「ニュース表示」の「On」／「Off」

S! 速報ニュースの表示速度を変更したい

→≪設定≫→「ウィジェット表示」→「表示速度」→項目を選択

S! 速報ニュースリストに表示するコンテンツを未読のみ／未読と既読にしたい

→≪設定≫→「ウィジェット表示」→「未読／既読設定」→項目を選択

メモ

ツール

10

多種・多彩なツールたち

本機では、カレンダーやバーコードリーダーなど様々なツールが用意されています。
この章では、本機に用意されているツールについて説明します。

カレンダー



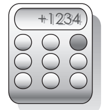
カレンダーを表示したり、スケジュールを登録することができます(➲P.10-3)。

アラーム



アラーム機能を設定できます(➲P.10-5)。

電卓



電卓機能を使用できます(➲P.10-6)。

通貨・単位換算



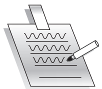
金額を各国の通貨に換算したり、長さや重さなどを他の単位に換算できます(➲P.10-7)。

世界時計



世界各国の都市の現在時刻を見ることができます(➲P.10-8)。

メモ帳



メモを登録／確認できます(➲P.10-8)。

予定リスト



予定リストを登録／確認できます(➲P.10-9)。

ボイスレコーダー



音声を録音／再生できます(➲P.10-10)。

ストップウォッチ



ストップウォッチ機能を使用できます(➲P.10-11)。

バーコードリーダー



バーコード、QRコードの読み取りや、QRコードの作成ができます(➲P.10-12)。

ドキュメントビューア



ドキュメントファイルを閲覧できます(➲P.10-14)。

辞典



日本語の英語訳や英単語の日本語訳を調べられます(➲P.10-15)。

タイマー



指定した時間を経過したときに、お知らせします(➲P.10-11)。

見せかけ着信



緊急時などに、電話がかかってきたふりをすることができます(➲P.10-16)。

カレンダー

カレンダーを表示したり、カレンダーにスケジュールを登録することができます。
3 種類の方法でカレンダーを表示できます。
スケジュールには、件名、開始日などを登録できます。
予定リストと合わせて最大 500 件登録できます。

カレンダーの見かた

3 通りの表示モードがあります。

- ≪表示切替≫をタップすると表示モードが切り替わります。
- スケジュールが登録されている日付を選択すると、スケジュールが表示されます。

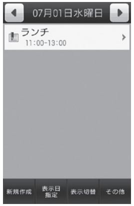


1ヶ月表示画面



1週間表示画面

青枠の日付：反転表示位置
青色の背景の日付：今日
青文字の日付：土曜日
赤文字の日付：日曜日、祝日
（青色）：スケジュール登録あり



1日表示画面

- 各画面で前後の月／週／日に切り替えるには、◀／▶をタップまたは年月日欄をスクロールします。
- スケジュールやアラームを登録している日などを表示すると、スケジュールの件名やアイコンなどが表示されます。

：スケジュール（カテゴリなし）
：スケジュール（約束）
：スケジュール（会議）
：スケジュール（仕事）
：スケジュール（個人予定）
：スケジュール（祝日）
：スケジュール（記念日）
：スケジュール（誕生日）
：スケジュール（電話）
：スケジュール（デート）
：スケジュール（旅行）
：スケジュール（買い物）
：スケジュール（その他）
：アラームの設定あり
：繰り返しの設定あり

カレンダーを表示する

1 ≪メニュー≫→「カレンダー」

スケジュールを登録する

予定リストと合わせて最大500件登録できます。
ここでは例として、件名、開始日、開始時間を登録します。

- 他の項目については、「スケジュールの内容を登録したい」(➔P.10-17)を参照してください。

1 ≪メニュー≫→「カレンダー」

2 ≪新規作成≫

3 件名を入力

4 「開始日」→開始日を入力→「開始時間」→開始時間を入力

5 ≪保存≫

- 操作 2 の前に、カレンダー画面で目的の日付を選択しておくと、開始日欄や終了日欄にその日付が表示されます。

スケジュールを確認する

1 ≪メニュー≫→「カレンダー」

2 確認したい日をタップ

3 確認したいスケジュールをタップ

- カレンダーの登録状況を確認するには、カレンダー画面またはスケジュールの一覧画面で、≪その他≫→「メモリ容量確認」を選択すると、カレンダーと予定リストの登録件数を確認できます。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.10-17

- スケジュールの内容を登録したい
- スケジュールを編集したい
- 日付を指定して表示を切り替えたい
- 表示モードを切り替えたい
- カテゴリごとにスケジュールを確認したい
- スケジュールを送信したい
- スケジュールを削除したい
- 追加した祝日を削除したい
- シークレット設定したスケジュールを確認したい
- アラーム通知時に停止操作をしなかったスケジュールを確認したい
- カレンダーの登録状況を確認したい
- スケジュールをvファイルに変換して保存したい
- スケジュールをBluetooth® 対応のプリンタで印刷したい

アラーム

アラームを５件登録できます。時刻などを登録しておけば、「On」または「Off」に切り替えるだけで設定や解除ができます。１回限りの起動だけでなく、特定の曜日や毎日の起動を登録することもできます。

アラームを設定／リセットする

ここでは例として、アラーム時刻のみ設定します。

- 他の項目については、「アラームの内容を登録したい」(➲P.10-20)を参照してください。

設定する

1 **≪メニュー≫→「ツール」→「アラーム」**

2 **設定するアラームの時刻欄をタップ→アラーム時刻を入力**

3 **≪保存≫**

- アラームの設定／編集をして≪保存≫をタップすると、そのアラームは自動的に「On」に設定されます。

- アラームの設定時刻になると、アラーム音と表示でお知らせします。バイブレータを「Off」以外に設定しているときはバイブレータでもお知らせします。スヌーズを「Off」に設定している場合は、「OK」をタップするとアラーム音とバイブレータが止まります。
- アラーム設定時刻に通話中または接続中(「呼び出し中･･･」と表示)、発信中(「ダイヤル中…」と表示)だったときは、短い通知音と表示でお知らせします。ただし、「効果音」の「通話中イベント通知」がチェックされていない場合は、通話中や接続中も表示のみでお知らせします。スヌーズを「Off」に設定している場合は、「OK」をタップすると表示が消えます。
- スヌーズを「Off」以外に設定しているときは、スヌーズを解除するまでアラーム通知を設定した時間毎に設定した回数繰り返します。アラーム通知時に「スヌーズ」をタップすると、設定した時間後に再度アラーム通知されます。「終了」→「終了」をタップすると、アラームが終了して表示が消えます。
- アラームを設定すると、ディスプレイに🔔が表示されます。
- 複数のアラームに同じ起動時刻が登録されている場合は、最初に設定した内容が優先されます。ただし、スケジュールや予定リストのアラームと「ツール」のアラームが同じ起動時刻に設定されているとき、設定した順番にかかわらず「ツール」のアラームが優先されます。
- マナーモード設定時は、アラーム音とバイブレータは「マナーモード設定」(➲P.10-20)の設定に従います。
- 動画撮影中または音声録音中だったときは、撮影または録音の終了と同時に、アラーム音と表示でお知らせします。

リセットする

1 **≪メニュー≫→「ツール」→「アラーム」→≪リセット≫→リセットするアラームをチェック→≪リセット≫→「はい」**

アラームの内容を編集する

1 ≪メニュー≫→「ツール」→「アラーム」→アラーム時刻欄をタップ→設定時刻を入力→≪保存≫

■ アラーム名を編集するとき

アラーム名欄をタップ→アラーム名を入力→≪保存≫

■ 繰り返しを設定するとき

「繰り返し」でアラームを通知する曜日をタップ→≪保存≫

- すべての曜日を通知しない設定にしているときは、1 回のみ通知されます。
- すべての曜日を通知する設定にしているときは、毎日通知されます。

■ アラーム音やムービーを設定するとき

「アラーム音／ムービー」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→≪保存≫

- メモリカードに保存されているファイルをアラーム音に設定すると、ファイルを本機にコピーしてから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。著作権保護ファイルの場合は、移動してから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると設定が完了します。
- ▶をタップするとファイルを再生します。

電卓

15 桁までの四則演算ができます。

1 ≪メニュー≫→「ツール」→「電卓」

2 数字と記号を入力して計算

- カーソルを移動するには、カーソルを移動させたい位置をタップします。
- 数式を 1 文字消すには、消す文字の後ろにカーソルを移動して←をタップします。
- 数式と計算結果をまとめて消すには、C をタップします。
- fx をタップすると、円周率や三角関数、ルートなどを使った複雑な数式も入力できます。数字入力の表示に戻すときは 123 をタップします。

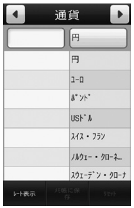
通貨・単位換算

金額を各国の通貨に換算できます。長さや重さなどを他の単位に換算することもできます。

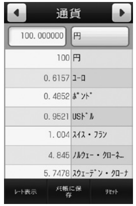
通貨換算する

1 ≪メニュー≫→「ツール」→「通貨･単位換算」→「通貨」

2 換算元の通貨欄をタップ→通貨を選択



3 金額欄をタップ→金額を入力



4 表示された金額を確認

- 換算をリセットするときは、≪リセット≫をタップします。

他の単位に換算する

1 ≪メニュー≫→「ツール」→「通貨･単位換算」→「長さ」／「重さ」／「体積」／「面積」／「温度」

2 換算元の単位欄をタップ→単位を選択

3 換算元の単位の数値欄をタップ→数値を入力

4 表示された数値を確認

- 換算をリセットするときは、≪リセット≫をタップします。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.10-21

- 為替レートを確認したい
- 通貨単位を追加したい
- 追加した通貨単位を削除したい

世界時計

世界各国の都市の現在時刻を確認できます。

世界時計を見る

1 ≪メニュー≫→「ツール」→「世界時計」

地域を登録する

よく確認する地域を登録しておくと、世界時計を呼び出すだけで簡単に表示できます。
地域は最大 20 件登録できます。

1 ≪メニュー≫→「ツール」→「世界時計」

2 ≪新規作成≫→地図をスクロールし、登録したい都市をタップ

- サマータイムを設定するときは、／をタップします。

3 ≪新規作成≫

使いこなしチェック!

便利 ☞P.10-21

- 世界時計の登録を削除したい

メモ帳

最大 100 件のメモを登録できます。メモ帳は通話中にも登録できます(➔P.3-27、P.3-30)。

メモを登録する

1 ≪メニュー≫→「ツール」→「メモ帳」

2 ≪新規作成≫→内容を入力

3 カテゴリを選択

4 ≪保存≫

メモを確認する

1 ≪メニュー≫→「ツール」→「メモ帳」→確認したいメモ帳を選択

使いこなしチェック!

便利 ☞P.10-22

- メモを送信したい
- メモを削除したい
- メモの登録状況を確認したい

予定リスト

予定リストをスケジュールと合わせて最大 500 件登録して、リストで管理できます。

予定リストを登録する

ここでは例として、件名、期限日、開始時間を登録します。

- 他の項目については、「予定リストの内容を登録したい」(➔P.10-23)を参照してください。

1. ≪メニュー≫→「ツール」→「予定リスト」
2. ≪新規作成≫
3. 件名を入力
4. 「期限日」→年月日を入力→「期限時刻」→時刻を入力→≪ OK ≫
5. ≪保存≫

予定リストを確認する

1. ≪メニュー≫→「ツール」→「予定リスト」

- 予定リスト一覧画面でタブをタップすると、（全予定リスト）、（処理済）、（未処理）、（期限切れ）を切り替えることができます。

予定リストに処理済みのマークを付ける

1. ≪メニュー≫→「ツール」→「予定リスト」
2. 処理済みにしたい予定リストの



- をタップするたびに、（処理済）／（未処理）を切り替えることができます。期限が過ぎている場合は（処理済）／（期限切れ）を切り替えることができます。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.10-23

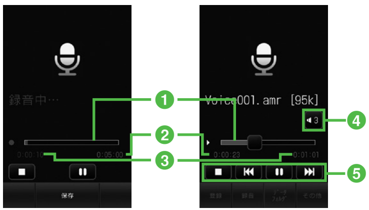
- 予定リストの内容を登録したい
- 予定リストをｖファイルに変換して送信したい
- 予定リストを削除したい
- 予定リストを検索したい
- シークレット設定した予定リストを確認したい
- アラーム通知時に停止操作をしなかった予定リストを確認したい
- 予定リストを Bluetooth® 対応のプリンタで印刷したい
- 予定リストの登録状況を確認したい
- 予定リストを編集したい
- 予定リストをｖファイルに変換して保存したい

ボイスレコーダー

音声を最長60分間録音できます。ボイスレコーダーは、ツールメニューのほか、通話中やデータフォルダ、メール作成画面のメニューからも起動できます。

ボイスレコーダーの表示画面の見かた

ソフトキーの表示や、マルチファンクションボタンのガイド表示に従って操作します。



録音中の画面　再生中の画面

❶ ステータスバー

❷ 録音可能時間（録音中）／再生時間（再生中）

❸ 経過時間

❹ 音量調節

❺ 再生操作部

音声を録音する

録音した音声は、データフォルダの「着うた・メロディ」フォルダに保存されます。

1 ≪メニュー≫→「ツール」→「ボイスレコーダー」

2 ●をタップ

3 ■または≪保存≫をタップ

- 録音が終了し、音声データは自動的にデータフォルダの「着うた・メロディ」フォルダに保存されます。
- 録音時間が経過した場合は、自動的に録音が終了します。
- ⏸をタップすると、一時停止できます。

> - 録音後、すぐに録音内容を確認したい場合は▶をタップすると確認できます。⏸をタップすると、一時停止できます。
> - 録音後、すぐに次の録音をしたい場合は≪録音≫をタップします。

音声を再生する

データフォルダに保存されている音声ファイルを再生します。

1 ≪メニュー≫→「ツール」→「ボイスレコーダー」

2 ≪データフォルダ≫

3 ファイルを選択

> - 🔈3をタップすると、再生音量の調節ができます。
> - ⏮／⏭をタップまたはステータスバーをスクロールして、巻き戻し／早送りができます。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.10-24

- 録音した音声ファイルを着信音などに設定したい
- 録音した音声ファイルの保存場所を移動したい
- 録音した音声ファイルをコピーしたい
- 録音した音声ファイルを送信したい
- 録音した音声ファイルを削除したい
- 録音した音声ファイル名を編集したい
- 録音した音声ファイルを保護して変更や削除などを制限したい
- 録音した音声ファイルの詳細情報を確認したい

ストップウォッチ

本機をストップウォッチとして使えます。最大 10 回のラップタイムと合計タイムも計れます。

1. ≪メニュー≫→「ツール」→「ストップウォッチ」
2. 「スタート」
3. 「停止」

- ラップタイムを計るときは、計測中に「ラップタイム」をタップします。
- 停止後、計測を再開するときは「リスタート」をタップします。
- 「リセット」をタップするとすべての計測タイムを削除します。

タイマー

最大 60 分の時間を計れます。

1. ≪メニュー≫→「ツール」→「タイマー」
2. ≪編集≫→計る時間を入力→≪ OK ≫
3. 「スタート」

- 停止後、計測を再開するときは「リスタート」をタップします。
- 停止後、計測時間を元に戻したい場合は「リセット」をタップします。

バーコードリーダー

印刷されたバーコードやQRコードをカメラで撮影して読み取ったり、インターネットなどで入手したバーコードの画像ファイルを直接読み取れます。

バーコード／QRコードを読み取る

バーコード（JANコード）またはQRコードを自動的に判別し、読み取ることができます。また、読み取った結果を利用して電話をかけるなどの操作ができます。

QRコード

1 ≪メニュー≫→「ツール」→「バーコードリーダー」→「バーコード 読み取り」

2 読み取るバーコードを画面中央に表示→「認識」または ▭◘

- 自動的にフォーカスが調整され、読み取りを行います。フォーカスを再度調整するときは、読み取り時に ○(CLEAR)／≪キャンセル≫をタップしてから「認識」をタップします。

- ≪メニュー≫→「カメラ」→「バーコードリーダー」をタップしても起動できます。
- バーコードによっては、読み取れないことがあります。
- バーコードが汚れていたり、かすれていたり、薄いときなどは読み取れないことがあります。
- 室内などでバーコードを読み取る場合に、体の一部や本体の影がバーコードにかかっていると読み取れないことがあります。
- 画面内に複数のバーコードを表示すると、読み取れないことがあります。
- JANコードとは幅の異なるバーとスペースを組み合わせた一次元コードの種類です。JANコード以外の一次元コード（ITFコード、Code39、Codabar/NW-7など）は読み取ることができません。
- QRコードとは縦横に情報を持った二次元コードの種類です。
- 被写体とは約10cm離してください。読み取りにくいときは、本体をゆっくりと動かして被写体との距離を調整し、もう一度読み取りを行います。
- 明るさを調整するには≪明るさ調整≫をタップします。
- 読み取り結果を保存するには、≪保存≫をタップします。バーコードリーダー起動中に保存した読み取り結果を確認するときは、≪読み取りデータ≫をタップします。
- 複数のバーコードを続けて読み取るには、バーコードリーダーを起動後に≪連続≫をタップしてバーコードを読み取ります。読み取り終了後「はい」を選択し、読み取り操作を繰り返します。
- 分割されているバーコードはすべて読み込まないと内容を表示したり、保存したりできません。
- 読み取り結果に電話番号やメールアドレス、電話帳用の項目などが含まれるときは、それらの情報を利用できます（➔P.10-26）。情報を利用できるものにはテキストに水色の背景が付きます（ただし、文字列の中に規定以外の文字があったときは、その文字以降はテキストに水色の背景は付きません）。
- QRコードの情報で読み取れるのは、テキストデータのみです。画像や音楽ファイルのQRコードは、ファイルとして読み取ることができません。

バーコードファイルを読み取る

データフォルダに保存されたバーコードファイルを直接読み取ります。

1 ≪メニュー≫→「ツール」→「バーコードリーダー」→「データフォルダ」

- メモリカードを取り付けているときは、「ピクチャー」フォルダと「デジタルカメラ」フォルダからファイルを選択できます。

2 ファイルを選択

- 分割されているバーコードは、分割されたうちの 1 つを読み取ると、残りのバーコードを自動的に認識して読み取ります。分割されたバーコードのファイル名や保存場所が変更されているときは、自動で認識できなかったファイルを選択すると読み取ることができます。
- サイズを変更したバーコードは、読み取れないことがあります。
- バーコードの種類によっては、読み取れない旨のメッセージが表示され、確認できないことがあります。

QR コードを作成する

電話帳や入力したテキストを利用して、QR コードを作成できます。

- 1 つの QR コードに登録できる文字数の目安は、半角文字を入力したときは 211 文字、全角文字だけを入力したときは 105 文字です。
- 情報量が多いときは、自動的に分割 QR コードが表示されます（16 分割まで）。
- 作成した QR コードは、データフォルダの「ピクチャー」フォルダに保存されます。保存後は、データフォルダの操作で確認できます（➲P.10-13）。

登録済みの電話帳を利用したりテキストを入力して、QR コードを作成します。

1 ≪メニュー≫→「ツール」→「バーコードリーダー」→「QR コード作成」

2 QR コードの作成

■ 電話帳を利用する場合

「電話帳」→電話帳を検索し、選択（➲P.2-21）→電話番号を選択

■ テキストを入力する場合

「テキスト入力」→テキストを入力

3 ≪保存≫

- 電話帳を利用する場合、QR コードには姓、ヨミガナ、電話番号、E メールアドレス、住所、メモが含まれます。その他の項目は含まれません。
- QR コード作成後、≪送信≫をタップすると、作成した QR コードを添付した S! メールを作成できます。

読み取ったバーコードを確認する

保存した読み取り結果を確認します。

1 ≪メニュー≫→「ツール」→「バーコードリーダー」→「読み取りデータ確認」

2 読み取り結果を選択

- 表示サイズが大きすぎると表示されません。また、ファイルによっては表示できないことがあります。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.10-26

● 作成した QR コードの保存先を指定したい

ドキュメントビューア

ドキュメントビューアでドキュメントファイルを確認する

ドキュメントファイルは、縦表示または横表示で確認できます。本機を縦／横にすると、画面も自動的に縦表示／横表示に切り替わります。

- 本書では、縦表示で説明を記載しています。



縦表示



横表示

1 ≪メニュー≫→「ツール」→「ドキュメントビューア」

- メモリカード内のドキュメントファイルを確認する場合は、をタップします。

2 ファイルを選択

3 ファイルを確認

- ／をタップするとページをめくることができます。
- 画面をスワイプするとスクロールできます（上下左右）。

- データフォルダ内のドキュメントファイル（PDF、XLS、DOC、PPT、TXT）を確認できます。データフォルダの一覧画面でこれらのファイルを選択すると、自動的にドキュメントビューアが起動します。
- 約 10M バイトまでのファイルを閲覧することができます。ファイルの内容によってはサイズが 10M バイト内であっても表示できないことがあります。

注意

- ページ数の多いドキュメントや複雑なデザインを含むドキュメントなどでは、ファイルをすべて表示できない場合があります。
- 日本語や英語以外の言語がファイルに含まれている場合は、正しく表示できないことがあります。

ファイルを拡大／縮小する

1 ≪メニュー≫→「ツール」→「ドキュメントビューア」→ファイルを選択

2 →／をタップして倍率を調節



- ／を押しても倍率を調節できます。

- をタップすると、画面の高さに合わせてファイルを表示します。をタップすると、画面の幅に合わせてファイルを表示します。

使いこなしチェック!

便利☞P.10-27

- ファイルを送信したい
- ページを移動したい
- ページ内の文字列を検索したい
- 画面をキャプチャしたい
- ファイル名を編集したい
- ファイルを保護して変更や削除などを制限したい

和英辞典／英和辞典

日本語の単語の英語訳や、英単語の日本語訳を調べることができます。

1 ≪メニュー≫→「ツール」→「辞典」

2 プルダウンメニューから「英和辞典」／「和英辞典」

3 単語欄をタップ→調べる単語を入力

4 →目的の単語を選択

見せかけ着信

緊急時などに、電話がかかってきたふりをすることができます。

見せかけ着信の内容を設定する

見せかけ着信タイマー、発信者の名前、番号を設定することができます。

見せかけ着信タイマーを設定する

1. ≪メニュー≫→「ツール」→「見せかけ着信」→「着信タイミング」
2. 設定したい時間を選択

発信者を設定する

1. ≪メニュー≫→「ツール」→「見せかけ着信」→「着信相手」
2. 名前欄をタップ→発信者名を入力
3. 電話番号欄をタップ→発信者番号を入力

見せかけ着信を利用する

1. 待受画面で（2 秒以上）
   - 見せかけ着信実行の確認メッセージが表示されます。
2. 見せかけ着信着信中に
3. 見せかけ着信終了後に

- 見せかけ着信の設定で着信相手の名前および電話番号が設定されていない場合、見せかけ着信着信時の発信者情報には「非通知設定」が表示されます。
- 見せかけ着信着信時には、画面上のメニューボタンは機能しません。
- 緊急時の対処のため、見せかけ着信の着信音は必ずスピーカーから鳴ります。
- 見せかけ着信実行後、着信中に、実際に電話がかかってきた場合、見せかけ着信は終了され、実際の着信が優先されます。
- 見せかけ着信着信中に実際に電話がかかってきた場合、通常の割込電話と同様に処理されます。

便利な機能

便利

カレンダーに関する便利な機能

スケジュールの内容を登録したい　[新規作成]

≪メニュー≫→「カレンダー」→≪新規作成≫→件名を入力→「開始日」→開始日を入力→「開始時間」→開始時間を入力→≪ OK ≫

■ 終了日と終了時間を設定するとき

「終了日時」→「終了日」→終了日を入力→「終了時間」→終了時間を入力→≪ OK ≫→≪保存≫

■ スケジュールを終日に設定するとき

「開始日時」／「終了日時」→「終日」をチェック→≪ OK ≫→≪保存≫

■ カテゴリを設定するとき

「カテゴリ」→項目を選択→≪保存≫

■ アラームを設定するとき

「アラーム」→「設定時刻」→項目を選択→「鳴動時間」→項目を選択→「アラーム音／ムービー」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→音量を調節→「バイブ」→項目を選択→≪ OK ≫→≪保存≫

- 設定時刻／鳴動時間で「その他」を選択したときは、設定時刻／鳴動時間を入力します。
- アラーム音／ムービーのファイル選択時に▶をタップするとファイルを再生します。
- バイブパターン選択時に▶をタップすると振動パターンを確認できます。
- メモリカードに保存されているファイルをアラーム音に設定すると、ファイルを本機にコピーしてから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。著作権保護ファイルの場合は、移動してから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると設定が完了します。

■ 設定したスケジュールを繰り返すとき

「繰り返し」→項目を選択→繰り返す回数を入力→≪保存≫

- 「1 回のみ」を選択した場合は、繰り返す回数を入力する操作はありません。

■ 場所を設定するとき

「場所」→場所を入力→≪保存≫

■ スケジュールを自動で削除するとき

「有効期限」→項目を選択→≪保存≫

- 有効期限を過ぎると、カレンダーから自動的に削除されます。たとえば表示期限が「1 年後」の場合、繰り返しを設定していないときは、終了日から 1 年経過すると削除されます。繰り返しを設定しているときは、繰り返しの最終日から 1 年で削除されます。自動的に削除されないようにするには、「設定しない」を選択します。

■ 詳細を設定するとき

「詳細」→内容を入力→≪保存≫

■ シークレット設定をするとき

「シークレット設定」の「On」／「Off」→≪保存≫

スケジュールを編集したい　[編集]

≪メニュー≫→「カレンダー」→日付をタップ→編集したいスケジュールをタップ→≪編集≫→スケジュールの登録操作(➔P.10-17)→≪保存≫

日付を指定して表示を切り替えたい　[表示日指定]

≪メニュー≫→「カレンダー」→≪表示日指定≫

■ 今日の日付を表示するとき

「今日」

■ 確認したい日付に表示を切り替えたいとき

「日付指定」→年月日を入力

表示モードを切り替えたい　[表示切替]

≪メニュー≫→「カレンダー」→≪表示切替≫

カテゴリごとにスケジュールを確認したい　[カテゴリ別表示]

≪メニュー≫→「カレンダー」→≪その他≫→「カテゴリ別表示」→項目を選択

スケジュールを送信したい　【送信】

≪メニュー≫→「カレンダー」→≪その他≫→「送信」

■ メールで送信するとき

「メール添付」→送信したいスケジュールを選択→(➲P.4-4 S! メールを作成･送信する ❷)

■ Bluetooth® で送信するとき

「Bluetooth」→送信したいスケジュールをチェック→≪送信≫→(➲P.13-8 データを1件ずつ送信する ❷)

■ 赤外線で送信するとき

「赤外線通信」→送信したいスケジュールをチェック→≪送信≫（➲P.13-4）

- 送信したいスケジュールの詳細画面で≪送信≫→項目を選択しても送信できます。

スケジュールを削除したい　【削除】

≪メニュー≫→「カレンダー」

■ 1件削除するとき

削除したいスケジュールを選択→≪削除≫→「はい」

■ 選択した日のスケジュールを削除するとき

1ヶ月表示画面／1週間表示画面で削除したい日付をタップ→≪その他≫→「削除」→「1日」→「はい」

- 1日表示画面で表示している日のスケジュールを削除するには、≪その他≫→「削除」→削除したいスケジュールをチェック→≪削除≫→「はい」をタップします。

■ 特定の期間のスケジュールを削除するとき

1ヶ月表示画面／1週間表示画面で≪その他≫→「削除」→「期間指定」→「開始日」→開始年月日を入力→「終了日」→終了年月日を入力→≪削除≫→「はい」

■ 表示中の月／週のスケジュールを削除するとき

1ヶ月表示画面／1週間表示画面で≪その他≫→「削除」→「今月」／「今週」→「はい」

■ 反転表示中の日付より前の全スケジュールを削除するとき

1ヶ月表示画面／1週間表示画面で≪その他≫→「削除」→「選択日より前」→操作用暗証番号を入力→≪OK≫→「はい」

■ すべてのスケジュールを削除するとき

1ヶ月表示画面／1週間表示画面で≪その他≫→「削除」→「全件」→操作用暗証番号を入力→≪OK≫→「はい」

■ カテゴリごとに複数のスケジュールをまとめて削除するとき

1ヶ月表示画面／1週間表示画面で≪その他≫→「カテゴリ別表示」→カテゴリを選択→≪削除≫→削除したいスケジュールをチェック→≪削除≫→「はい」

- 「全チェック」をタップしたときは、操作用暗証番号を入力→≪OK≫→「はい」をタップします。

祝日を追加したい

≪メニュー≫→「カレンダー」→≪その他≫→「設定」→「祝日設定」→≪新規≫→件名を入力→≪保存≫

- 日付を変更したいときは、「日付」をタップします。
- 頻度を変更したいときは、「頻度」をタップします。

祝日の表示を変更したい

≪メニュー≫→「カレンダー」→≪その他≫→「設定」→「祝日設定」→有効にしたい祝日を「On」

追加した祝日を編集したい

≪メニュー≫→「カレンダー」→≪その他≫→「設定」→「祝日設定」→≪編集≫→編集したい祝日設定を選択→項目を編集→≪保存≫

追加した祝日を削除したい　【削除】

≪メニュー≫→「カレンダー」→≪その他≫→「設定」→「祝日設定」→≪削除≫→削除したい項目をチェック→≪削除≫→「はい」

週の始まりを設定したい

≪メニュー≫→「カレンダー」→≪その他≫→「設定」→「週の始まり」→「日曜日」／「月曜日」

カレンダー起動時の表示画面を設定したい

≪メニュー≫→「カレンダー」→≪その他≫→「設定」→「基本表示モード」→項目を選択

リマインダーを設定したい

≪メニュー≫→「カレンダー」→≪その他≫→「設定」→「リマインダー」→「On/Off 設定」の「On」

■ 通知する時間を設定するとき

時間欄をタップ→時間を入力→≪保存≫

■ アラーム音の鳴動時間を設定するとき

「鳴動時間」→項目を選択→≪保存≫

- 「その他」を選択したときは、時間を入力します。

■ アラーム音やムービーを設定するとき

「アラーム音／ムービー」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→≪保存≫

- ファイル選択時に▶をタップするとファイルを再生します。
- メモリカードに保存されているファイルをアラーム音に設定すると、ファイルを本機にコピーしてから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。著作権保護ファイルの場合は、移動してから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると設定が完了します。

■ アラーム音量を調節するとき

音量を調節→≪保存≫

■ バイブレータを設定するとき

「バイブ」→項目を選択→≪保存≫

- ▶をタップすると振動パターンを確認できます。

マナーモード時のアラーム音／バイブレータを設定したい

≪メニュー≫→「カレンダー」→≪その他≫→「設定」→「マナーモード設定」→「アラーム音」／「バイブ」の「On」／「Off」

シークレット設定したスケジュールを確認したい　**[シークレット一時解除]**

≪メニュー≫→「カレンダー」→≪その他≫→「シークレット一時解除」→操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫

アラーム通知時に停止操作をしなかったスケジュールを確認したい **[未確認イベント一覧]**

≪メニュー≫→「カレンダー」→≪その他≫→「未確認イベント一覧」→確認したいスケジュールを選択

カレンダーの登録状況を確認したい **[メモリ容量確認]**

≪メニュー≫→「カレンダー」→≪その他≫→「メモリ容量確認」

スケジュールをｖファイルに変換して保存したい　**[データフォルダに保存]**

1 日表示画面で≪その他≫→「データフォルダに保存」→項目を選択→保存するスケジュールを選択→「はい」

- メモリカードを取り付けているときは、「メモリカード」を選択できます。

スケジュールを Bluetooth® 対応のプリンタで印刷したい **[Bluetooth で印刷]**

1 日表示画面で≪その他≫→「Bluetooth で印刷」→印刷するスケジュールを選択→(➲P.7-15 Bluetooth® 経由でプリントする❹)

ツール

10

便利

アラームに関する便利な機能

アラームの内容を登録したい

■祝日の除外を設定するとき

「祝日除外設定」の「On」／「Off」→≪保存≫

■ アラーム音量を調節するとき

音量を調節→≪保存≫

■ バイブレータを設定するとき

「バイブ」→項目を選択→≪保存≫

- ▶をタップすると振動パターンを確認できます。

■ スヌーズを設定するとき

「スヌーズ」→項目を選択→≪保存≫

- スヌーズを「Off」以外に設定しているときは、スヌーズを解除するまでアラーム通知を設定した時間毎に設定した回数繰り返します。アラーム通知時に「スヌーズ」をタップすると、設定した時間後に再度アラーム通知されます。「終了」→「OK」をタップすると、アラームを終了して表示を消します。
- 「その他」を選択したときは、時間を入力します。

■ スヌーズの繰り返し回数を設定するとき

「スヌーズ繰り返し回数」→項目を選択→≪保存≫

■ アラーム音の鳴動時間を設定するとき

「鳴動時間」→項目を選択→≪保存≫

- 「その他」を選択したときは、時間を入力します。

アラームを設定／解除したい

≪メニュー≫→「ツール」→「アラーム」→切り替えたいアラームの「On」／「Off」

アラームをリセットしたい [リセット]

≪メニュー≫→「ツール」→「アラーム」→≪リセット≫

■ 1 件リセットするとき

リセットするアラームをチェック→≪リセット≫→「はい」

■全件リセットするとき

「全チェック」→《リセット》→「はい」

マナーモード時のアラーム音／バイブレータを設定したい

≪メニュー≫→「ツール」→「アラーム」→≪マナーモード設定≫→「アラーム音」／「バイブ」の「On」／「Off」

便利

電卓に関する便利な機能

電卓の計算内容をメモ帳に登録したい

≪メニュー≫→「ツール」→「電卓」→数字と記号を入力して計算→fx→📋→「はい」→「OK」

- 計算が終了した内容のみ、メモ帳に登録できます。

便利

通貨・単位換算に関する便利な機能

為替レートを確認したい **[レート表示]**

≪メニュー≫→「ツール」→「通貨･単位換算」→「通貨」→通貨欄をタップ→基準にする通貨を選択→≪レート表示≫

為替レートを変更したい

≪メニュー≫→「ツール」→「通貨･単位換算」→「通貨」→≪レート表示≫→レートを変更したい通貨を選択→レートを入力

通貨単位を追加したい **[レート追加]**

≪メニュー≫→「ツール」→「通貨･単位換算」→「通貨」→≪レート表示≫→≪レート追加≫→通貨単位名を入力→レートを入力

追加した通貨単位を削除したい **[削除]**

≪メニュー≫→「ツール」→「通貨・単位換算」→「通貨」→≪レート表示≫→≪削除≫→削除したい為替レートをチェック→≪削除≫→「はい」

- 「全チェック」をタップしたときは、≪削除≫→操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫→「はい」をタップします。

単位変換した内容をメモ帳に登録したい

≪メニュー≫→「ツール」→「通貨・単位変換」→通貨換算・単位変換をする→≪メモ帳に保存≫→「はい」

便利

世界時計に関する便利な機能

世界時計の登録を削除したい **[削除]**

≪メニュー≫→「ツール」→「世界時計」→≪削除≫→削除したい項目をチェック→≪削除≫→「はい」

世界時計を 2 ヶ国時計に設定したい

≪メニュー≫→「ツール」→「世界時計」→≪ 2 ヶ国時計に設定≫→設定したい世界時計を選択→「第 1 時計に設定」／「第 2 時計に設定」→≪ OK ≫

便利

メモ帳に関する便利な機能

メモを送信したい　　[送信]

≪メニュー≫→「ツール」→「メモ帳」→≪送信≫

■ **メモの内容をメールの本文に挿入するとき**

「メール本文に挿入」→メール本文に挿入したいメモを選択→(➲P.4-4 S! メールを作成・送信する ❷)

■ **メールで送信するとき**

「メール添付」→送信したいメモを選択→(➲P.4-4 S! メールを作成・送信する ❷)

■ **Bluetooth® で送信するとき**

「Bluetooth」→送信したいメモを選択(➲P.13-8 データを1件ずつ送信する ❷)

■ **赤外線で送信するとき**

「赤外線通信」→送信したいメモを選択→(➲P.13-4 データを1件ずつ送信する ❶)

詳細画面で≪送信≫をタップしても送信できます。

メモを削除したい　　[削除]

≪メニュー≫→「ツール」→「メモ帳」→≪削除≫→削除したいメモをチェック→≪削除≫→「はい」

- 全件削除する場合は、操作用暗証番号を入力します。
- 詳細画面で≪削除≫をタップしても1件削除できます。

メモの登録状況を確認したい　　[メモリ容量確認]

≪メニュー≫→「ツール」→「メモ帳」→≪その他≫→「メモリ容量確認」

メモを検索したい

≪メニュー≫→「ツール」→「メモ帳」→≪その他≫→「検索」→検索する文字を入力

メモをカテゴリ別に表示したい

≪メニュー≫→「ツール」→「メモ帳」→≪その他≫→「カテゴリ別表示」→表示するカテゴリを選択

メモをデータフォルダに保存したい

≪メニュー≫→「ツール」→「メモ帳」→≪その他≫→「データフォルダに保存」→「本体」／「メモリカード」→保存するメモを選択→「はい」

メモの内容を編集したい

≪メニュー≫→「ツール」→「メモ帳」→編集したいメモを選択→メモの本文欄をタップ→メモを編集

メモのカテゴリを変更したい

≪メニュー≫→「ツール」→「メモ帳」→編集したいメモを選択→メモのカテゴリ欄をタップ→カテゴリを選択

便利

予定リストに関する便利な機能

予定リストの内容を登録したい　【新規作成】

≪メニュー≫→「ツール」→「予定リスト」→≪新規作成≫→件名を入力→「期限日」→年月日を入力→「期限時刻」→時刻を入力→≪ OK ≫

■ 重要度を設定するとき

「重要度」→項目を選択→≪保存≫

■ アラームを設定するとき

「アラーム」→「設定時刻」→項目を選択→「鳴動時間」→項目を選択→「鳴動時間」→項目を選択→「アラーム音／ムービー」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→音量を調節→「バイブ」→項目を選択→≪ OK ≫→≪保存≫

- アラーム設定時刻で「その他」を選択したときは、アラーム日時を入力します。
- 鳴動時間設定で「その他」を選択したときは、鳴動時間を入力します。
- アラーム音のファイル選択時に▶をタップするとファイルを再生します。
- バイブパターン選択時に▶をタップすると振動パターンを確認できます。
- メモリカードに保存されているファイルをアラーム音に設定すると、ファイルを本機にコピーしてから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。著作権保護ファイルの場合は、移動してから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると設定が完了します。
- アラームの設定時刻になると、アラーム音と表示でお知らせします。「OK」をタップするとアラーム音が止まり、表示が消えます。アラームを停止しなかったときは、未確認のアラームがある旨をお知らせするメッセージが表示されます。メッセージをタップすると、内容を確認できます。
- アラーム設定時刻に通話中または接続中（「呼び出し中…」と表示）、発信中（「ダイヤル中…」と表示）だったときは、短い着信音と表示でお知らせします。ただし、「効果音」の「通話中イベント通知」がチェックされていない場合は、通話中や接続中も表示のみでお知らせします。表示は、「OK」をタップすると消えます。

■ 予定リストの詳細を設定するとき

「詳細」→内容を入力→≪保存≫

■ シークレット設定をするとき

「シークレット設定」の「On」／「Off」→≪保存≫

予定リストを並べ替えたい

≪メニュー≫→「ツール」→「予定リスト」→プルダウンメニューから「期限順」／「重要度順」

予定リストをｖファイルに変換して送信したい　【送信】

≪メニュー≫→「ツール」→「予定リスト」→≪送信≫

■ メールで送信するとき

「メール添付」→送信したい予定リストを選択→（➲P.4-4 S! メールを作成·送信する ❷）

■ Bluetooth® で送信するとき

「Bluetooth」→送信したい予定リストをチェック→≪送信≫→（➲P.13-8 データを1件ずつ送信する ❷）

■ 赤外線で送信するとき

「赤外線通信」→送信したい予定リストをチェック→≪送信≫（➲P.13-4）

予定リストの詳細画面で≪送信≫→項目を選択しても送信できます。

予定リストを削除したい　【削除】

≪メニュー≫→「ツール」→「予定リスト」

■ タブごとに選択して削除するとき

「全予定リスト」／「処理済」／「未処理」／「期限切れ」タブをタップ→≪削除≫→「タブ内で選択削除」→削除する予定リストをチェック→≪削除≫→「はい」

■ すべての予定リストを削除するとき

≪削除≫→「全予定削除」→操作用暗証番号を入力→「はい」

- 詳細画面で≪削除≫をタップしても1件削除できます。

予定リストを検索したい 【検索】

≪メニュー≫→「ツール」→「予定リスト」→≪その他≫→「検索」→「期限から」／「件名から」→検索する期限／件名を入力

マナーモード時のアラーム音／バイブレータを設定したい

≪メニュー≫→「ツール」→「予定リスト」→≪その他≫→「マナーモード設定」→「アラーム音」／「バイブ」の「On」／「Off」

シークレット設定した予定リストを確認したい 【シークレット一時解除】

≪メニュー≫→「ツール」→「予定リスト」→≪その他≫→「シークレット一時解除」→操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫

アラーム通知時に停止操作をしなかった予定リストを確認したい 【未確認イベント一覧】

≪メニュー≫→「ツール」→「予定リスト」→≪その他≫→「未確認イベント一覧」→確認したい予定リストを選択

- 詳細画面で≪その他≫→「未確認イベント一覧」をタップしても確認できます。

予定リストを Bluetooth® 対応のプリンタで印刷したい 【Bluetooth で印刷】

≪メニュー≫→「ツール」→「予定リスト」→≪その他≫→「Bluetooth で印刷」→印刷したい予定リストを選択→(➲P.7-15 Bluetooth® 経由でプリントする ❹)

- 詳細画面で≪その他≫→「Bluetooth で印刷」をタップしても印刷できます。

予定リストの登録状況を確認したい 【メモリ容量確認】

≪メニュー≫→「ツール」→「予定リスト」→≪その他≫→「メモリ容量確認」

予定リストを編集したい 【編集】

≪メニュー≫→「ツール」→「予定リスト」→編集したい予定リストを選択→≪編集≫→予定リストの編集操作(➲P.10-23)→≪保存≫

予定リストをｖファイルに変換して保存したい 【データフォルダに保存】

≪メール≫→「ツール」→「予定リスト」→予定リストを選択→≪その他≫→「データフォルダに保存」→項目を選択→「はい」

- メモリカードを取り付けているときは、「メモリカード」を選択できます。

便利

ボイスレコーダーに関する便利な機能

録音した音声ファイルを着信音などに設定したい 【登録】

≪メニュー≫→「ツール」→「ボイスレコーダー」→音声を録音→≪登録≫→着信音を選択

- 「個別着信音」を選択した場合は、電話帳を検索し、選択（➲P.2-21）します。

録音した音声ファイルの保存場所を移動したい 【移動】

≪メニュー≫→「ツール」→「ボイスレコーダー」→音声を録音→≪データフォルダ≫→≪移動≫→項目の選択→移動する音声ファイルをチェック→≪移動≫→保存場所を選択

録音した音声ファイルをコピーしたい 【コピー】

≪メニュー≫→「ツール」→「ボイスレコーダー」→音声を録音→≪データフォルダ≫→≪コピー≫→項目を選択→コピーする音声ファイルをチェック→≪コピー≫→保存場所を選択

録音した音声ファイルを送信したい
［送信］

≪メニュー≫→「ツール」→「ボイスレコーダー」→音声を録音→≪その他≫→「送信」

■ **メールで送信するとき**
「メール添付」→（➲P.4-4 S! メールを作成・送信する ❷）

■ **Bluetooth® で送信するとき**
「Bluetooth」→（➲P.13-8 データを１件ずつ送信する ❷）

■ **赤外線で送信するとき**
「赤外線通信」（➲P.13-4）

録音した音声ファイルを削除したい
［削除］

≪メニュー≫→「ツール」→「ボイスレコーダー」→音声を録音→≪その他≫→「削除」→「はい」

録音した音声ファイル名を編集したい
［ファイル名変更］

≪メニュー≫→「ツール」→「ボイスレコーダー」→音声を録音→≪その他≫→「ファイル名変更」→ファイル名を入力

録音した音声ファイルを保護して変更や削除などを制限したい
［保護］／［保護解除］

≪メニュー≫→「ツール」→「ボイスレコーダー」→音声を録音→≪その他≫→「保護」／「保護解除」

録音した音声ファイルの詳細情報を確認したい
［詳細］

≪メニュー≫→「ツール」→「ボイスレコーダー」→音声を録音→≪その他≫→「詳細」

保存時に付けられるファイル名を変更したい

≪メニュー≫→「ツール」→「ボイスレコーダー」→≪録音設定≫→保存ファイル名設定欄をタップ→ファイル名を入力

録音時間を変更したい

≪メニュー≫→「ツール」→「ボイスレコーダー」→≪録音設定≫→「録音時間」→項目を選択

ファイルの保存先を変更したい

≪メニュー≫→「ツール」→「ボイスレコーダー」→≪録音設定≫→「保存先設定」→項目を選択

- メモリカードを取り付けていないときは、自動的に本機に保存されます。

便利

ストップウォッチに関する便利な機能

ストップウォッチの内容をメモ帳に登録したい

≪メニュー≫→「ツール」→「ストップウォッチ」→「スタート」→「停止」→「メモ帳に保存」→「はい」

便利

バーコードリーダーに関する便利な機能

読み取ったデータから操作したい

≪メニュー≫→「ツール」→「バーコードリーダー」→「バーコード 読み取り」→バーコードを読み取り

■ **読み取った電話番号に電話をかけるとき**

「TEL:」の付いている番号または0から始まる10桁以上32桁以下の番号を反転表示→「選択」→「音声通話」／「TV コール」／「発信前に電話番号を編集」／「メッセージ作成」／「電話帳に保存」

- 「発信前に電話番号を編集」を選択した場合は、電話番号を編集し、≪発信≫／≪TV コール≫をタップします。

■ **読み取った電話番号にメールを送信するとき**

「TEL:」の付いている番号または0から始まる10桁以上32桁以下の番号を反転表示→「選択」→「メッセージ作成」→「S! メール」／「SMS」→（➔P.4-4 S! メールを作成･送信する❺、P.4-7 SMS を作成･送信する❺）

■ **読み取ったEメールアドレスにメールを送信するとき**

「@」の含まれるEメールアドレスを反転表示→「選択」→「メッセージ作成」→（➔P.4-4 S! メールを作成･送信する❺）

■ **読み取ったURLにアクセスするとき**

「http://」／「rtsp://」から始まるURLを反転表示→「選択」→「URLに接続」→「はい」

■ **読み取った電話帳を登録するとき**

電話帳データを反転表示→≪保存≫

■ **読み取った電話番号などを新しい電話帳に登録するとき**

電話番号などを反転表示→「選択」→「電話帳に保存」→「新規」→（➔P.2-20 新規に電話帳を登録する❷）

■ **読み取った電話番号などを既存の電話帳に追加登録するとき**

電話番号などを反転表示→「選択」→「電話帳に保存」→「追加」→電話帳を検索し、選択（➔P.2-21）→電話帳の登録操作（➔P.2-20）

■ **読み取ったURLをブックマークに登録するとき**

URLを反転表示→「選択」→「ブックマーク追加」→タイトルを入力

■ **読み取ったEメールアドレスや電話番号などをコピーするとき**

コピーしたいEメールアドレスや電話番号などを反転表示→≪コピー≫→項目を選択

- 「テキストコピー」を選択したときは、コピーする最初の文字をタップして≪始点≫→コピーする文字の末尾をタップして範囲を指定→≪終点≫をタップします。

■ **読み取った電話番号やEメールアドレスなどをすべてメール本文に貼り付けるとき**

≪送信≫→≪OK≫→「S! メール」／「SMS」→（➔P.4-4 S! メールを作成･送信する❷、P.4-7 SMS を作成･送信する❷）

■ **読み取った電話番号やEメールアドレスなどの範囲を指定してメール本文に貼り付けるとき**

≪送信≫→≪カット≫→貼り付ける最初の文字をタップして≪始点≫→貼り付ける文字の末尾をタップして範囲を指定→≪終点≫→≪OK≫→「S! メール」／「SMS」→（➔P.4-4 S! メールを作成･送信する❷、P.4-7 SMS を作成･送信する❷）

■ **読み取った文字をコピーするとき**

≪コピー≫→コピーする最初の文字をタップして≪始点≫→コピーする文字の末尾をタップして範囲を指定→≪終点≫

作成したQRコードの保存先を指定したい 【保存先設定】

≪メニュー≫→「ツール」→「バーコードリーダー」→「QRコード作成」→「電話帳」／「テキスト入力」→QRコードの作成操作（➔P.10-13 QRコードを作成する❷）→≪保存先設定≫→項目を選択→≪保存≫

作成したQRコードをメールに添付して送信したい

≪メニュー≫→「ツール」→「バーコードリーダー」→「QRコード作成」→「電話帳」／「テキスト入力」→QRコードの作成操作(➲P.10-13 QRコードを作成する❷)→≪送信≫→(➲P.4-4 S! メールを作成・送信する❷)

便利

ドキュメントビューアに関する便利な機能

ファイルを削除したい

≪メニュー≫→「ツール」→「ドキュメントビューア」→ファイルを選択→🗑→「はい」

ファイルの詳細情報を確認したい

≪メニュー≫→「ツール」→「ドキュメントビューア」→ファイルを選択→ⓘ

ファイルを送信したい 【送信】

≪メニュー≫→「ツール」→「ドキュメントビューア」→ファイルを選択→≪送信≫

■ メールで送信するとき

「メール添付」→(➲P.4-4 S! メールを作成・送信する❷)

■ Bluetooth® で送信するとき

「Bluetooth」→(➲P.13-8 データを1件ずつ送信する❷)

■ 赤外線で送信するとき

「赤外線通信」(➲P.13-4)

ページを移動したい 【移動】

≪メニュー≫→「ツール」→「ドキュメントビューア」→ファイルを選択→≪移動≫→項目を選択

- 「ページ指定」を選択したときは、移動したいページ数を入力して指定します。
- 表示倍率によっては、←／→でページを移動することもできます。

ページ内の文字列を検索したい 【検索】

≪メニュー≫→「ツール」→「ドキュメントビューア」→ファイルを選択→≪検索≫→検索語を入力

- 検索結果が表示されたあと、同じ検索語で文末に向かって検索するときは≪次へ≫、文頭に向かって検索するときは≪前へ≫をタップします。
- 検索を終了するときは≪検索終了≫をタップします。
- 続けて次の検索をするときは≪新規検索≫をタップします。

画面をキャプチャしたい 【画面撮影】

≪メニュー≫→「ツール」→「ドキュメントビューア」→ファイルを選択→≪その他≫→「画面撮影」

- キャプチャした画像は本機のデータフォルダの「ピクチャー」フォルダにJPEG形式で保存されます。

ファイル名を編集したい 【ファイル名変更】

≪メニュー≫→「ツール」→「ドキュメントビューア」→ファイルを選択→≪その他≫→「ファイル名変更」→ファイル名を入力

ファイルを保護して変更や削除などを制限したい 【保護】／【保護解除】

≪メニュー≫→「ツール」→「ドキュメントビューア」→ファイルを選択→≪その他≫→「保護」／「保護解除」

スクロール範囲を設定したい

≪メニュー≫→「ツール」→「ドキュメントビューア」→ファイルを選択→≪その他≫→「設定」→「スクロール単位」→項目を選択

- ／をタップしたときのスクロール範囲を設定します。

文字情報のファイル（doc や txt など）の表示を画面幅に合わせるかどうか設定したい

≪メニュー≫→「ツール」→「ドキュメントビューア」→ファイルを選択→≪その他≫→「設定」→「画面幅に合わせて表示」の「On」／「Off」

- 「On」に設定すると、画面を上下にスクロールするだけで内容を確認できます。

マップの表示を設定したい

≪メニュー≫→「ツール」→「ドキュメントビューア」→ファイルを選択→≪その他≫→「設定」→「マップ表示」の「On」／「Off」

- マップ上では、表示中のエリアが水色の枠で示されます。

画面撮影時に付けられるファイル名を編集したい

≪メニュー≫→「ツール」→「ドキュメントビューア」→ファイルを選択→≪その他≫→「設定」→画面撮影ファイル名欄を選択→ファイル名を入力

便利

和英辞典／英和辞典に関する便利な機能

辞典で検索した内容をメモ帳に登録したい

≪メニュー≫→「ツール」→「辞典」→プルダウンメニューから「英和辞典」／「和英辞典」→単語欄をタップ→調べる単語を入力→→目的の単語を選択→≪メモ帳に保存≫→「はい」

セキュリティ

11

安全＆安心にお使いいただくために

本機では、安全＆安心にご使用していただくために、様々なセキュリティ機能をご用意しています。
この章では、本機に搭載されているセキュリティ機能について説明します。

本機のロック

次の方法で本機をロックできます。ロックを解除しない限り、本機の操作を禁止／制限します。

- 暗証番号によるロック

設定した暗証番号を使用したロックです。操作用暗証番号、PIN コード、USIM パスワードを使ったものがあります（➲P.11-4）。



- 顔認証機能によるロック

登録した顔画像との照合を行うロックです（➲P.11-6）。

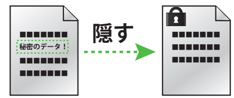




機能別のロック

電話帳やメールなどの機能ごとに操作を禁止／制限します。
各機能を使用する際に、操作用暗証番号の入力が必要になります。
シークレットモードを設定すると、秘密のデータを隠すことができます。





お買い上げ時の状態に戻す

電話帳などの登録情報を消去したり、各機能での設定内容をお買い上げ時の状態に戻すことができます。

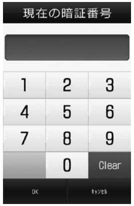
暗証番号の変更

本機では、操作用暗証番号とPINコード／PIN2コードを暗証番号として利用できます。

操作用暗証番号を変更する

お買い上げ時は、「9999」に設定されています。

1. ≪メニュー≫→「設定」→「セキュリティ設定」→「暗証番号変更」



2. 現在の操作用暗証番号を入力→≪OK≫
3. 新しい操作用暗証番号（4～8桁）を入力→≪OK≫
4. もう一度新しい操作用暗証番号を入力→≪OK≫

使いこなしチェック!

設定

● 操作用暗証番号を変更する（☞P.14-27）

PINコード／PIN2コードを変更する

1. ≪メニュー≫→「設定」→「セキュリティ設定」→「PIN変更」／「PIN2変更」
   - PINコード／PIN2コードを設定する場合には、「PIN認証」を「On」にします（➲P.11-4）。
2. 現在のPINコード／PIN2コードを入力→≪OK≫
3. 新しいPINコード／PIN2コード（4～8桁）を入力→≪OK≫
4. もう一度新しいPINコード／PIN2コード（4～8桁）を入力→≪OK≫

本機のロック

本機では、ロックの方法として次の方法を用意しています。

- 電源 On 時ロック
- パネル消灯時自動ロック
- パスワードロック
- PIN コード認証
- USIM 照合
- 顔認証機能

電源 On 時ロックを設定／解除する

「On」に設定すると、電源を入れるごとに操作用暗証番号の入力が必要になります。

1 ≪メニュー≫→「設定」→「セキュリティ設定」

2 「電源 On 時ロック」の「On」／「Off」

3 操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫

- 操作用暗証番号を入力するまで、電話の着信を含むすべての操作が行えません。

パネル消灯時自動ロックを設定／解除する

「On」に設定すると、ディスプレイ消灯時に自動的に誤動作防止を設定します。

1 ≪メニュー≫→「設定」→「タッチパネル設定」

2 「パネル消灯時自動ロック」の「On」／「Off」

パスワードロックを設定／解除する

パスワードロックを設定すると、電源を入れたときやディスプレイ消灯時に、操作用暗証番号の入力が必要になります。操作用暗証番号を入力するまで、電話を受けるなど一部の操作以外行えません。

1 ≪メニュー≫→「設定」→「セキュリティ設定」

2 「パスワードロック」

3 設定の選択操作

■ディスプレイ消灯時にパスワードロックを設定するとき
「自動」

■電源を入れたときにパスワードロックを設定するとき
「電源 On 時」

■パスワードロックを設定しないとき
「Off」

4 操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫

PIN コード認証を設定／解除する

PIN コードは USIM カードの暗証番号です。詳しくは「USIM カードのお取り扱い」(➔P.1-10)を参照してください。
電源を入れるたびに PIN コードによる認証をするようにしたい場合は、「On」に設定します。

設定する

1 ≪メニュー≫→「設定」→「セキュリティ設定」

2 「PIN 認証」の「On」／「Off」

3 PIN コードを入力→≪ OK ≫

解除する

PIN コードまたは PIN2 コードの入力を 3 回続けて間違えると、PIN ロックまたは PIN2 ロックが設定され、本機の使用が制限されます。PIN ロックまたは PIN2 ロックを解除するときは、次の操作を行います。

1 PIN ロック解除コード（PUK コード）の入力画面が表示されている状態で PUK コードを入力→≪ OK ≫

2 新しい PIN コード／ PIN2 コード（4 ～ 8 桁）を入力→≪ OK ≫

3 もう一度新しい PIN コード／ PIN2 コード（4 ～ 8 桁）を入力→≪ OK ≫

注意

- PIN ロック解除コードまたは PIN2 ロック解除コード（PUK/PUK2 コード）については、お問い合わせ先（➔P.15-28）までご連絡ください。
- PIN ロック解除コードを 10 回続けて間違えると、USIM カードがロックされます（途中で電源を切っても連続として数えます）。
- USIM カードがロックされた場合、ロックを解除する方法はありません。お問い合わせ先(➔P.15-28)までご連絡ください。

使いこなしチェック!

設定

- PIN 認証を設定する（☞P.14-27）
- PIN コードを変更する（☞P.14-27）
- PIN2 コードを変更する（☞P.14-27）

USIM 照合を設定／解除する

本機に他の USIM カードが取り付けられたとき、USIM パスワードを入力しないと使用できないように設定できます。

1 ≪メニュー≫→「設定」→「セキュリティ設定」

2 「USIM 照合」の「On」／「Off」

3 USIM パスワード（4 ～ 8 桁の任意の番号）を入力→≪ OK ≫

- 「On」に設定する場合は、もう一度 USIM パスワード（4 ～ 8 桁の任意の番号）を入力し、≪ OK ≫をタップします。

- USIM パスワードとは、USIM カードの認証に使用する専用のパスワードです。USIM パスワードが一致すれば、他の USIM カードでも本機を使用できます。USIM パスワードは、「USIM 照合」を「On」に設定するたびに変更できます。
- USIM パスワードを忘れたときは、「USIM 照合」を「On」に設定した USIM カードを本機に取り付けて、オールリセット（➔P.11-10）を行います。

使いこなしチェック!

設定
- USIM 照合を設定する（☞P.14-27）

顔認証機能を設定／解除する

本機の電源を入れたときに、あらかじめ登録しておいたお客様の顔画像との照合を行い、認証に成功しないと本機を使用できないようにします。
顔認証機能を設定します。あらかじめユーザー登録を行ってください。

- 顔認証は、あらかじめ登録した顔画像と認証時のお客様の画像を照合し、認証を行います。顔画像の撮影時や認証時には、次のことにご注意ください。
  - 目、口、鼻、眉などの顔の特徴がはっきりと見えるようにしてください。目などに髪がかかっていたり、レンズに色の付いているメガネやマスク、帽子などの装着物があるときは、正しく登録／認証できないことがあります。
  - 顔が均一に明るく見える場所で操作してください。暗い場所や逆光の場合や、強い光が当たる場所では正しく登録／認証できない場合があります。

注意

- 顔認証は完全に本人認証を保証するものではありません。当社では本製品を第三者に使用されたこと、または顔認証の誤動作により使用できなかったことによって生じるいかなる損害に関しても、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 顔認証の設定操作や誤認証時の解除方法などには、操作用暗証番号を使用します。よりセキュリティを向上させるため、操作用暗証番号も合わせて変更することをおすすめします（➔P.11-3）。

設定する

1. ≪メニュー≫→「設定」→「セキュリティ設定」→「顔認証機能」
2. 操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫
3. 「On/Off 設定」の「On」／「Off」

- 「On」に設定すると、本機の電源を入れたときにお客様の顔画像との照合を行います。認証に成功しないと本機を使用できません。

ユーザー登録を行う

ユーザー数は 5 件まで登録できます。
1 件のユーザーには 5 つの顔画像を登録できます。顔認証を行う場所（自宅／会社／自動車内／駅など）や状態（顔の方向／メガネなどの装着物の有無／明るさなど）を変えて複数の顔を登録することをおすすめします。

1. ≪メニュー≫→「設定」→「セキュリティ設定」→「顔認証機能」
2. 操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫
3. 「ユーザー登録」
4. 「ユーザー 1」～「ユーザー 5」のいずれかを選択
5. 「画像 1」～「画像 5」のいずれかを選択
6. 顔を画面に表示→≪撮影開始≫→≪保存≫

- 顔画像の撮影には若干時間がかかります。そのままでお待ちください。
- 登録できないときはメッセージが表示されます。撮影条件を変えるなどしてやり直してください。
- 複数の顔画像を登録すると認証率は高くなりますが、セキュリティレベルは低くなります。
- 複数のユーザーに、同じ人の顔画像を登録することもできます。画像数が増えれば認証率が高くなる可能性があります。
- 正面を向き、無表情で顔全体が画面に入るようにしてください。顔が小さいと顔認証画像が登録できないことがあります。また、顔を動かさないようにしてください。

認証時の表示を設定する

顔認証時の表示を設定します。「Off」に設定したときは、撮影中の画像は表示されずに認証中のメッセージが表示されます。「プレビュー」に設定したときは、撮影中の画像が表示されます。

1. **≪メニュー≫→「設定」→「セキュリティ設定」→「顔認証機能」**
2. **操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫**
3. **「ガイド設定」**
4. **「Off」/「プレビュー」**

セキュリティレベルを設定する

顔認証機能の認証精度を設定します。

- 認証精度の目安は次のとおりです。

設定項目	内　容
高	他人を誤って認証する可能性の低い設定です。ただし、お客様も認証されにくくなる可能性があります。
標準	「高」と「低」の中間の設定です。
低	お客様が最も認証されやすい設定です。ただし、他人を誤って認証する可能性も高くなります。

1. **≪メニュー≫→「設定」→「セキュリティ設定」→「顔認証機能」**
2. **操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫**
3. **「セキュリティレベル」**
4. **「高」/「標準」/「低」**

顔認証を行う

電源を入れたときに顔認証が行われます。顔が正しく認証されると、本機を使用できるようになります。

1. **顔を画面に向ける**
2. **認証できないときは、再度認証を行う**

■ 顔認証で認証するとき
顔を画面に向ける→≪認証≫

■ 操作用暗証番号で認証するとき
≪コード≫→暗証番号の入力→≪ OK ≫

•「ガイド設定」(➔P.11-7)を「プレビュー」に設定しているときは、ディスプレイに撮影中の画像が表示されます。顔が認証されると、認証された顔の位置にフォーカスが移動します。認証結果は「マッチング」(緑色の枠)/「類似」(黄色の枠)/「不明」(赤色の枠)で表示されます。
•顔認証機能では内側カメラの画像が使用されます。カメラが汚れていると誤認証の原因となります。柔らかい布で汚れを拭き取ってからご使用ください。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.11-10

- 顔画像を削除したい

設定

- 顔認証機能を設定する(☞P.14-27)
- 顔認証機能のユーザー登録をする(☞P.14-27)
- 顔認証時の表示を設定する(☞P.14-27)
- 顔認証機能のセキュリティレベルを設定する(☞P.14-27)

機能別のロック

機能別にロックする

機能別ロックを設定すると、電話帳、カレンダー/予定リスト、メール、通話履歴、データフォルダの各機能を呼び出すごとに操作用暗証番号の入力が必要になります。

1. **≪メニュー≫→「設定」→「セキュリティ設定」→「機能別ロック」**
2. **ロックする機能をチェック→≪保存≫**
3. **操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫**

シークレットモードを設定/解除する

「表示しない」に設定すると、電話帳の一覧画面やメールのフォルダ、カレンダーのスケジュール、予定リストを表示したときに、各機能でシークレットを設定している登録内容が表示されなくなります。

1 ≪メニュー≫→「設定」→「セキュリティ設定」→「シークレットモード」

2 操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫

3 「表示する」／「表示しない」

•「シークレットモード」を「表示する」に設定しても、本機の電源を入れ直すと「表示しない」に設定されます。

使いこなしチェック!

設定

- 電源On時ロックを設定する（☞P.14-26）
- パスワードロックを設定する（☞P.14-26）
- 機能別ロックを設定する（☞P.14-27）
- シークレットモードを設定する（☞P.14-27）

お買い上げ時の状態に戻す（メモリ消去／リセット）

メモリ消去

データフォルダ、メール、本機の電話帳、カレンダー／予定リスト、ユーザー辞書の登録内容を消去できます。すべてまとめて消去することもできます。

1 ≪メニュー≫→「設定」→「メモリ設定」→「本体」→≪メモリ消去≫

2 消去したい項目をチェック→≪消去≫

3 操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫→「はい」

設定リセット

設定メニューの登録・設定内容、ツールメニューの「アラーム」の登録・設定内容、および「TV リンク」と「録画／視聴予約」を除く「TV」の登録・設定内容がお買い上げ時の状態に戻ります。
ただし、次の内容はリセットされません。

設定メニュー	リセットされない内容
通話設定	「通話サービス」→「留守番・転送電話」→「留守番 On」の設定内容 「通話サービス」→「留守番・転送電話」→「転送 On」の登録・設定内容 「通話サービス」→「割込通話」の設定内容 「通話サービス」→「発着信規制」の設定内容 「着信拒否」→「電話番号指定」→「拒否リスト」の登録内容
電話帳	「オーナー情報」の電話番号、USIM カードの「グループ設定」の登録内容・グループ名
セキュリティ設定	「USIM 照合」「PIN 認証」「PIN 変更」「PIN2 変更」

1 ≪メニュー≫→「設定」→「セキュリティ設定」→「設定リセット」

2 操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫→「はい」

オールリセット

本機の電話帳、メール、データフォルダの登録内容および各機能の設定を消去し、お買い上げ時の状態に戻します。ただし、お買い上げ時にあらかじめ保存されているデータフォルダ内のファイルは、消去されません。

1 ≪メニュー≫→「設定」→「セキュリティ設定」→「オールリセット」

2 操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫→「はい」

- 「はい」をタップした後、本機は再起動します。

使いこなしチェック!

設定

- 電話帳やメールなどを消去する（☞P.14-27）
- 設定をリセットする（☞P.14-27）

便利な機能

便利

顔認証に関する便利な機能

ユーザー情報を編集したい

≪メニュー≫→「設定」→「セキュリティ設定」→「顔認証機能」→操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫→「ユーザー登録」→編集したいユーザーを選択→（➲P.11-7 ユーザー登録を行う ❺）

顔画像を確認したい

≪メニュー≫→「設定」→「セキュリティ設定」→「顔認証機能」→操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫→「ユーザー登録」→ユーザーを選択→確認したい画像を選択

- 複数顔画像を登録している場合は◀／▶をタップすると別の画像を確認できます。

顔画像を削除したい 【削除】

≪メニュー≫→「設定」→「セキュリティ設定」→「顔認証機能」→操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫→「ユーザー登録」→ユーザーを選択→削除したい画像を選択→≪削除≫→「はい」

データフォルダ／メモリ

12

音楽も写真も動画もデータはフォルダで管理

本機では、様々なデータファイルをフォルダで管理することができます。
この章では、データの管理方法について説明します。

データフォルダの構成

ファイルは、データ形式に応じて自動的にフォルダに分類されます。

フォルダ／概要	ファイル形式[1]
ピクチャー／マイ絵文字	
ピクチャー：本機で撮影した静止画などの画像ファイルを保存	JPEG、BMP、GIF、WBMP、PNG、Animation GIF
マイ絵文字：ダウンロードした絵文字を保存	GIF, GPK
着うた・メロディ	
ダウンロードしたメロディや、ボイスレコーダーで録音した音声などのファイルを保存	SMAF、MIDI、SP-MIDI、SMF、Mobile XMF、MPEG4 Audio、AMR
S! アプリ	
ダウンロードした S! アプリを保存	JAD、JAR

フォルダ／概要	ファイル形式[1]
ミュージック／ WMAudio (メモリカードのみ)	
ダウンロードした着うたフル®を保存	MPEG4 Audio（mp4、m4a、aac、3gp)、smc、WMA
ムービー／ WMVideo (メモリカードのみ)	
本機で撮影した動画などのファイルを保存	MPEG4（mp4、3gp)、WMV
ブック	
ダウンロードしたブックを保存	CCF
デコレメールテンプレート	
S! メールで作成したテンプレート	HMT
Flash® ／着信音 Flash®	
Flash® ファイルを保存	
ダウンロードした Flash® ファイルの中で着信音に設定できるファイルのみ保存	SWF

データフォルダ／メモリ

12

フォルダ／概要	ファイル形式[1]
その他ファイル	
表示の際にドキュメントビューアが必要なファイル、グラフィックスのほか、vファイル[2]などを保存	vCard、vCalendar、vBookmark、EML、PDF、XLS、DOC、PPT、TXT、HTML、VNT、非サポートファイル

1 ファイル形式に応じてデータが振り分けられます。対応していないファイルは、フォルダ間の移動や保存ができません。

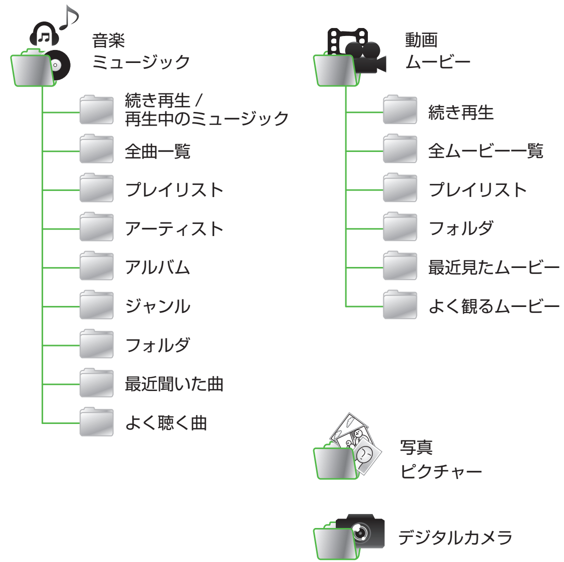
2 vファイルとは、電話帳などの情報をインターネット経由で交換するためのファイル形式の規格です。本機では、電話帳の情報を交換するためのvCard（拡張子：vcf）、スケジュール／予定リストの情報を交換するためのvCalendar（拡張子：vcs）、ブックマークの情報を交換するためのvBookmark（拡張子：vbm）のファイル形式を利用できます。

- 1件の種別フォルダ内には、フォルダとファイルを合わせて最大9999件保存できます。
- 「メモリ容量確認」を選択すると、データフォルダのフォルダごとのメモリ使用状況を確認できます。「設定」からも同じ操作を行うことができます（➔P.12-14）。
- データフォルダでをタップすると、メモリカードのデータフォルダに切り替わり、をタップすると、本機のデータフォルダに戻ります。
- ／をタップして、リスト表示とサムネイル表示を切り替えることができます。
- 種別フォルダ内に表示される／は、ダウンロードサイトへのショートカットです。選択すると、インターネット上のダウンロードサイトに接続できます。

- 1件の種別フォルダ内にファイルが大量にある場合、本機の動作が遅くなることがあります。

音楽、写真、動画データのフォルダ構成

音楽、写真、動画のデータは、それぞれさらに次のように分類されます



データフォルダ／メモリ

12

ファイルの確認

データフォルダに保存されている画像ファイル、アニメーションなどのファイルを確認します(➔P.12-5)。データフォルダを選択すると、フォルダ内に保存されたファイルが一覧表示されます。

1. ≪メニュー≫→「データフォルダ」
2. ファイルの保存場所を選択
3. 一覧画面でファイルを選択

- ファイルの一覧に表示されるアイコン
  - ：転送不可
  - ：転送不可かつ利用不可
  - ：保護あり
  - ：著作権保護ファイル（転送可、コンテンツ・キー有効）
  - ：著作権保護ファイル（転送可、コンテンツ・キー期限切れ）
  - ：著作権保護ファイル（転送不可、コンテンツ・キー有効）
  - ：著作権保護ファイル（転送不可、コンテンツ・キー期限切れ）
  - ：壁紙の設定あり（➔P.12-19）／着信音の設定あり（➔P.12-19）
  - ：WMDRM で保護あり
- プリインストール以外の転送不可ファイルと著作権保護ファイルは利用できません。

- **データフォルダからのカメラ／ボイスレコーダー起動**

  「ピクチャー」フォルダを表示中、≪その他≫→「カメラ起動」をタップすると、静止画撮影モードのカメラが起動します。同様に、「ムービー」フォルダを表示中、≪その他≫→「ビデオカメラ起動」をタップすると、動画撮影モードのカメラが起動します。「着うた・メロディ」フォルダを表示中、≪その他≫→「録音」をタップしたときは、ボイスレコーダーが起動します。各フォルダにファイルが 1 つもないときは、「カメラ起動」／「ビデオカメラ起動」／「録音」のメニューはツールバーに表示されます。

注意

- JPEG ファイルは、ファイルサイズが 3M バイトより大きく、かつ解像度が 5000 × 5000 より大きい場合には編集できません。JPEG ファイル以外のファイルの編集は、3M バイト以下かつ解像度が 1600 × 1600 以下の場合のみ可能です。また、JPEG ファイルの拡大／縮小は、5000 × 5000 より大きい場合にはできません。アニメーション GIF ファイルの場合、データにより拡大／縮小できるサイズが異なります。その他のファイルの拡大／縮小は、3M バイトより大きく、解像度が 5000 × 5000 より大きい場合にはできません。
- 音楽の再生中は、「ムービー」フォルダの一覧画面などに、ムービーのサムネイルは表示されません。

イメージビューアで画像ファイルを確認する

静止画を縦表示／横表示で確認できます。横長の静止画は、本機を横にすると自動的に回転し、小さく表示されます。

- 本書では、縦表示で説明を記載しています。

1 ≪メニュー≫→「データフォルダ」→「ピクチャー」

2 ファイルを選択



ツールアイコン

- 本機を縦／横にすると、画面も合わせて切り替わります。
- 画面をタップすると、ツールアイコンとツールバーの表示／非表示を切り替えます。

3 画像を横にスクロールして次を表示

- データによっては、表示されない場合があります。

グラフィックス／アニメーションを確認する

グラフィックスやアニメーションを縦表示／横表示で確認できます。

- 本書では、縦表示で説明を記載しています。

1 ≪メニュー≫→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択

2 ファイルを選択



- をタップすると一時停止できます。
- をタップすると続きが再生されます。
- をタップするとリプレイします。

- データフォルダ内の SWF 形式のファイルを確認できます。
- データによっては、表示されない場合があります。
- データフォルダの一覧画面で該当するファイルを選択すると、自動的に Flash® ビューアが起動します。

画像を拡大／縮小する

1 ≪メニュー≫→「データフォルダ」→「ピクチャー」→画像を選択

2 →／をタップして倍率を調節



- →／を押しても倍率を調節できます。

3 ≪ OK ≫

- をタップすると、画面の高さに合わせて画像を表示します。をタップすると、画面の幅に合わせて画像を表示します。
- 画像をホールドすると、ズームボタンが表示され、上方向にスクロールすると画像が拡大し、下方向にスクロールすると画像が縮小します。

顔リンクのデータを登録する

静止画の人物の顔に電話帳の情報をリンクさせ、静止画から電話をかけたりメールを送信したりできます。
1 枚の静止画につき、最大 10 件の情報を登録できます。

静止画を撮影して登録する

1 （2 秒以上）

2 →→「顔リンク表示」の「On」→≪ OK ≫

3



- 顔リンク表示を「On」に設定しないと登録できません。
- 撮影後に顔が認識されると、静止画の顔部分に枠が表示されます。
- すでに顔リンクのデータを登録済みの場合は、登録された名前が表示されます。登録されていない場合は、「？」と表示されます。
- 撮影後に顔が認識されなかった場合は、枠は表示されず、画像を保存するとカメラの撮影画面に戻ります。
- 「自動保存設定」を「On」に設定している場合は、静止画は保存され、カメラの撮影画面に戻ります。

4 データを登録する顔リンクをタップ

5 電話帳を検索し、選択（➔P.2-21）

6

保存した画像にデータを登録する

1. ≪メニュー≫→「データフォルダ」→「ピクチャー」
2. ファイルを選択
3.
4. ≪ネームタグ追加≫
5. 枠をドラッグし、顔の位置にドロップ



6. ≪保存≫
7. 電話帳を検索し、選択

(➲P.2-21)

• メモリカードに保存した画像には、顔リンクを設定できません。

顔リンクを利用する

顔リンクのデータが登録された静止画から、電話をかけたりメールを送信したりすることができます。

登録した画像から電話／メールをする

1. ≪メニュー≫→「データフォルダ」→「ピクチャー」
2. ファイルを選択→→顔リンクをタップ
   • 複数の顔リンクが設定されている場合は、利用する顔リンクをタップします。
3. 顔リンクのデータからの選択操作

■ 他の顔リンクのデータを確認するとき
「この人の画像」

■ 音声電話をかけるとき
「音声通話」

■ S! メールを送信するとき
「S! メール」→(➲P.4-4 S! メールを作成・送信する ❺)

■ 電話帳を確認するとき
「電話帳表示」

登録した顔リンクのデータをメールで送信する

1. ≪メニュー≫→「データフォルダ」→「ピクチャー」
2. ファイルを選択→
3. 「メール添付送信」
4. メールの送信操作(➲P.4-4 S! メールを作成・送信する ❷)

使いこなしチェック!

便利 ☞P.12-15

● 著作権保護ファイルのコンテンツ・キーを購入または取得したい

フォトアルバム

フォトアルバムは、撮影した静止画を一覧で見ることができます。本機を傾けることで画像一覧をスクロールすることができます。

フォトアルバムを表示する

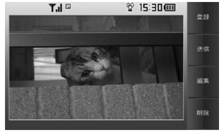
フォトアルバムでは、本体／メモリカードに保存したJPEG形式の静止画を確認できます。画面をタップしたり、本機を斜めにしたりすることでファイルの操作ができます。
フォトアルバムは、本機を横にして操作します。

1 ≪メニュー≫→「フォトアルバム」



2 フォルダを選択

3 ファイルを選択



- ファイルによっては表示されない場合があります。
- フォルダ一覧／ファイル一覧では、画面をドラッグする以外に本機を斜めにしてもスクロールできます。
- 画像をホールドすると、ホールドした位置を中心に拡大して表示できます。また、画像をスクロールして確認することもできます。表示をもとに戻すときは CLEAR を押します。

フォトアルバムをスクロールする

フォトアルバムに表示された画像は、本機を傾けるまたはスワイプすることでスクロールすることができます。

1 ≪メニュー≫→「フォトアルバム」

2 フォルダを選択

3 本機を傾ける／スワイプする

- 操作 1 の後に操作 3 を行うと、フォルダをスクロールすることができます。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.12-16
- 表示している静止画を各種の画面に設定したい
- 表示しているファイルを送信したい
- 表示している静止画を編集したい
- 表示している静止画を使ってお絵かきアニメをしたい
- 表示しているファイルを削除したい

ファイル／フォルダの管理

ピクチャーフォルダやムービーフォルダにサブフォルダを作成したり、フォルダ／ファイルのコピー、移動、削除などができます。

フォルダを作成する

種別フォルダ内にサブフォルダを作成できます。
自分で作成したサブフォルダに「シークレット設定」を設定すると、非表示にできます。

1. **≪メニュー≫→「データフォルダ」**
2. **サブフォルダを作成したい種別フォルダを選択**
3. **≪その他≫→「データ管理」→「フォルダ作成」**
   - フォルダ内にサブフォルダもファイルもない場合は、ツールバーのメニューが異なります。
4. **名前を入力**

- サブフォルダの中にサブフォルダを作成することはできません。ただし、「マイ絵文字」と「Flash®」ではサブフォルダの中にサブフォルダを作成することができます。

ファイル名／フォルダ名を編集する

1. **≪メニュー≫→「データフォルダ」**
2. **種別フォルダを選択→≪その他≫→「データ管理」→「フォルダ・ファイル名変更」／「ファイル名変更」**
3. **名前を編集したいサブフォルダ／ファイルを選択**
4. **名前を入力**

- ファイルが保護されていると、ファイル名を編集できません。

ファイル／フォルダを移動する

メモリカードを取り付けているときは、本機とメモリカードの間でもファイル／フォルダ移動ができます。

1. **≪メニュー≫→「データフォルダ」**
2. **種別フォルダを選択→≪移動≫→「フォルダ」／「ファイル」**
3. **移動したいサブフォルダ／ファイルをチェック→≪移動≫**
4. **移動先を選択**
   - メモリカードを取り付けているときは、／をタップして本体／メモリカードを切り替えることができます。

- ファイルが保護されていると、移動できません。
- 移動先にすでに同名のファイル／フォルダがあったときは、移動するファイルまたはフォルダの名前を編集する必要があります。表示された文字入力画面に新しい名前を入力してください。
- 壁紙や着信音などに設定しているファイルをメモリカードへ移動するときは、確認メッセージが表示されます。「はい」をタップすると設定は解除され、移動が完了します。複数または全件移動するときに「いいえ」をタップすると、設定されていないファイルのみを移動します。移動を中止するときは CLEAR を押します。

注意

- 本機でダウンロードしたファイルは、他の携帯電話に移動したときや本機に異なるUSIMカードを挿入したときには、表示や再生ができない場合があります。
- 転送不可かつ利用不可ファイル、保護ありファイル、転送不可の著作権保護ファイル（、）はメモリカードに移動できません。

ファイル／フォルダをコピーする

コピーを作成して、別のフォルダ内またはフォルダの外に貼り付けることができます。メモリカードを取り付けているときは、本機とメモリカードの間でも貼り付け操作ができます。

1. **≪メニュー≫→「データフォルダ」**
2. **種別フォルダを選択→≪コピー≫→「フォルダ」／「ファイル」**
3. **コピーしたいサブフォルダ／ファイルをチェック→≪コピー≫**
4. **コピー先を選択**
   - メモリカードを取り付けているときは、／をタップして本体／メモリカードを切り替えることができます。

- フォルダ／ファイルのコピーをコピー元と同じ場所に貼り付けると、貼り付けたファイルまたはフォルダに、自動的に「_0001」などが付き、別名で保存されます。
- 貼り付け先にすでに同名のフォルダ／ファイルがあったときは、貼り付けるファイルまたはフォルダの名前を編集する必要があります。表示された文字入力画面に新しい名前を入力してください。

注意

- 転送不可のファイルはコピーできません。

ファイル／フォルダを削除する

1 ≪メニュー≫→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→≪削除≫



2 削除したいサブフォルダ／ファイルをチェック→≪削除≫→「はい」

- 「全チェック」をタップした場合は、操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫→「はい」をタップします。

- 壁紙や着信音などの設定や、保護を設定しているファイルを削除するときは、確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると設定は解除され、削除を実行します。複数または全件削除するときは、「はい」→「保護などを除いて削除」を選択すると設定や保護のないファイルのみが削除されます。
- コンテンツ・キーがあるファイルを削除すると、確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると、コンテンツ・キーも削除されます。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.12-17

- 静止画を使って画像を編集したい
- 静止画を使ってお絵かきアニメをしたい
- 画像を自動的に切り替えながら確認したい
- ファイルを送信したい
- 静止画を USB 接続／ Bluetooth® 通信で接続したプリンタで印刷したい
- ファイルを並べ替えたい
- コンテンツ・キーを削除したい
- サブフォルダにシークレット設定をしたい
- シークレット設定を一時的に解除したい
- 静止画撮影モードのカメラを起動したい
- 動画撮影モードのカメラを起動したい
- ボイスレコーダーを起動したい
- ファイルの保護／保護を解除したい
- 画像ファイルを各種の画面に設定したい
- サウンドファイルを通常モードの着信音に設定したい
- 動画ファイルを通常モードの着信音に設定したい
- v ファイルを各機能に取り込みたい

メモリカード

本機は microSD™ メモリカードに対応しています。メモリカードを利用する場合は、市販の microSD™ メモリカードを購入してください。

- 推奨のものを使用してください。推奨以外のメモリカードを使用すると、正しく動作しないことがあります。
- ラベルやシールなどを貼り付けないでください。メモリカードは非常に薄く、精密に作られているため、ラベルやシール程度の厚みでも接触不良やデータの破壊などの原因となることがあります。
- 分解や改造などをしないでください。
- 強い衝撃を与える、曲げる、落とす、水にぬらすなどしないでください。
- 端子部分を手や金属で触れないでください。
- 高温になる所、湿度が高い所、ほこりが多い所には置かないでください。
- 腐食性のガスなどが発生する所には置かないでください。
- 火気に近づける、火の中に投げ込むなどしないでください。
- メモリカードには寿命があります。長期間使用するとデータが書き込めなくなることがあります。

- 本機で利用する microSD™ メモリカードは、64M バイト、128M バイト、256M バイト、512M バイト、1G バイト、2G バイト、4G バイトのメモリカードを推奨します。

注意

- 大切なデータを失わないためにメモリカードに登録した内容は、事故や故障などにより消失または変化してしまうことがあります。大切なデータは、控えをとっておかれることをおすすめします。データが消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- microSD™ メモリカードには、ライトプロテクトがありません。データの消去や上書きなどにご注意ください。

メモリカードを初期化する

メモリカードを初期化すると、メモリカード内のデータが削除されます。本機で使用するメモリカードをご購入後は必ず本操作を行ってください。

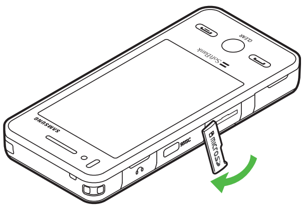
1 ≪メニュー≫→「設定」→「メモリ設定」→「メモリカード」→≪メモリカード初期化≫→操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫→「はい」

メモリカードを取り付ける／取り外す

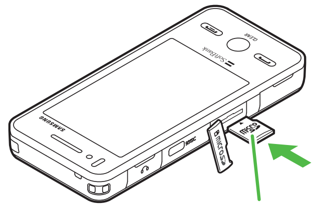
取り付けや取り外しをするときは、必ず電源を切ってください。

取り付ける

1. メモリカードのカバーを開き、回転させる



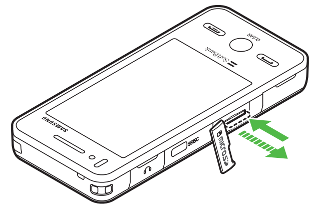
2. メモリカードの端子部分を下にしてメモリカードスロットに差し込み、「カチッ」と音がするまで押し込む



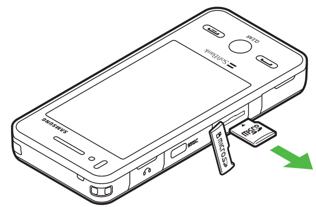
3. メモリカードのカバーを閉じる

取り外す

1. メモリカードのカバーを開けて回転させ、「カチッ」と音がするまでメモリカードを軽く押し込む



2. メモリカードから手を離し、メモリカードが少し飛び出したら取り出す



③ メモリカードのカバーを閉じる

- メモリカードをデータフォルダ表示中に取り外すと、本機のデータフォルダ表示に切り替わります。

注意

- 無理に取り付けたり取り外したりすると、メモリカードや本機が破損することがありますのでご注意ください。
- 取り外したメモリカードは、紛失しないようにご注意ください。
- メモリカードの取り付けや取り外しを行うときは、端子部分に不用意に触れたり、傷をつけたりしないでください。
- データの読み込み中や書き込み中は絶対にメモリカードや電池パックを取り外さないでください。メモリカードや本機が破損することがあります。

使いこなしチェック!

設定

- メモリカードの詳細情報を確認する（☞P.14-28）
- メモリカードの表示名を編集する（☞P.14-28）
- メモリカードをフォーマット（初期化）する（☞P.14-28）
- データの保存先を本機／メモリカードに指定する（☞P.14-28）

メモリカードの内容を確認する

① ≪メニュー≫→「データフォルダ」

② をタップ

- メモリカードの内容を確認する際は、あらかじめ、メモリカードを取り付けておいてください。
- 本機のデータフォルダの内容に切り替える場合、をタップすると、本機のデータフォルダに戻ります。

メモリ容量を確認する

次の情報を確認できます。

- SMS および S! メールのメールボックスの使用状況
- データフォルダのメモリ使用状況
- カレンダー／予定リストの種別の登録状況
- メモ帳のメモリ使用状況
- 電話帳（本機および USIM カード）の登録状況

① ≪メニュー≫→「設定」→「メモリ設定」→「メモリ容量確認」



❷ 確認する項目の選択操作

■ メールの容量を確認するとき
「メール」
・メールのサイズ容量が表示されます。
・メールの件数容量を確認したいときは、プルダウンメニューから「件数」を選択します。
・USIM カード内に保存した SMS の件数は、メール（件数）画面でのみ確認できます。

■ データフォルダの容量を確認するとき
「データフォルダ」→「本体メモリ」／「メモリカード」

■ カレンダー／予定リストの容量を確認するとき
「カレンダー／予定リスト」

■ メモ帳の容量を確認するとき
「メモ帳」

■ 電話帳を確認するとき
「電話帳」

使いこなしチェック!

便利 ☞P.12-20
● 登録／保存した内容を削除してメモリを整理したい

設定
● 本機のメモリの詳細情報を確認する（☞P.14-28）
● 本機のメモリを消去する（☞P.14-28）
● メモリ容量を確認する（☞P.14-28）

便利な機能

便利

ファイルの確認に関する便利な機能

著作権保護ファイルのコンテンツ・キーを購入または取得したい
［コンテンツ・キー再取得］

≪メニュー≫→「データフォルダ」→「ピクチャー」→ファイルの保存場所を選択→≪その他≫→「データ管理」→「コンテンツ・キー再取得」→コンテンツ・キーを取得するファイルを選択→画面に従ってコンテンツ・キーを取得

SWF 形式のグラフィックス／アニメーションを確認したい

≪メニュー≫→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択

■ **キーパッドを表示するとき**
≪キーパッド≫

■ **全画面表示／標準表示に切り替えるとき**
≪その他≫→「全画面表示」／「通常表示」

■ **画質を切り替えるとき**
≪その他≫→「画質」→項目を選択

表示しているファイルを削除したい

≪メニュー≫→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→🗑→「はい」

- ツールアイコンが表示されていないときは、画面をタップすると表示されます。

表示しているファイルの詳細を確認したい

≪メニュー≫→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→ⓘ

- ツールアイコンが表示されていないときは、画面をタップすると表示されます。

便利

フォトアルバムに関する便利な機能

表示している静止画を各種の画面に設定したい **[登録]**

≪メニュー≫→「フォトアルバム」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→≪登録≫

■ **ディスプレイの壁紙に設定するとき**

「壁紙」→≪設定≫

■ **電話帳の着信画像に設定するとき**

「個別着信画像」→電話帳を検索し、選択（➲P.2-21）→≪設定≫

■ **TV コールの代替画像に設定するとき**

「TV コール代替画像」→≪ OK ≫

表示しているファイルを送信したい **[送信]**

≪メニュー≫→「フォトアルバム」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→≪送信≫

■ **メールで送信するとき**

「メール添付」→（➲P.4-4 S! メールを作成・送信する ❷）

■ **Bluetooth® で送信するとき**

「Bluetooth」→（➲P.13-8 データを 1 件ずつ送信する ❷）

■ **赤外線で送信するとき**

「赤外線通信」（➲P.13-4）

表示している静止画を編集したい **[画像編集]**

≪メニュー≫→「フォトアルバム」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→≪編集≫→「画像編集」→（➲P.7-13 静止画を編集する ❹）

表示している静止画を使ってお絵かきアニメをしたい **[お絵かきアニメ]**

≪メニュー≫→「フォトアルバム」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→≪編集≫→「お絵かきアニメ」→（➲P.7-14 お絵かきアニメ ❸）

表示しているファイルを削除したい **[削除]**

≪メニュー≫→「フォトアルバム」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→≪削除≫→「はい」

便利

ファイル／フォルダの管理に関する便利な機能

静止画を使って画像を編集したい 【画像編集】

≪メニュー≫→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→≪編集≫→「画像編集」→(➔P.7-13 静止画を編集する 4)

静止画を使ってお絵かきアニメをしたい 【お絵かきアニメ】

≪メニュー≫→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→≪編集≫→「お絵かきアニメ」→(➔P.7-14 お絵かきアニメ 3)

画像を自動的に切り替えながら確認したい 【スライドショー】

≪メニュー≫→「データフォルダ」→「ピクチャー」→最初に表示するファイルを選択→≪その他≫→「スライドショー」

- 一時停止する場合は画面をタップし、⏸をタップします。
- ⏮／⏭で前／次のデータを表示できます。

ファイルを送信したい 【送信】

≪メニュー≫→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→≪その他≫→「送信」

■ **メールで送信するとき**

「メール添付」→ファイルを選択→(➔P.4-4 S! メールを作成・送信する 2)

■ **Bluetooth® で送信するとき**

「Bluetooth」→送信したいファイルをチェック→≪送信≫→(➔P.13-8 データを1件ずつ送信する 2)

■ **赤外線で送信するとき**

「赤外線通信」→送信したいファイルをチェック→≪送信≫（➔P.13-4）

静止画を USB 接続／ Bluetooth® 通信で接続したプリンタで印刷したい 【印刷】

≪メニュー≫→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→≪その他≫→「印刷」

■ **USB のとき**

「USB」→印刷したいファイルをチェック→≪印刷≫→(➔P.7-16 USB 接続でプリントする 4)

■ **Bluetooth® のとき**

「Bluetooth」→印刷したいファイルをチェック→≪印刷≫→（➔P.7-15 Bluetooth® 経由でプリントする 4）

ファイルを並べ替えたい 【ソート】

≪メニュー≫→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→≪その他≫→「ソート」→項目を選択

- 次の項目で並び替えができます。
  - 日付の新しい順（「日付順」）
  - ファイル形式別（「ファイルタイプ順」）
  - ファイル名（「ファイル名順」）
  - ファイルのサイズの小さい順（「サイズ順」）
  - コンテンツ･キーの状態別（「コンテンツ･キータイプ順」）
- 一覧にフォルダが含まれているときは、どの基準で並べたときも、先頭にフォルダが表示されます。
- 「ファイルタイプ順」を選択したときの並び順は、拡張子のアルファベット順で表示されます。
- 「ファイル名順」を選択したときの並び順は、数字→英字（半角）→日本語→英字（全角）の順で表示されます。
- 「デコレメールテンプレート」フォルダ内のファイルは「ファイルタイプ順」で並び替えはできません。

- 「コンテンツ・キータイプ順」を選択したときの並び順は、著作権保護や転送の制限のないファイル→転送不可のファイル→著作権保護のファイル（コンテンツ・キー有効）→著作権保護のファイル（コンテンツ・キー期限切れ）→転送不可かつ利用不可のファイルの順に表示されます。
- タイトル名のないファイルは「タイトル順」で並び替えはできません。

サウンドファイルや動画ファイルをプレイリストに追加したい

≪メニュー≫→「データフォルダ」→「着うた･メロディ」／「ミュージック」／「ムービー」→≪その他≫→「データ管理」→「プレイリストに追加」→追加するファイルをチェック→≪ OK ≫→プレイリストを選択

- プレイリストを新しく作成して追加するときは、追加画面で≪プレイリスト作成≫をタップします。

データフォルダ内のコンテンツ・キーを管理したい

≪メニュー≫→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→≪その他≫→「データ管理」→「コンテンツ・キー情報」→確認したいコンテンツ・キーを選択

- どのフォルダでコンテンツ・キー情報を表示しても、データフォルダおよびメモリカードに保存されているすべてのコンテンツ・キーが表示されます。
- コンテンツ・キーを持つファイルがない場合は「コンテンツ・キー情報」の項目は表示されません。

コンテンツ・キーを削除したい **[削除]**

≪メニュー≫→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→≪その他≫→「データ管理」→「コンテンツ・キー情報」→≪削除≫→削除したいコンテンツ・キーをチェック→≪削除≫→「はい」

- コンテンツ・キーを持つファイルがない場合は「コンテンツ・キー情報」の項目は表示されません。

サブフォルダにシークレット設定をしたい **[シークレット設定]**

≪メニュー≫→「データフォルダ」→シークレット設定したいサブフォルダの保存場所を選択→≪その他≫→「シークレット設定」→操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫→シークレット設定したいフォルダをチェック→≪ OK ≫

- シークレット設定を解除する場合は、チェックを外します。

シークレット設定を一時的に解除したい **[シークレット一時解除]**

≪メニュー≫→「データフォルダ」→フォルダの保存場所を選択→≪その他≫→「シークレット一時解除」→操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫

静止画撮影モードのカメラを起動したい **[カメラ起動]**

≪メニュー≫→「データフォルダ」→「ピクチャー」→≪その他≫→「カメラ起動」

- 「ピクチャー」フォルダにデータが保存されていないときは≪カメラ起動≫をタップします。

動画撮影モードのカメラを起動したい **[ビデオカメラ起動]**

≪メニュー≫→「データフォルダ」→「ムービー」→≪その他≫→「ビデオカメラ起動」

- 「ムービー」フォルダにデータが保存されていないときは≪ビデオカメラ起動≫をタップします。

ボイスレコーダーを起動したい **[録音]**

≪メニュー≫→「データフォルダ」→「着うた・メロディ」→≪その他≫→「録音」

- 「着うた・メロディ」フォルダにデータが保存されていないときは≪録音≫をタップします。

ファイルの保護／保護を解除したい 【保護設定】

≪メニュー≫→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→≪その他≫→「保護設定」→保護したいファイルの🔓→≪ OK ≫

- 保護を解除する場合には🔒をタップします。
- 保護すると、ファイル名の編集やファイルの移動、削除などが制限されます。

画像ファイルを各種の画面に設定したい 【登録】

≪メニュー≫→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→≪登録≫

■ ディスプレイの壁紙に設定するとき

「壁紙」→プレビューを確認→≪設定≫

■ 電話帳の着信画像に設定するとき

「個別着信画像」→設定したい電話帳を検索し、選択（➲P.2-21）→≪設定≫

■ TV コールの代替画像に設定するとき

「TV コール代替画像」→≪ OK ≫

- メモリカードに保存されているファイルを設定すると、ファイルを本機にコピーしてから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。著作権保護ファイルの場合は、移動してから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると設定が完了します。

サウンドファイルを通常モードの着信音に設定したい 【登録】

≪メニュー≫→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→■→≪メニュー≫→「登録」

■ 各機能の着信音に設定するとき

「音声着信音」／「TV コール着信音」／「メール着信音」／「S! ともだち状況着信音」／「着信お知らせ機能着信音」／「S! 速報ニュース着信音」／「配信確認着信音」

■ 各電話帳の着信音に設定するとき

「個別着信音」→設定したい電話帳を検索し、選択（➲P.2-21）

- メモリカードに保存されているファイルを設定すると、ファイルを本機にコピーしてから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。著作権保護ファイルの場合は、移動してから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると設定が完了します。
- MPEG4 ファイルのオーディオコーデックが AAC、AAC+、Enhanced AAC+ の場合は、著作権保護ファイルのみ設定できます。ただし、使用回数に制限のある著作権保護ファイルは設定できません。

動画ファイルを通常モードの着信音に設定したい 【登録】

≪メニュー≫→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→■→≪メニュー≫→「登録」

■ 各機能の着信音に設定するとき

「音声着信音」／「TV コール着信音」

■ 各電話帳の着信音に設定するとき

「個別着信音」→設定したい電話帳を選択（➲P.2-21）

- MPEG4（mp4、3gp）ファイルのオーディオコーデックが AAC、AAC+、Enhanced AAC+ の場合は、著作権保護ファイルのみ設定できます。ただし、使用回数に制限のある著作権保護ファイルは設定できません。

v ファイルを各機能に取り込みたい 【登録】

≪メニュー≫→「データフォルダ」→「その他ファイル」→≪その他≫→「登録」→項目を選択→ファイルを選択

- データフォルダに保存されている vCard ファイルや vCalender ファイルを電話帳やカレンダー、予定リストに登録します。

便利

メモリ容量確認に関する便利な機能

登録／保存した内容を削除してメモリを整理したい　**【削除】**

≪メニュー≫→「設定」→「メモリ設定」→「メモリ容量確認」→データを選択→≪削除≫→削除の対象とするデータを選択→削除したいデータをチェック→≪削除≫→「はい」

- 「全チェック」をタップした場合は、≪削除≫→操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫→「はい」をタップします。
- メールボックスやデータフォルダ、カレンダー／予定リスト、電話帳の内容を削除します。
- 削除する内容に機能や保護が設定されている内容が含まれているときは、削除するかどうかの確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると、削除が実行されます。「いいえ」を選択すると機能や保護の設定されていないファイルのみが削除されます。

通信／バックアップ

13

データのやり取りともしものときのバックアップ

本機では、赤外線通信などを利用したデータのやり取り、S! 電話帳バックアップを使ったバックアップを利用できます。
この章では、データのやり取り、バックアップについて説明します。
※ S! 電話帳バックアップは、ソフトバンクが提供する有料のオプションサービスです。

データのやり取り

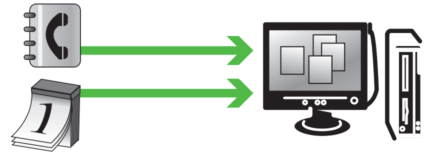
本機では、次の機能を使ってデータをやり取りできます。

- 赤外線通信（➲P.13-3）
- Bluetooth®（➲P.13-5）
- USB 接続（➲P.13-10）

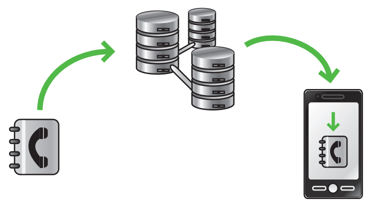


もしものときのバックアップ

本機では、メモリカードやパソコンにデータのバックアップをとることができます（➲P.13-11）。



S! 電話帳バックアップを使ってサーバにバックアップをとることもできます。
S! 電話帳バックアップを使うと、「携帯電話が水没したなど」ご自宅でのバックアップが消えても電話帳を復元できます。
バックアップをとった電話帳は、パソコンで編集することもできます（➲P.13-13）。



赤外線通信

本機など赤外線対応の携帯電話や、他の赤外線通信対応機器（パソコンなど）と無線で接続し、データの送受信ができます。

- 本機の赤外線通信機能は、IrMC1.1 に準拠しています。ただし、相手側の機器が IrMC1.1 に準拠していても、機能によっては送受信できないデータがあります。
- 通信中やメールの送受信中、インターネットの利用中に赤外線通信は行えません。
- 赤外線通信中は、通話やメッセージの受信などができません。
- 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、これらの影響によって正常に通信できないことがあります。

- 認証コードは、赤外線通信機器どうしが接続するためのパスワード（4 桁）です。データの一括送受信では、受信側／送信側とも同じ認証コードを入力する必要があります。

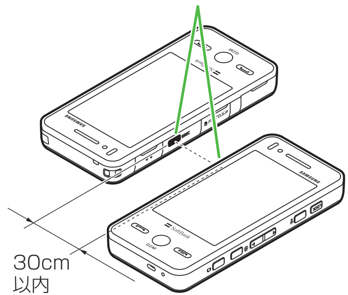
電話帳、オーナー情報、カレンダーのスケジュール、予定リスト、静止画、動画、音声ファイル、音楽ファイル、Flash® などを送受信できます。
また、電話帳、カレンダー／予定リスト、ブックマークを一括で送受信できます。

注意

- インターネットやメディアプレイヤーの利用中、メールやデータの編集中などは、赤外線通信でのデータ送信は行えません。
- 受信したデータの内容によっては、本機に正しく登録できなかったり、一部登録できないことがあります。

赤外線ポートの向き

- 受信側、送信側のソフトバンク携帯電話（または赤外線通信対応機器）を、30cm 以内に近づけます。このとき、両方の赤外線ポートがまっすぐに向き合うようにします。また、間に物を置かないようにしてください。



- データの送受信が終わるまで、お互いの赤外線ポートが向き合ったままの状態にして動かさないでください。
- 赤外線ポートが汚れていると通信しにくくなります。汚れているときは、傷つかないように柔らかい布で拭き取ってください。

- 正常に通信できないときは、再接続の確認メッセージが表示されます。「赤外線通信利用時のご注意」を確認したあと、「はい」を選択して再接続してください。

データを送信する

事前に送信先を受信待機の状態にしておきます。

データを 1 件ずつ送信する

1 データの送信操作

■ データフォルダ、カレンダー、ブックマークからデータを送信するとき
一覧画面で≪その他≫→「送信」→「赤外線通信」→送信したいデータをチェック→≪送信≫

■ 電話帳または予定リストからデータを送信するとき
一覧画面で≪送信≫→「赤外線通信」→送信したいデータをチェック→≪送信≫

■ メモ帳からデータを送信するとき
一覧画面で≪送信≫→「赤外線通信」→送信したいデータをタップ

- 機能によっては詳細画面や再生画面のメニューからも送信できます。

データを一括送信する

1 ≪メニュー≫→「赤外線通信」→「全件データ送信」

2 操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫

3 「電話帳」／「カレンダー／予定リスト」／「ブックマーク」

- 電話帳を選択した場合に、画像データを転送するときは、「はい」を選択します。

4 認証コード（4 桁）を入力→≪ OK ≫

データを受信する

データを 1 件ずつ受信する

1 ≪メニュー≫→「赤外線通信」→「On/Off 設定」の「On」

- Bluetooth® を「On」に設定しているときは、解除の確認メッセージが表示されます。赤外線通信を起動するには「はい」を選択します。
- データ受信の待機状態になります。

2 相手側機器から 3 分以内にデータを送信

3 着信ができなくなる旨の確認メッセージが表示されたら「はい」

4 保存の確認メッセージが表示されたら「はい」

- 絵文字ファイルを受信するときは、保存先を「ピクチャー」／「マイ絵文字」から選択します。
- 受信を中止するときは「キャンセル」をタップします。
- 受信を強制終了するときは [キー] を押します。

・vCardに着信画像が含まれる場合、着信画像のサイズが100Kバイトを超えると画像を削除して電話帳に登録します。

注意

・データの受信は、待受画面以外からは行えません。また、パネル消灯時自動ロック設定中や誤動作防止中、ソフトウェア更新中にデータ受信は行えません。

データを一括受信する

1 ≪メニュー≫→「赤外線通信」→「On/Off設定」の「On」

・Bluetooth® を「On」に設定しているときは、解除の確認メッセージが表示されます。赤外線通信を起動するには「はい」を選択します。
・データ受信の待機状態になります。

2 相手側機器から3分以内にデータを送信

3 着信ができなくなる旨の確認メッセージが表示されたら「はい」

4 認証コード（4桁）を入力→≪OK≫

・送信側と同じ認証コードを入力してください。

5 登録方法の選択操作

■追加登録するとき
「新規追加」

■すべてのデータを削除して登録するとき
「上書き」→「はい」→操作用暗証番号を入力→≪OK≫

・電話帳を受信した場合は、お客様のオーナー情報以外の電話帳は消去されます。オーナー情報が送信されてきたときは、電話番号以外の情報はすべて上書きされます。
・受信を中止するときは≪キャンセル≫をタップします。
・受信を強制終了するときは ⊂⊃ を押します。

使いこなしチェック!

設定

● 赤外線通信を設定／解除する（☞P.14-30）
● オーナーの情報を転送する（☞P.14-30）
● ファイルを送信する（☞P.14-30）
● データを一括送信する（☞P.14-30）

Bluetooth®

本機などBluetooth® 対応の携帯電話や、他のBluetooth® 対応機器と無線で接続し、データの送受信ができます。ハンズフリー機器と接続すれば、本機を手もとで操作することなく通話できます。ダイヤルアップ接続機器と接続して、インターネットなどにアクセスすることもできます。
Bluetooth® 通信を利用するには、相手機器もBluetooth® 対応機器であり、同じプロファイルに対応している必要があります。
Bluetooth® 対応のステレオヘッドフォンを接続することで、音楽を聴くことができます。
電話帳、オーナー情報、カレンダー／予定リストのスケジュール、予定リスト、静止画、動画、音声ファイル、音楽ファイルなどを送受信できます。
また、電話帳、カレンダー／予定リスト、ブックマークを一括で送受信できます。
本機のBluetooth® の仕様は次のとおりです。

項　目	仕　様
通信方式	Bluetooth® 標準規格 Ver.2.0
対応プロファイル	Headset Profile Hands-Free Profile Serial Port Profile Dialup Networking Profile File Transfer Profile Object Push Profile Advanced Audio Distribute Profile Audio/Video Remote Control Profile Basic Imaging Profile[1] Basic Printing Profile Generic Access Profile Service Discovery Protocol Generic Object Exchange Profile
出力	Bluetooth® Power Class1
見通し通信距離[2]	約 20 m 以内
使用周波数帯	2.4 GHz
Bluetooth® QD ID	B015147

1 本機ではプリント関連機能のみ対応しています。

2 相手機器との間の障害物や電波状況などによって変化します。

- 本機はすべての Bluetooth® 機器との無線接続を保証するものではありません。
- 相手機器が Bluetooth® 標準規格に適合していても、相手機器の特性や仕様によっては接続できなかったり、操作方法や表示、動作などが異なったり、データの送受信ができなかったりすることがあります。
- Bluetooth® 対応機器が使用する電波帯（2.4GHz）は、いろいろな機器が共有して使用する電波帯です。このため、他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下したり、通信が切断されることがあります。
- ワイヤレス通話やハンズフリー通話をするときに、接続機器や通信環境により、雑音が入ることがあります。
- Bluetooth® 対応のステレオヘッドフォンに接続して音楽を聴いている場合は、他の機器に接続することはできません。
- USB 機能と Bluetooth® 機能は同時に利用できません。
- 本機に USB ケーブルを接続するときは、Bluetooth® 機能を「Off」にする必要があります。

Bluetooth® 機能を設定／解除する

1 **≪メニュー≫→「設定」→「外部接続」→「Bluetooth」**

2 **≪ On ≫／≪ Off ≫**

- 赤外線通信を「On」に設定しているときは、解除の確認メッセージが表示されます。Bluetooth® を起動するには「はい」を選択します。

- 「On」に設定すると、ディスプレイ最上段に が表示され、Bluetooth® 対応機器と接続できるようになります。

Bluetooth® 対応機器を検索して登録する

接続したい Bluetooth® 対応機器を登録済みデバイスリストに登録します。最大 10 件登録できます。登録時には、本機と相手機器とで同じ認証コードを入力する必要があります。
あらかじめ、相手機器の Bluetooth® 機能を有効にしてから操作してください。

1 ≪メニュー≫→「設定」→「外部接続」→「Bluetooth」

2 ≪デバイス検索≫

- Bluetooth® 機能が「Off」のときは自動で「On」に設定され、デバイスを検索します。

3 検索に応答したデバイスが表示されたら、登録する機器をタップし、選択されたことを確認後ドラッグして へドロップ

4 認証コード（4 ～ 16 桁）を入力→≪ OK ≫

5 相手機器側で 30 秒以内に同じ認証コードを入力

- 相手機器と接続が完了し、相手機器のデータを参照したり取得したりできる状態になります。

- 認証コードは、Bluetooth® 対応機器どうしが接続するためのパスワード（4 ～ 16 桁）です。相手がハンズフリー機器などの場合は、ハンズフリー機器側で決められている認証コードを入力します。一度登録した機器は次回からは認証コードの入力が不要になります。
- 相手機器との認証が正常に行われなかったときは、もう一度認証を行うかどうかの確認メッセージが表示されます。行うときは「はい」を選択して操作 4 からやり直してください。
- 登録済みデバイスがすでに 10 件登録されているときは、一番古いデバイスが削除され、新たに登録できます。すべてが認証済みの場合は、登録済みのデバイスがいっぱいである旨のメッセージが表示されます。
- デバイスのアイコン

：パソコン	：携帯電話
：その他	：プリンタ
：ハンズフリー機器／ヘッドセット	

- 他の Bluetooth® 対応機器から接続要求がある旨の確認メッセージが表示されたときは、「はい」を選択し、30 秒以内に相手側と同じ認証コードを入力します。すでに登録済みのハンズフリー機器などから接続要求があったときは、「はい」を選択すると認証コードの入力操作なしで接続できます。

接続したデバイスのデータを参照する

相手機器の共有フォルダや共有ファイルを参照できます。参照している側からの操作で、データやフォルダを受信したり、削除したりすることもできます。

1 ≪メニュー≫→「設定」→「外部接続」→「Bluetooth」

2 登録済みデバイスのアイコンをタップ→「ブラウズデバイス」

3 参照される側で接続を承認する操作

データを送信する

データを1件ずつ送信する

1 データの送信操作

■ データフォルダ、カレンダーのスケジュール、ブックマークからデータを送信するとき

一覧画面で≪その他≫→「送信」→「Bluetooth」→送信したいデータをチェック→≪送信≫→確認メッセージが表示されたときは「はい」

■ 電話帳、予定リスト、メディアプレイヤーからデータを送信するとき

一覧画面で≪送信≫→「Bluetooth」→送信したいデータをチェック→≪送信≫→転送の確認画面が表示されます。Bluetooth 画面へ移動します。

■ メモ帳からデータを送信するとき

一覧画面で≪送信≫→「Bluetooth」→送信したいデータをタップ

2 送信先のデバイスのアイコンをタップし、選択されたことを確認

3 送信するデータのアイコンを[icon]へドロップ

- 受信側が通信を承認すると、送信が始まります。
- 送信先が登録されていないときは、周辺デバイスを検索し、登録します。

> • 機能によっては、詳細画面や再生画面のメニューからも送信できます。

データを一括送信する

1 ≪メニュー≫→「設定」→「外部接続」→「Bluetooth」→≪全件データ送信≫

2 送信先のデバイスのアイコンをタップし、選択されたことを確認

3 送信するデータのアイコンを[icon]へドロップ→操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫

- 送信先が登録されていないときは、周辺デバイスを検索し、登録します。

4 「電話帳」／「カレンダー／予定リスト」／「ブックマーク」

- 電話帳を選択した場合に、画像データを転送するときは、「はい」を選択します。

データを受信する

データを 1 件ずつ受信する

送信側からの接続を承認すると受信が開始され、データが保存されます。

1 データ交換の確認メッセージが表示されたら「はい」

2 データ受信の確認メッセージが表示されたら「はい」

- 絵文字ファイルを受信するときは、保存先を「ピクチャー」／「マイ絵文字」から選択します。

> • フォルダを受信したときは、すべてデータフォルダの「その他ファイル」フォルダに保存されます。
> • vCard に着信画像が含まれる場合、着信画像のサイズが 100K バイトを超えると画像を削除して電話帳に登録します。

データを一括受信する

1 ≪メニュー≫→「設定」→「外部接続」→「Bluetooth」→≪ On ≫

- 赤外線通信を「On」に設定しているときは、解除の確認メッセージが表示されます。Bluetooth® を起動するには「はい」を選択します。
- データ受信の待機状態になります。送信側からデータを送信してください。

2 データ交換の確認メッセージが表示されたら「はい」

3 登録方法の選択操作

■ 追加登録するとき
「追加」

■ すべてのデータを削除して登録するとき
「上書き」→「はい」→操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫

- 電話帳を受信した場合は、お客様のオーナー情報のみ消去されません。オーナー情報が送信されてきたときは、電話番号以外の情報はすべて上書きされます。
- 受信を中止するときは≪キャンセル≫をタップします。
- 受信を強制終了するときは ⊂⊃ を押します。

ステレオヘッドフォンなどで音楽を聴く

メディアプレイヤーの再生音をBluetooth® 対応のステレオヘッドフォンやヘッドセットに接続して聴くことができます。

設定する

1 ≪メニュー≫→「メディアプレイヤー」／「TV」→「設定」→「サウンド設定」（「TV」の場合のみ）→「オーディオ出力設定」

2 「Bluetooth 機器」を選択

3 接続先のデバイスをタップし、選択されたことを確認

4 接続するヘッドフォンのアイコンを [icon] へドロップ

再生中に切り替える

1 メディアプレイヤーでミュージックまたはムービーを再生

2 ≪ヘッドフォンに接続≫

- 事前に接続するデバイスを選択している場合は、選択されているデバイスに自動的に接続します。

3 接続先のデバイスをタップし、選択されたことを確認

4 接続するヘッドフォンのアイコンを [icon] へドロップ

- 接続先が登録されていないときは、周辺デバイスを検索し、登録します。

- ミュージック再生中に音声出力をヘッドフォンから本機に切り替えるには、≪本体で聴く≫をタップします。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.13-16

- 接続したデバイスのデータを削除したい
- 個別に周辺デバイスを検索したい

設定

- Bluetooth® 機能を設定／解除する（☞P.14-29）
- Bluetooth® 対応機器を検索して登録する（☞P.14-29）
- 電話帳、カレンダー／予定リスト、ブックマークをそれぞれ一括送信する（☞P.14-29）
- 本機の表示名を編集する（☞P.14-29）
- 本機の機器アドレスを確認する（☞P.14-29）
- 他の Bluetooth® 機器から検索／登録する（☞P.14-29）
- データ転送時の認証を設定する（☞P.14-29）
- ハンズフリー機器接続時の通話の開始方法を設定する（☞P.14-29）
- 着信時の応答方法を設定する（☞P.14-29）
- 着信時の応答時間を設定する（☞P.14-30）
- S! アプリの通信を設定／解除する（☞P.14-30）
- 利用できる Bluetooth® の機能を確認する（☞P.14-30）

USB 接続

本機を USB ケーブルでパソコンと接続し、データを送受信することができます。プリンタと接続して静止画を印刷することもできます。
本機は USB2.0 に対応しています。
本機をUSBケーブルでパソコンと接続する前に、USB ドライバと Samsung New PC Studio をインストールする必要があります。インストール手順やご利用いただけるパソコンの動作環境などについては SAMSUNG ホームページ（http://jp.samsungmobile.com/pc/lineup/931download.html）でご確認ください。

USB 接続でできること

次のような操作ができます。

- パソコン側からの操作で本機のデータフォルダのファイルを転送する
- パソコン側から送信されたファイルを受信し、データフォルダに保存する
- パケット通信をする

注意

- 携帯電話とパソコンや PDA を接続してインターネットをご利用いただく場合（モバイルデータ通信）は、短期間で大量のパケット通信が行われることが多く、パケット通信料が高額となる可能性がございます。ご利用される場合は、通信料をご確認いただきながらご利用いただくことをおすすめします。

カードリーダーモードでデータを送受信する

メモリカードを取り付けた状態の本機とパソコンをUSBケーブルで接続することで、パソコンからメモリカードにアクセスしてデータの読み書きができます。

パソコンに接続する／取り外す

1. 本機とパソコンをUSBケーブルで接続
2. ≪メニュー≫→「設定」→「外部接続」→「USB接続モード」→「カードリーダーモード」→「はい」
3. 操作用暗証番号を入力→≪OK≫
4. パソコンからデータを読み書き

- S! メールの受信中やSamsung New PC Studioの利用中、S! ともだち状況で「私の状況」が「オンライン」になっている場合などは、カードリーダーモードはご利用になれません。
- カードリーダーモードでの利用中は、通話やメッセージの受信などができません。

5. パソコンでハードウェアデバイスの取り外し操作
6. 接続中に≪終了≫
7. USBケーブルの取り外し

注意

- ハードウェアデバイスの取り外し操作を行うまでは、絶対にUSBケーブルを抜かないでください。

使いこなしチェック!

設定

- カードリーダーモードを起動する（☞P.14-30）
- PCとの同期モードを起動する（☞P.14-30）

メモリカードバックアップ

本機では、電話帳などのデータをメモリカードへバックアップ（一括保存）できます。バックアップしたデータはあとで読込み（一括復元）できます。

- あらかじめバックアップしておけば、大事なデータを誤って消してしまったときでも、あとで復元できます。
- データの種類ごとに1つのバックアップファイルとして保存されます（転送日のファイル名が付きます）。
- バックアップできるデータの種類は次のとおりです。
  - 電話帳
  - カレンダー
  - 予定リスト
  - コンテンツ・キー
  - ブックマーク

- バックアップは、個人データの保存や同機種間（microSD™メモリカード対応機）での情報共有、または機種変換時の個人データの移動などの目的で行うことをおすすめします。

メモリカードバックアップ時のご注意

- 電池残量が少ないときは、利用できません。
- バックアップやデータ読込み中は、電話やメールは利用できません（着信もできません）。
- データの内容によっては、バックアップできないことがあります。また、バックアップしたデータの内容によっては、他のソフトバンク携帯電話やパソコンなどで利用できないことがあります。
- 本機またはメモリカードの空き容量が少ないときは、バックアップが正常に行えないことがあります。
- 本機に保存できる予定／用件は、カレンダーと予定リストを合わせて最大500件です。メモリカードからの読込み中、500件に達すると、確認メッセージが表示され、超過分は登録されません。
- バックアップ時、ブックマークのデータは、Yahoo!ケータイ、PCサイトブラウザのブックマークのデータをバックアップします。
- バックアップしたブックマークのサイズが大きいとき、データ形式によっては正しく読み込めないことがあります。
- 電話帳のバックアップ時、電話帳に設定した画像のサイズによっては、バックアップデータに含まれないことがあります。
- メモリカードにバックアップファイルとして保存されたあとは、メモリカードから読み込むまでは、本機でデータの内容を確認できません。
- コンテンツ・キーをバックアップするときは、次の点にご注意ください。
  - コンテンツ・キーのバックアップファイルは1つしか保存できないため、再度別のコンテンツ・キーをバックアップすると、前回のバックアップファイルは確認メッセージが表示されて上書きされます（前回バックアップしたファイルを残したいときは、メモリカードからコンテンツ・キーのバックアップファイルを本機へ読み込んだあと、あらためてバックアップの操作を行ってください）。
  - メモリカードへバックアップ時、コンテンツ・キーは本機からメモリカードへ移動するため、コンテンツ・キーを移動したファイルは使用できなくなります。
  - 本機へ読込み時、コンテンツ・キーは、本機内のコンテンツ・キーを上書きせず、追加します。

メモリカードにバックアップする

1. **≪メニュー≫→「設定」→「メモリ設定」→「メモリカード」**
2. **≪メモリカードへ保存≫**
3. **「はい」→操作用暗証番号を入力→≪OK≫**
4. **「電話帳」／「カレンダー」／「予定リスト」／「コンテンツ・キー」／「ブックマーク」**
5. **確認メッセージが表示されたら「はい」**
   - バックアップを中止するときは≪キャンセル≫をタップします。
   - 「コンテンツ・キー」を選択した場合に、メモリカードに以前バックアップした「コンテンツ・キー」のバックアップファイルがあるときは、上書きをするかどうかの確認メッセージが表示されます。上書きをするには「はい」を選択します。

メモリカードから読み込む

1. ≪メニュー≫→「設定」→「メモリ設定」→「メモリカード」
2. ≪メモリカードから読込み≫
3. 「はい」→操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫
4. 「電話帳」／「カレンダー」／「予定リスト」／「コンテンツ・キー」／「ブックマーク」
5. ファイルを選択
   - バックアップファイルを削除するときは、≪削除≫→削除したいファイルをチェック→≪削除≫→「はい」をタップします。
6. 「追加」／「上書き」
   - 復元を中止するときは≪キャンセル≫をタップします。

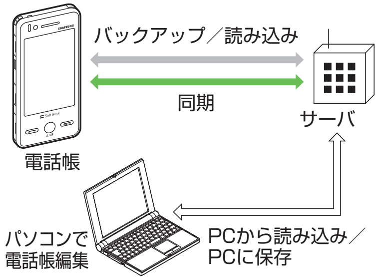
使いこなしチェック!

設定

- メモリのバックアップをとる（☞P.14-28）
- バックアップしたデータから復元する（☞P.14-28）

S! 電話帳バックアップを利用する

S! 電話帳バックアップとは、本機の電話帳をサーバにバックアップしたり、本機の電話帳とサーバ内の電話帳の同期をとる（同じ状態にする）ことができるサービスです。本機の破損時や紛失時の備えとして、便利にお使いいただけます。



- S! 電話帳バックアップのご利用には、別途お申し込みが必要です（有料）。
- 機種変更をしても、他の S! 電話帳バックアップ対応機で電話帳を引き継ぐことができます。
- ご利用のお申し込み後は、ネットワーク自動調整実行時に自動同期設定※が「On」になり、電話帳編集後に自動でバックアップを行います。

- お客様ご自身で自動同期設定を「Off」に設定した場合も、再度ネットワーク自動調整を実行すると自動的に「On」に変更されますので、ご注意ください。
- サービス解約後は、自動同期設定が「Off」になっていることをご確認ください。

※自動同期設定の「同期モード」は「通常同期」に設定されます。電話帳を編集してから約 10 分後に同期が実行されます。

注意

- S! 電話帳バックアップのご利用時（バックアップ／読込み、同期）には、パケット通信料が発生します。

- 次の項目は S! 電話帳バックアップで同期できません。「サーバーから読込み」を行うと、本機本体の電話帳の設定が失われますので、ご注意ください。
  - フォト
  - 着信音設定、バイブ設定（音声着信／TV コール着信／メール着信／ S! ともだち状況）
  - 血液型
  - 趣味
- バックアップ／読込みのタイミングや同期の方向にご注意ください。
  - 本機本体の電話帳をすべて削除したあと「通常同期」、「本体変更データ送信」、「サーバーへバックアップ」を行うと、サーバ内の電話帳もすべて削除されます。
  - サーバ内の電話帳をすべて削除したあと「通常同期」、「サーバー変更データ受信」、「サーバーから読込み」を行うと、本機本体の電話帳もすべて削除されます。
- 電話番号など、複数登録できる項目の登録可能件数が、本機（または機種変更後の機種）とサーバとで異なる場合に、同期を行うと、両方とも少ない方の件数に統一されます。
- 3G シリーズに機種変更したときのサービスの継続については、次のとおりです。

内　容	説　明
S! 電話帳バックアップ対応	サーバ内の電話帳は保持され、そのままお使いいただけます。
S! 電話帳バックアップ非対応	S! 電話帳バックアップの契約は継続され、サーバ内の電話帳は保持されます。ただし、携帯電話からの操作はできません（パソコンからの操作だけになります）。

- S! 電話帳バックアップを解約すると、サーバ内の電話帳は削除されます。

同期モードの種類は次のとおりです。

同期モード	説　明
通常同期	本機の電話帳更新情報のバックアップ、サーバ上の電話帳の更新情報読込みを同時に行います。[1]
本体変更データ送信	本機の電話帳更新情報をバックアップします。[2]
サーバー変更データ受信	サーバ上の電話帳更新情報を読込みます。[3]
サーバーへバックアップ	既存のサーバ上の電話帳をすべて消去し、新たに本機の電話帳をすべてバックアップします。[4]
サーバーから読込み	既存の本機の電話帳をすべて消去し、新たにサーバ上の電話帳をすべて読込みます。ただし、本機の電話帳が保存できる件数以上は読み込めません。サーバ上の電話帳で編集を行った日付が新しい順に本機の電話帳に読み込まれます。[5]

1 本機の電話帳とサーバ上の電話帳で同じフィールドを更新していた場合は、基本的にサーバ上の電話帳更新情報を優先します。

2 サーバ上の電話帳更新情報は本機へは反映されません。

3 本機の電話帳更新情報はサーバ上の電話帳へは反映されません。

4 サーバ上の電話帳はすべて消去されますので、ご注意ください。

5 本機の電話帳はすべて消去されますので、ご注意ください。

- 初めて利用する場合や、前回の同期が途中でキャンセルされるなど正常に終了しなかったあとに同期を行った場合は、設定にかかわらず「全部同期」が行われます。

電話帳の同期を行う

サーバで管理している電話帳に接続して、本機の電話帳との違いを補い合うことができます。

1 **≪メニュー≫→「電話帳」→「S! 電話帳バックアップ」→「同期開始」**

2 **操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫**

3 **「通常同期」／「本体変更データ送信」／「サーバー変更データ受信」／「サーバーへバックアップ」／「サーバーから読込み」→「はい」→「OK」**

注意

- 同期を開始すると、ネットワークに接続します。ネットワークの接続中は通信料が発生します。同期が終了すると、自動的にネットワークの接続を解除します。

電話帳の自動同期設定を行う

「自動同期設定」を「On」に設定すると、同期頻度と同期モードを設定する必要があります。

自動同期を設定する

1 ≪メニュー≫→「電話帳」→「S! 電話帳バックアップ」→「自動同期設定」→操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫

2 「On/Off 設定」の「On」

3 「同期モード」

4 「通常同期」／「本体変更データ送信」／「サーバー変更データ受信」／「サーバーへバックアップ」／「サーバーから読込み」

5 「同期頻度」→「頻度」

6 設定の選択操作

■ 月に 1 回バックアップするとき
「毎月」→時刻欄をタップ→時刻を入力→日付欄をタップ→日付を入力

■ 週に 1 回バックアップするとき
「毎週」→時刻欄をタップ→時刻を入力→曜日欄をタップ→曜日を選択

■ 電話帳編集 10 分後にバックアップするとき
「電話帳編集後」

7 ≪保存≫

- 自動同期設定解除するには、「On/Off 設定」で「Off」を選択します。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.13-17

- S! 電話帳バックアップの履歴を削除したい

便利な機能

便利

Bluetooth® に関する便利な機能

接続中のデバイスを解除したい

≪メニュー≫→「設定」→「外部接続」→「Bluetooth」→登録済みデバイスのアイコンをタップ→「削除」

接続したデバイスのデータを取得したい

≪メニュー≫→「設定」→「外部接続」→「Bluetooth」→登録済みデバイスのアイコンをタップ→「ブラウズデバイス」→参照される側で接続の承認操作

■ **ファイルを 1 件取得するとき**
相手のファイルの保存場所を選択→取得したいファイルを選択

■ **サブフォルダ／ファイルを複数取得するとき**
ファイルの保存場所を選択→≪取得≫→「フォルダ」／「ファイル」→取得したいファイルをチェック→≪取得≫

■ **フォルダごと取得するとき**
≪取得≫→「フォルダ」→取得したいフォルダを選択

接続したデバイスのデータを削除したい　【削除】

≪メニュー≫→「設定」→「外部接続」→「Bluetooth」→登録済みデバイスのアイコンをタップ→「ブラウズデバイス」→参照される側で接続の承認操作→フォルダを選択→≪削除≫→削除したいファイルをチェック→≪削除≫→参照される側で削除の承認操作

接続したデバイスの内容を確認したい

≪メニュー≫→「設定」→「外部接続」→「Bluetooth」→確認したいデバイスのアイコンをタップ→「デバイス情報」

接続したデバイスの登録名を編集したい

≪メニュー≫→「設定」→「外部接続」→「Bluetooth」→デバイス名を変更したいデバイスのアイコンをタップ→「デバイス名変更」→デバイス名を編集

接続したデバイスの認証を設定したい

≪メニュー≫→「設定」→「外部接続」→「Bluetooth」→認証設定したいデバイスのアイコンをタップ→「デバイス認証」／「デバイス認証拒否」

- 「デバイス認証」時に操作すると、「デバイス認証拒否」になります。

接続したデバイスを削除したい

≪メニュー≫→「設定」→「外部接続」→「Bluetooth」→削除したいデバイスのアイコンをタップ→「削除」→「はい」

個別に周辺デバイスを検索したい　【デバイス別検索】

≪メニュー≫→「設定」→「外部接続」→「Bluetooth」→≪その他≫→「デバイス別検索」→項目を選択

- 「Bluetooth アドレス」を選択したときは、アドレスを入力します。

便利

S! 電話帳バックアップに関する便利な機能

S! 電話帳バックアップの履歴を確認したい

≪メニュー≫→「電話帳」→「S! 電話帳バックアップ」→「同期ログ」→ログを選択

S! 電話帳バックアップの履歴を削除したい　【削除】

≪メニュー≫→「電話帳」→「S! 電話帳バックアップ」→「同期ログ」→≪削除≫→削除したい履歴をチェック→≪削除≫

メモ

カスタマイズ

14

設定

本体機能の設定

本体機能に関する設定

共通操作 ≪メニュー≫→「設定」→「一般設定」

ディスプレイの表示言語を切り替える お買い上げ時 日本語	「Language」→項目を選択
タイムゾーンの更新の設定をする お買い上げ時 最初に確認	「時計設定」→「タイムゾーン設定」→「タイムゾーンの更新」→項目を選択
時刻を設定する	「時計設定」→「日時設定」→「時刻」→時刻を入力→≪ OK ≫ ・ 設定しないとご利用になれない機能があります。
日付を設定する	「時計設定」→「日時設定」→「日付」→年月日を入力→≪ OK ≫ ・ 設定しないとご利用になれない機能があります。
タイムゾーンを変更する お買い上げ時 GMT+09:00	「時計設定」→「タイムゾーン設定」→「タイムゾーン」→画面を左右にスクロールして目的の都市をタップ→≪保存≫ ・ 画面上部のタブをタップしても、地域を切り替えることができます。 ・ お使いの地域に合わせて日付や時刻を切り替えます。「ウィジェット設定」で「2ヶ国時計」を設定するには、あらかじめこの設定を行います。
サマータイムを設定する お買い上げ時 OFF	「時計設定」→「タイムゾーン設定」→「タイムゾーン」→画面を左右にスクロールして目的の都市をタップ→OFF→≪保存≫ ・ OFFをタップすると、ONに切り替わります。
日付の表示形式を変更する お買い上げ時 年/月/日	「時計設定」→「表示形式設定」→「日付表示形式」→項目を選択
時刻の表示形式を変更する お買い上げ時 24 時間	「時計設定」→「表示形式設定」→「時刻表示形式」→項目を選択
時刻補正を設定する お買い上げ時 自動補正:On	「時計設定」→「日時設定」→「時刻補正」→「自動補正」の「On」/「Off」 ・ 自動補正を行うタイミングを設定するときは、「補正タイミング」→設定する項目をチェック→≪保存≫をタップします。 ・ 「即時補正(手動)」をタップすると、ただちに時刻補正を行います。
ユーザー辞書を登録する	「ユーザー辞書」→≪新規作成≫→語句欄をタップ→単語や文を入力→読み欄をタップ→ヨミガナを入力→≪保存≫
ユーザー辞書の登録内容を編集する	「ユーザー辞書」→編集する内容を選択→語句やヨミガナを編集→≪保存≫

ユーザー辞書の登録内容を削除する	「ユーザー辞書」→≪削除≫→削除する語句をチェック→≪削除≫→「はい」

タッチパネルに関する設定

共通操作 ≪メニュー≫→「設定」→「タッチパネル設定」

タッチパネル消灯時の自動ロックを設定する **お買い上げ時** On	「パネル消灯時自動ロック」の「On」／「Off」
タッチパネル操作時の確認音の音量とバイブレータの強度を設定する **お買い上げ時** 音量：レベル 0、タッチ操作バイブ：レベル 3	「操作音・バイブ」→設定する項目の音量／バイブレータ強度を調節
タッチスクリーンの調整をする	「タッチスクリーン調整」→≪開始≫→画面に従って「＋」を順番にタップ ・ 中止するときは≪キャンセル≫をタップします。

設定

音／バイブレータ／着信ライトの設定

音／バイブレータに関する設定

共通操作 ≪メニュー≫→「設定」→「音・バイブ設定」

音量を設定する **お買い上げ時** 音声着信／ TV コール着信／メール着信／ S! ともだち状況着信／着信お知らせ機能／配信確認／効果音：レベル 3、S! 速報ニュース：レベル 0	「音量」→設定する項目の音量を調節 ・ 「着信音調節機能」が「On」の場合、レベル 1 の音量で 2 秒間呼び出したあと、設定されている音量で呼び出します。 ・ 着信中に音量を調節するには、着信中に [▲] ／ [▼] を押します。 ・ 着信時やメール受信時のお知らせをミュート（表示のみ）にするには、「音量」を「0」にし、「バイブ」を「Off」にします。ミュートにしているときは、ディスプレイに [ミュート] が表示されます。
音声通話／ TV コールの着信音を設定する **お買い上げ時** 音声着信：Young hopefuls.mp4、TV コール着信：Samsung Tune.mp4	「着信音」→「音声着信」／「TV コール着信」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択 ・ [▶] をタップするとファイルが再生されます。
電話以外の着信音を設定する **お買い上げ時** A Toy Box.mp4	「着信音」→設定する項目の着信音欄をタップ→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択 ・ [▶] をタップするとファイルが再生されます。

電話以外の着信鳴動時間を設定する お買い上げ時 5 秒	「着信音」→項目を選択→「鳴動時間」→時間を入力
バイブレータを設定する お買い上げ時 Off	「バイブ」→項目を選択→パターンを選択 ・ ▶をタップすると、バイブレータが振動して確認できます。
効果音を設定する お買い上げ時 ポップアップ音／通話終了音／通話中イベント通知：On、通話時間通知（毎分）／呼び出し開始音／電源 On／電源 Off：Off	「効果音」→設定する項目をチェック→≪保存≫ ・ モードによって、設定できない項目があります。

•「設定」の「音・バイブ設定」は、通常モードの設定内容を変更するためのメニューです。他のモードの内容は変更されません。

着信ライトに関する設定

共通操作 ≪メニュー≫→「設定」→「音・バイブ設定」

受信中に点滅する照明の色を設定する お買い上げ時 音声着信／TV コール着信／メール着信／S! ともだち状況着信／着信お知らせ機能／アラーム／配信確認：グリーン、S! 速報ニュース：Off	「着信ライト」→項目を選択→色を選択 ・「Off」を選択すると、照明の点滅でお知らせしません。 ・ ▶をタップすると着信ライトが点滅します。
不在時に着信などがあったことをお知らせする照明の色を設定する お買い上げ時 不在着信／着信お知らせ機能：ブルー、メール着信／配信確認：グリーン、簡易留守録：ホワイト、S! ともだち状況着信：ライトブルー、アラーム：ピンク	「通知ライト」→項目を選択→色を選択 ・「Off」を選択すると、照明の点滅でお知らせしません。 ・ ▶をタップすると着信ライトが点滅します。

画像／文字表示の設定

画像や文字表示に関する設定

共通操作 ≪メニュー≫→「設定」→「ディスプレイ設定」

メインメニューの設定を変更する お買い上げ時 スウィートカクテル（ランダム）	「メインメニュースタイル」→項目を選択→スタイルを選択
メニューのカラーテーマを設定する お買い上げ時 ブルー	「カラーテーマ」→項目を選択
ディスプレイの壁紙の設定を変更する お買い上げ時 Colored pencil.jpg	「壁紙」→（➔P.2-7 ディスプレイの壁紙を設定する ❷）
よく使う機能をウィジェットバーに登録する お買い上げ時 17 個のウィジェット（アナログ時計、カレンダー、アラーム、ライト、S! 情報チャンネル、S! 速報ニュース、トップ 3、ミニプレイヤー、お絵かきアニメ、S! アプリ、赤外線、電話帳、Yahoo! ケータイブックマーク、S-1 バトル、コンテンツ得パック、選べるかんたん動画、ウィジェット設定）	「ウィジェット設定」→登録する項目をチェック→≪ OK ≫ ・ 最大 17 個まで登録できます。
文字について設定する お買い上げ時 文字 1	「文字タイプ」→項目を選択
メール本文の文字サイズを変更する お買い上げ時 標準	「文字サイズ」→「メール」→項目を選択
Yahoo! ケータイの情報画面の文字サイズを変更する お買い上げ時 標準	「文字サイズ」→「Yahoo! ケータイ」→項目を選択
PC サイトブラウザの情報画面の文字サイズを変更する お買い上げ時 標準	「文字サイズ」→「PC サイトブラウザ」→項目を選択
ディスプレイの明るさを調整する お買い上げ時 自動	「バックライト」→「バックライト点灯設定」→「明るさ」→「自動･手動設定」の「自動」／「手動」 ・ 「手動」を選択した場合は、レベル欄で明るさを調節します。
バックライト点灯時間を設定する お買い上げ時 15 秒	「バックライト」→「バックライト点灯設定」→「通常点灯時間」→項目を選択 ・ 「Off」に設定すると、画面が暗くなります。 ・ 設定した時間を経過すると画面が暗くなります。

バックライトの省電力点灯時間を設定する お買い上げ時 15 秒	「バックライト」→「省電力点灯時間」→項目を選択 ・ 設定した時間を経過するとディスプレイが消灯します。
事業者名の表示設定をする お買い上げ時 Off	「事業者名表示」の「On」/「Off」

設定

マナーモードの設定

マナーモードに関する設定

マナーモードを切り替える	≪メニュー≫→「設定」→「マナーモード設定」→項目を選択 ・ 各モードの設定内容を変更するには、≪編集≫→設定したいモードを選択→各項目の設定をします。

設定

通話の設定

通話に関する設定

共通操作 ≪メニュー≫→「設定」→「通話設定」

呼び出し時間なしで留守番電話サービスを開始する	「通話サービス」→「留守番･転送電話」→「留守番 On」→「呼出なし(0 秒)」
呼び出し時間を設定して留守番電話サービスを開始する	「通話サービス」→「留守番･転送電話」→「留守番 On」→「呼出あり(5-30 秒)」→項目を選択
転送電話サービスを設定する	「通話サービス」→「留守番・転送電話」→「転送 On」→通話の種類を選択→設定を選択→項目を選択→転送先の設定操作 ・「呼出あり(5-30 秒)」を選択した場合は、呼出時間を選択します。
留守番電話サービス/転送電話サービスを解除する	「通話サービス」→「留守番･転送電話」→「留守番･転送全て Off」→「はい」
留守番電話サービス/転送電話サービスの設定を確認する	「通話サービス」→「留守番・転送電話」→「設定確認」
留守番電話の伝言メッセージを聞く	「通話サービス」→「留守番・転送電話」→「留守番再生」→ [キー] /≪発信≫
割込通話サービスを開始/解除する	「通話サービス」→「割込通話」→「On」/「Off」

割込通話サービスの設定を確認する	「通話サービス」→「割込通話」→「設定確認」
発信規制を設定する	「通話サービス」→「発着信規制」→「発信規制」→項目を選択→「On」／「Off」→規制暗証番号を入力→≪ OK ≫
着信規制を設定する	「通話サービス」→「発着信規制」→「着信規制」→項目を選択→「On」／「Off」→規制暗証番号を入力→≪ OK ≫
発着信規制の制限をすべて解除する	「通話サービス」→「発着信規制」→「規制全停止」→規制暗証番号を入力→≪ OK ≫→「はい」
発着信規制の設定を確認する	「通話サービス」→「発着信規制」→「設定確認」→項目を選択
発着信規制用暗証番号を変更する	「通話サービス」→「発着信規制」→「規制暗証番号」→現在の規制暗証番号を入力→≪ OK ≫→新しい規制暗証番号を入力→≪ OK ≫→もう一度新しい規制暗証番号を入力→≪ OK ≫
着信お知らせ機能を設定する	「通話サービス」→「着信お知らせ機能」→ ／≪発信≫
ネットワークモードを切り替える **お買い上げ時** 自動	「通話サービス」→「国際設定」→「3G/GSM 選択」→項目を選択 ・「手動」で選択できる項目は、「3G/GSM」／「3G」／「GSM」です。
国際コードを登録する **お買い上げ時** 0046010	「通話サービス」→「国際設定」→「国際コード」→操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫→国際コードを入力
国番号を追加／編集／削除する **お買い上げ時** 日本、韓国、イギリス、イタリア、スイス、スペイン、ドイツ、ポルトガル、オランダ、フランス、モナコ、アメリカ合衆国、スウェーデン、オーストラリア、中国、香港、台湾	「通話サービス」→「国際設定」→「国番号リスト」→追加／編集／削除の操作 ・追加するときは、≪追加≫→「国名」→国名を入力→「国番号」→国番号を入力→≪ OK ≫ ・変更するときは、国番号リストから変更したい項目を選択→「国名」→国名を入力→「国番号」→国番号を入力→≪ OK ≫をタップします。 ・削除するときは、≪削除≫→削除したい項目をチェック→≪削除≫→「はい」を選択します。
接続するネットワークを選択する	「通話サービス」→「国際設定」→「事業者設定」→「自動・手動選択」→項目を選択 ・「手動」を選択したときは、ネットワークを選択します。

優先されるネットワークをリストから設定する	「通話サービス」→「国際設定」→「事業者設定」→「優先度リスト」→≪追加≫→「ネットワークリスト」→挿入したいネットワークを選択
優先されるネットワークを新規追加する	「通話サービス」→「国際設定」→「事業者設定」→「優先度リスト」→≪追加≫→「新規ネットワーク」→「国番号」→国番号を入力→「ネットワークコード」→ネットワークコードを入力→「ネットワーク名」→ネットワーク名を入力→「ネットワークタイプ」→項目を選択→≪追加≫
すべての通話の合計通話時間／合計通話料金を確認する	「通話時間・料金」→「累積」 ・ 通話時間／通話料金をリセットするには、≪リセット≫→ PIN2 コードを入力→≪ OK ≫をタップします。
前回の通話時間／通話料金を確認する	「通話時間・料金」→「直前の通話」 ・ 前回の通話時間／通話料金をリセットするには、≪リセット≫をタップします。
累積データ通信量を確認する	「通話時間・料金」→「累積データ通信量」 ・ 送信データ量／受信データ量をリセットするには、≪リセット≫をタップします。
通話終了後に通話料金を表示するかどうか設定する お買い上げ時 Off	「通話時間・料金」→「通話後料金表示」の「On」／「Off」 ・ 本機能はご利用になれない場合があります。
通話料金の通貨単位を変更する	「通話時間・料金」→「通貨設定」→ PIN2 コードを入力→≪ OK ≫→レート欄をタップ→円に対するレートを入力→通貨欄をタップ→通貨単位を入力→≪保存≫
通話料金の限度額を設定する	「通話時間・料金」→「通話料金上限設定」→「編集」→ PIN2 コードを入力→≪ OK ≫→通話料金上限設定欄をタップ→通話料金上限設定を入力→≪保存≫ ・ 通話料金の上限を超えると、緊急電話発信を除くすべての電話の発信やメールの送受信、ウェブ接続（通話料、通信料が課金される操作）ができなくなります。 ・「通話後料金表示」がご利用になれない場合、通話料金の限度額を設定する機能はご利用になれません。

通話料金の限度額の設定を解除する	「通話時間・料金」→「通話料金上限設定」→「リセット」→ PIN2 コードを入力→≪ OK ≫
簡易留守録を設定する お買い上げ時 Off	「簡易留守録」→「On/Off」の「On」／「Off」
簡易留守録の応答時間を設定する お買い上げ時 18 秒	「簡易留守録」→「応答時間」→項目を選択 ・「その他」を選択した場合は、時間を入力します。
簡易留守録に録音された用件を確認する	「簡易留守録」→「留守録再生」→用件を選択 ・ 録音された用件を削除するには、≪削除≫→削除したい用件をチェック→≪削除≫→「はい」を選択します。 ・ →「着信履歴」→確認したい履歴を選択→ →用件を選択しても確認できます。
応答メッセージの言語を設定する お買い上げ時 日本語	「簡易留守録」→「応答言語」→項目を選択
自画像の代わりに送信する代替画像をお買い上げ時の画像に設定する	「TV コール」→「代替画像」→「固定データ」→≪ OK ≫
自画像の代わりに送信する代替画像を設定する	「TV コール」→「代替画像」→「ピクチャー」→ファイルを選択→≪ OK ≫ ・ メモリカードを取り付けているときは、「デジタルカメラ」からも画像を選択できます。
TV コール中の相手画像の画質を調整する お買い上げ時 標準	「TV コール」→「受信画質」→項目を選択
TV コール中の自画像の画質を調整する お買い上げ時 標準	「TV コール」→「送信画質」→項目を選択
TV コール中の保留画像をお買い上げ時の画像に設定する	「TV コール」→「保留設定」→「通話中保留」→「固定データ」→≪ OK ≫
TV コール中の保留画像について設定する	「TV コール」→「保留設定」→「通話中保留」→「ピクチャー」→ファイルを選択→≪ OK ≫ ・ メモリカードを取り付けているときは、「デジタルカメラ」からも画像を選択できます。
TV コールに応答保留する際の画像をお買い上げ時の画像に設定する	「TV コール」→「保留設定」→「応答保留」→「固定データ」→≪ OK ≫
TV コールに応答保留する際の画像について設定する	「TV コール」→「保留設定」→「応答保留」→「ピクチャー」→ファイルを選択→≪ OK ≫ ・ メモリカードを取り付けているときは、「デジタルカメラ」からも画像を選択できます。

TV コール中の音声の送信について設定する **お買い上げ時** Off	「TV コール」→「私の音声ミュート」の「On」/「Off」 ・「On」に設定している場合、TV コール中に一時的に音声を送信するには≪ミュートオフ≫をタップします。
TV コール中にスピーカーを利用するかどうか設定する **お買い上げ時** On	「TV コール」→「スピーカー」の「On」/「Off」
TV コール中のバックライトの明るさを設定する **お買い上げ時** On	「TV コール」→「バックライト」の「On」/「Off」 ・「Off」に設定するとディスプレイは「On」の設定時より暗くなります。
TV コールがつながらなかったときの動作を設定する **お買い上げ時** 毎回確認	「TV コール」→「再発信方法」→項目を選択 ・「なし」に設定すると、何も表示せずに発信を終了できます。 ・TV コールがつながらなかったときに、設定した方法で再発信をうながすメッセージを表示することができます。
指定した相手からの TV コール着信を自動で受ける **お買い上げ時** Off	「TV コール」→「自動応答」→「On/Off 設定」の「On」/「Off」 ・指定した相手から TV コールの着信があったときに、通知音でお知らせして自動的に電話を受けることができます。
TV コール着信を自動で受ける相手を指定する	「TV コール」→「自動応答」→「自動応答リスト」→≪追加≫→項目を選択→操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫→電話番号の登録操作 ・指定した相手を削除するには「自動応答リスト」を選択後、≪削除≫→削除したい相手をチェック→≪削除≫→「はい」を選択します。
TV コール発信時の自画像の送信について設定する **お買い上げ時** On	「TV コール」→「自画像送信」の「On」/「Off」
電話番号を指定して着信の許可/拒否を設定する **お買い上げ時** Off	「着信拒否」→「電話番号指定」→「On/Off 設定」の「On」/「Off」 ・着信拒否に登録した電話番号からかかってきたとき、相手には話中音を流し電話を受けません。待受画面には「不在着信通知」と表示してお知らせします。表示を選択すると着信履歴を確認できます。
着信拒否する電話番号を登録する	「着信拒否」→「電話番号指定」→「拒否リスト」→≪追加≫→項目を選択→電話番号の登録操作 ・登録した電話番号を削除するには、「拒否リスト」を選択後、≪削除≫→削除したい電話番号をチェック→≪削除≫→「はい」を選択します。

電話帳に登録していない番号からの着信の許可／拒否を設定する お買い上げ時 Off	「着信拒否」→「電話帳以外」の「On」／「Off」
非通知着信の許可／拒否を設定する お買い上げ時 Off	「着信拒否」→「非通知」の「On」／「Off」
公衆電話からの着信の許可／拒否を設定する お買い上げ時 Off	「着信拒否」→「公衆電話」の「On」／「Off」
電話番号が通知不可能な着信の許可／拒否を設定する お買い上げ時 Off	「着信拒否」→「通知不可」の「On」／「Off」
電波 Off モードを設定する お買い上げ時 Off	「電波 Off モード」の「On」／「Off」
発信者番号の通知／非通知を設定する	「発信者番号通知」→「通知する」／「通知しない」 ・ 現在の設定を確認するには、「設定確認」を選択します。
話し中だった相手に自動的にリダイヤルする お買い上げ時 Off	「オートリダイヤル」の「On」／「Off」 ・ 音声電話や TV コールをかけた相手がお話し中だったときに、自動的に電話を切り、すぐにリダイヤルを開始するように設定できます。オートリダイヤルは、≪キャンセル≫をタップまたは を押すまで最大 10 回繰り返されます。 ・ TV コールの再発信方法を設定しているときは、オートリダイヤルの設定が優先されます。 ・ 相手が転送電話サービスや留守番電話サービスを設定しているときは、電話が転送され、オートリダイヤルは行われません。
着信音調節機能を設定する お買い上げ時 On	「着信音調節機能」の「On」／「Off」 ・ 音声電話や TV コールの着信音量が大きな音で設定されている場合、着信時にいきなり大きな音で呼び出すことを防ぐために、レベル 1 の音量で 4 秒間呼び出したあと徐々にに大きくなり、設定されている音量で呼び出します。
イヤホン通話を使う お買い上げ時 Off	「イヤホン通話」→「番号」→項目を選択→電話番号の登録操作→「On/Off」の「On」／「Off」 ・ イヤホンマイク（オプション品）のスイッチを 1 秒以上押して、指定した電話番号に電話をかけられるように設定できます。指定した電話番号を変更する場合は同じ操作を繰り返し、変更する電話番号を登録します。
通話中の音量を調節する お買い上げ時 レベル 5	受話音量欄で音量を調節

設定

電話帳の設定

電話帳に関する設定

共通操作 ≪メニュー≫→「電話帳」→「設定」

優先的に登録される電話帳を変更する お買い上げ時 本体	「保存先設定」→項目を選択 ・「毎回確認」に設定すると、新規登録のたびに保存先の確認メッセージが表示されます。
表示される電話帳（本機／USIM カード）を変更する お買い上げ時 本体	「表示切替」→項目を選択
電話帳の検索方法を切り替える お買い上げ時 あかさたな	「検索方法」→項目を選択
電話帳の内容を全件コピーして本機／USIM カードに登録する	「全件コピー」→「本体→ USIM」／「USIM →本体」→「はい」

設定

メールの設定

E メールアドレスに関する設定

E メールアドレスを変更する	≪メール≫→「設定」→「メール・アドレス設定」→画面の指示に従って操作 ・パソコンなどから E メールを受信するときに使用する E メールアドレスのアカウント名（@より前の部分）を変更できます。ご契約時のアカウント名は、ランダムな英数字に設定されています。

S! メール、SMS に関する共通の設定

共通操作 ≪メール≫→「設定」→「一般設定」

配信レポートの送信を設定する **お買い上げ時** Off	「送信設定」→「配信確認」の「On」／「Off」 ・「On」に設定すると、メールサーバからメールが相手に送信されたときに、配信レポートが本機に送信されます。
送信メールに受信メールの内容を引用する **お買い上げ時** On（SMS とデコレメールを除く）	「送信設定」→「引用設定」→項目を選択
返信先を設定する **お買い上げ時** Off	「送信設定」→「返信先指定」の「On」／「Off」 ・設定内容は次のとおりです。 「On」:「返信先アドレス設定」で設定したアドレスに返信されます。 「Off」: 本機のアドレスに返信されます。 ・本機から E メールアドレス宛のメールを送り、受信した相手が返信する際の宛先を設定できます。
返信先アドレスを設定する	「送信設定」→「返信先アドレス設定」→項目を選択→アドレスの登録操作
送信中の進行状況表示を設定する **お買い上げ時** On	「送信設定」→「メール送信中画面」→「メール送信中」の「On」／「Off」
送信の進行状況を表示しない場合の送信の結果表示を設定する **お買い上げ時** 通知する	「送信設定」→「メール送信中画面」→「送信結果通知」→項目を選択 ・「メール送信中」を「Off」に設定している場合に設定できます。
受信の通知を設定する **お買い上げ時** From	「受信設定」→「メール受信通知」→「表示内容」→項目を選択 ・待受画面以外を表示中にメールを受信したときに、ディスプレイ最上段にスクロール表示される通知の内容が設定できます。
シークレット設定を設定したフォルダの受信通知を設定する **お買い上げ時** 通知する	「受信設定」→「メール受信通知」→「シークレットフォルダ着信」→操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫→「シークレットフォルダ着信」→項目を選択 ・「通知しない」に設定すると、受信ボックス内のシークレット設定を設定したフォルダにメールを受信したとき、新着メール受信の通知画面や「メール受信通知」は表示されません。

メッセージのデルモジ表示を設定する	「受信設定」→「デルモジ表示設定」→「自動再生」→項目を選択 ・ 設定内容は次のとおりです。 「常に表示」：メッセージを確認するときに常にデルモジ表示する 「未読のみ表示」：未読メールのメッセージを確認するときのみデルモジ表示する 「表示しない」：デルモジ表示しない ・ 初めて受信メールを確認したときは確認メッセージが表示され、「自動再生」の動作を設定することができます。
デルモジ表示の文字色と背景色のパターンを設定する **お買い上げ時** ランダム変更	「受信設定」→「デルモジ表示設定」→「文字色・背景色」→◀／▶で目的のパターンを表示→≪ OK ≫
デルモジ表示の表示速度を設定する **お買い上げ時** 標準	「受信設定」→「デルモジ表示設定」→「表示速度」→項目を選択
フィーリングメールを受信したときの着信ライトの有無を設定する **お買い上げ時** On	「受信設定」→「フィーリングメール連動設定」→「ライト色」→「On/Off 設定」の「On」／「Off」
フィーリングメールを受信したときの着信ライトの色を設定する **お買い上げ時** Happy ／うれしい：ピンク、OK/Good：グリーン、悲しい／ごめんね：ブルー、NG/Bad：レッド、重要／注目：イエロー	「受信設定」→「フィーリングメール連動設定」→「ライト色」→「ライト色」→感情を選択→色を選択 ・ ▶をタップすると着信ライトが点滅します。
フィーリングメールを受信したときのバイブレータを設定する **お買い上げ時** On	「受信設定」→「フィーリングメール連動設定」→「バイブ」→項目を選択
フィーリングメールを受信したときの着信音の有無を設定する **お買い上げ時** Off	「受信設定」→「フィーリングメール連動設定」→「着信音」→「On/Off 設定」の「On」／「Off」
フィーリングメールの着信音を設定する **お買い上げ時** Happy ／うれしい：One Fine Day.mp4、OK/Good：Sunny day.mp4、悲しい／ごめんね：Jazzy House_Pleasure.mp4、NG/Bad：Vintage Cinema.mp4、重要／注目：On my way home.mp4	「受信設定」→「フィーリングメール連動設定」→「着信音」→「着信音選択」→感情を選択→ファイルの保存場所を選択→着信音を選択 ・ ▶をタップするとファイルが再生されます。
フィーリングメール着信音の鳴動時間を設定する **お買い上げ時** 5 秒	「受信設定」→「フィーリングメール連動設定」→「着信音」→「鳴動時間」→鳴動時間を入力

文字サイズを設定する **お買い上げ時** 標準	「表示設定」→「文字サイズ」→項目を選択
メッセージ画面で本文をスクロールする単位を設定する **お買い上げ時** 1 行	「表示設定」→「スクロール単位」→項目を選択
ナビゲーションバーを表示するかどうかを設定する **お買い上げ時** On	「表示設定」→「ナビゲーションバー」の「On」／「Off」
受信ボックスのメールの表示方法を設定する **お買い上げ時** フォルダ表示	「表示設定」→「受信ボックス表示設定」→項目を選択
送信済みボックスのメールの表示方法を設定する **お買い上げ時** フォルダ表示	「表示設定」→「送信済みボックス表示設定」→項目を選択
受信ボックスのメールの自動削除を設定する **お買い上げ時** On（自動削除）	「自動削除設定」→「受信ボックス」→項目を選択 ・ 受信ボックスのメモリ容量がいっぱいになったときに、メールを自動的に削除するかどうかを設定できます。 ・ 設定内容は次のとおりです。 「On（自動削除）」：メール受信時に、日時の古いメールから順に自動的に削除されます（保護されたメールを除く）。自動削除ができない場合はメッセージが表示されるので、不要なメールを削除してから再度受信します。 「Off」：メール受信時にメッセージが表示されます。メッセージに従って不要なメールを削除してから再度受信します。
送信済みボックスのメールの自動削除を設定する **お買い上げ時** On（自動削除）	「自動削除設定」→「送信済みボックス」→項目を選択 ・ 送信済みボックス、または未送信ボックスのメモリ容量がいっぱいになったときに、メールを自動的に削除するかどうかを設定できます。 ・ 設定内容は次のとおりです。 「On（自動削除）」：メール送信時に、日時の古いメールから順に自動的に削除されます（保護されたメールを除く）。ただし、未送信ボックスがいっぱいのときや自動削除できない場合はメッセージが表示されるので、不要なメールを削除してから再度送信します。 「Off」：送信時にメッセージが表示されます。メッセージに従って不要なメールを削除してから、再度送信します。

S! メールに関する設定

共通操作 ≪メール≫→「設定」→「S! メール設定」

送信メールの優先度を設定する **お買い上げ時** 標準	「送信オプション」→「優先度」→項目を選択
送信メールのメールサーバへの保存期間を設定する **お買い上げ時** 最大	「送信オプション」→「有効期限」→項目を選択 ・ 設定した保存期間が経過すると、メールサーバから S! メールが自動的に削除されます。
送信メールをメールサーバから相手に配信する時間を設定する **お買い上げ時** 指定なし	「送信オプション」→「配信時間指定」→項目を選択 ・ 設定した期間が経過すると、メールサーバから S! メールが送信されます。
S! メールの受信方法を設定する **お買い上げ時** 自動受信	「受信オプション」→「国内での自動受信」→項目を選択 ・ 設定内容は次のとおりです。 「自動受信」: 自動的に受信する 「電話番号のみ自動」: 電話番号を使って送られた S! メールのみ受信する 「手動取得」: 受信通知のみを受信する
ローミング中に受信する S! メールの受信方法を設定する **お買い上げ時** 自動受信	「受信オプション」→「ローミング自動受信」→項目を選択 ・ 設定内容は次のとおりです。 「自動受信」: 自動的に受信する 「手動取得」: 受信通知のみを受信する ・ 「自動受信」に設定すると、添付ファイルを含む全文が自動受信され、海外でのメール通信料が高額になる場合がありますのでご注意ください。
署名を設定する **お買い上げ時** 挿入しない	「署名設定」→「自動挿入」→項目を選択
署名を編集する	「署名設定」→「署名編集」→署名を入力
添付画像の表示方法を設定する **お買い上げ時** 2 倍拡大表示	「画像表示設定」→項目を選択
添付画像の自動再生を設定する **お買い上げ時** On	「添付ファイル自動表示」→「画像」の「On」／「Off」
添付サウンドの自動再生を設定する **お買い上げ時** Off	「添付ファイル自動表示」→「サウンド」の「On」／「Off」

SMS に関する設定

共通操作 ≪メール≫→「設定」→「SMS 設定」

メールサーバへの保存期間を設定する **お買い上げ時** なし	「有効期限」→項目を選択 ・ 設定した保存期間が経過すると、メールサーバから SMS が自動的に削除されます。
SMS センター番号を設定する **お買い上げ時** 設定 1　+819066519300	「SMS センター番号」→設定する項目を選択
文字コードを変更する **お買い上げ時** 英語以外	「文字コード」→項目を選択

設定

インターネットの設定

Yahoo! ケータイに関する設定

共通操作 ≪メニュー≫→≪ Y! ケータイ≫→「設定」

情報画面にナビゲーションバーを表示するかどうか設定する **お買い上げ時** On	「ナビゲーションバー」の「On」／「Off」
情報画面に表示されるテキスト情報の文字サイズを設定する **お買い上げ時** 標準	「文字サイズ」→項目を選択
情報画面でのスクロール単位を設定する **お買い上げ時** 1 行	「スクロール単位」→項目を選択
情報画面で画像を表示するかどうか設定する **お買い上げ時** On	「画像・音設定」→「画像表示」の「On」／「Off」 ・「Off」に設定すると、情報画面の受信時間が短くなる場合があります。
情報画面でサウンドを再生するかどうか設定する **お買い上げ時** On	「画像・音設定」→「音再生」の「On」／「Off」 ・「Off」に設定すると、情報画面の受信時間が短くなる場合があります。
情報画面の画像などの保存先を設定する **お買い上げ時** 本体	「保存先設定」→「本体」／「メモリカード」／「毎回確認」 ・ メモリカードを取り付けて、「メモリカード」を選択しているときは、メモリカードに画像を保存できます。
情報画面のキャッシュ／ Cookie ／認証情報を消去する	「メモリ操作」→項目を選択→「はい」

製造番号を自動的に通知するかどうか設定する お買い上げ時 On	「セキュリティ設定」→「製造番号通知」の「On」／「Off」 ・ アクセスした情報画面から携帯電話のユーザーを識別するために製造番号の通知要求があったとき、自動的に製造番号を通知するかどうか設定します。
Referer を送信するかどうか設定する お買い上げ時 送出する	「セキュリティ設定」→「Referer 送出」→項目を選択
Cookie の有効／無効を設定する お買い上げ時 許可する	「セキュリティ設定」→「Cookie 設定」→項目を選択
スクリプトの有効／無効を設定する お買い上げ時 ネットワークアクセス時確認	「セキュリティ設定」→「スクリプト設定」→項目を選択
ルート証明書を確認する	「セキュリティ設定」→「ルート証明書表示」→ルート証明書を選択
認証情報の保存期間を設定する お買い上げ時 ブラウズ中保持	「セキュリティ設定」→「認証情報保持設定」→項目を選択
ブラウザを初期化する	「ブラウザ初期化」→操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫→「はい」
設定をリセットする	「設定リセット」→操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫→「はい」

PC サイトブラウザに関する設定

共通操作 ≪メニュー≫→≪ Y! ケータイ≫→「PC サイトブラウザ」→「PC サイトブラウザ設定」

情報画面に表示されるテキスト情報の文字サイズを設定する お買い上げ時 標準	「文字サイズ」→項目を選択
拡大／縮小時にガイドを表示するかどうかを設定する お買い上げ時 On	「ガイド表示」の「On」／「Off」
情報画面で画像を表示するかどうか設定する お買い上げ時 On	「画像・音設定」→「画像表示」の「On」／「Off」 ・「Off」に設定すると、情報画面の受信時間が短くなる場合があります。
情報画面でサウンドを再生するかどうか設定する お買い上げ時 On	「画像・音設定」→「音再生」の「On」／「Off」 ・「Off」に設定すると、情報画面の受信時間が短くなる場合があります。
情報画面の画像などの保存先を設定する お買い上げ時 本体	「保存先設定」→「本体」／「メモリカード」／「毎回確認」 ・ メモリカードを取り付けて、「メモリカード」を選択しているときは、メモリカードに画像を保存できます。

情報画面のキャッシュ／ Cookie ／認証情報を消去する	「メモリ操作」→項目を選択→「はい」
製造番号を自動的に通知するかどうか設定する お買い上げ時 On	「セキュリティ設定」→「製造番号通知」の「On」／「Off」 ・ アクセスした情報画面から携帯電話のユーザーを識別するために製造番号の通知要求があったとき、自動的に製造番号を通知するかどうか設定します。
Referer を送信するかどうか設定する お買い上げ時 送出する	「セキュリティ設定」→「Referer 送出」→項目を選択
Cookie の有効／無効を設定する お買い上げ時 許可する	「セキュリティ設定」→「Cookie 設定」→項目を選択
スクリプトの有効／無効を設定する お買い上げ時 On	「セキュリティ設定」→「スクリプト設定」→項目を選択
ルート証明書を確認する	「セキュリティ設定」→「ルート証明書表示」→ルート証明書を選択
認証情報の保存期間を設定する お買い上げ時 ブラウズ中保持	「セキュリティ設定」→「認証情報保持設定」→項目を選択
警告メッセージを表示するかどうか設定する お買い上げ時 PC サイトブラウザ起動・切替時／ Yahoo! ケータイ切替時：On	「警告画面表示設定」→「PC サイトブラウザ起動・切替時」／「Yahoo! ケータイ切替時」の「On」／「Off」 ・ PC サイトブラウザを起動したとき、または Yahoo! ケータイと PC サイトブラウザを切り替えたときに警告メッセージを表示するかどうか設定できます。
ブラウザを初期化する	「ブラウザ初期化」→操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫→「はい」
設定をリセットする	「設定リセット」→操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫→「はい」

設定

テレビの設定

予約時間お知らせに関する設定

共通操作 ≪メニュー≫→「TV」→「設定」→「予約時間お知らせ」

予約通知のアラームを設定する お買い上げ時 On	「アラーム」の「On」／「Off」
予約通知のアラーム音を設定する お買い上げ時 Samsung Tune.mp4	「アラーム音」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択 ・ ▶をタップするとファイルが再生されます。
予約通知の音量を設定する お買い上げ時 レベル 3	音量欄で音量を調節

予約時間にバイブレータでお知らせする お買い上げ時 Off	「バイブ」→項目を選択
予約時間にライトでお知らせする お買い上げ時 On	「ライト」の「On」／「Off」
アラームの通知時間を設定する お買い上げ時 1分前	「アラーム通知時間」→項目を選択
アラームの鳴動時間を設定する お買い上げ時 10秒	「アラーム鳴動時間」→項目を選択
マナーモード時のアラーム音／バイブレータを設定する お買い上げ時 アラーム音：Off、バイブ：On	「マナーモード時設定」→「アラーム音」／「バイブ」の「On」／「Off」

データ放送に関する設定

共通操作 ≪メニュー≫→「TV」→「設定」→「データ放送」

データ放送の録画内容を設定する お買い上げ時 映像＋データ放送	「録画設定」→項目を選択
データ放送を保存するときの保存先を設定する お買い上げ時 本体メモリ	「画像保存先設定」→項目を選択
通信接続確認を設定する お買い上げ時 毎回確認	「通信接続確認」→項目を選択
製造番号を自動的に通知するかどうか設定する お買い上げ時 Off	「製造番号通知」の「On」／「Off」
放送局データを削除する	「放送局メモリ削除」→削除したい項目の→「はい」 ・ 全削除する場合は、≪全削除≫→操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫→「はい」を選択します。

テレビ画面や音に関する設定

共通操作 ≪メニュー≫→「TV」→「設定」

横画面でディスプレイ最上段に各種お知らせのアイコンを表示するかどうかを設定する お買い上げ時 On	「画面設定」→「ピクト表示設定」の「On」／「Off」
横画面で４：３の映像を拡大表示するかどうかを設定する お買い上げ時 標準	「画面設定」→「横画面表示設定」→項目を選択
縦画面で４：３の映像を拡大表示するかどうかを設定する お買い上げ時 標準	「画面設定」→「縦画面表示設定」→項目を選択
画面の明るさを設定する お買い上げ時 レベル３	「画面設定」→画面明るさ設定欄で明るさを調節 ・ バックライトの明るさが「手動」に設定されているときのみ、本設定が反映されます。
番組に合わせた音質に設定する お買い上げ時 通常	「サウンド設定」→「サウンドモード設定」→項目を選択
音声切り替えを設定する お買い上げ時 主音声	「サウンド設定」→「音声言語設定」→項目を選択
音声出力を設定する お買い上げ時 本体／イヤホン	「サウンド設定」→「オーディオ出力設定」→項目を選択

録画に関する設定

録画の保存先を設定する お買い上げ時 メモリカード	≪メニュー≫→「TV」→「設定」→「録画保存先設定」→項目を選択

テレビ視聴中の着信・アラームに関する設定

テレビ視聴中の着信・アラームの動作を設定する お買い上げ時 音声着信／TVコール着信：着信優先動作、アラーム：アラーム優先	≪メニュー≫→「TV」→「設定」→「着信時優先動作」→項目を選択→動作を選択 ・「着信優先動作」／「アラーム優先」に設定すると、テレビ画面は一時的に中断され、着信画面やアラーム画面が表示されます。 ・「着信通知動作」／「アラーム通知」に設定すると、テレビの視聴画面のままで、ディスプレイ最上段に着信やアラームのお知らせが表示され、バイブレータが振動します。電話を受ける場合は を押します。応答を保留する場合は を押します。

オートオフに関する設定

設定時間でテレビが消えるようにする お買い上げ時 Off	≪メニュー≫→「TV」→「設定」→「オートオフ時間設定」→項目を選択

設定

カメラの設定

静止画撮影／動画撮影に関する共通の設定 共通操作 （2秒以上）

手振れ補正を設定する お買い上げ時 Off	→ をタップ→「手振れ補正」の「On」／「Off」 ・ワイドダイナミックレンジが「On」に設定されているときは、手振れ補正を設定できません。
自動保存を設定する お買い上げ時 On	→ をタップ→「自動保存設定」の「On」／「Off」 ・「On」に設定すると、保存の操作をしなくても、撮影後自動で保存されます。 ・「Off」に設定すると、撮影するたびに保存するかどうかを操作します。
コントラストを設定する お買い上げ時 0	→ をタップ→「コントラスト」→項目を選択
彩度を設定する お買い上げ時 0	→ をタップ→「彩度」→項目を選択

シャープネスを設定する **お買い上げ時** 0	→をタップ→「シャープネス」→項目を選択
明るさを調節する **お買い上げ時** 0	→明るさを調節
撮影サイズを設定する **お買い上げ時** 壁紙 480x800	左端のアイコン表示部をタップ→「撮影サイズ」→項目を選択

静止画撮影に関する設定

共通操作 (2 秒以上)→

画質を設定する **お買い上げ時** ノーマル	「画質設定」→項目を選択
ISO を設定する **お買い上げ時** 自動	「ISO」→項目を選択
測光モードを設定する **お買い上げ時** 中央部重点測光	「測光」→項目を選択
ワイドダイナミックレンジを設定する **お買い上げ時** Off	「ワイドダイナミックレンジ」の「On」/「Off」 ・「On」に設定すると、逆光や明暗差の激しい場合に被写体が白く飛んでしまったり、黒くつぶれてしまうのを自動で調整します。 ・手振れ補正が「On」に設定されているときは、ワイドダイナミックレンジを設定できません。
保存先を設定する **お買い上げ時** 本体	「保存先設定」→項目を選択 ・撮影画像を「メール」、「Wide S」の各サイズに設定している場合は、「デジタルカメラ」は選択できません。 ・メモリカードを取り付けているときのデータの保存先を設定できます。 ・メモリカードが取り付けられていないときに、「メモリカード」/「デジタルカメラ」/「毎回確認」に設定している場合は、保存先は自動的に本機になります。
グリッド線の表示を設定する **お買い上げ時** Off	「補助グリッド」の「On」/「Off」
顔リンク表示を設定する **お買い上げ時** Off	「顔リンク表示」の「On」/「Off」 ・「On」に設定して撮影後に顔が認識されると、顔リンクで登録された名前が表示されます。
シャッター音を設定する **お買い上げ時** パターン 1	「シャッター音」→項目を選択

動画撮影に関する設定

共通操作 ▭◘（2 秒以上）→◘→「ビデオ」→🔧

画質を設定する お買い上げ時 ノーマル	「画質設定」→項目を選択
保存先を設定する お買い上げ時 本体	「保存先設定」の「本体」／「メモリカード」 ・ メモリカードを取り付けていないときは、自動的に本機に保存されます。
グリッド線の表示を設定する お買い上げ時 Off	「補助グリッド」の「On」／「Off」

設定

メディアプレイヤーの設定

ミュージックに関する設定

共通操作 ≪メニュー≫→「メディアプレイヤー」→「設定」→「ミュージック」

再生パターンを設定する お買い上げ時 全てリピート	「再生パターン設定」→項目を選択 ・ 1 ファイルを繰り返し再生したり、すべてのミュージックやプレイリスト内のすべてのファイルを繰り返し再生するように設定できます。
シャッフル再生をするかどうか設定する お買い上げ時 Off	「シャッフル設定」の「On」／「Off」
サウンドエフェクトを設定する お買い上げ時 Off	「サウンドエフェクト設定」→項目を選択 ・ Bluetooth® 対応ステレオヘッドフォンを利用して聴いているときは使用できません。
立体的な音響効果を設定する お買い上げ時 Off	「3D サウンド」の「On」／「Off」 ・ Bluetooth® 対応ステレオヘッドフォンを利用して聴いているときは使用できません。

ムービーに関する設定

共通操作 ≪メニュー≫→「メディアプレイヤー」→「設定」→「ムービー」

再生パターンを設定する お買い上げ時 全てリピート	「再生パターン設定」→項目を選択 ・ 1ファイルを繰り返し再生したり、すべてのムービーやプレイリスト内のすべてのファイルを繰り返し再生するように設定できます。
シャッフル再生をするかどうか設定する お買い上げ時 Off	「シャッフル設定」の「On」／「Off」
バックライトを設定する お買い上げ時 常時 On	「バックライト」→項目を選択
縦画面の表示サイズを設定する お買い上げ時 480 × 360	「縦画面表示設定」→項目を選択
横画面の表示サイズを設定する お買い上げ時 標準	「横画面表示設定」→項目を選択
サムネイル表示を設定する お買い上げ時 On	「サムネイル表示」の「On」／「Off」
リンク情報を持つファイルの再生後にリンク先に接続するかどうか設定する お買い上げ時 On	「リンク接続事前確認設定」の「On」／「Off」 ・「On」に設定すると、リンク情報を持ったファイルの再生終了後にリンク先に接続するかどうかの確認メッセージが表示されます。

設定

エンタテイメントの設定

S! 情報チャンネルに関する設定

共通操作 ≪メニュー≫→「エンタテイメント」→「S! 情報チャンネル／お天気」→「お天気アイコン」→「設定」

お天気アイコンが更新されたときに通知するかどうかを設定する お買い上げ時 On	「天気予報通知設定」の「On」／「Off」
お天気アイコンを自動的に更新するかどうかを設定する お買い上げ時 On	「アイコン更新設定」の「On」／「Off」

S! アプリに関する設定

共通操作 ≪メニュー≫→「エンタテイメント」→「S! アプリ」→「設定」

S! アプリの音量を設定する **お買い上げ時** 3	音量設定欄で音量を調節
ディスプレイのバックライトを設定する **お買い上げ時** 通常設定に従う	「バックライト設定」→「常に On」／「常に Off」／「通常設定に従う」 ・「通常設定に従う」に設定すると、「ディスプレイ設定」の「バックライト」（➲P.14-5）の設定に従います。
S! アプリのバイブレータの有効／無効を設定する **お買い上げ時** On	バイブ設定欄の「On」／「Off」
S! アプリ中の着信・アラーム・S! アプリ開始要求の動作を設定する **お買い上げ時** 音声着信／ TV コール着信：着信優先動作、アラーム：アラーム優先、S! アプリ開始要求：着信通知	「着信時優先動作」→項目を選択→動作を選択 ・「着信優先動作」／「アラーム優先」／「着信優先」に設定すると、S! アプリは一時停止になり、着信画面やアラーム画面、S! アプリ開始要求画面が表示されます。 ・「着信通知動作」／「アラーム通知」／「着信通知」に設定すると、S! アプリ画面のままで、ディスプレイ最上段に着信やアラームのお知らせが表示されます。電話を受ける場合は ⊂⊃ を押します。応答を保留する場合は ⊂⊃ を押します。 ・「音声着信」を「着信通知動作」に設定している場合でも、簡易留守録を設定しているときは、応答時間を経過したあと簡易留守録が起動し、S! アプリが一時停止されます。
S! アプリの設定をリセットする	「S! アプリ設定リセット」→操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫→「はい」

設定

セキュリティの設定

セキュリティに関する設定

共通操作 ≪メニュー≫→「設定」→「セキュリティ設定」

電源 On 時ロックを設定する **お買い上げ時** Off	「電源 On 時ロック」の「On」／「Off」→操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫
パスワードロックを設定する **お買い上げ時** Off	「パスワードロック」→項目を選択→操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫

操作用暗証番号を変更する **お買い上げ時** 9999	「暗証番号変更」→現在の操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫→新しい操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫→もう一度新しい操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫
顔認証機能を設定する **お買い上げ時** Off	「顔認証機能」→操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫→「On/Off 設定」の「On」／「Off」
顔認証機能のユーザー登録をする **お買い上げ時** 全て空き	「顔認証機能」→操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫→「ユーザー登録」→「ユーザー 1」～「ユーザー 5」→「画像 1」～「画像 5」を選択→≪撮影開始≫→≪保存≫
顔認証時の表示を設定する **お買い上げ時** プレビュー	「顔認証機能」→操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫→「ガイド設定」→項目を選択
顔認証機能のセキュリティレベルを設定する **お買い上げ時** 標準	「顔認証機能」→操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫→「セキュリティレベル」→項目を選択
機能別ロックを設定する **お買い上げ時** ロック解除中	「機能別ロック」→ロックしたい項目をチェック→≪保存≫→操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫
シークレットモードを設定する **お買い上げ時** 表示しない	「シークレットモード」→操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫→項目を選択
USIM 照合を設定する **お買い上げ時** Off	「USIM 照合」の「On」／「Off」→ USIM パスワード（4 ～ 8 桁の任意の番号）を入力→≪ OK ≫→必要に応じてもう一度 USIM パスワードを入力→≪ OK ≫
PIN 認証を設定する **お買い上げ時** Off	「PIN 認証」の「On」／「Off」→ PIN コードを入力→≪ OK ≫
PIN コードを変更する	「PIN 変更」→現在の PIN コードを入力→≪ OK ≫→新しい PIN コードを入力→≪ OK ≫→もう一度新しい PIN コードを入力→≪ OK ≫
PIN2 コードを変更する	「PIN2 変更」→現在の PIN2 コードを入力→≪ OK ≫→新しい PIN2 コードを入力→≪ OK ≫→もう一度新しい PIN2 コードを入力→≪ OK ≫
IP サービス設定を設定する **お買い上げ時** Off	「IP サービス設定」の「On」／「Off」 ・ 一部の機能については、IP サービス設定を「On」に設定しないと使用できない場合があります。
電話帳やメールなどを消去する	「オールリセット」→操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫→「はい」
設定をリセットする	「設定リセット」→操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫→「はい」

設定

メモリの設定

本機のメモリに関する設定

共通操作 ≪メニュー≫→「設定」→「メモリ設定」

メモリカードの詳細情報を確認する	「メモリカード」 ・ メモリカードの名前、メモリ容量、メモリ残量を確認できます。
メモリカードの表示名を編集する	「メモリカード」→「名前」→名前を入力
メモリカードをフォーマット（初期化）する	「メモリカード」→≪メモリカード初期化≫→操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫→「はい」
メモリのバックアップをとる	「メモリカード」→≪メモリカードへ保存≫→「はい」→操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫→項目を選択→「はい」
バックアップしたデータから復元する	「メモリカード」→≪メモリカードから読込み≫→「はい」→操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫→項目を選択→ファイルを選択→「追加」／「上書き」
本機のメモリの詳細情報を確認する	「本体」 ・ 本機のメモリ容量、メモリ残量を確認できます。
本機のメモリを消去する	「本体」→≪メモリ消去≫→消去したい項目をチェック→≪消去≫→操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫→「はい」
データの保存先を本機／メモリカードに指定する お買い上げ時 本体	「保存先設定」→項目を選択 ・ メモリカードを取り付けているときのデータの保存先を、本機またはメモリカードのどちらにするかを設定できます。画像編集時、S! メールの添付ファイル保存時、情報画面からのファイルダウンロード時、Bluetooth® 経由でのデータ受信時などのデータが対象になります。 ・ メモリカードが取り付けられていないときに、「メモリカード」または「毎回確認」に設定している場合は、保存先は自動的に本機になります。
メモリ容量を確認する	「メモリ容量確認」→項目を選択 ・ 確認したメモリを削除するには≪削除≫をタップします（➲P.12-20 登録／保存した内容を削除してメモリを整理したい）。

外部接続の設定

Bluetooth® に関する設定

共通操作 ≪メニュー≫→「設定」→「外部接続」→「Bluetooth」

Bluetooth® 機能を設定／解除する お買い上げ時 Off	≪ On ≫／≪ Off ≫
Bluetooth® 対応機器を検索して登録する	≪デバイス検索≫→検索に応答した機器が表示されたら、登録する機器をタップし、選択されたことを確認後ドラッグしてへドロップ→認証コード（4 〜 16 桁）を入力→≪ OK ≫→相手機器側で 30 秒以内に同じ認証コードを入力
電話帳、カレンダー／予定リスト、ブックマークをそれぞれ一括送信する	「全件データ送信」→送信先のデバイスをタップし、選択されたことを確認後ドラッグしてへドロップ→操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫→項目を選択
本機の表示名を編集する お買い上げ時 931SC	≪その他≫→「マイデバイス設定」→デバイス名称欄をタップ→名前を編集
本機の機器アドレスを確認する	≪その他≫→「マイデバイス設定」 ・ Bluetooth アドレス欄で確認できます。
他の Bluetooth® 機器から検索／登録する お買い上げ時 公開する	≪その他≫→「マイデバイス設定」→「公開設定」→項目を選択 ・ 相手の Bluetooth® 機器側から検索と登録をする場合は「公開する」に設定し、本機を公開する必要があります。
データ転送時の認証を設定する お買い上げ時 On	≪その他≫→「マイデバイス設定」→「データ転送認証」の「On」／「Off」 ・「On」に設定すると、相手機器側の要求でデータが送信されるときに確認のメッセージが表示されます。
ハンズフリー機器接続時の通話の開始方法を設定する お買い上げ時 常時ハンズフリー	≪その他≫→「マイデバイス設定」→「ハンズフリー設定」→項目を選択 ・ 設定内容は次のとおりです。 「発着信方法に依存」：本機で発着信した場合は、本機で通話します。ハンズフリー機器から発着信した場合は、ハンズフリー機器で通話します。 「常時ハンズフリー」：すべてハンズフリー機器で通話します。
着信時の応答方法を設定する お買い上げ時 通常	≪その他≫→「マイデバイス設定」→「応答設定」→項目を選択

着信時の応答時間を設定する **お買い上げ時** 4 秒	≪その他≫→「マイデバイス設定」→「応答時間」→項目を選択 ・ 応答時間を設定するには、「応答設定」で「自動」を選択します。
S! アプリの通信を設定／解除する **お買い上げ時** On	≪その他≫→「マイデバイス設定」→「S! アプリの要求」→「On」／「Off」
利用できる Bluetooth® の機能を確認する	≪その他≫→「マイデバイス設定」→「Bluetooth サービス説明」→項目を選択

赤外線通信に関する設定

共通操作 ≪メニュー≫→「設定」→「外部接続」→「赤外線通信」

赤外線通信を設定／解除する **お買い上げ時** Off	「On/Off 設定」の「On」／「Off」
オーナーの情報を転送する	「オーナー情報送信」
ファイルを送信する	「ファイル送信」→データフォルダを選択→ファイルを選択→≪送信≫
データを一括送信する	「全件データ送信」→操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫→項目を選択→認証コード（4 桁）を入力→≪ OK ≫ ・ 電話帳を選択した場合に、画像データを転送するときは、「はい」を選択します。

USB 接続モードに関する設定

共通操作 ≪メニュー≫→「設定」→「外部接続」→「USB 接続モード」

カードリーダーモードを起動する	「カードリーダーモード」→「はい」→操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫→本機とパソコンを USB ケーブルで接続→パソコンからデータを読み書き ・ あらかじめ、本機とパソコンを USB ケーブルで接続してから操作します。
PC との同期モードを起動する	「PC との同期」→「はい」→操作用暗証番号を入力→≪ OK ≫→パソコンからデータを読み書き ・ あらかじめ、本機とパソコンを USB ケーブルで接続してから操作します。

ネットワークに関する設定

共通操作 ≪メニュー≫→「設定」→「外部接続」

ネットワーク自動調整を手動で行う	「ネットワーク自動調整」→「はい」／「いいえ」

メモ

資料／付録

15

故障かな？と思ったら

■ 電源が入らない

☑ 電池切れになっていませんか？

➡ 電池パックを交換するか充電してください。

☑ 電池パックが本機に装着されていますか？

➡ 正しく装着してください。

■ 電源を入れると PIN コードの入力画面が表示される

☑「PIN 認証」が「On」に設定されていませんか？

➡「PIN 認証」が「On」に設定されているときは、画面の指示に従って PIN コードを入力してください。

■ 電源を入れると USIM パスワードの入力画面が表示される

☑「USIM 照合」が「On」に設定されていませんか？

➡「USIM 照合」が「On」に設定されているときは、USIM パスワードを入力してください。

■ 電源を入れたときや機能の操作時に「USIM 未挿入です。」、「USIM が正しくありません」、「USIM エラーです」と表示される

☑ USIM カードは正しく取り付けられていますか？

➡ USIM カードが正しく取り付けられていることを確認してください。正しく取り付けられているのに表示が出る場合は、破損している可能性があります。

☑ USIM カードのデータ読込み中ではありませんか？

➡ しばらくたってから操作し直してください。

☑ 違った USIM カードをお使いではありませんか？

➡ 正しい USIM カードであることを確認してください。当社で指定された USIM カードを使用してください。

☑ USIM カードの IC 部分に指紋などの汚れがついていませんか？

➡ 乾いたきれいな布で汚れを落として、正しくお取り付けください。

■「圏外」または「OUT」が表示され、電話がかけられない

☑ サービスエリア外か電波の届きにくい場所にいませんか？

➡ 電波の届く場所に移動してかけ直してください。

■ 通話が途切れたり、切れたりする

☑「圏外」または「OUT」が表示されているか、または電波状態が悪い場所にいませんか？

➡ 電波の届く場所に移動してかけ直してください。

☑ 電池切れになっていませんか？

➡ 電池パックを交換するか充電してください。

■ 電話がかけられない

☑ 発着信規制サービスの発信規制が設定されていませんか？

➡ 発信の規制を停止してください。

☑ 電波 Off モードが設定されていませんか？（「 」表示）

➡「電波 Off モード」を「Off」に設定してください。

■ 電話帳、データフォルダ、通話履歴、カレンダーやメールの各種の機能が呼び出せない

☑「機能別ロック」が設定されていませんか？

➡「機能別ロック」を解除してください。

■ 通話中に「プチッ」と音が入る

☑ 電波が弱くなって別のエリアに切り替わるときに発生することがあります。

■ 充電できない

☑ 急速充電器の接続コネクターが本機に確実に差し込まれていますか？

➡ 確実に差し込んでください。

☑ 急速充電器のプラグがしっかりとコンセントに差し込まれていますか？

➡ 確実に差し込んでください。

☑ 電池パックが本機に取り付けられていますか？

➡ 正しく取り付けてください。

☑ 本機および電池パックの充電端子や急速充電器の接続コネクター、本機の外部接続端子が汚れていませんか？

➡ 乾いた綿棒などで端子部の汚れを落としてください。

☑ 周囲の温度が 5℃より低い場所または 40℃を超える場所で充電していませんか？

➡ 周囲の温度が 5 ～ 40℃の範囲内で充電してください。

☑ 電池パックに異常はありませんか？

➡ 新しい電池パックに交換してください。

☑ 充電を繰り返しても、十分に充電できませんか？

➡ 電池パックの交換時期です。新しい電池パックに交換してください。

☑ 充電中に本機や電池パックの温度が上昇していませんか？

➡ 温度が上昇すると充電を中断することがあります。本機や電池パックが冷めてから、充電し直してください。

■ 熱くなる

☑ 充電中に、急速充電器が発熱することがあります。

☑ 充電したり、長時間通話したりすると本機が発熱することがあります。

➡ 手で触れることのできる温度であれば、異常ではありません。手で触れられないほど熱くなった場合はただちに充電、使用を中止してお問い合わせ先(➔P.15-28)までご連絡ください。

■ 電池の消費が早い

☑ 使用環境（気温／充電状況／電波状態)、操作や設定状況によっては電池の消費が早くなります。

➡ 適切な環境下でご使用のうえ、電池の消費の大きな機能の使用を控えてください（➔P.1-12)。

■ テレビが視聴できない

☑ USIM カードを取り外していませんか？

➡ USIM カードが取り付けられていないときは視聴できません。USIM カードを取り付けてください。

☑ ご契約を解除されましたか？

➡ テレビの視聴は、ご契約中のみとなります。

■ ディスプレイの表示がちらつく

☑ 蛍光灯の近くで使用していませんか？

➡ 蛍光灯からなるべく離れてご使用ください。

■ ディスプレイの表示が暗くなったり消えたりする

☑ ディスプレイの特性によるものです。故障ではありません。暗くなったり消えたりするまでの秒数はバックライトの設定で変更できます。

■ スピーカーで音楽が再生できない

☑「マナーモード」が設定されていませんか？

➡「マナーモード」を解除してください。

☑ イヤホンマイク（オプション品）を接続していませんか？

➡ イヤホンマイク（オプション品）の接続コネクターを本機から抜いてください。

■「これ以上起動できません」と表示された

☑ 多くの機能を一度に起動しています。

➡ いくつかの機能を終了してください。

■ Samsung New PC Studio を利用して Bluetooth® や USB 通信ができない

☑ USB ドライバはインストールされていますか？（USB 通信の場合）

➡ USB ケーブルでパソコンと接続して通信する場合は、ドライバのインストールが必要です。SAMSUNG ホームページ(http://jp.samsungmobile.com/pc/lineup/931download.html）から「USB Driver Installer」をダウンロードして、ドライバのインストールを行ってください。

☑ パソコン側で接続方法が正しく設定されていますか？

➡ ご利用になる通信に合わせて、Samsung New PC Studio の Connection manager または接続ウィザードで接続方法を「USB」または「Bluetooth」に設定してください。

☑ パソコン側の Bluetooth® や USB の接続ポートが Samsung New PC Studio で設定しているポートと同じですか？

➡ Samsung New PC Studio の Connection manager または接続ウィザードでポートを合わせてください。

■ 電話帳やメールのフォルダ、カレンダーのスケジュール、予定リストなどが表示されない

☑ セキュリティ設定のシークレットモードが「表示しない」に設定されていませんか？

➡ セキュリティ設定のシークレットモードを「表示する」に設定してください。

☑ 各機能のシークレット設定を有効にしていませんか？

➡ 表示したい画面で≪その他≫から「シークレット一時解除」を選択してください。

■ 「メール送信できませんでした」と表示された

☑ メールが送信できなかったときに、その理由とあわせて表示されます。

➡ 送信できなかった理由を確認し、送信できる状態になってから送信してください。

■ 「サービスは許可されていません」と表示された

☑ 3G サービスエリア外から送信しようとしたときに表示されます。

➡ サービスエリア内から送信してください。

■ 「電波 Off モードに設定されています」と表示された

☑ 電波Offモード中に電話やメール送信しようとしたときに表示されます。

➡ 他のモードに切り替えて操作してください。

■ 「保存領域が＊＊バイト不足しています。データフォルダ内のファイルを整理しますか？」と表示された

☑ 本機のメモリがいっぱいです。

➡ 不要なファイルを消去してから、やり直してください。

■ 「ダウンロードできません。コンテンツが不正です。」と表示された

☑ 本機ではダウンロードできないデータです。ダウンロードを中止してください。

■ イヤホンマイク（オプション品）や Bluetooth® から発信できない

☑「イヤホン通話を使う」の設定が「Off」になっていませんか？

➡「イヤホン通話」に指定先の電話番号を登録しても、「イヤホン通話を使う」が「Off」に設定されているときは発信できません。「イヤホン通話を使う」を「On」に設定してください。

ソフトウェアを更新する

本機のソフトウェアを更新する必要があるかどうかを確認し、必要な場合は通信を利用して最新のソフトウェアに更新できます。更新には、すぐに行う「今すぐ更新」と、更新日時を予約して行う「予約更新」があります。

1 **≪メニュー≫→「ツール」→「ソフトウェア更新」**

2 **≪ Yes ≫**

- ≪ Yes ≫をタップすると、ネットワークに接続します。

3 **規約を読み、「同意する」**

- 「同意する」を選択する前に、規約をよくお読みください。

4 **暗証番号入力欄をタップ→交換機用暗証番号(➔P.1-25)を入力→≪ OK ≫→≪ OK ≫**

5 **チェック結果を確認し、≪ OK ≫**

6 **更新方法の選択操作**

■ 今すぐ更新するとき

「今すぐ更新」

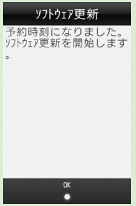
・ソフトウェア更新が実行されます。更新が完了すると、本機が再起動し、完了通知画面が表示されます。



■ 予約更新するとき

「予約更新」→≪ Yes ≫→予約する日付を選択→予約する時間帯を選択→予約した日時を確認→≪ OK ≫

- 操作のご案内については、ソフトバンクモバイルホームページ（http://www.softbank.jp）からもご確認いただけます。
- 確認や更新に通信料はかかりません。
- 予約更新の日時になると、更新メッセージが表示され、≪ OK ≫をタップするか、約 10 秒経過すると更新が開始されます。他の機能を利用中の場合は、機能を終了すると更新のメッセージが表示されます。ただし、他の機能を利用したまま予約更新の日時から 10 分以上経過すると、予約更新は解除されます。



- 予約更新をキャンセルするには、操作 1 ～ 4 を行いチェック結果画面で≪ Yes ≫→≪予約キャンセル≫→≪ Yes ≫をタップします。

注意

- 電池が十分に残っている状態で更新を行ってください。更新中に電池残量が少なくなると、更新が失敗することがあります。
- 予約更新日時に圏外になった場合は、ソフトウェア更新は行われません。
- 電波の状態が良好な場所で移動せずにご利用ください。
- 本機に保存されているデータを残したまま更新が行われますが、万一に備えてバックアップやメモなどをとることをおすすめします。データが消失した場合の損害につきましては当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 更新中は、通話やメッセージの受信などができません。
- 更新が完了するまでに時間がかかる場合があります。
- 更新に失敗して本機が使用できなくなった場合は、ソフトバンクの故障受付にご相談ください。
- ソフトウェア更新後に再起動しなかった場合、電池パックをいったん取り外したあと、再度取り付け、電源を入れ直してください。それでも起動しないときは、ソフトバンク故障受付(➲P.15-28)にご相談ください。

機能一覧

ツールバーメニュー

待受画面のツールバーに表示されているメニューです。

ツールバーメニュー／中項目		参照先
電話		
	ダイヤル	P.3-4
	電話帳	P.2-17、P.2-21
	通話履歴	P.3-13
	オーナー情報	P.1-18
メール		
	受信ボックス	P.4-10、P.4-14
	メール作成	P.4-4
	新着メール受信	P.4-25
	下書き	P.4-14、P.4-28
	デコレメールテンプレート	P.4-14、P.4-23
	送信済みボックス	P.4-14
	未送信ボックス	P.4-14
	サーバメール操作	P.4-29
	SMS 新規作成	P.4-7
	設定	P.14-12
	メモリ容量確認	P.12-14
Y! ケータイ※		
	Yahoo! ケータイ	P.5-3
	ブックマーク	P.5-9
	画面メモ	P.5-9
	URL 入力	P.5-3、P.5-5
	閲覧履歴	P.5-11、P.5-13
	PC サイトブラウザ	P.5-4
	設定	P.14-17

※ 表のメニューは、≪メニュー≫→≪ Y! ケータイ≫をタップすると表示されます。待受画面で≪ Y! ケータイ≫をタップすると、Yahoo! ケータイのメインメニューにアクセスします。

メインメニュー

待受画面で≪メニュー≫をタップして表示されるメインメニューです。

メインメニュー／中項目		参照先
お絵かきアニメ		P.7-13
フォトアルバム		P.12-8
メディアプレイヤー		
	ミュージック	P.8-6
	ムービー	P.8-8
	ストリーミング	P.5-8
	PC との同期	P.8-3
	設定	P.14-24
赤外線通信		
	On/Off 設定	P.14-30
	オーナー情報送信	P.14-30
	ファイル送信	P.14-30
	全件データ送信	P.14-30
カメラ		
	カメラ	P.7-6
	ビデオカメラ	P.7-12
	バーコードリーダー	P.10-12

メインメニュー／中項目		参照先
TV		
	TV 視聴	P.6-4
	番組表	P.6-6
	TV リンク	P.6-6
	TV プレイヤー	P.6-8
	録画／視聴予約	P.6-9
	設定	P.14-19
ツール		
	アラーム	P.10-5
	電卓	P.10-6
	通貨・単位換算	P.10-7
	世界時計	P.10-8
	メモ帳	P.10-8
	予定リスト	P.10-9
	ボイスレコーダー	P.10-10
	ストップウォッチ	P.10-11
	タイマー	P.10-11
	バーコードリーダー	P.10-12
	ドキュメントビューア	P.10-14
	辞典	P.10-15
	見せかけ着信	P.10-16
	ソフトウェア更新	P.15-6

メインメニュー／中項目		参照先
データフォルダ		
	ピクチャー	P.12-2
	着うた・メロディ	P.12-2
	S! アプリ	P.12-2
	ミュージック	P.12-2
	ムービー	P.12-2
	ブック	P.12-2
	デコレメールテンプレート	P.12-2
	Flash®	P.12-2
	その他ファイル	P.12-3
	メモリ容量確認	P.12-3

メインメニュー／中項目		参照先
エンタテイメント		
	S! アプリ	P.9-3
	S! 速報ニュース	P.9-5
	S! 情報チャンネル／お天気	P.9-6
	S! ともだち状況	P.9-7
	ちかチャット	P.9-12
	ブックサーフィン	P.9-15
	バイオリズム	P.9-15
	ナンバープレイスワールド	P.9-3
	タッチゴルフ パンヤ	P.9-4
	ヒドゥンキャッチ 4	P.9-4
	サイコロゲーム	P.9-4
	ランダムボール	P.9-5
カレンダー		P.10-3

メインメニュー／中項目		参照先
電話帳		
	電話帳	P.2-22
	新規登録	P.2-20
	通話履歴	P.3-13
	オーナー情報	P.1-18
	お気に入り	P.3-10
	S! 電話帳バックアップ	P.13-13
	設定	P.14-12
	メモリ容量確認	P.14-28
設定		
	音・バイブ設定	P.14-3
	ディスプレイ設定	P.14-5
	一般設定	P.14-2
	タッチパネル設定	P.14-3
	セキュリティ設定	P.14-26
	通話設定	P.14-6
	マナーモード設定	P.14-6
	外部接続	P.14-29
	メモリ設定	P.14-28

文字入力用キー一覧

1 つのキーには複数の文字が割り当てられています。文字を入力するには、目的の文字が表示されるまでキーを繰り返しタップします。
゛゜小 絵/記 は濁点を付ける、絵文字／全角記号／半角記号／顔文字入力モードへの切り替えなどの機能が割り当てられています。表示されるキーは文字入力画面によって異なる場合があります。

文字入力画面で共通して使用するキー

キー	用途
←／→	カーソルを左右に移動
↵	改行を入力
Clear／CLEAR	カーソル上もしくはカーソルの左の文字を 1 文字消去
↺／	1 つ前の割り当て文字の表示（数字以外で、文字の決定前のみ）

文字入力用キー

キー	漢字／かな	キー（全角／半角）	カタカナ
あ 1 .@	あいうえおぁぃぅぇぉ 1	ア／ｱ	アイウエオァィゥェォ 1
か 2 ABC	かきくけこ 2	カ／ｶ	カキクケコ 2
さ 3 DEF	さしすせそ 3	サ／ｻ	サシスセソ 3
た 4 GHI	たちつてとっ 4	タ／ﾀ	タチツテトッ 4
な 5 JKL	なにぬねの 5	ナ／ﾅ	ナニヌネノ 5
は 6 MNO	はひふへほ 6	ハ／ﾊ	ハヒフヘホ 6
ま 7 PQRS	まみむめも 7	マ／ﾏ	マミムメモ 7
や 8 TUV	やゆよゃゅょ 8	ヤ／ﾔ	ヤユヨャュョ 8
ら 9 WXYZ	らりるれろ 9	ラ／ﾗ	ラリルレロ 9
わ 0 -␣	わをんー<スペース> 0	ワ␣／ﾜ␣	ワヲンー<スペース> 0
、。?!	、。？！		
゛゜小 絵/記	・ 濁点あり／半濁点あり／濁点なしの変換（文字の決定前で、変換可能な場合のみ） ・ 大文字／小文字の変換（文字の決定前で、変換可能な場合のみ） ・ 絵文字／全角記号／半角記号／顔文字入力モードへ切り替え		

キー（全角大文字／全角小文字／半角大文字／半角小文字）	英字	キー（全角／半角）	数字
A/a 絵/記（全角）／A/a 絵/記（半角）[1]	.@-_/:~（全角のときは「～」）1	1／1	1
ABC／abc／ABC／abc	ABCabc2	2／2	2
DEF／def／DEF／def	DEFdef3	3／3	3
GHI／ghi／GHI／ghi	GHIghi4	4／4	4
JKL／jkl／JKL／jkl	JKLjkl5	5／5	5
MNO／mno／MNO／mno	MNOmno6	6／6	6
PQRS／pqrs／PQRS／pqrs	PQRSpqrs7	7／7	7
TUV／tuv／TUV／tuv	TUVtuv8	8／8	8
WXYZ／wxyz／WXYZ／wxyz	WXYZwxyz9	9／9	9
␣（全角）／␣（半角）[1]	〈スペース〉0	0／0	0
,.?!（全角）／,.?!（半角）[1]	,.?!	#／#	#
A/a 絵/記	・大文字／小文字の変換（文字の決定前で、変換可能な場合のみ） ・絵文字／全角記号／半角記号／顔文字入力モードへ切り替え	絵/記	絵文字／全角記号／半角記号／顔文字入力モードへ切り替え

1 大文字／小文字とも同じキーになります。

記号一覧

全角記号

↲ 、 。 ！ ？ 〈スペース〉 ， ． ・ ： ； ゛ ゜ ´ ｀ ¨ ＾ ￣ ＿ ヽ ヾ ゝ ゞ 〃
仝 々 〆 〇 ー ― ‐ ／ ＼ ～ ∥ ｜ … ‥ ‘ ’ “ ” （ ） 〔 〕
［ ］ ｛ ｝ 〈 〉 《 》 「 」 『 』 【 】 ＋ － ± × ÷ ＝ ≠ ＜
＞ ≦ ≧ ∞ ∴ ♂ ♀ ° ′ ″ ℃ ￥ ＄ ￠ ￡ ％ ＃ ＆ ＊ ＠ § ☆
★ ○ ● ◎ ◇ ◆ □ ■ △ ▲ ▽ ▼ ※ 〒 → ← ↑ ↓ 〓 ∈ ∋ ⊆
⊇ ⊂ ⊃ ∪ ∩ ∧ ∨ ￢ ⇒ ⇔ ∀ ∃ ∠ ⊥ ⌒ ∂ ∇ ≡ ≒ ≪ ≫ √
∽ ∝ ∵ ∫ ∬ Å ‰ ♯ ♭ ♪ † ‡ ¶ ◯ ゎ ゐ ゑ ヮ ヰ ヱ ヴ ヵ
ヶ Α Β Γ Δ Ε Ζ Η Θ Ι Κ Λ Μ Ν Ξ Ο Π Ρ Σ Τ Υ Φ
Χ Ψ Ω α β γ δ ε ζ η θ ι κ λ μ ν ξ ο π ρ σ τ
υ φ χ ψ ω А Б В Г Д Е Ё Ж З И Й К Л М Н О П
Р С Т У Ф Х Ц Ч Ш Щ Ъ Ы Ь Э Ю Я а б в г д е
ё ж з и й к л м н о п р с т у ф х ц ч ш щ ъ
ы ь э ю я ─ │ ┌ ┐ ┘ └ ├ ┬ ┤ ┴ ┼ ━ ┃ ┏ ┓ ┛ ┗
┣ ┳ ┫ ┻ ╋ ┠ ┯ ┨ ┷ ┿ ┝ ┰ ┥ ┸ ╂ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥
⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ Ⅰ Ⅱ Ⅲ
Ⅳ Ⅴ Ⅵ Ⅶ Ⅷ Ⅸ Ⅹ ㍉ ㌔ ㌢ ㍍ ㌘ ㌧ ㌃ ㌶ ㍑ ㍗
㌍ ㌦ ㌣ ㌫ ㍊ ㌻ ㎜ ㎝ ㎞ ㎎ ㎏ ㏄ ㎡ ㍻ 〝 〟 №
㏍ ℡ ㊤ ㊥ ㊦ ㊧ ㊨ ㈱ ㈲ ㈹ ㍾ ㍽ ㍼ ∮ ∑ ∟ ⊿

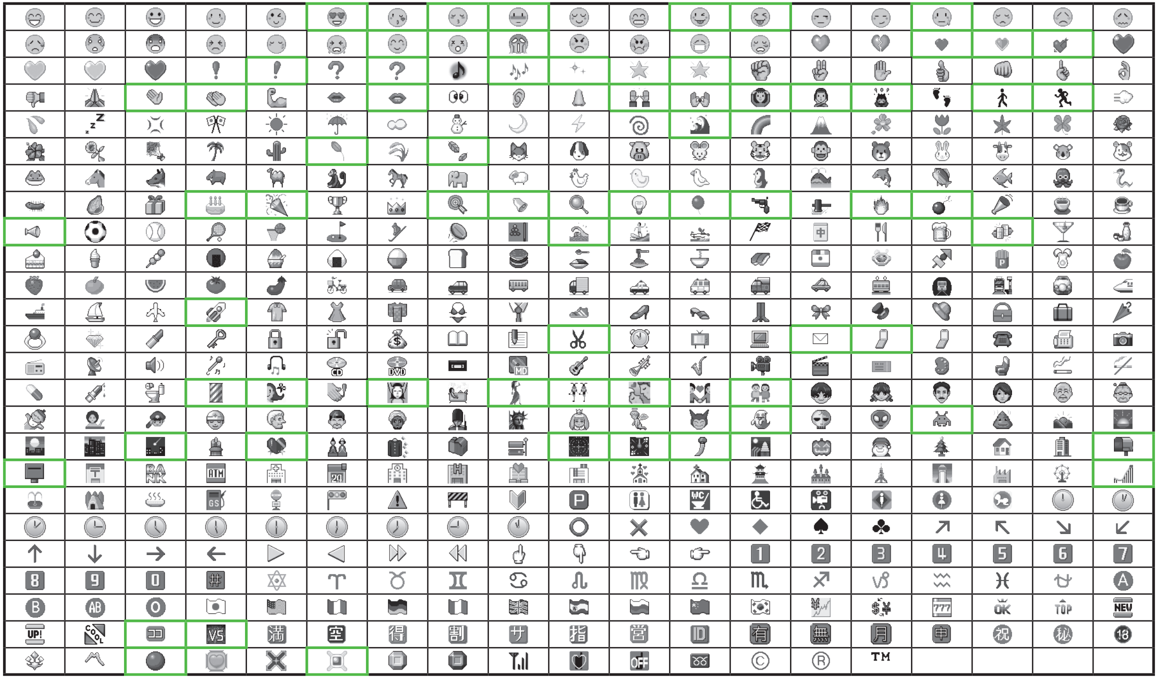
半角記号

↲ ､ ｡ ! ? 〈ｽﾍﾟｰｽ〉 " # $ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = >
@ [¥] ^ _ ` { | } ~ ｢ ｣ ･ ｰ ﾞ ﾟ

変換記号

記号名（入力文字）	記　号	記号名（入力文字）	記　号
あっと	@ ＠	こめ	※
いこーる	= ＝	ころん	： ；
えん	¥ ￥	さんかく	△▲▽▼
おんぷ	♪	しかく	◇◆□■
かける	×	どう	ゝ〃仝々
かっこ	() ｢｣ 『』 【】 〈〉 [] ‘ ’ “ ” （ ） 〔 〕 ［ ］ ｛ ｝ 〈 〉 《 》	ぱーせんと	%％
		ほし	☆★
		まる	○●◎
から	～	やじるし	→←↑↓

絵文字一覧



- ［緑枠］部分の絵文字は動く文字です。
- 一部の絵文字および動く絵文字は、相手のソフトバンク携帯電話の機種により表示されない場合があります。

メモリ容量一覧

本機に保存されるS!メールおよびSMSの合計数またはデータ容量	受信ボックス	最大1000件、または最大10Mバイト
	下書き	最大20件、または最大1Mバイト
	送信済みボックス	最大500件、または最大5Mバイト
	未送信ボックス	最大20件、または最大1Mバイト
SMS	USIMカード内	最大10件
データフォルダ	ピクチャー	各フォルダにつき最大9999件（ファイルおよびサブフォルダの合計数）
	マイ絵文字	
	着うた・メロディ	
	S!アプリ	
	ミュージック	
	ムービー	
	ブック	
	デコレメールテンプレート	
	Flash®	
	着信音Flash®	
	その他ファイル	

主な仕様

定格および仕様は予告なく変更することがあります。

SoftBank　931SC

項　目	仕　様
質量	約111.4g
連続通話時間	音声電話:約259分(3G)／約300分(GSM) TVコール：約120分
連続待受時間（ディスプレイ消灯時）	約400時間(3G)／約422時間(GSM)
サイズ（W×H×D）	約50.9×111.2×13.1㎜
最大出力	0.25 W

- 上記は、電池パック装着時の数値です。
- 電池の利用可能時間は、電波が安定した状態で算出した当社計算値です。電波の弱い場所での通話や「圏外」表示での待受は電池の消耗が多いため、ご利用時間が半分以下になることがあります。
- ディスプレイの照明がついている状態でのご利用（Yahoo!ケータイの操作など）が多い場合、連続通話時間および連続待受時間は短くなります。
- 待受画面などに動きのある画像を設定した場合、連続通話時間および連続待受時間が著しく短くなることがあります。

- 連続通話時間とは、「静止状態で連続して通話状態を保った場合の計算値」、また連続待受時間とは、「充電を満たした新品の電池パックを装着し、本機を閉じた状態で通話や操作をせず、電波が正常に受信できる静止状態により算出した計算値」です。実際に使う場合は、通話と待受の組み合わせとなるため、通話時間も待受時間も短くなります。連続通話時間ならびに連続待受時間は、使用環境（充電状態、気温など）によって変動することがあります。

電池パック

項　目	仕　様
電圧	3.7 V
使用電池	リチウムイオン電池
容量	960 mAh
サイズ（W × H × D）	約54.2 × 36.0 × 4.7 ㎜（突起部を含まず）

索引

英数字

せ

そ

た

ち

つ

て

目的別索引

便利な機能索引

保証とアフターサービス

保証について

本機をお買い上げいただいた場合は、保証書が付いております。

- お買い上げ店名、お買い上げ日をご確認ください。
- 内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、保証書をご覧ください。

本製品の故障、または不具合などにより、通話などの機会を逸したためにお客様または第三者が受けた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

修理を依頼される場合

「故障かな？と思ったら」(➲P.15-2)をお読みのうえ、もう一度お確かめください。それでも異常がある場合は、ご契約いただいた各地域の故障受付(➲P.15-28)または最寄りのソフトバンクショップへご相談ください。

その際できるだけ詳しく異常の状態をお聞かせください。

- 保証期間中は保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
- 保証期間後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。

注意

- 故障または修理により、お客様が登録・設定した内容が消去・変化する場合がありますので、大切な電話帳などは控えをとっておかれることをおすすめします。なお、故障または修理の際に本機に登録したデータ（電話帳やデータフォルダの内容など）や設定した内容が消失・変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品を分解、改造すると電波法に触れることがあります。また、改造された場合は修理をお引受けできませんので、ご注意ください。

お問い合わせ先一覧

お困りのときや、ご不明な点などがございましたら、お気軽に下記お問い合わせ先までご連絡ください。
番号はお間違いのないようにおかけください。

ソフトバンクモバイルお客さまセンター	
総合案内	ソフトバンク携帯電話から 157（無料）
紛失・故障受付	ソフトバンク携帯電話から 113（無料）

ソフトバンクモバイル国際コールセンター
海外からのお問い合わせおよび盗難・紛失のご連絡 +81-3-5351-3491（有料）

一般電話からおかけの場合

ご契約地域	お問い合わせ先	
北海道・青森県・秋田県・岩手県・山形県・宮城県・福島県・新潟県・東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県・栃木県・群馬県・山梨県・長野県・富山県・石川県・福井県	総合案内	0088-240-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-240-113（無料）
愛知県・岐阜県・三重県・静岡県	総合案内	0088-241-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-241-113（無料）
大阪府・兵庫県・京都府・奈良県・滋賀県・和歌山県	総合案内	0088-242-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-242-113（無料）
広島県・岡山県・山口県・鳥取県・島根県・徳島県・香川県・愛媛県・高知県・福岡県・佐賀県・長崎県・大分県・熊本県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県	総合案内	0088-250-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-250-113（無料）

SoftBank 931SC 取扱説明書

2011年6月 第5版発行

ソフトバンクモバイル株式会社

＊ ご不明な点はお求めになられたソフトバンク携帯電話取扱店にご相談ください。

モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力を。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するために、お客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器をブランド・メーカーを問わず上記のマークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

※ 回収した電話機・電池・充電器はリサイクルするためご返却できません。

※ プライバシー保護の為、電話機に記憶されているお客様の情報（電話帳・通信履歴・メール等）は事前に消去願います。

機種名　SoftBank 931SC
製造元　Samsung Electronics Co.,Ltd.

SoftBank 931SC　User Guide 取扱説明書

モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力を。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するために、お客様が不要となってお持ちになる
電話機・電池・充電器をブランド・メーカーを問わず左記のマークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。
※回収した電話機・電池・充電器はリサイクルするためご返却できません。
※プライバシー保護の為、電話機に記憶されているお客様の情報（電話帳、通話履歴、メール等）は、事前に消去願います。